

健康日本21安城計画
健康に関する基礎調査報告書

令和6年3月

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査方法	1
4	調査実施期間	2
5	回収状況	2
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果の要約	3
1.	あなた自身について	3
2.	栄養・食生活について	3
3.	身体活動・運動について	4
4.	休養・こころの健康について	4
5.	たばこについて	5
6.	アルコールについて	5
7.	歯の健康について	5
8.	性について	6
9.	子育てについて	6
10.	健康管理について	6
11.	社会参加・社会環境について	6
III	調査結果	7
◆	成人編◆	7
1	あなたご自身について	7
2	栄養・食生活について	17
3	身体活動・運動について	28
4	休養・こころの健康について	32
5	たばこについて	47
6	アルコールについて	50
7	歯の健康について	54
8	健康管理について	60
9	社会参加・社会環境について	69
◆	未成年編◆	75
1	あなたご自身について	75
2	栄養・食生活について	78
3	身体活動・運動について	86
4	休養・こころの健康について	88

5	たばこ・アルコールについて	93
6	歯の健康について	94
7	性について	96
◆	児童・生徒編◆	99
1	あなたご自身について	99
2	栄養・食生活について	102
3	身体活動・運動について	105
4	休養・こころの健康について	106
5	たばこ・アルコールについて	110
6	歯の健康について	111
7	性について	113
◆	保護者編◆	115
1	あなたのお子さんについて	115
2	栄養・食生活について	119
3	身体活動・運動について	122
4	休養・こころの健康について	124
5	たばこ・アルコールについて	126
6	歯の健康について	127
7	子育てについて	129
IV	自由意見	134
◇	成人編	134
◇	未成年、児童・生徒、保護者編	135

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 25 年度に策定した「第 2 次健康日本 21 安城計画」の最終評価及び次期計画策定のための基礎資料として、市民の生活習慣や家族形態、労働形態等を把握するとともに、各年代に応じた保健サービスへの市民のニーズを把握し、今後効果的な保健事業を推進していくための課題を探索することを目的としました。

2 調査対象

市内に在住する以下の住民を調査対象としました。

対象者	年齢	抽出方法
① 0 歳 4 か月児 保護者	0 歳 4 か月	各乳幼児健診の対象となる月齢の乳幼児
② 1 歳 6 か月児 保護者	1 歳 6 か月	
③ 3 歳児 保護者	3 歳	
④ 5 歳児 保護者	5 歳	市内 23 園（保育園・こども園・幼稚園）年長児各 1 クラス
⑤ 小学 3 年生	8 歳	市内の小中学校の各 1 クラス
⑥ 小学 3 年生 保護者	—	
⑦ 小学 6 年生	11 歳	
⑧ 小学 6 年生 保護者	—	
⑨ 中学 3 年生	14 歳	
⑩ 中学 3 年生 保護者	—	
⑪ 未成年（高校生年代）	15～17 歳	15～17 歳の市民 360 人を無作為抽出
⑫ 成人	18 歳以上	18 歳以上の市民 3,640 人を無作為抽出

（3 歳以上の年齢は令和 5 年 4 月 1 日現在）

3 調査方法

対象者	配布方法	回収方法
① 0 歳 4 か月児 保護者	母子手帳アプリを通じて配信	WEB による回答
② 1 歳 6 か月児 保護者		
③ 3 歳児 保護者		
④ 5 歳児 保護者	各園を通じて保護者あてに配布	各園を通じて回収
⑤～⑩ 小学 3 年生・小学 6 年生・中学 3 年生及びその保護者	各小中学校を通じて配布	各小中学校を通じて回収
⑪～⑫ 未成年（高校生年代）・成人	郵送	郵送回収または WEB による回答

4 調査実施期間

配布・締め切り : 令和5年7月～8月

5 回収状況

	令和5年度			
	配布数	回収数	有効回収数	回収率 (%)
①0歳4か月児 保護者	600	156	156	26.0
②1歳6か月児 保護者	600	233	233	38.8
③3歳児 保護者	600	178	178	29.7
④5歳児 保護者	600	437	437	72.8
⑤小学3年生	600	553	551	91.8
⑥小学3年生 保護者	600	541	539	89.8
⑦小学6年生	670	618	616	91.9
⑧小学6年生 保護者	670	593	590	88.1
⑨中学3年生	310	244	241	77.7
⑩中学3年生 保護者	310	249	246	79.4
⑪未成年（高校生年代）	360	103	103	28.6
⑫成人	3,640	1,443	1,443	39.6

※2023年調査の成人には、18～19歳が含まれます。

6 調査結果の表示方法

- ・回答比率は各質問の回答者数を基数とした百分率 (%) で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計（年代別集計など、複数項目の組み合わせで分類した集計のこと）の場合、回答なしを除外しているため、クロス集計の回答者数の合計と単純集計（全体）の回答者数が合致しないことがあります。
- ・グラフではnの数値が「件数」となっています。
- ・帯グラフにおいて、割合が 0.0%であった場合、表示を省略しています。
- ・表、グラフ等の見出しでの回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して記載している場合があります。
- ・回答者数が少ない設問については、回答比率が大きく変動するため、コメントをしていない場合があります。
- ・肥満度の判定方法は、未成年以下は、学校保健統計調査方式【肥満度（過体重度）＝ $\frac{[\text{実測体重 (kg)} - \text{身長別標準体重 (kg)}]}{\text{身長別標準体重 (kg)}} \times 100(\%)$ 】を使用。成人についてはBMI 【 $\frac{[\text{体重 (kg)}]}{[\text{身長 (m)}]^2}$ 】を使用しています。

II 調査結果の要約

II 調査結果の要約

1. あなた自身について

①健康観 (P8、77、101)

健康だと思う人は、成人で 77.3%、未成年・中学3年生・小学6年生・小学3年生では9割以上となっています。

②健康の判断基準 (P9、77、101)

健康を判断する際に重視する項目は、すべての年代で「病気がないこと」が最も高くなっています。続く項目は、成人では「おいしく飲食ができること」「身体が丈夫なこと」、未成年や中学3年生では「身体が丈夫なこと」「ぐっすり眠れること」となっています。

③肥満度の状況 (P10、76、100、116)

肥満度の判定が「普通」の人は、成人で 68.1%、未成年では 88.3%となっています。中学3年生・小学6年生・小学3年生・年長児は約8割となっています。また、肥満度の判定が「肥満」の人は、成人で 20.6%、未成年で 7.8%みられ、中学3年生 6.6%、小学6年生 9.9%、小学3年生 6.0%、年長児 4.5%となっています。

④体型の認識状況 (P14)

肥満度の判定が「普通」の人のうち、やせたいと思っている人の割合は、成人で 45.9%となっています。

⑤子どもの健康 (P118)

子どもの健康について特に関心のあるものは、4か月児は「成長・発達」が最も多く、次いで「食事・栄養」となっています。1歳6か月児・3歳児・年長児は「食事・栄養」が最も多く、次いで「成長・発達」となっています。小学3年生以上は「食事・栄養」に次いで「心」が多くなっています。

2. 栄養・食生活について

①欠食の状況 (P17、78、102)

普段、朝食を抜くことがある人は成人で 21.6%、未成年で 26.2%となっています。アンケート回答日に朝食を食べなかった人は、中学3年生で 7.9%、小学6年生で 5.1%となっています。

②栄養のバランスへの配慮 (P21、82、120)

食事の際、栄養のバランスに気をつけている人は、成人で 63.5%、未成年で 43.7%となっています。また、食事をつくる時、栄養のバランスに気をつけている保護者の割合は、中学3年生 84.1%、小学6年生 80.0%、小学3年生で 85.2%、年長児で 79.9%、0～3歳児で 80.8%となっています。

3. 身体活動・運動について

①運動の必要性 (P28、122)

健康のために運動や体を動かす必要があると考えている人は、成人で 97.2%となっています。また、子どもの体を使った運動や遊びに関心がある人は、年長児、3歳児、1歳6か月児、4か月児の保護者で94%以上となっています。

②日頃の運動習慣 (P29、86、105、123)

成人では、1日30分以上歩いている人は53.2%となっています。

また、学校での授業や部活動（または課外活動）以外でスポーツをしている人の割合は、未成年で33.0%、中学3年生で52.7%、小学6年生・小学3年生で7割以上となっています。

子どもに体を使った遊びや運動をさせている保護者は、年長児・0～3歳児で8割以上となっています。

4. 休養・こころの健康について

①睡眠の必要性と充足度 (P32、36)

成人では、健康のために睡眠や休養をとる必要があると考えている人は96.6%となっています。一方、日ごろの睡眠が十分だと思う人は、59.5%となっています。

②ストレス実感度 (P38、89、107)

何らかのストレスを感じている人は、成人・未成年・中学3年生で7割以上、小学6年生・小学3年生では6割程度となっています。

③ストレスが大きくて逃げ出したいと思うことの有無 (P40、90、107)

逃げ出したい大きなストレスがある人は、成人で27.0%、未成年で32.0%、中学3年生37.3%、小学6年生26.9%、小学3年生27.6%となっています。逃げ出したい大きなストレスがある人のうち、誰にも相談していない人の割合は、成人で43.7%、未成年で54.5%、中学3年生45.6%、小学6年生51.5%、小学3年生30.3%となっています。

④最初に悩みを相談する相手 (P91、109)

最初に悩みを相談する相手は、小学6年生・小学3年生では「母」、未成年・中学3年生では「友達」が多くなっています。一方で、悩みを相談する相手が「いない」と答えた人は、未成年・中学3年生・小学6年生でそれぞれ10%未満みられます。

⑤K6ハイリスク該当者 (P45)

うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発された、心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標を用いたハイリスク該当者（10点以上）は、成人で16.4%となっています。

5. たばこについて

①喫煙状況 (P47、110)

成人の喫煙者は 11.2%となっています。また、中学3年生の 0.8%は喫煙経験ありと回答しています。

②禁煙意欲 (P48)

喫煙者の中で禁煙したいと考えている人は、32.3%となっています。

③受動喫煙 (P126)

同居家族に、たばこを吸う人がいる家庭は、2割以上となっており、このうち、子どもの前でも喫煙している状況がみられる家庭は、中学3年生 9.3%・小学6年生 7.8%・小学3年生 9.1%・年長児 5.5%・3歳児 5.6%・1歳6か月児の家庭で 3.9%となっています。

6. アルコールについて

①飲酒状況 (P50、93、110)

成人の飲酒頻度については、毎日飲む人は 12.6%となっており、週に1日以上飲酒する人は 31.5%みられます。

また、飲酒経験がある人の割合は、未成年 4.9%、中学3年生 8.3%となっています。

②生活習慣病のリスクを高める飲酒量 (P52)

飲酒日1日あたりの飲酒量が生活習慣病のリスクを高める飲酒量（男性1日平均日本酒2合以上、女性1合以上）に該当している人は男性で 12.6%、女性で 6.1%となっています。

7. 歯の健康について

①歯みがきの状況 (P54、94、111、127)

歯みがきを毎日する人は、成人 87.3%。未成年 78.6%となっています。中学3年生・小学6年生・小学3年生では8割以上、年長児では 92.9%となっています。

②歯や口の健康管理 (P56、95、112、128)

歯や口の健康管理について、成人・未成年・中学3年生で「かかりつけ歯科医院がある」が最も多くなっています。「定期的に歯科健診を受けている」と答えた人は、成人・未成年・中学3年生でそれぞれ4割以上となっています。

また、「定期的に歯科健診を受けさせている」と答えた保護者の割合は、中学3年生で 56.5%、小学6年生で 73.1%、小学3年生で 80.3%、年長児で 70.7%となっています。

8. 性について

①性に関する相談相手 (P97、114)

性に関することで困ったときに相談する相手は、未成年・中学3年生で、「友達」が4割、「わからない」が3割となっています。

9. 子育てについて

①子育て中のストレス解消方法の有無 (P130)

子育てをする中で、ストレスを解消する方法がある保護者は、中学3年生・小学6年生・小学3年生・年長児・3歳児・4か月児では8割以上、1歳6か月児では75.5%となっています。

②子育ての相談相手 (P131)

子育てについて、相談できる人がいない保護者は、中学3年生で5.7%、小学6年生で5.8%、小学3年生で6.9%、年長児で4.3%、0～3歳児では3.7%となっています。

10. 健康管理について

①健康の意識と行動 (P60、61)

成人では、日々の生活で健康を意識している人は、76.8%となっています。一方、健康のために行動をしている人は59.3%となっています。

②健康診断等の受診状況 (P64、66)

成人で、年1回程度の間ドックや健康診断を受けている人は、67.8%となっています。一方、がん検診を受けている人は、30.8%となっています。

11. 社会参加・社会環境について

①地域活動への参加状況 (P70)

成人で、地域活動に参加している人は29.7%となっています。

②孤独感 (P71)

成人で、孤独であると感じることがしばしば(常に)・時々ある人は、17.7%となっています。



Ⅲ 調査結果

<成人編>

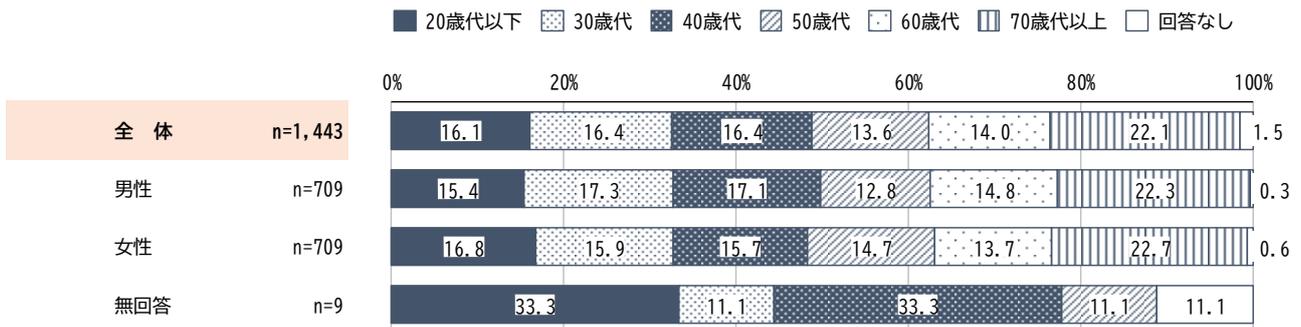
Ⅲ 調査結果

◆成人編◆

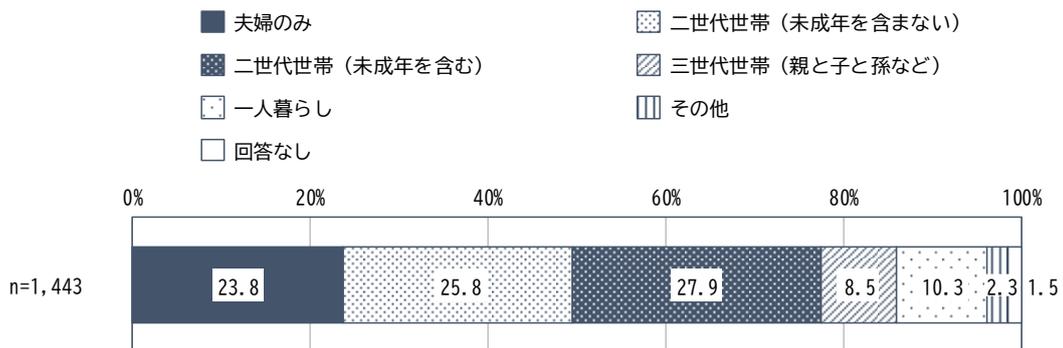
1 あなたご自身について

問1 年齢はおいくつですか。(令和5年7月1日現在)

問2 性別はどちらですか。(1つに○)

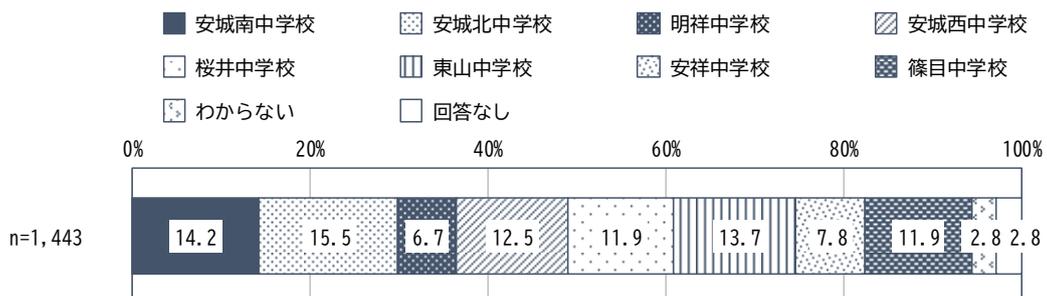


問3 家族構成を教えてください。(1つに○)



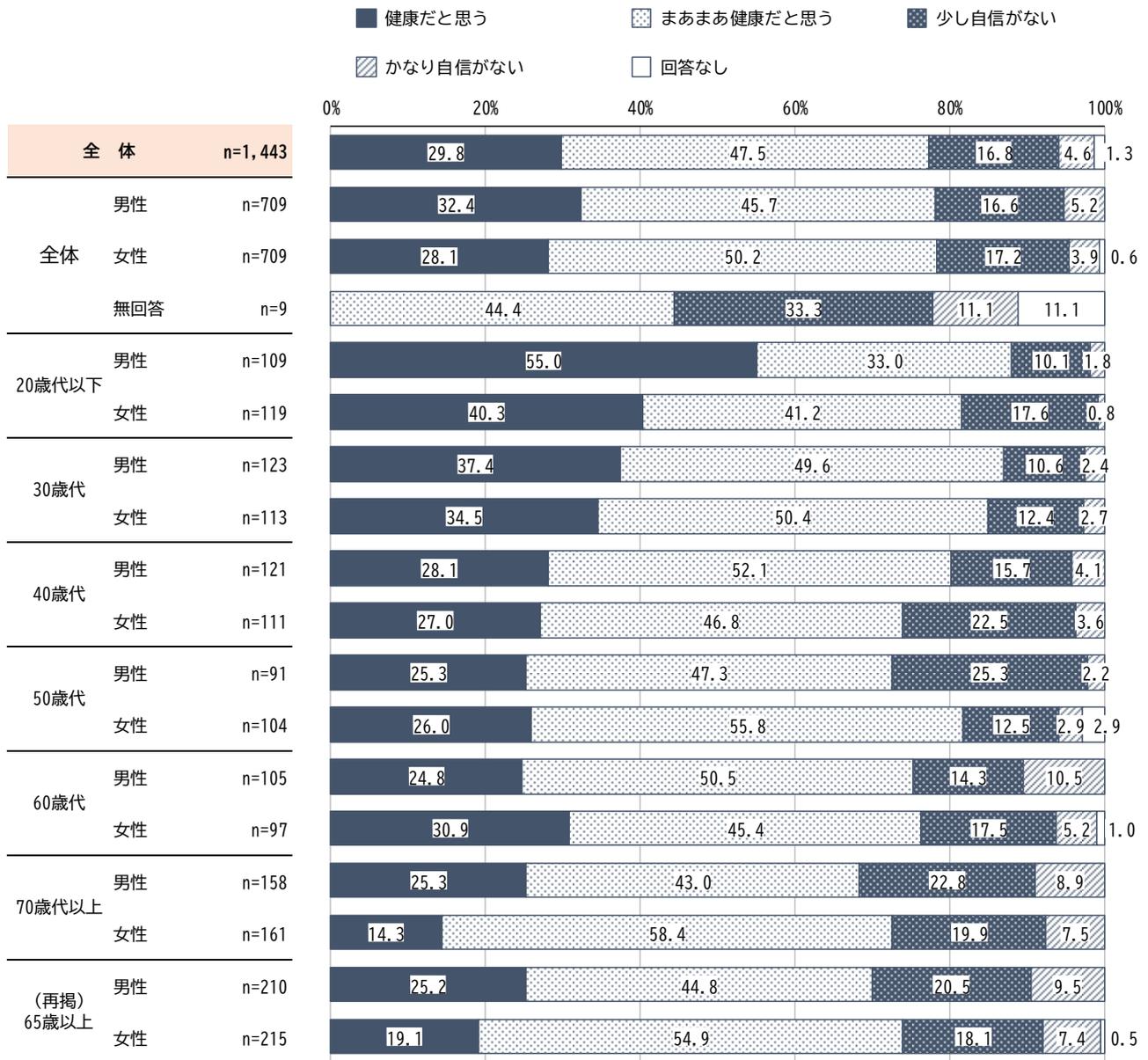
問4 お住まいの地区の中学校区をお答えください。(1つに○) あわせて、お住まいの町名をお答えください。

「安城北中学校」(15.5%)が最も多く、次いで「安城南中学校」(14.2%)、「東山中学校」(13.7%)となっています。



問5 自分は健康だと思いますか。(1つに〇)

「まあまあ健康だと思う」(47.5%)が最も多く、次いで「健康だと思う」(29.8%)、「少し自信がない」(16.8%)となっています。また、「健康だと思う」と「まあまあ健康だと思う」をあわせた“健康だと思う”は77.3%となっています。



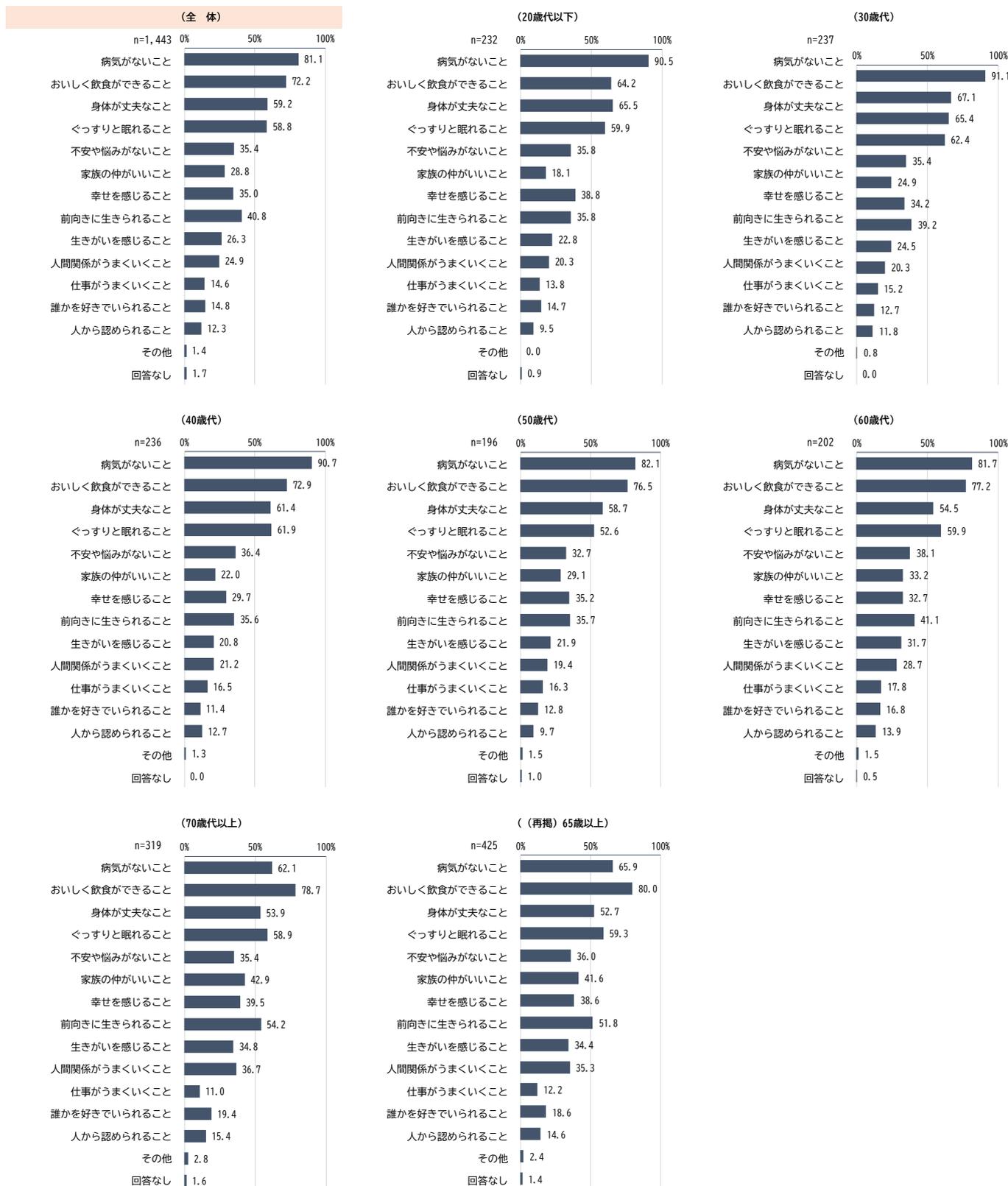
【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
“健康だと思う”人の割合	69.2%	78.3%

※「健康だと思う」「まあまあ健康だと思う」の割合

問6 「健康」を判断する際に重視する項目はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「病気がないこと」(81.1%)が最も多く、次いで「おいしく飲食ができること」(72.2%)、「身体が丈夫なこと」(59.2%)となっています。

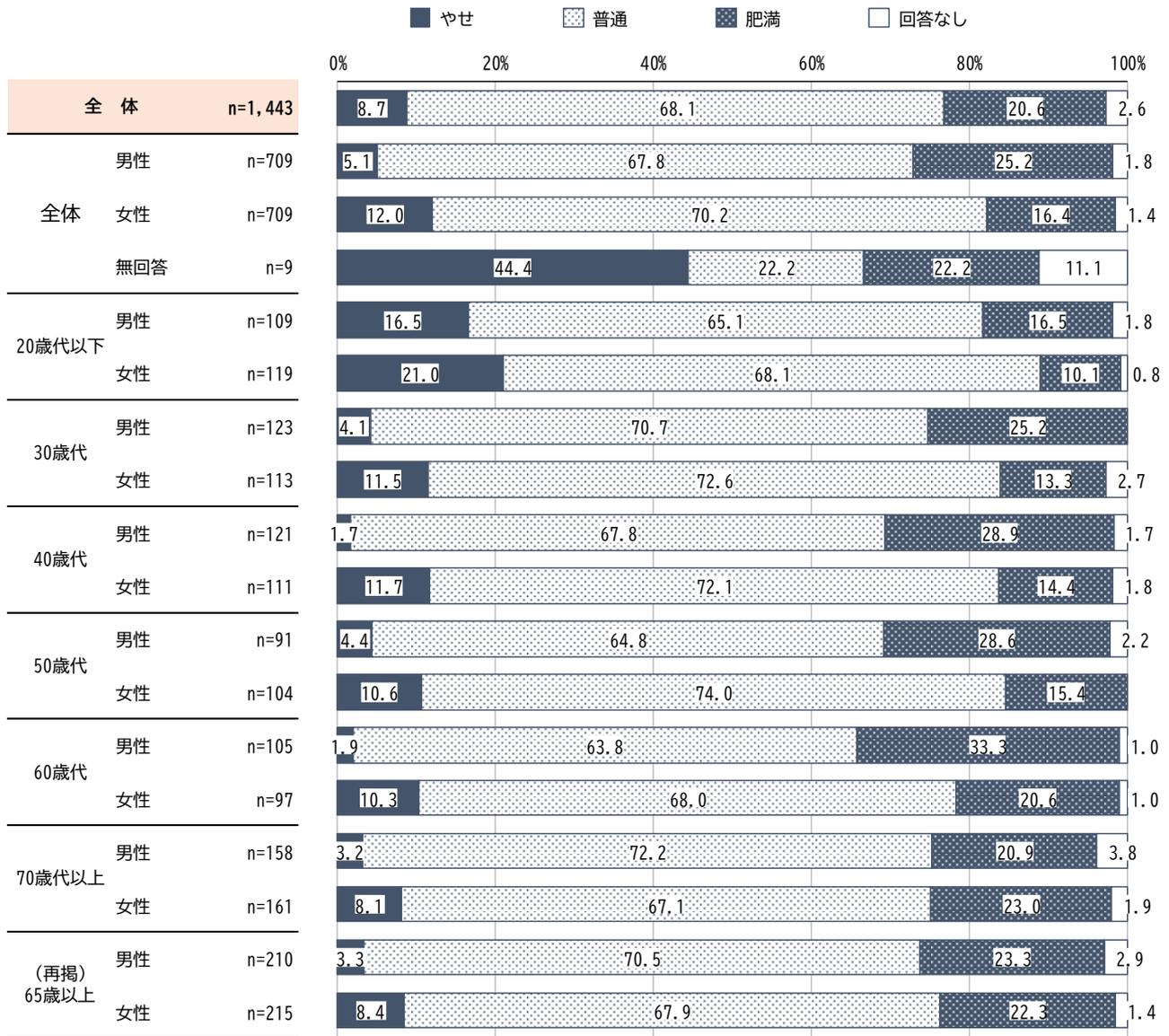


問7 身長および体重を教えてください。*算用数字で記入 <肥満度：BMI判定>

※肥満の判定 BMI = (体重(kg) ÷ 身長(m)) ÷ 身長(m)

BMI	判定
18.5未満	やせ
18.5以上25.0未満	普通
25.0以上	肥満

BMI値で見ると、「普通」(68.1%)が最も多く、次いで「肥満」(20.6%)、「やせ」(8.7%)となっています。



【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
肥満者の割合（20～60歳代男性）	27.3%	27.2%
肥満者の割合（40～60歳代女性）	15.2%	16.8%
BMIが20以下の人の割合（65歳以上）	19.3%	19.9%
やせの人の割合（20歳代女性）	20.8%	22.7%

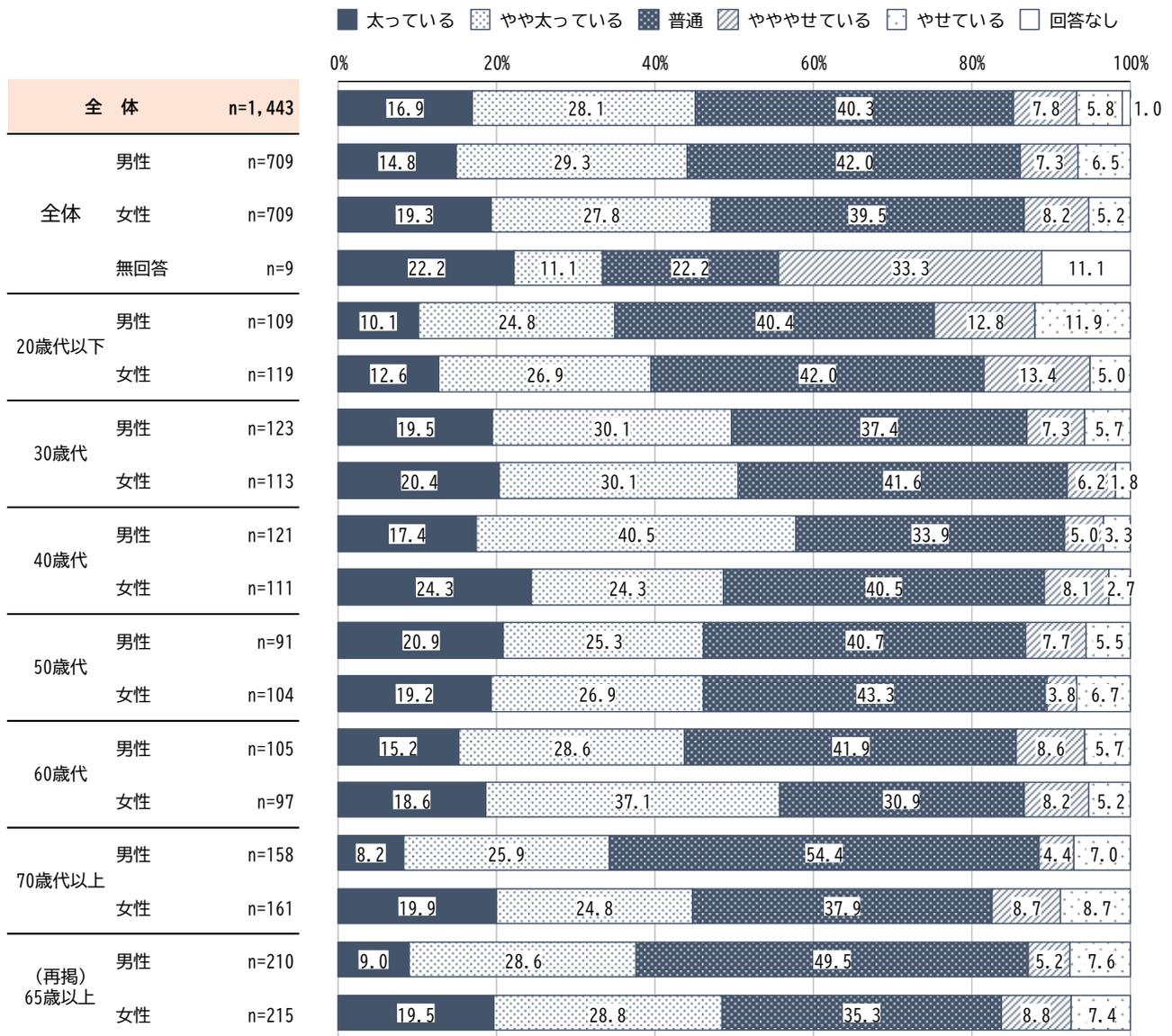
【参考：愛知県調査との比較】

項目	愛知県	安城市
肥満者の割合（20～60歳代男性）	29.8%	27.2%
肥満者の割合（40～60歳代女性）	18.1%	16.8%

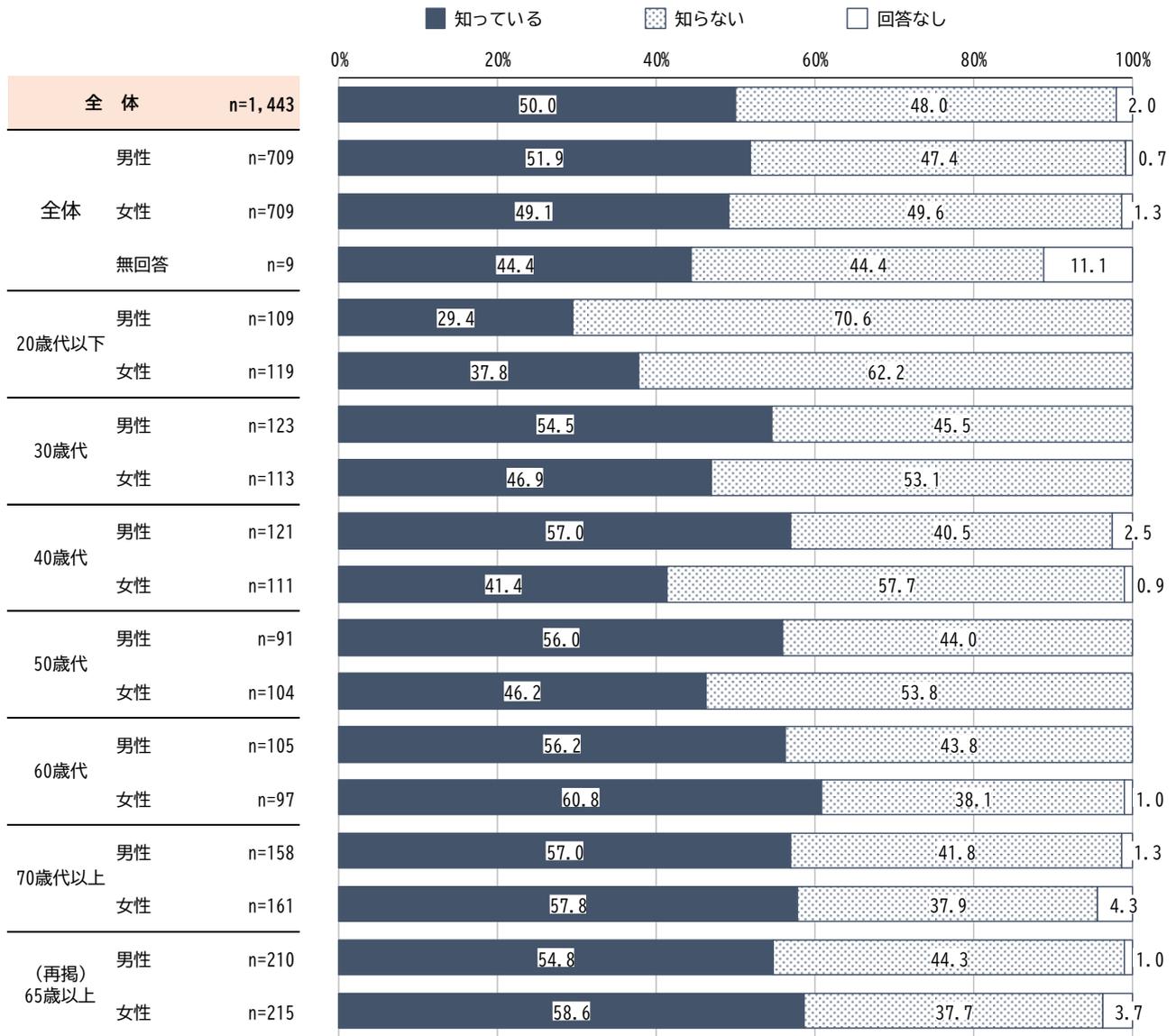
※愛知県：令和4年度愛知県生活習慣関連調査

問8 今の自分の体型をどう思いますか。(1つに○)

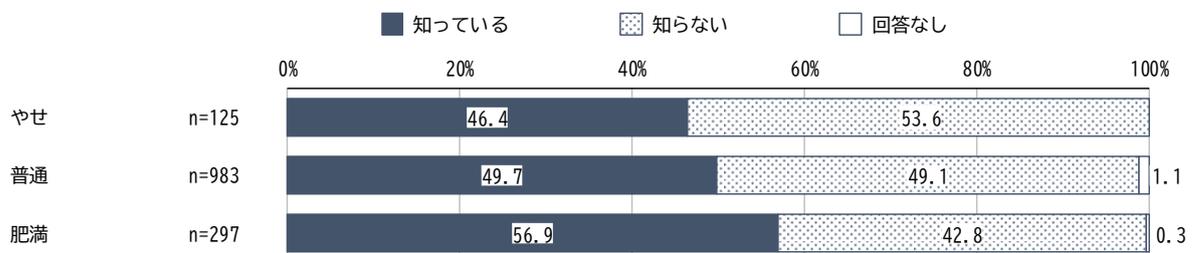
「普通」(40.3%)が最も多く、次いで「やや太っている」(28.1%)、「太っている」(16.9%)となっています。



問9 自分の適正体重を知っていますか。(どちらかに○、「1 知っている」の方は適正体重をご記入ください)

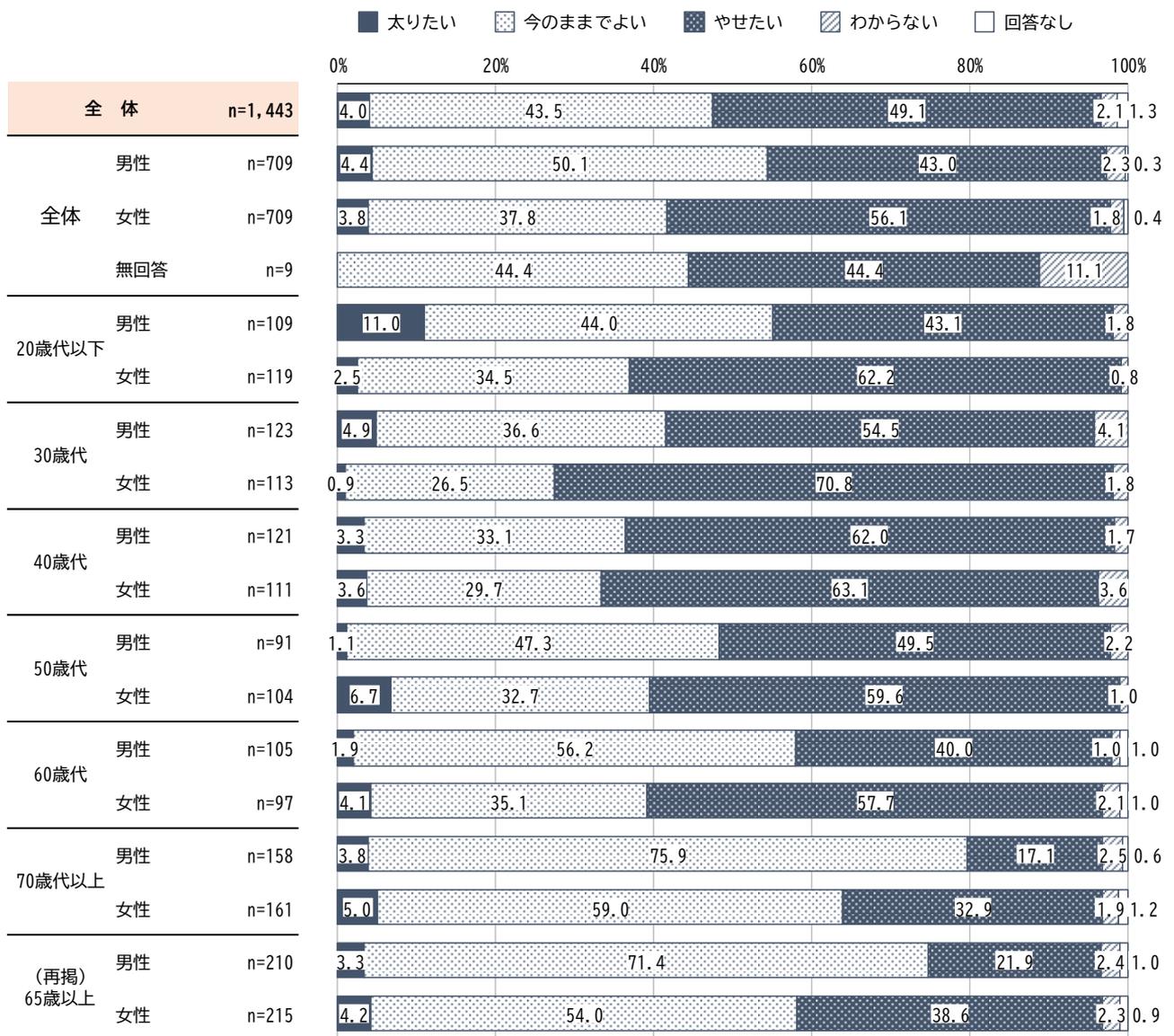


【BMI判定×適正体重の認知】問7×問9

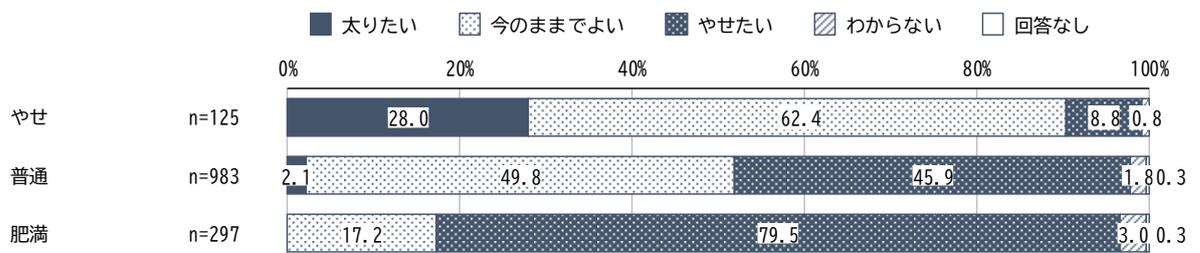


問10 今後、自分の体型をどうしたいですか。(1つに〇)

「やせたい」(49.1%)が最も多く、次いで「今のままでよい」(43.5%)、「太りたい」(4.0%)となっています。



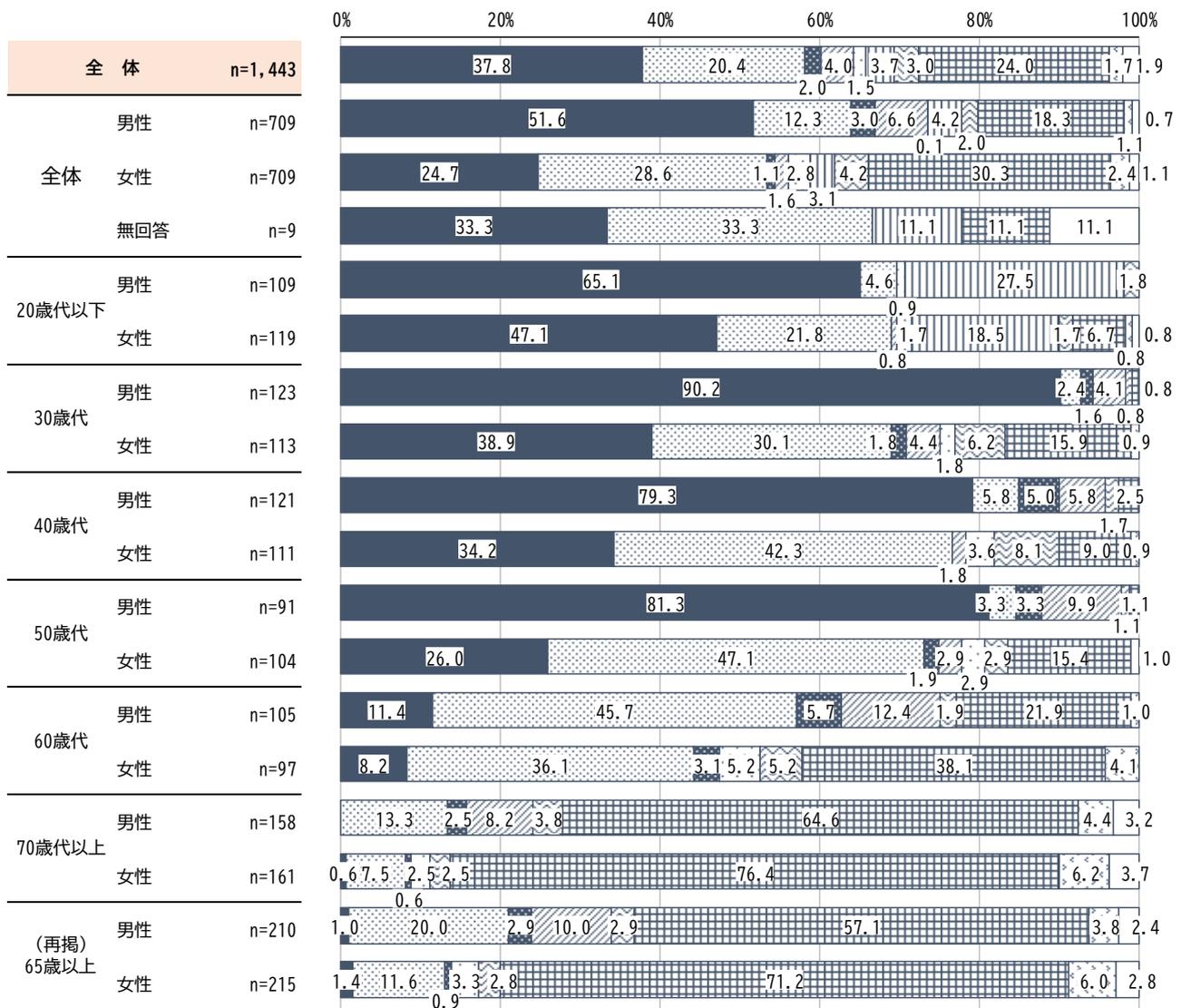
【BMI判定×今後の自分の体型】問7×問10



問11 あなたの現在の職業を教えてください。(1つに○)

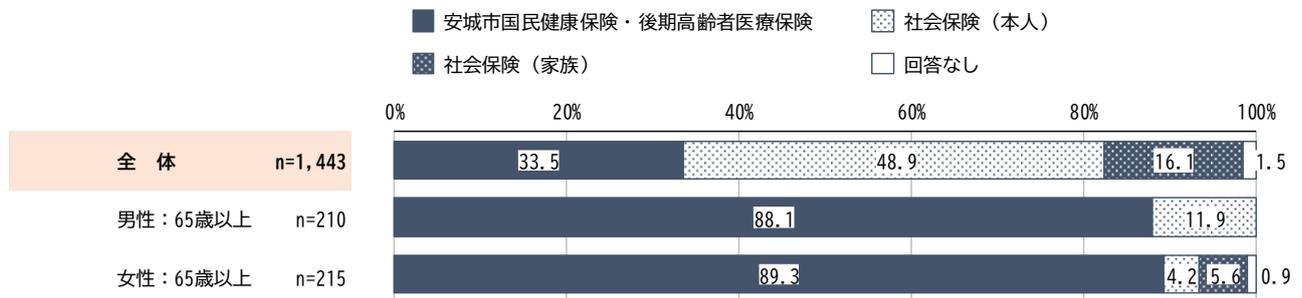
「正規の職員・従業員」(37.8%)が最も多く、次いで「収入をともなう仕事をしていない(仕事を探していない)」(24.0%)、「非正規の職員・従業員(派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト)」(20.4%)となっています。

- 正規の職員・従業員
- ▨ 非正規の職員・従業員(派遣社員、契約社員・嘱託、パート・アルバイト(学生アルバイトを除く))
- 会社などの役員
- ▨ 自営業主
- ▨ 家族従業者・内職
- ▨ 学生・生徒
- ▨ 収入をともなう仕事をしていない(仕事を探している)
- ▨ 収入をともなう仕事をしていない(仕事を探していない)
- ▨ その他
- 回答なし



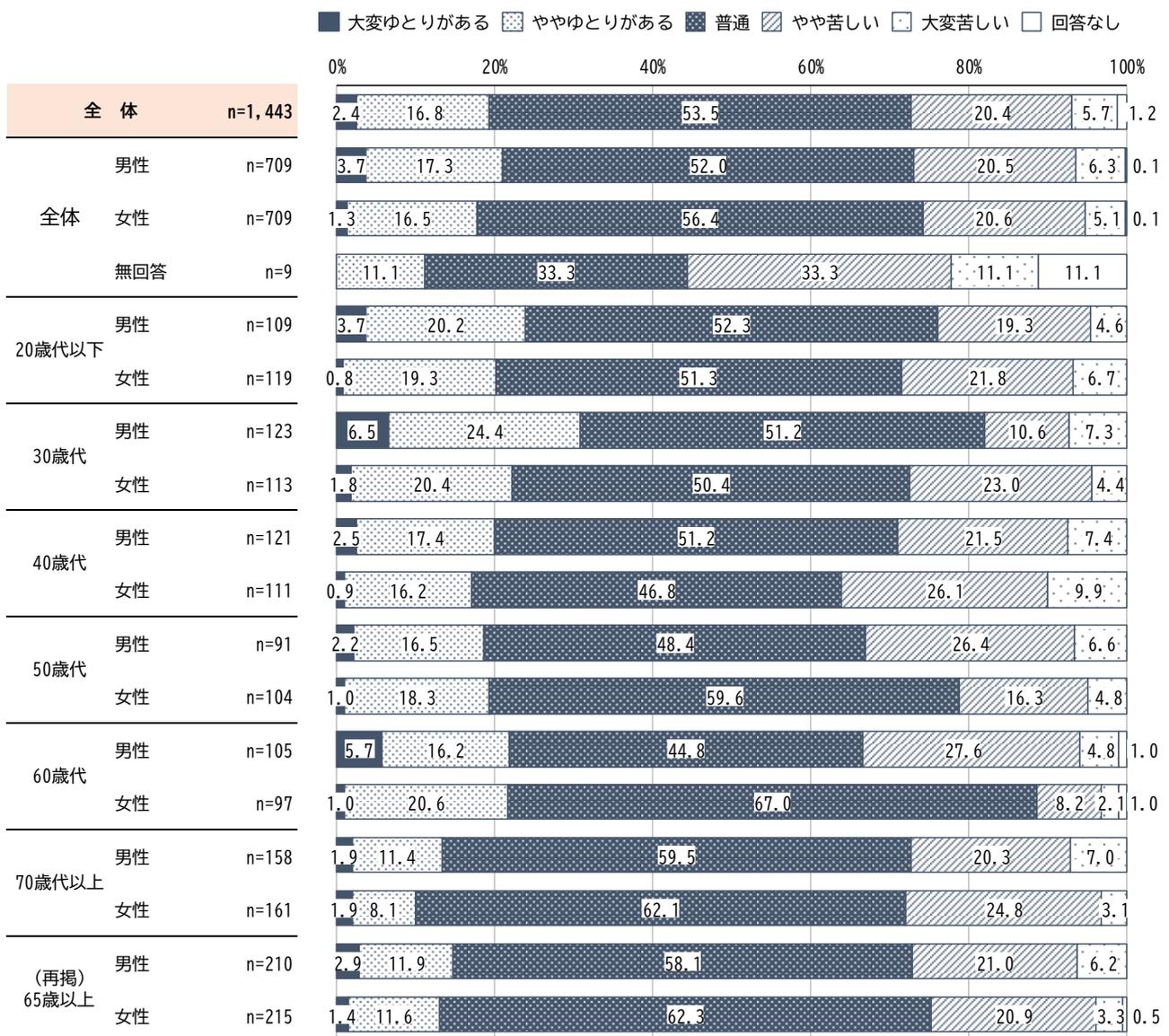
問12 医療保険（保険証）の種類を教えてください。（1つに○）

65歳以上で「安城市国民健康保険・後期高齢者医療保険」に加入している男性が88.1%、女性が89.3%となっています。



問13 あなたの現在の経済的な暮らし向きは、いかがですか。（1つに○）

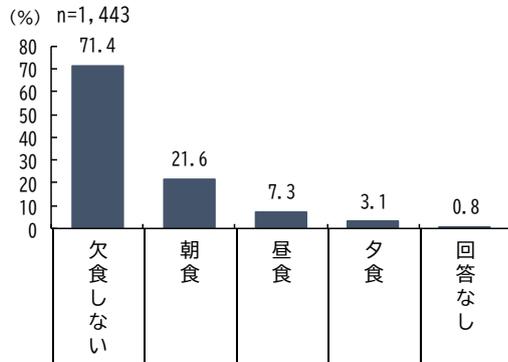
「普通」(53.5%)が最も多く、次いで「やや苦しい」(20.4%)、「ややゆとりがある」(16.8%)となっています。



2 栄養・食生活について

問14 ふだん食事を抜くことがありますか。よく欠食する食事をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「欠食しない」(71.4%)が最も多く、次いで「朝食」(21.6%)、「昼食」(7.3%)となっています。



	n	欠食しない	朝食	昼食	夕食	回答なし
全 体	1443	71.4	21.6	7.3	3.1	0.8
男性/全体	707	69.4	23.3	7.6	2.7	0.4
/20歳代以下	109	51.4	44.0	6.4	1.8	-
/30歳代	123	60.2	30.1	10.6	3.3	0.8
/40歳代	121	65.3	26.4	9.1	3.3	-
/50歳代	91	72.5	23.1	6.6	1.1	-
/60歳代	105	69.5	21.9	9.5	4.8	-
/70歳代以上	158	90.5	2.5	4.4	1.9	1.3
/(再掲)65歳以上	210	85.7	7.1	6.2	1.9	1.0
女性/全体	705	73.2	19.9	7.1	3.4	1.0
/20歳代以下	119	52.1	42.0	5.9	4.2	-
/30歳代	113	61.9	30.1	10.6	1.8	-
/40歳代	111	67.6	23.4	10.8	3.6	-
/50歳代	104	76.9	18.3	6.7	1.9	-
/60歳代	97	91.8	5.2	2.1	3.1	-
/70歳代以上	161	87.0	3.7	6.2	5.0	4.3
/(再掲)65歳以上	215	88.4	3.7	5.6	4.7	3.3

【2017年調査との比較】

項目		2017年	2023年
朝食を欠食している人の割合	全体	17.1%	21.8%
	20歳代男性	36.9%	44.0%
	20歳代女性	33.1%	42.0%
	30歳代男性	27.1%	30.3%

【参考：国や愛知県調査との比較】

項目		国	愛知県	安城市
朝食を欠食している人の割合	20歳代男性	27.9%	22.0%	44.0%
	30歳代男性	27.1%	14.4%	30.3%

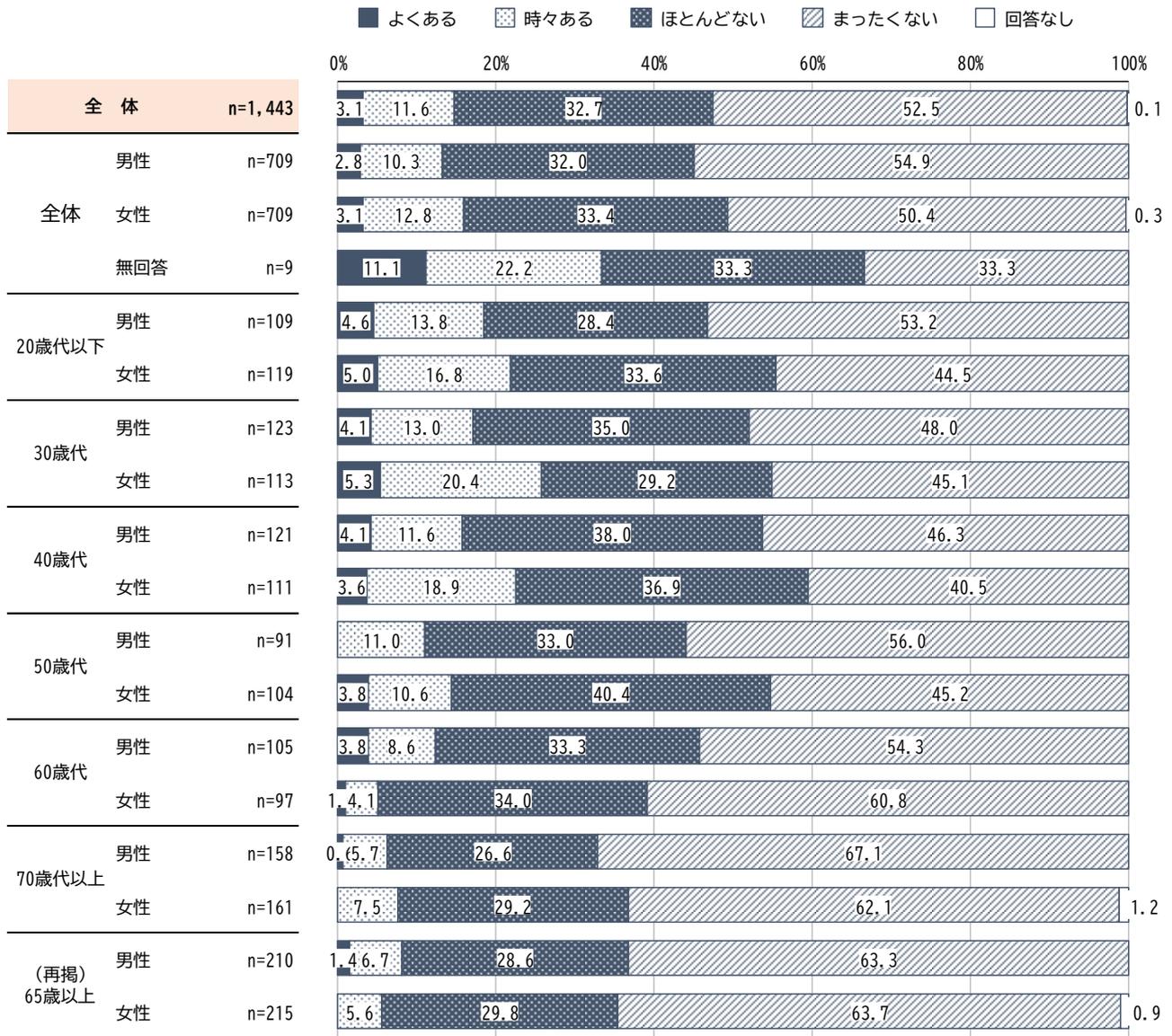
※国：令和元年国民健康・栄養調査、欠食「菓子・果物のみ」「錠剤などのみ」「何も食べない」の割合
愛知県：令和4年度愛知県生活習慣関連調査 安城市：年齢区分は「20歳代以下」

問15 菓子や嗜好飲料、サプリメント、栄養ドリンク剤のみで食事をすませることがありますか。
(1つに○)

※嗜好飲料：ジュース、アルコール、コーヒー、紅茶

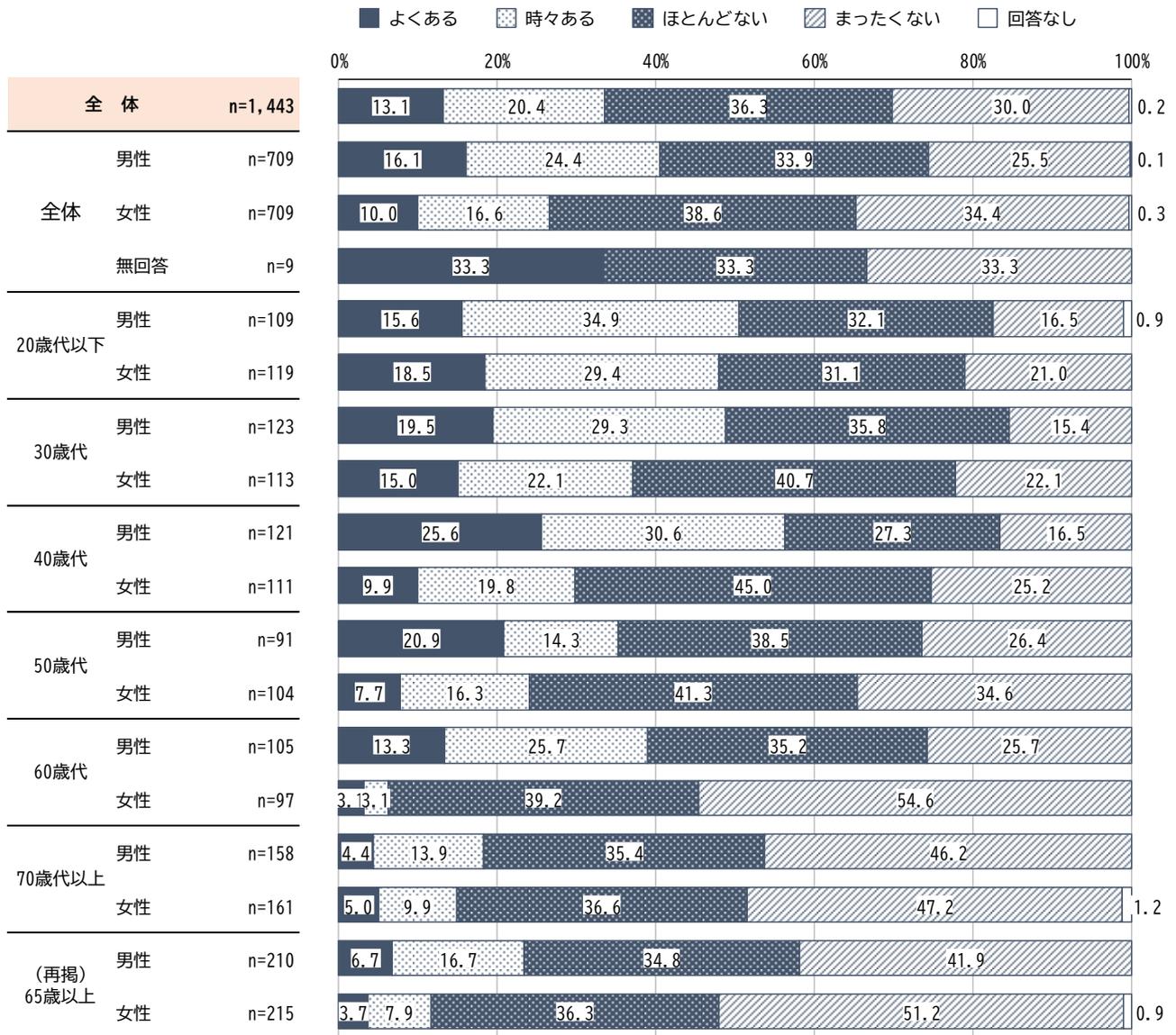
サプリメント：カルシウムなどのミネラルやビタミンを含んだ錠剤やカプセル、顆粒状にしたもの

「まったくない」(52.5%)が最も多く、次いで「ほとんどない」(32.7%)、「時々ある」(11.6%)となっています。

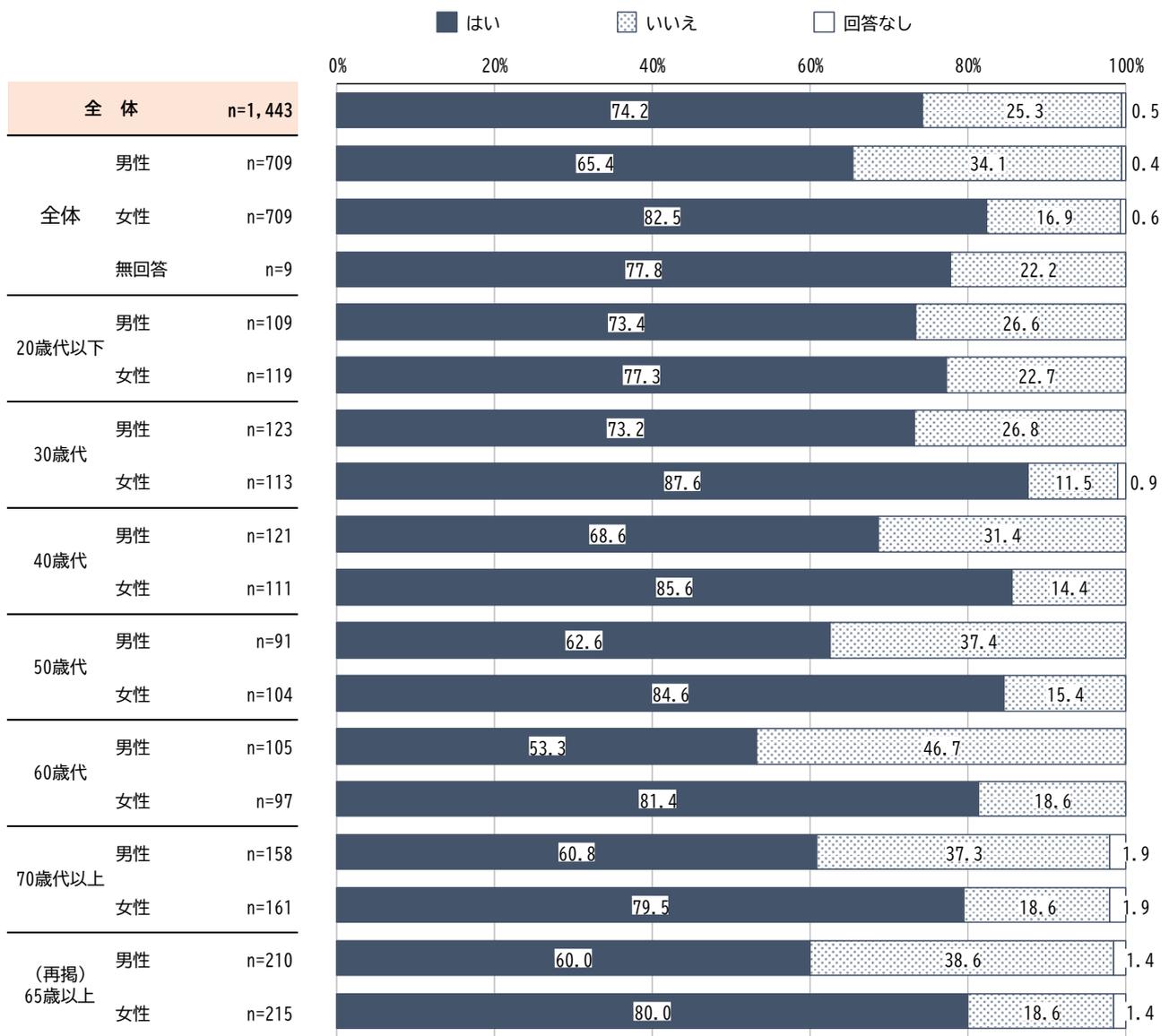


問16 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか（1つに○）

「ほとんどない」（36.3%）が最も多く、次いで「まったくない」（30.0%）、「時々ある」（20.4%）となっています。



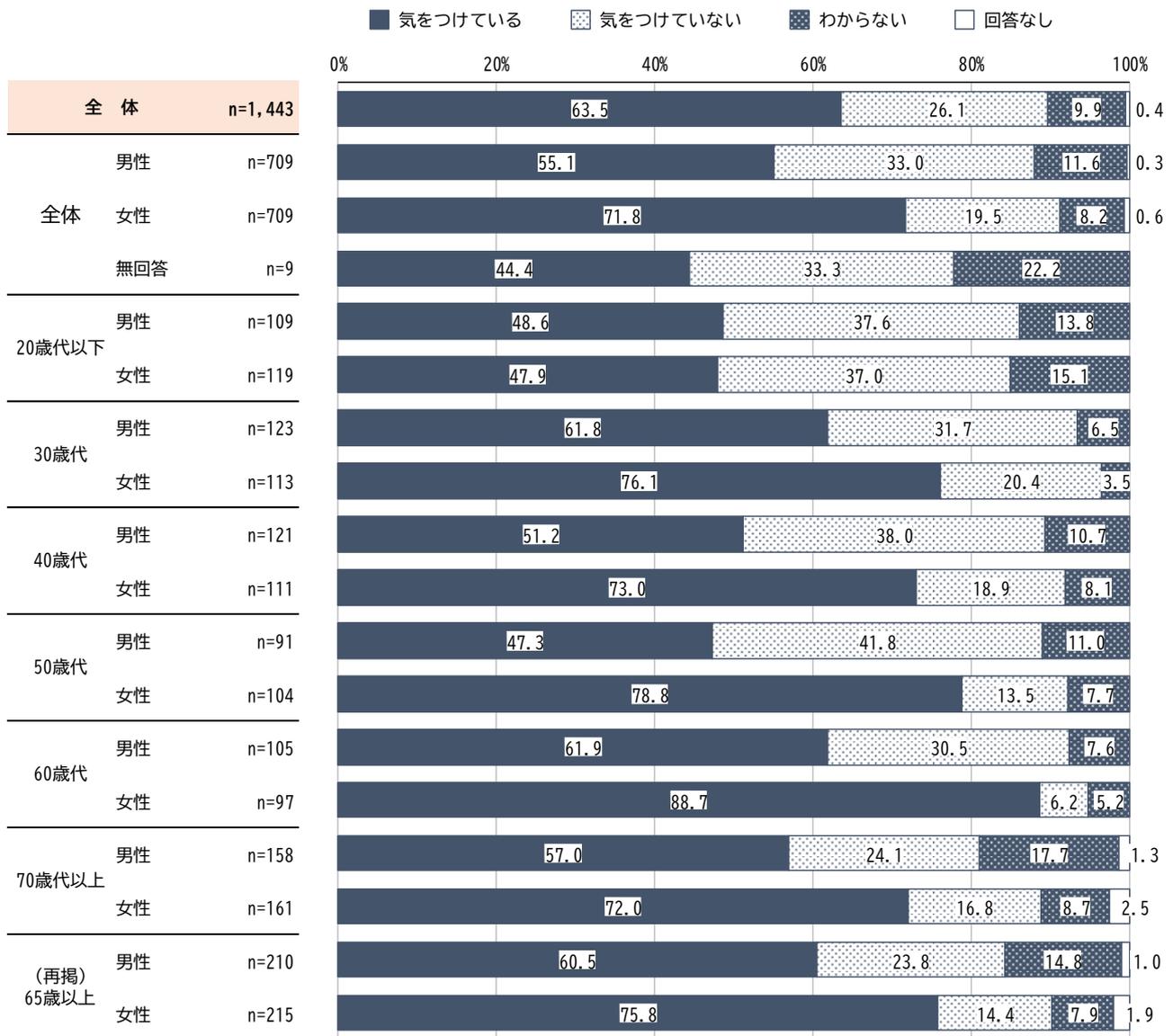
問17 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか（どちらかに○）



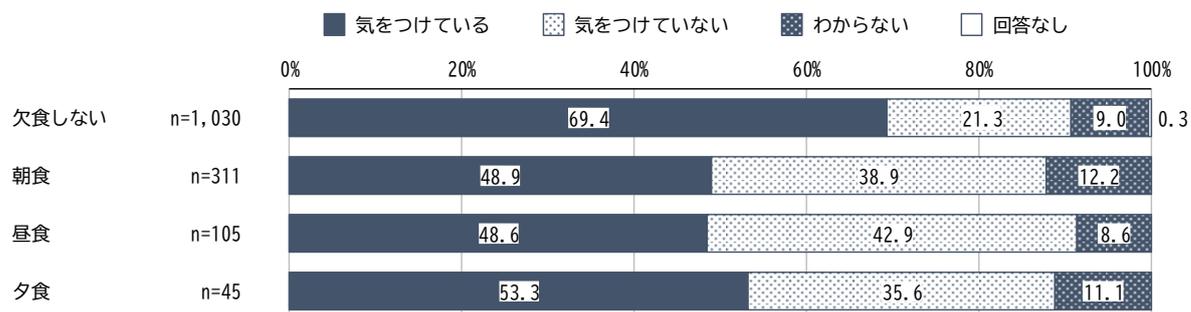
問18 食事の時に、栄養のバランス（例：主食・主菜・副菜がそろうように意識している など）について気をつけていますか。（1つに○）

※主食：ごはん、パン、麺類など
 主菜：肉、魚、卵、大豆製品が主なおかず
 副菜：野菜、きのこ、海藻などが主なおかず

「気をつけている」（63.5%）が最も多く、次いで「気をつけていない」（26.1%）、「わからない」（9.9%）となっています。



【欠食の状況×栄養バランスについて気をつけているか】問 14×問 18



【2017年調査との比較】

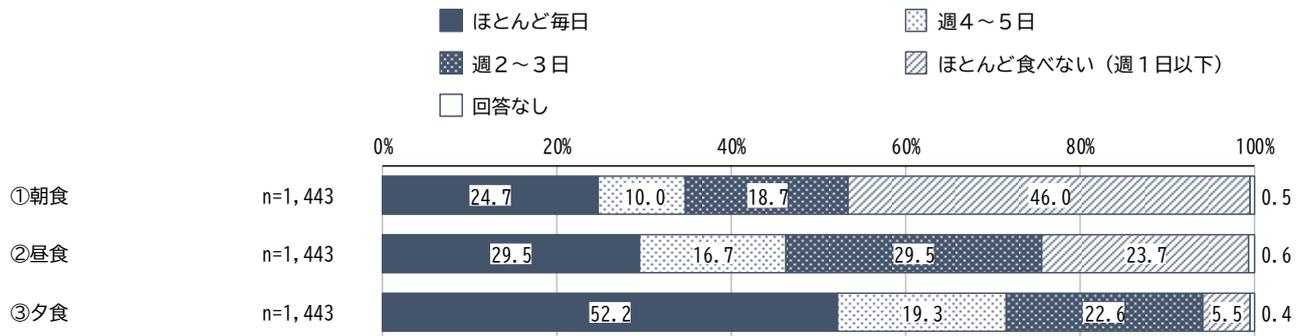
項目		2017年	2023年
栄養のバランスに気を付けている人の割合	全体	67.3%	63.6%
	男性	60.2%	55.3%
	女性	73.2%	72.2%

※2017年調査：「はい」「いいえ」

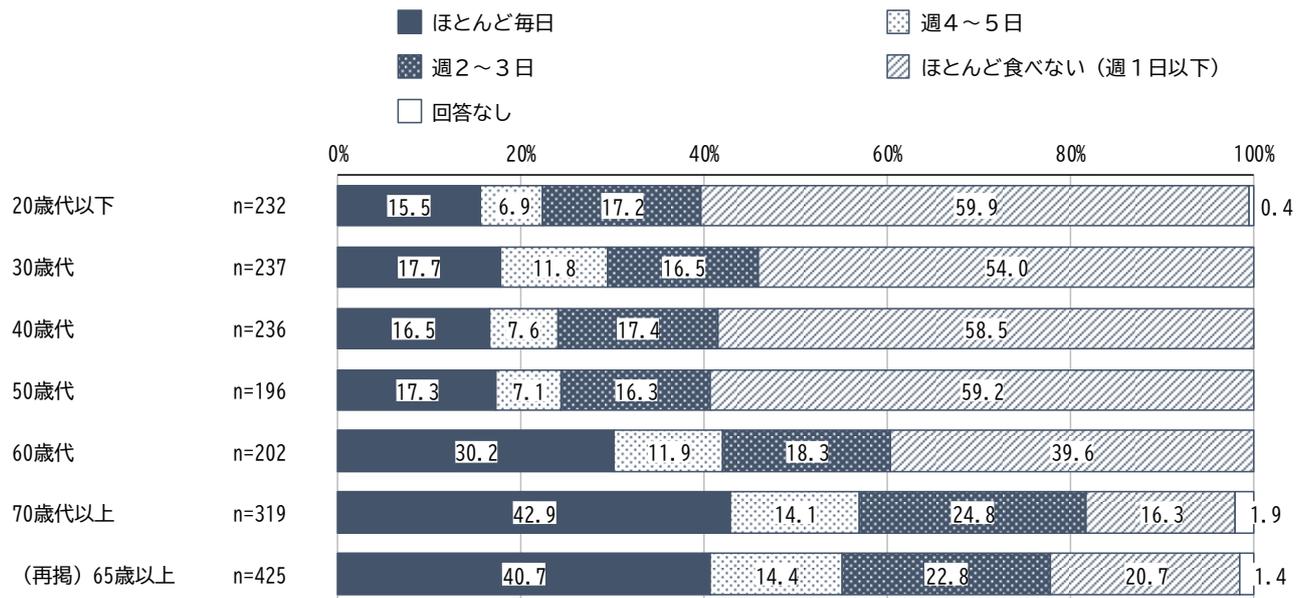
問19 あなたが野菜を主材料とした料理を食べる頻度はどのくらいですか。次の①から③のそれぞれの質問について教えてください。

※ここで言う野菜は、トマト、ほうれん草などの緑黄色野菜や、キャベツ、ナスなどのことです。イチゴ、メロンなどの果実類やじゃがいもなどのイモ類、シイタケなどのキノコ類、わかめなどの海藻類は除きます。

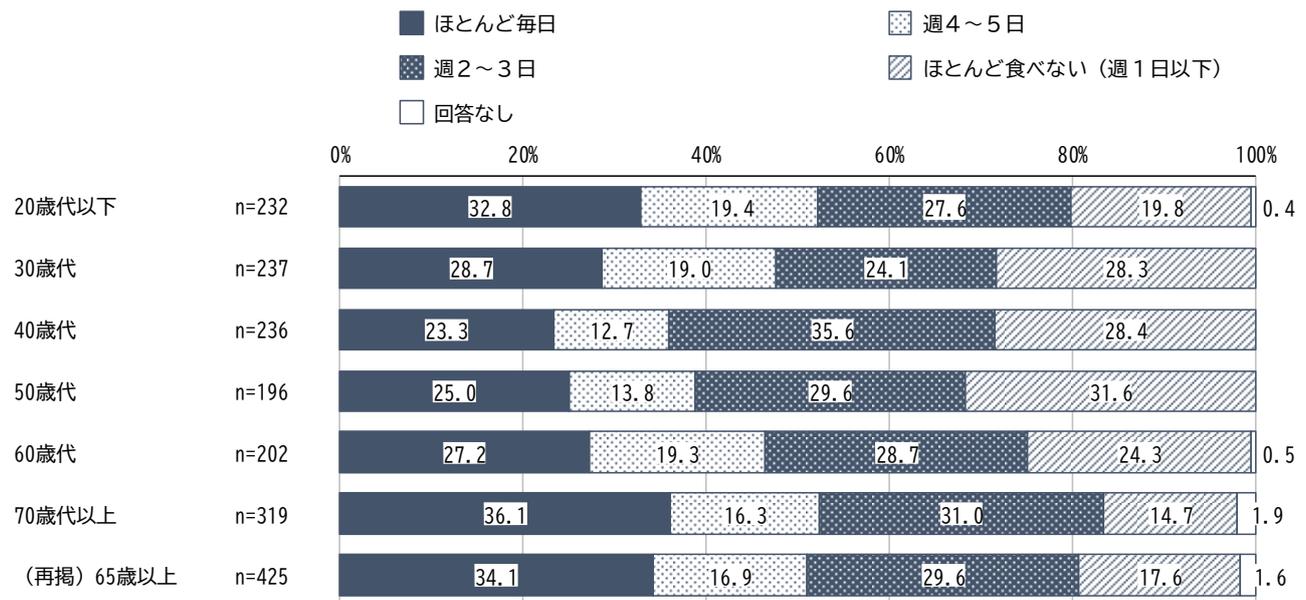
『①朝食』で「ほとんど食べない（週1日以下）」が46.0%と多くなっています。



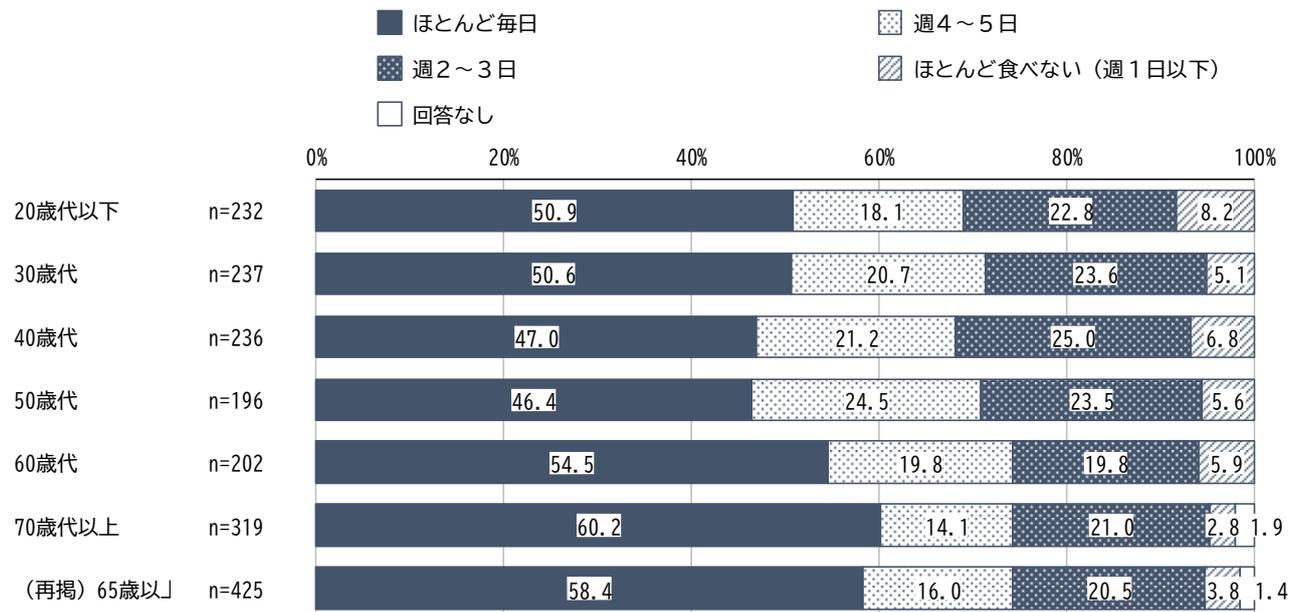
①朝食（1つに○）



②昼食（1つに〇）

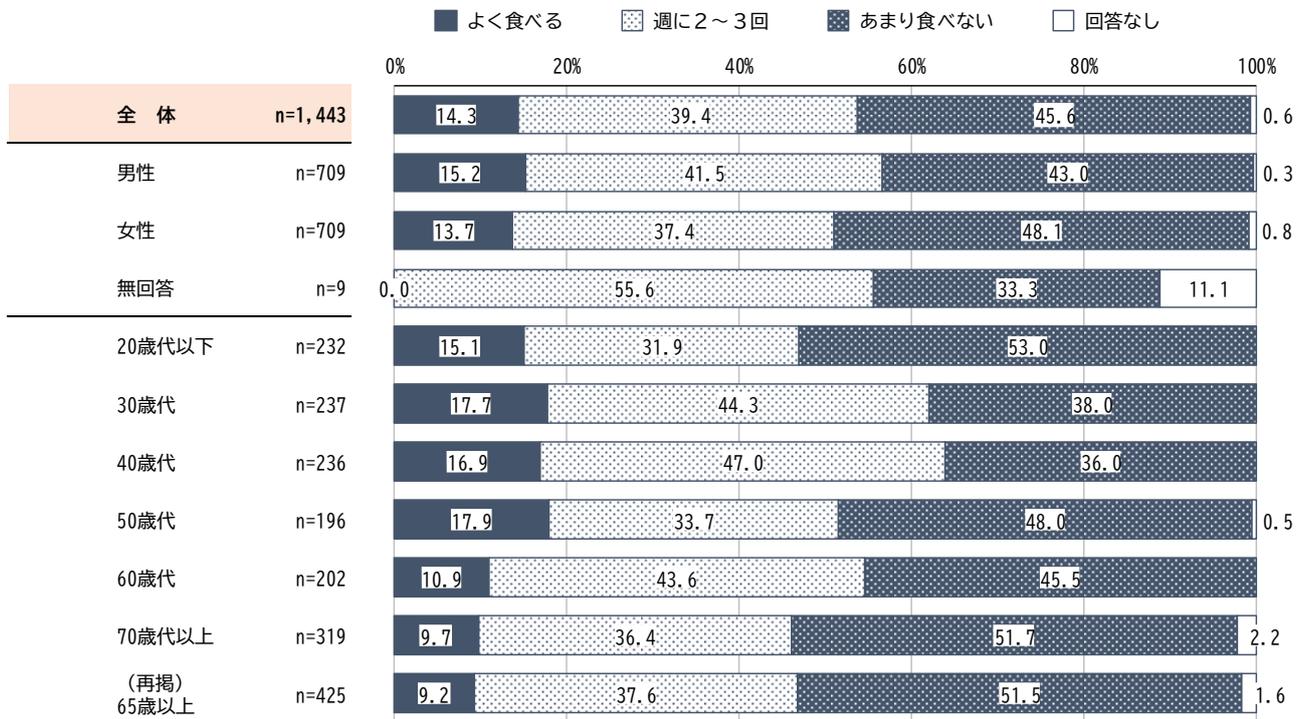


③夕食（1つに〇）

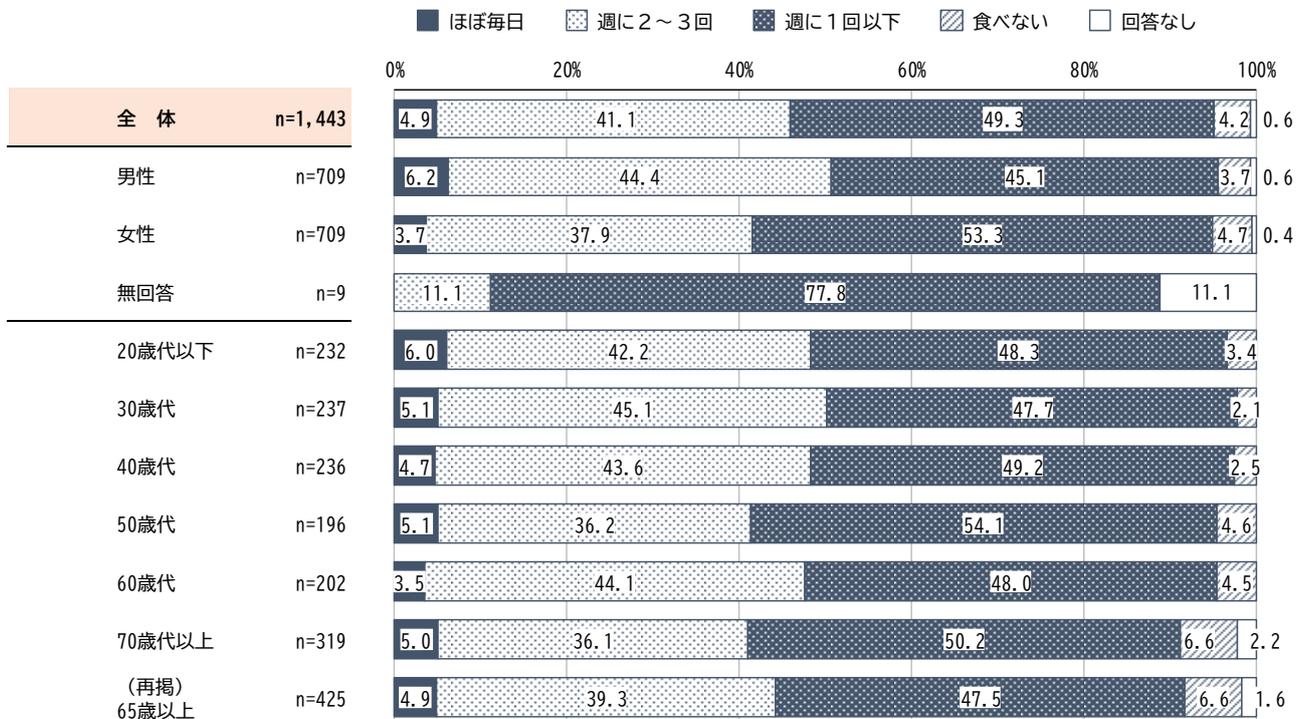


問20 あなたが次の食品を食べる頻度や利用状況等はどれくらいですか。次のアからカのそれぞれの質問について教えてください。

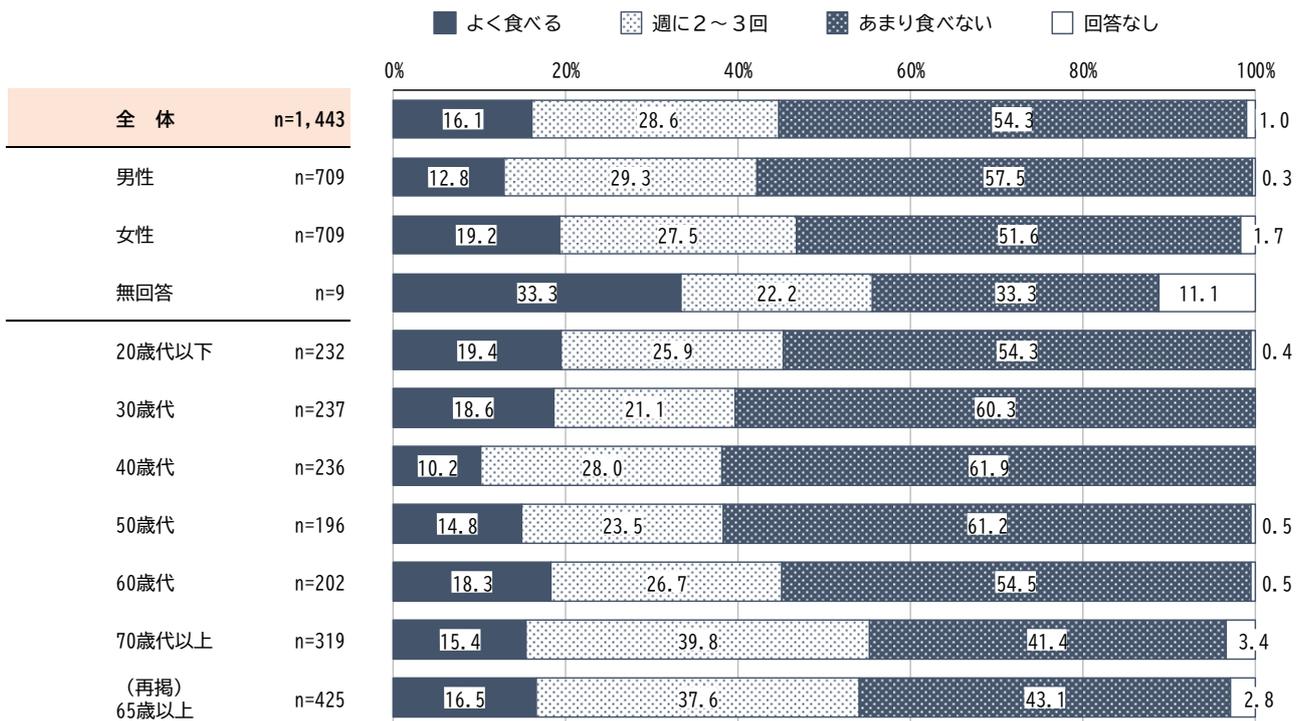
ア ハムやソーセージ（1つに○）



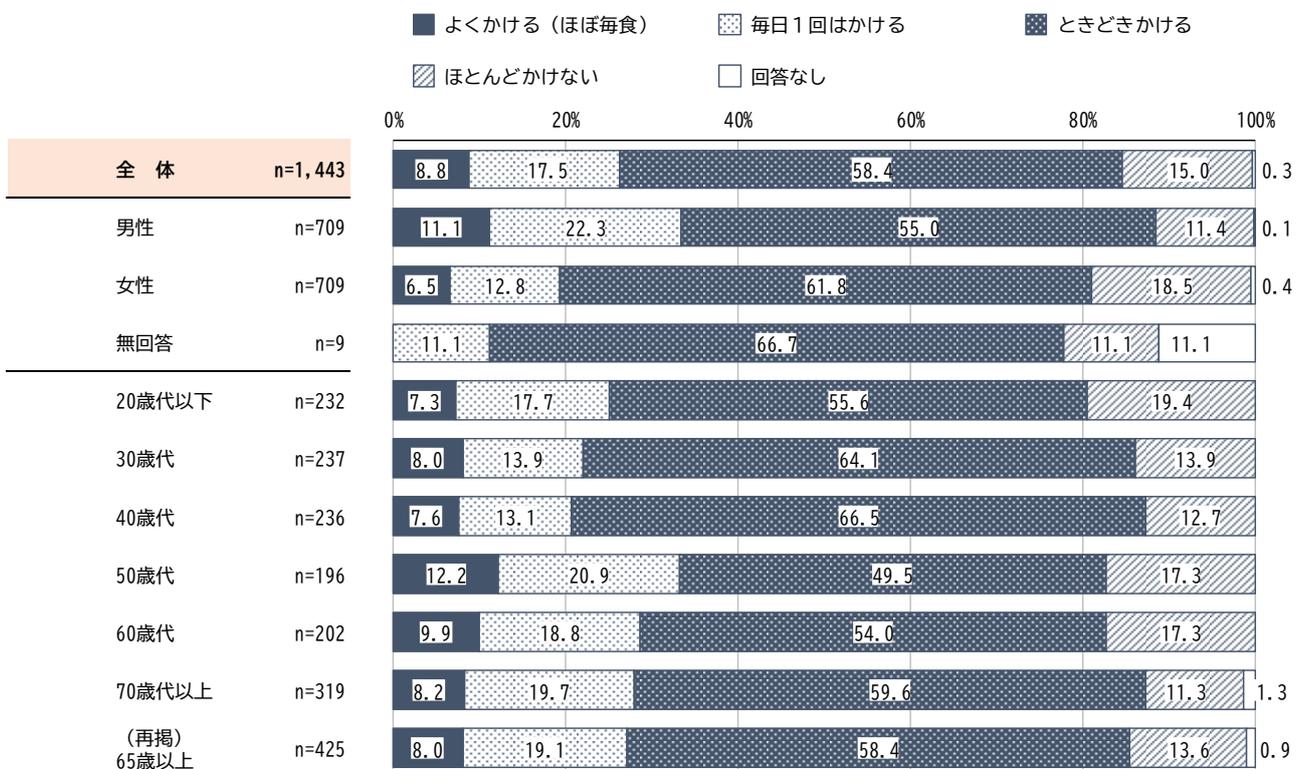
イ うどん、ラーメンなどの麺類（1つに○）



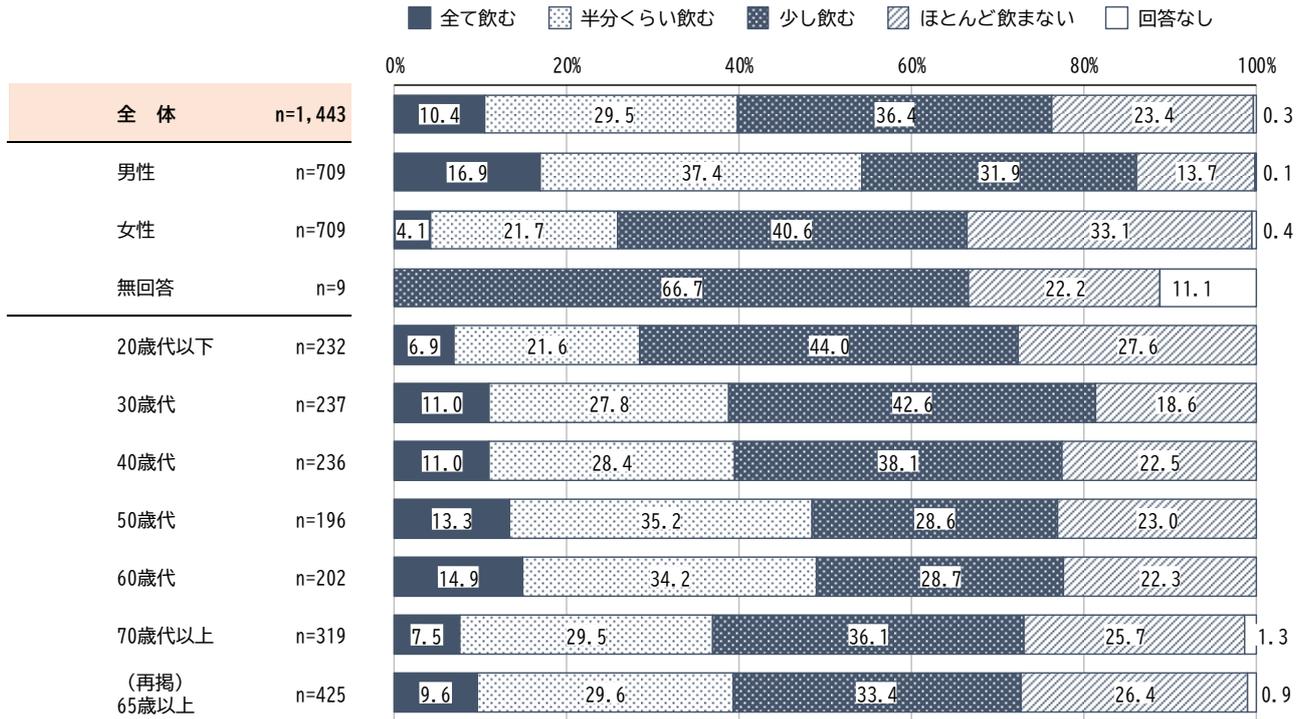
ウ 減塩食品・調味料（1つに○）



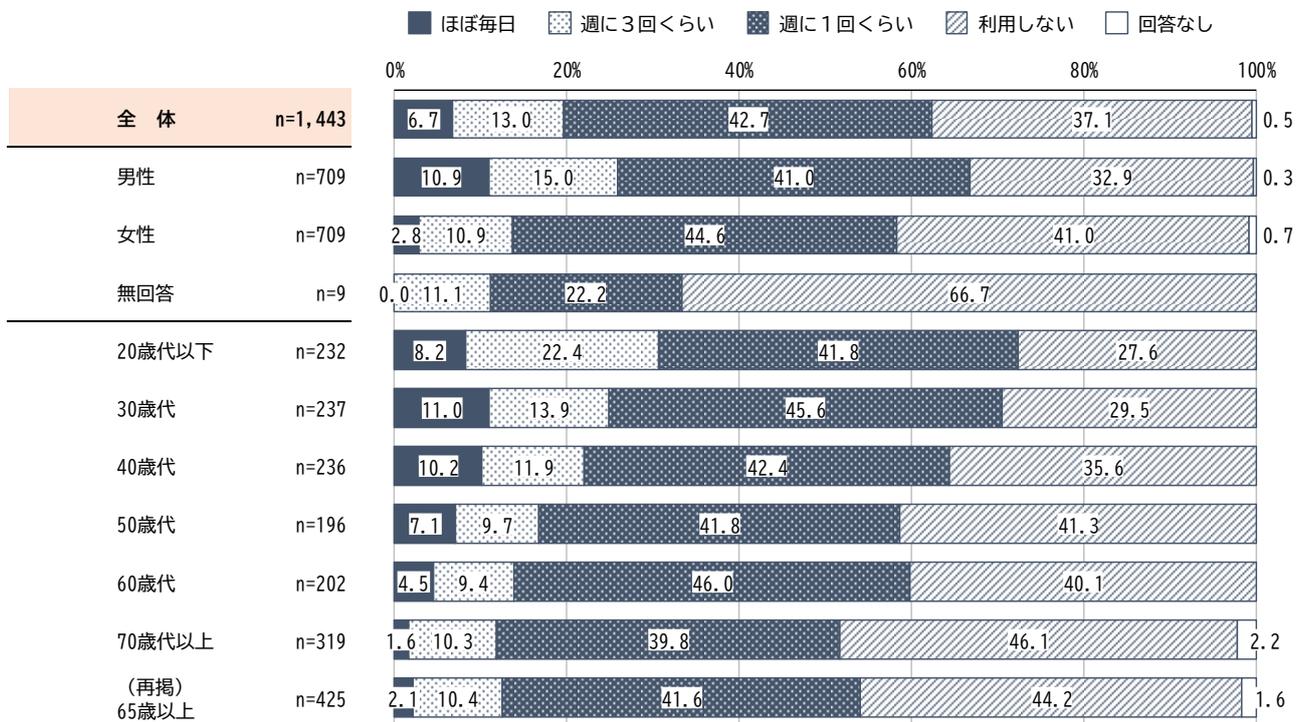
エ しょうゆやソースなどをかける頻度（1つに○）



オ うどん、ラーメンなどの汁（1つに〇）



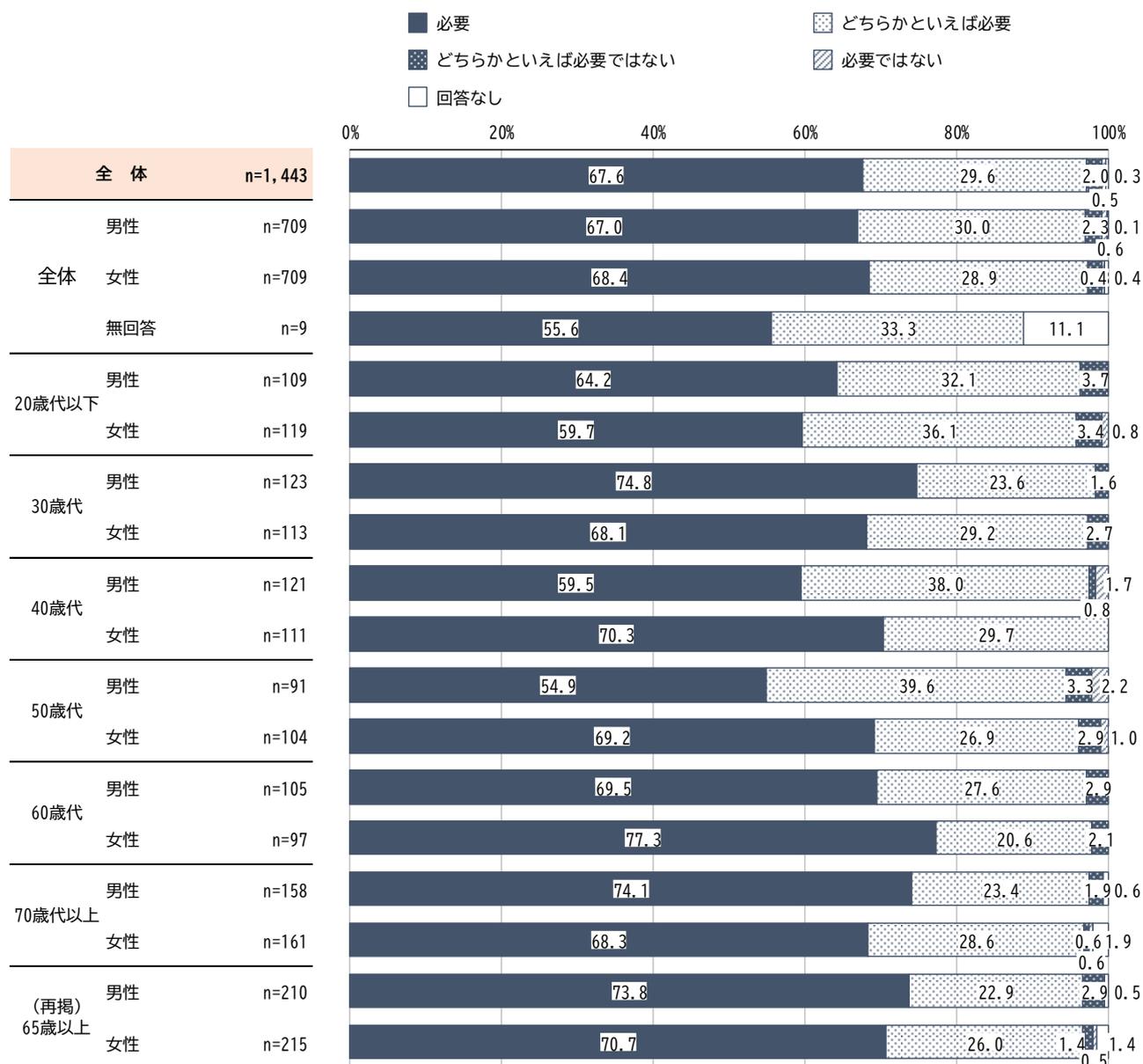
カ 昼食で外食やコンビニ弁当などの利用（1つに〇）



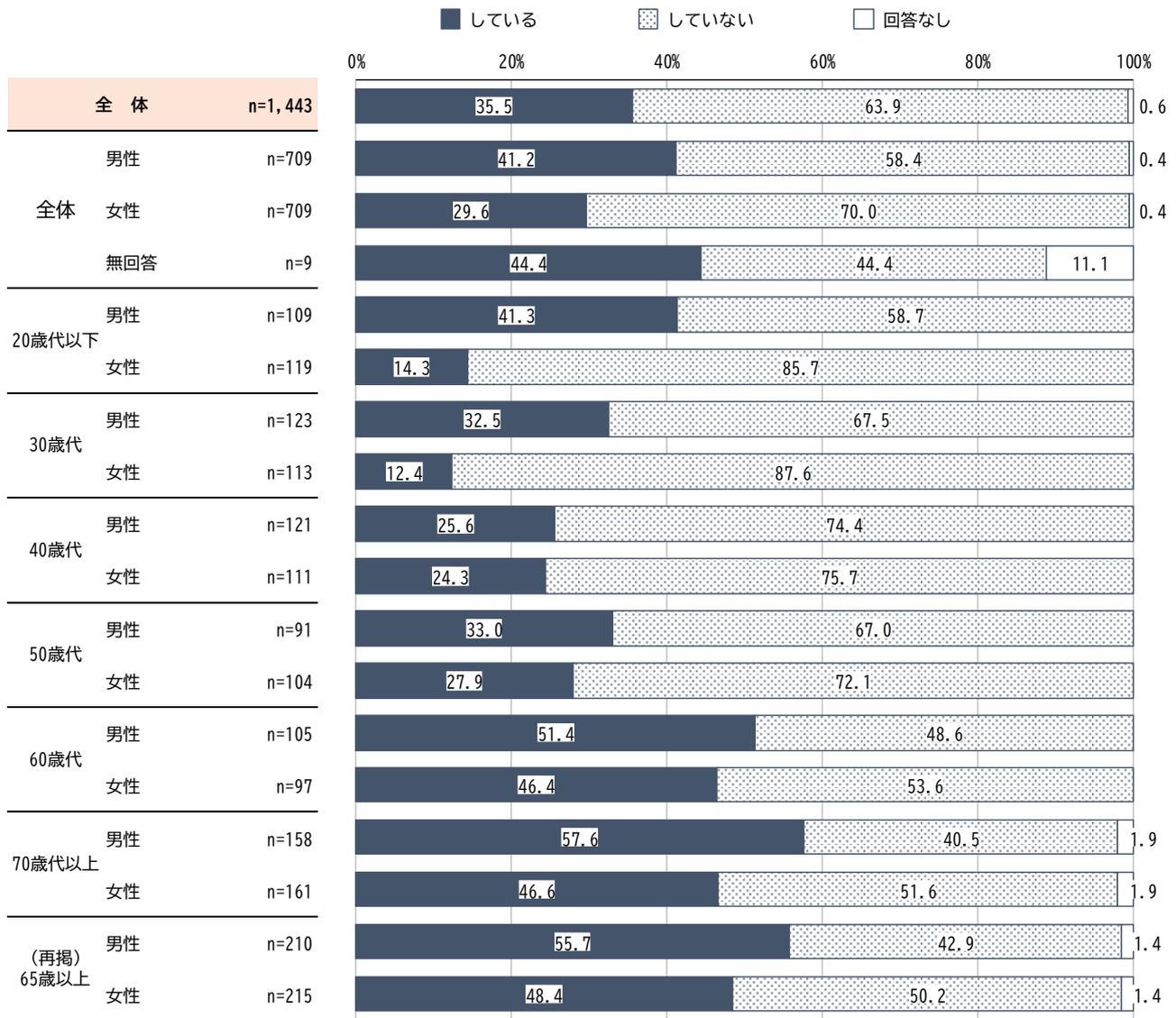
3 身体活動・運動について

問21 ふだんの生活において、健康のために運動や体を動かす必要があると思いますか。
(1つに○)

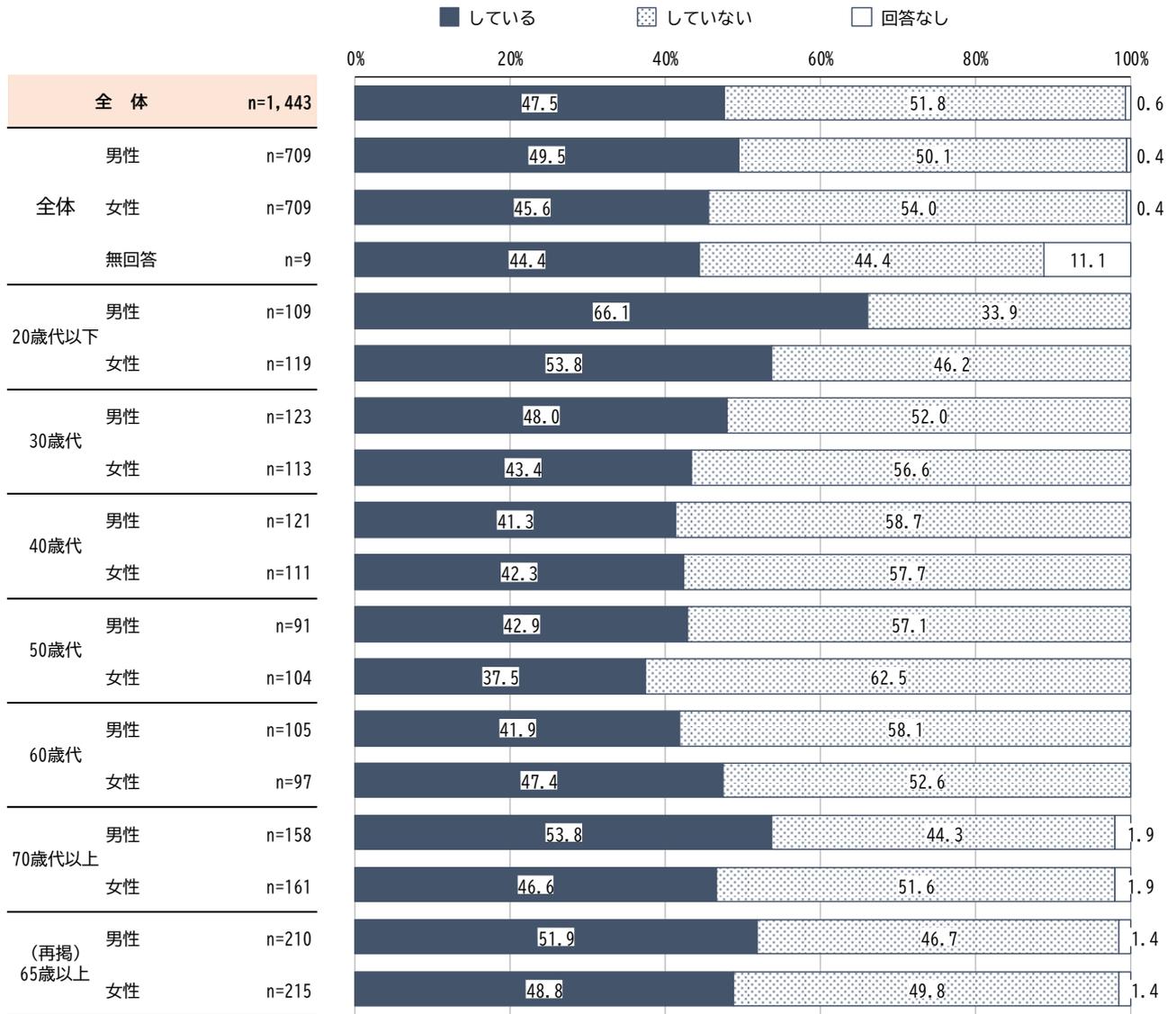
「必要」(67.6%)が最も多く、次いで「どちらかといえば必要」(29.6%)、「どちらかといえば必要ではない」(2.0%)となっています。



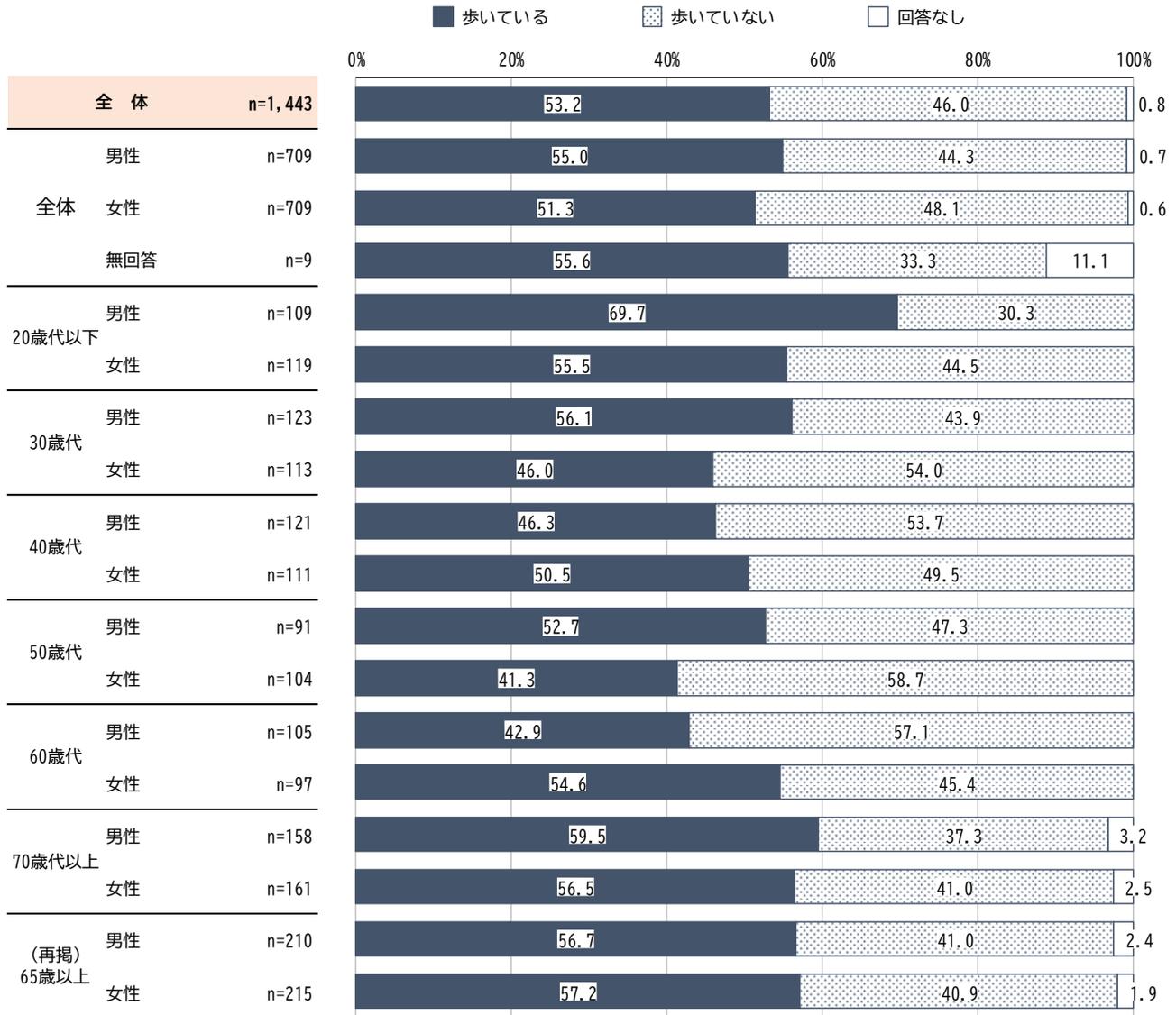
問22 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施していますか（どちらかに○）



問23 日常生活において歩行または同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか
(どちらかに○)



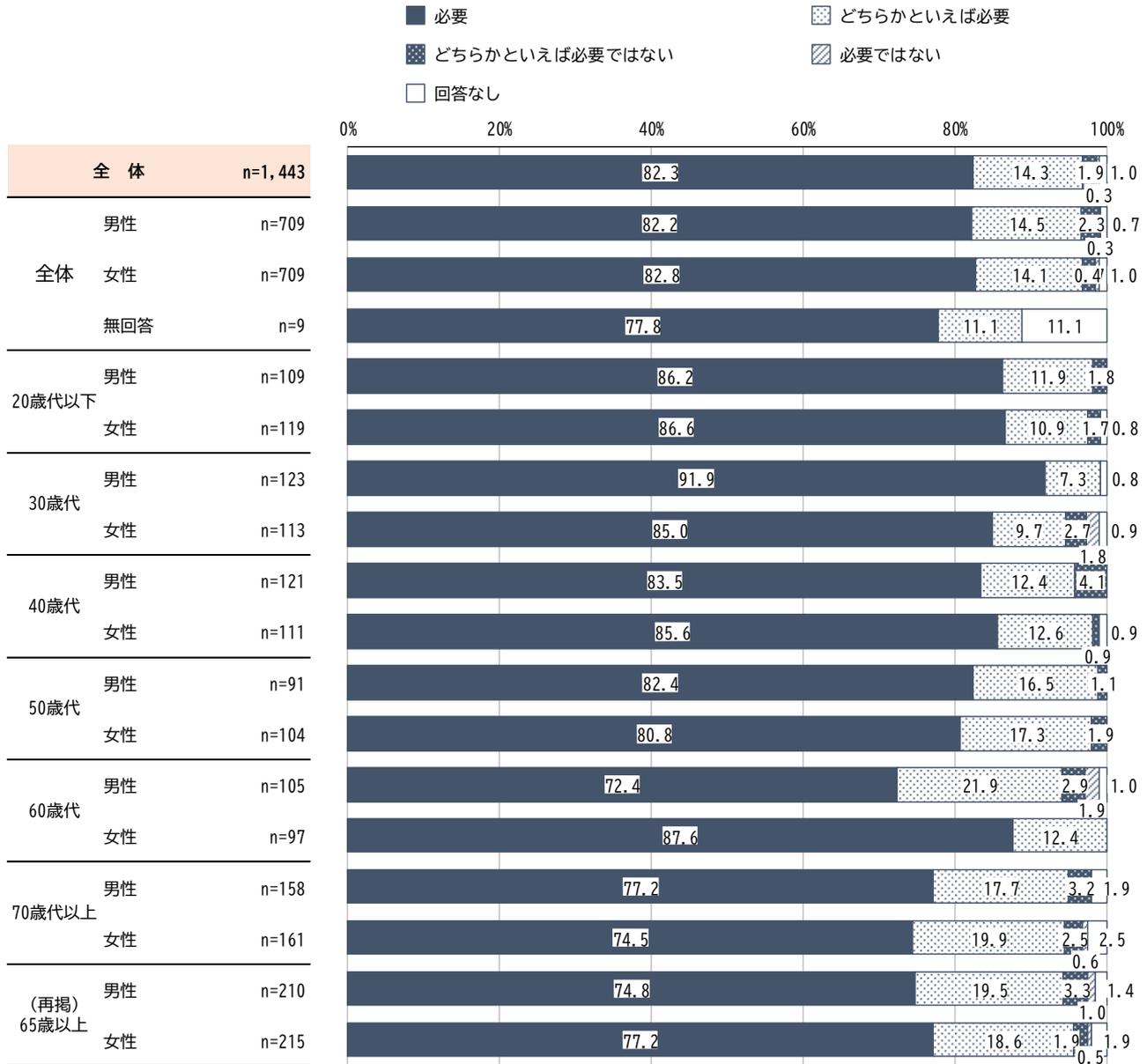
問24 外出などにより1日30分以上歩いていますか。(どちらかに○)



4 休養・こころの健康について

問25 ふだんの生活において、健康のために睡眠や休養をとる必要があると思いますか。
(1つに○)

「必要」(82.3%)が最も多く、次いで「どちらかといえば必要」(14.3%)、「どちらかといえば必要ではない」(1.9%)となっています。

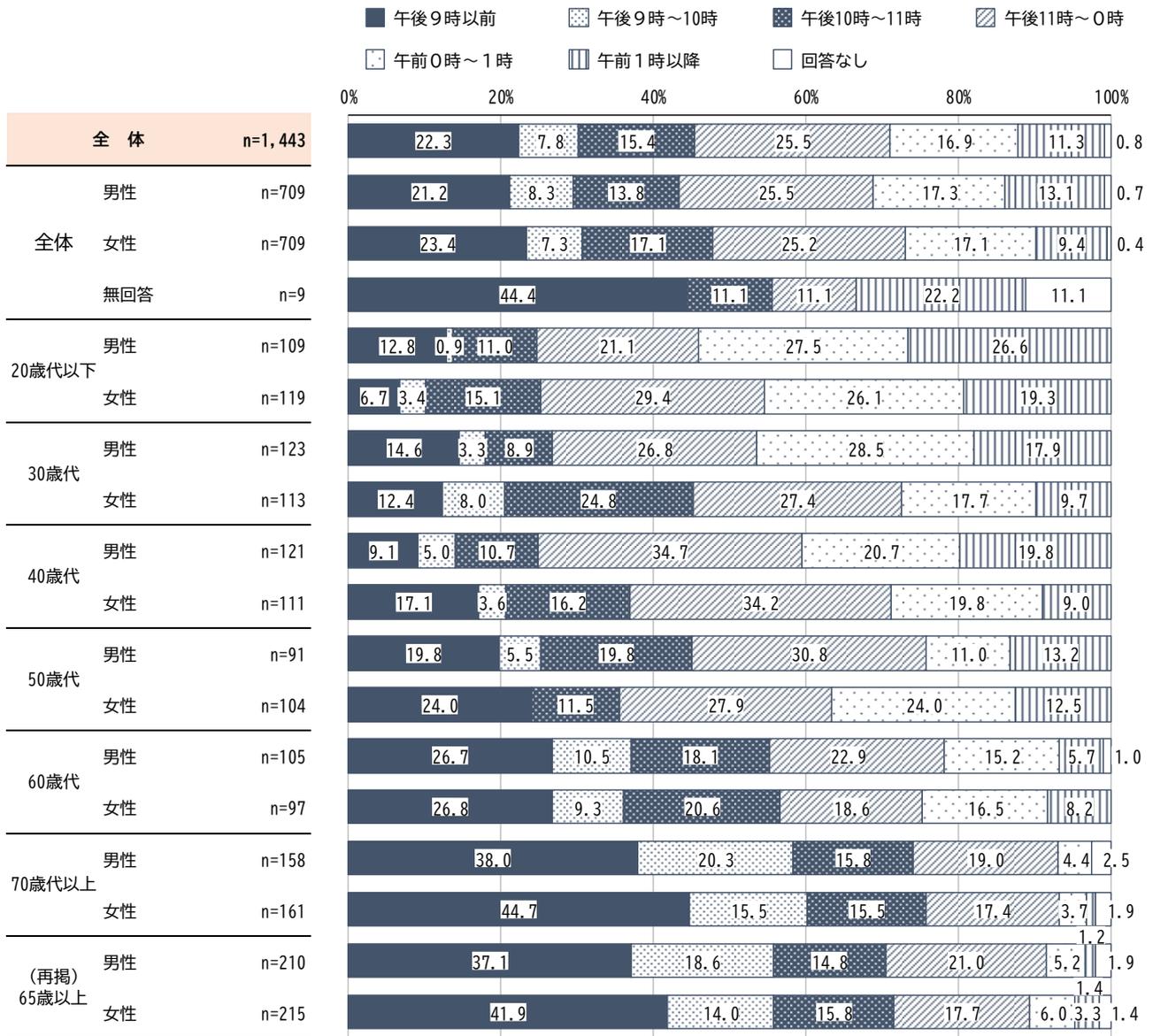


問26 いつも何時ごろに寝ますか。また、何時ごろに起きますか。

(24時間表記でご記入ください。例：午後9時⇒21時)

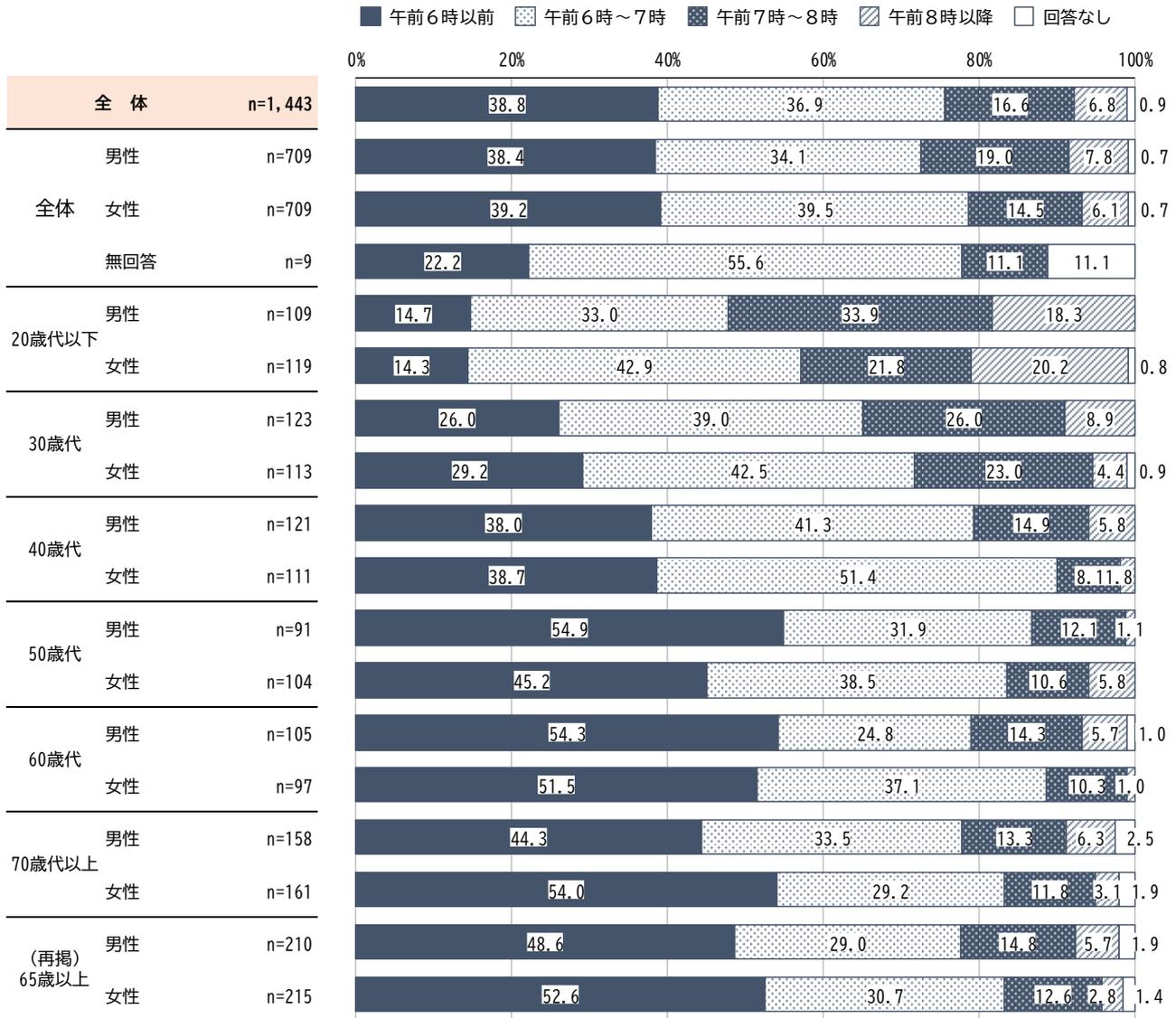
【就寝時間】

「午後11時～0時」(25.5%)が最も多く、次いで「午後9時以前」(22.3%)、「午前0時～1時」(16.9%)となっています。



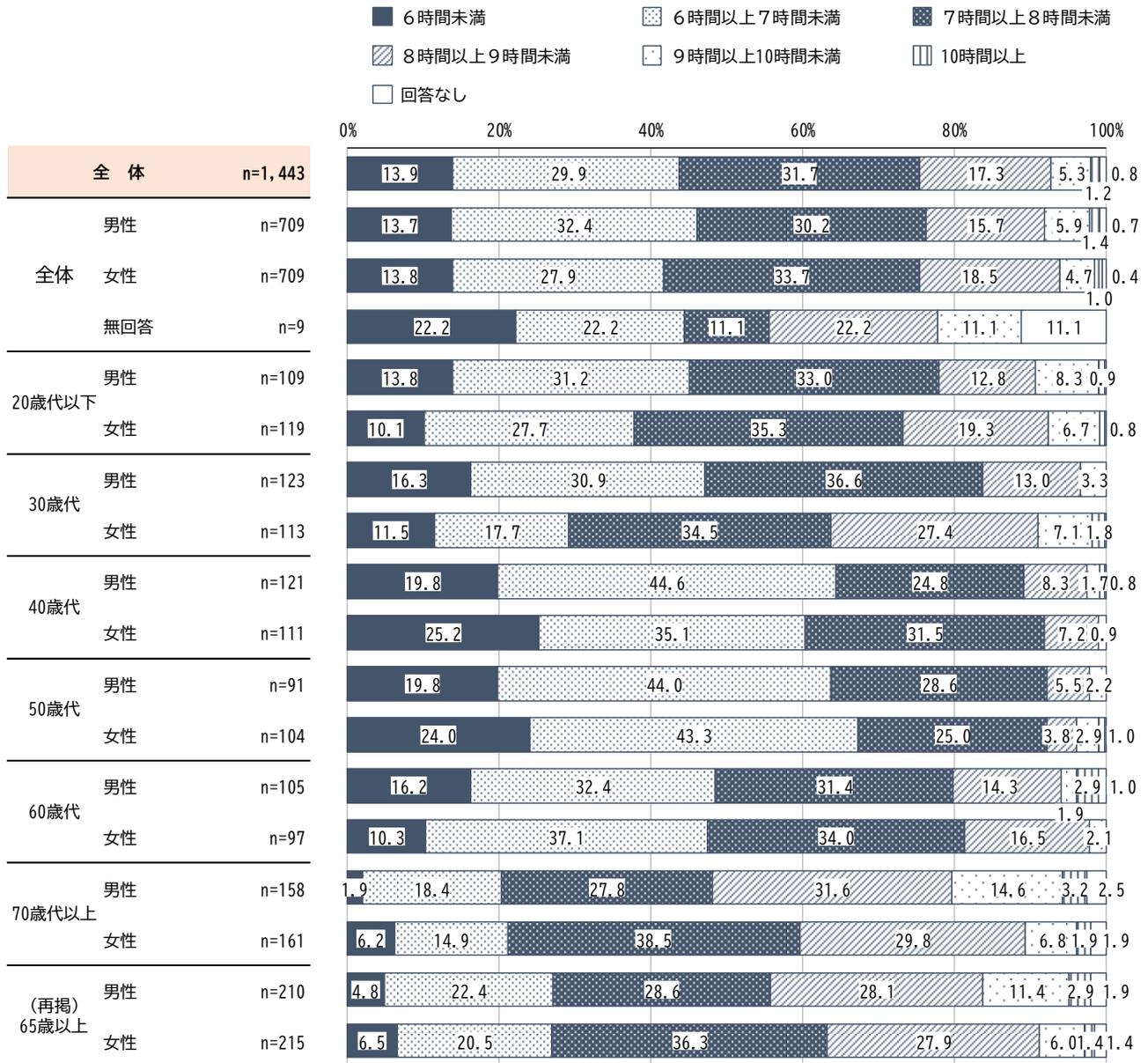
【起床時間】

「午前6時以前」(38.8%)が最も多く、次いで「午前6時～7時」(36.9%)、「午前7時～8時」(16.6%)となっています。

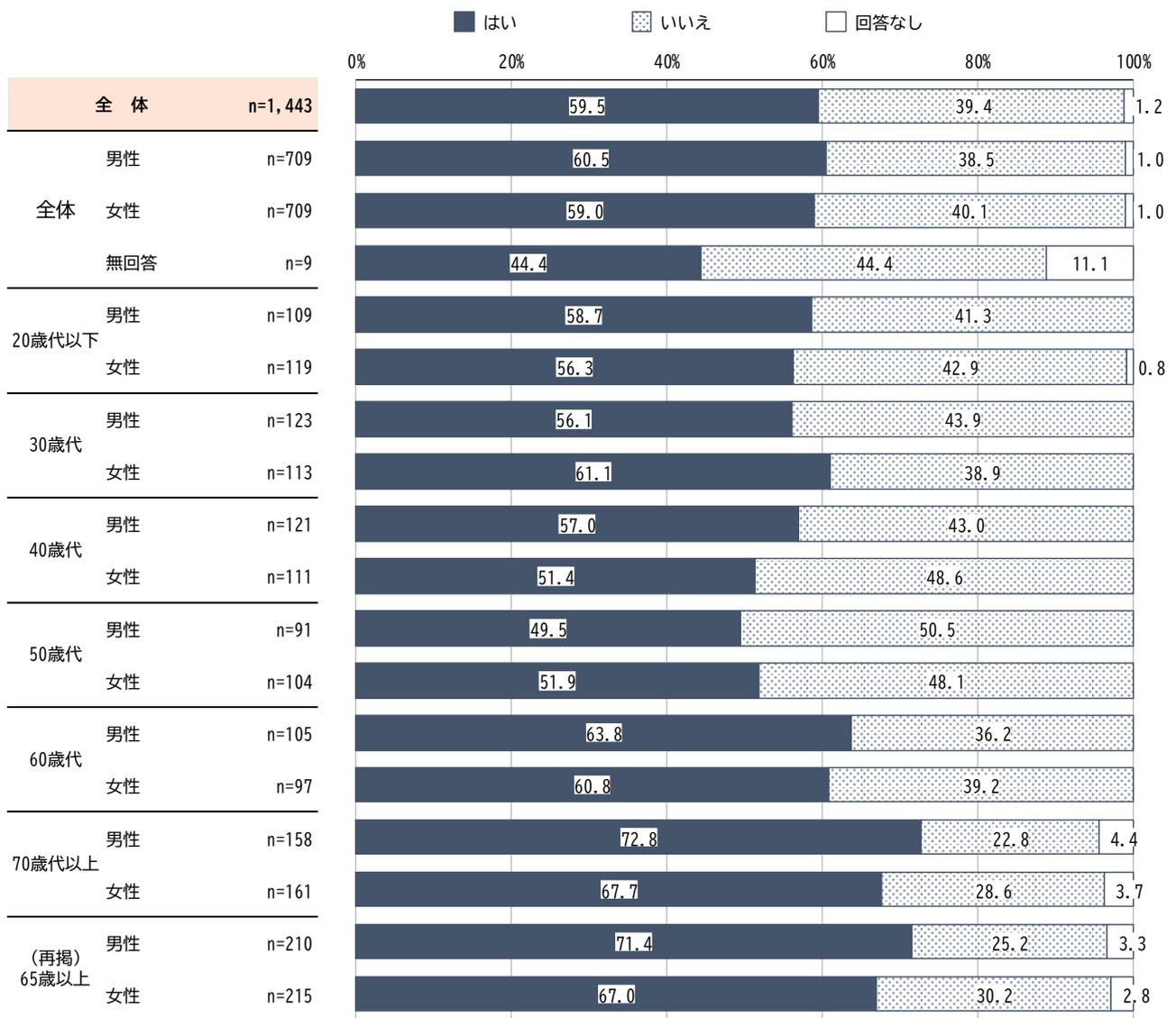


【睡眠時間】

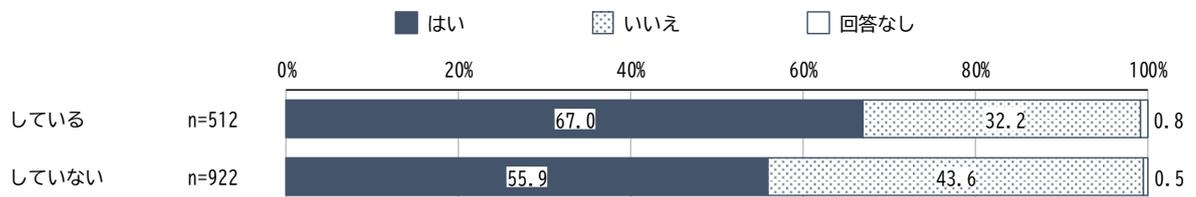
「7時間以上8時間未満」(31.7%)が最も多く、次いで「6時間以上7時間未満」(29.9%)、「8時間以上9時間未満」(17.3%)となっています。



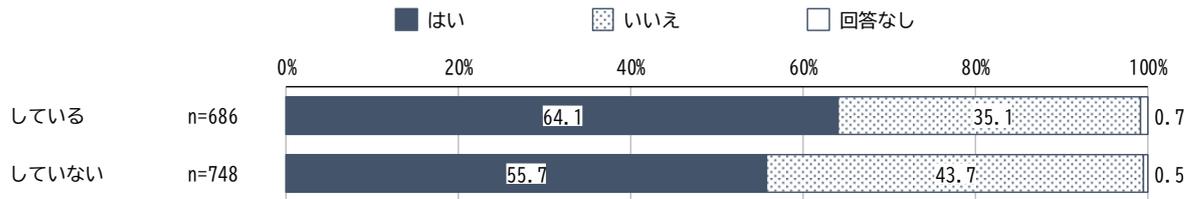
問27 日頃の睡眠は、あなたにとって十分だと思いますか。(どちらかに○)



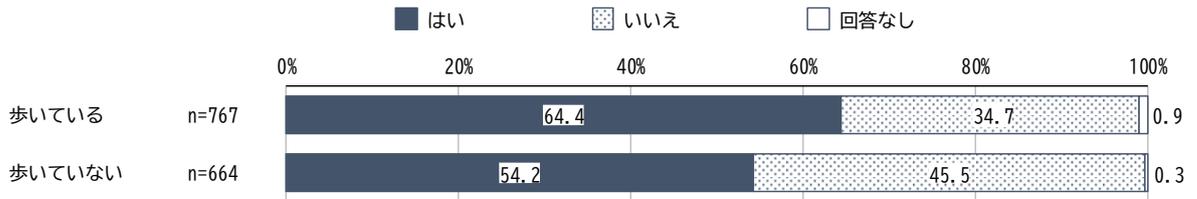
【1回30分以上の運動を週2日以上かつ1年以上実施している人×日頃の睡眠の状態】問22×問27



【1日1時間以上の身体活動をしている人×日頃の睡眠の状態】問23×問27



【外出などにより1日30分以上歩いている人×日頃の睡眠の状態】問24×問27

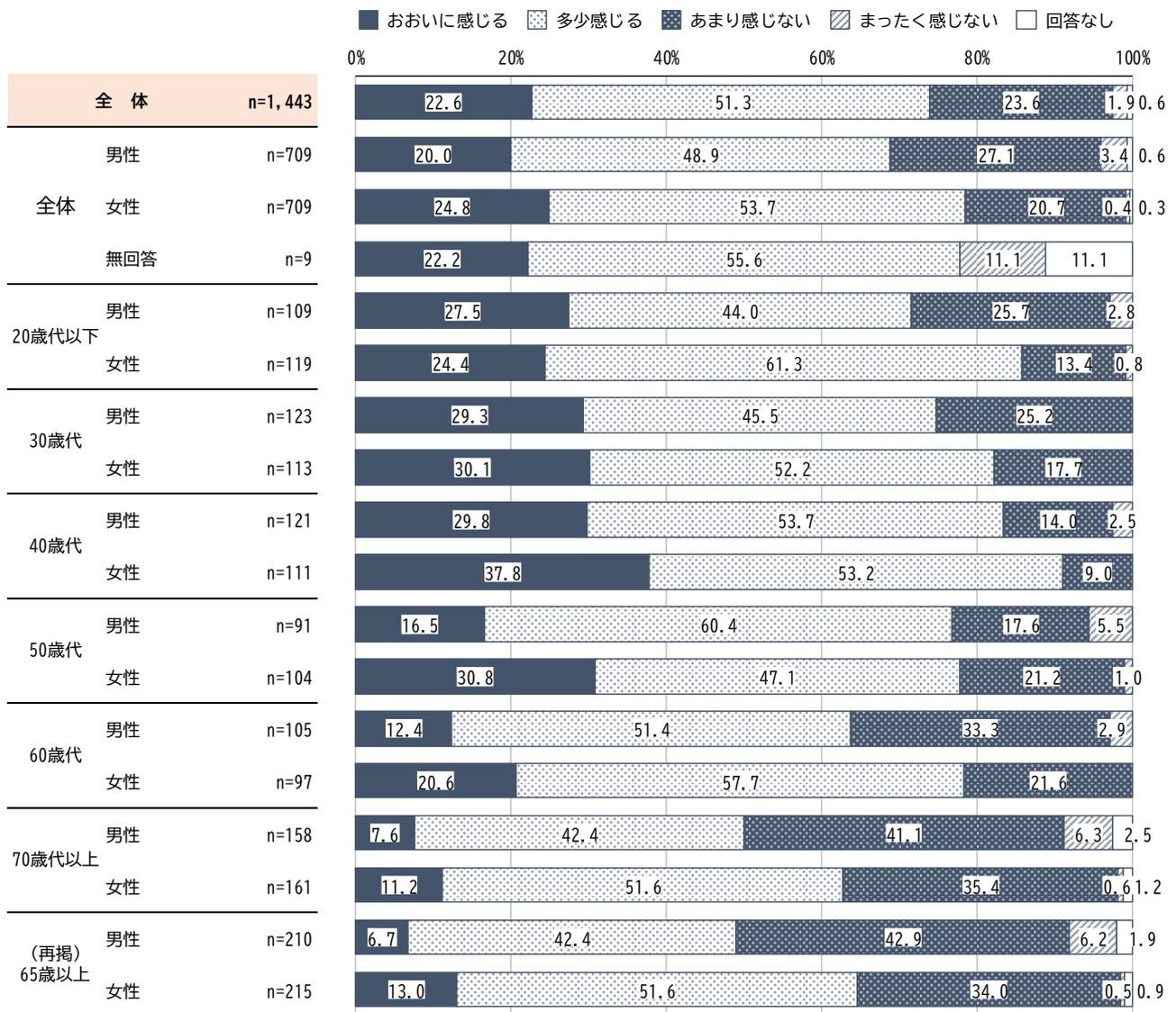


【2017年調査との比較】

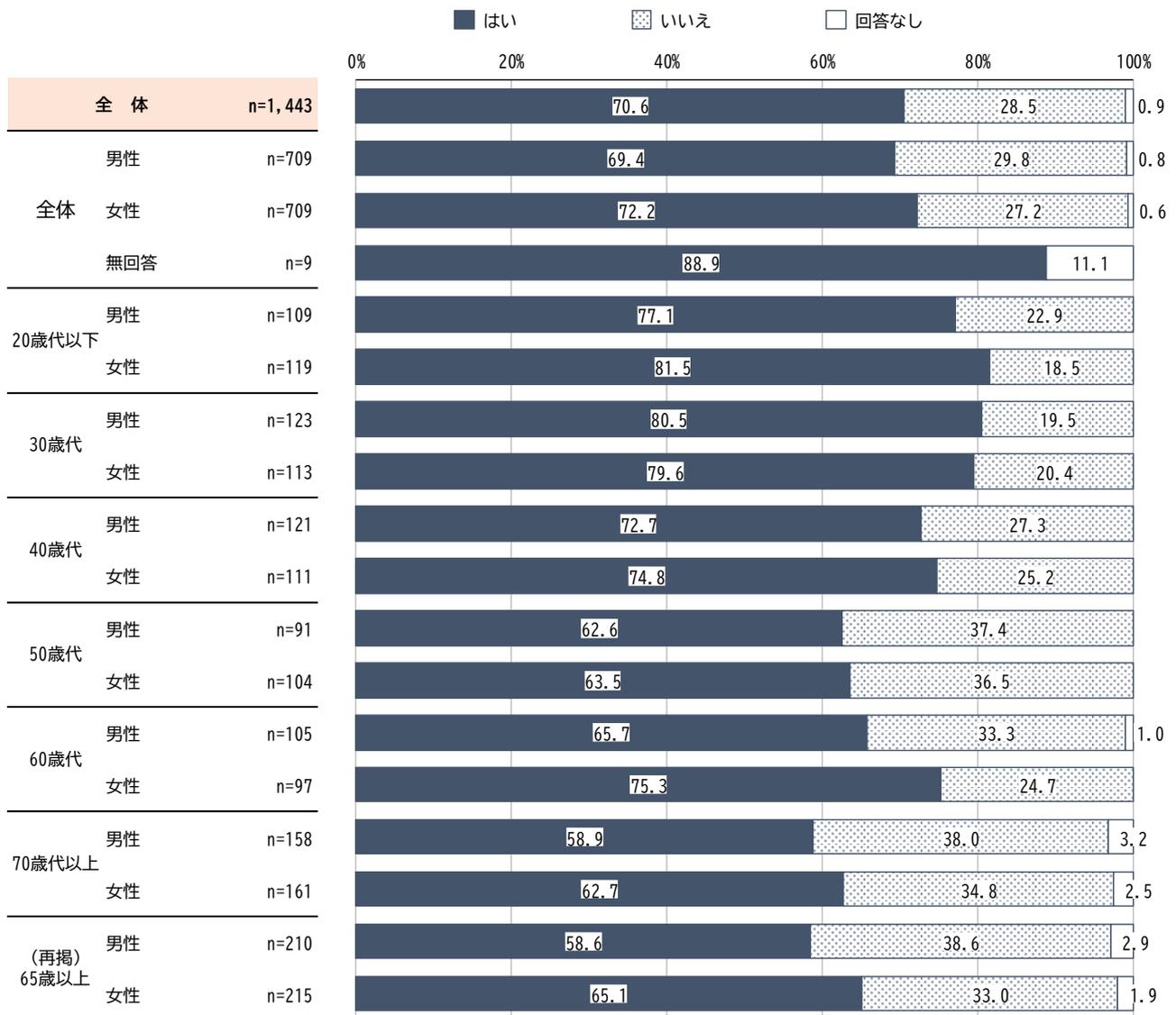
項目	2017年	2023年
日ごろの睡眠が十分だと思わない人の割合	36.9%	39.7%

問28 ストレスを感じることがありますか。(1つに○)

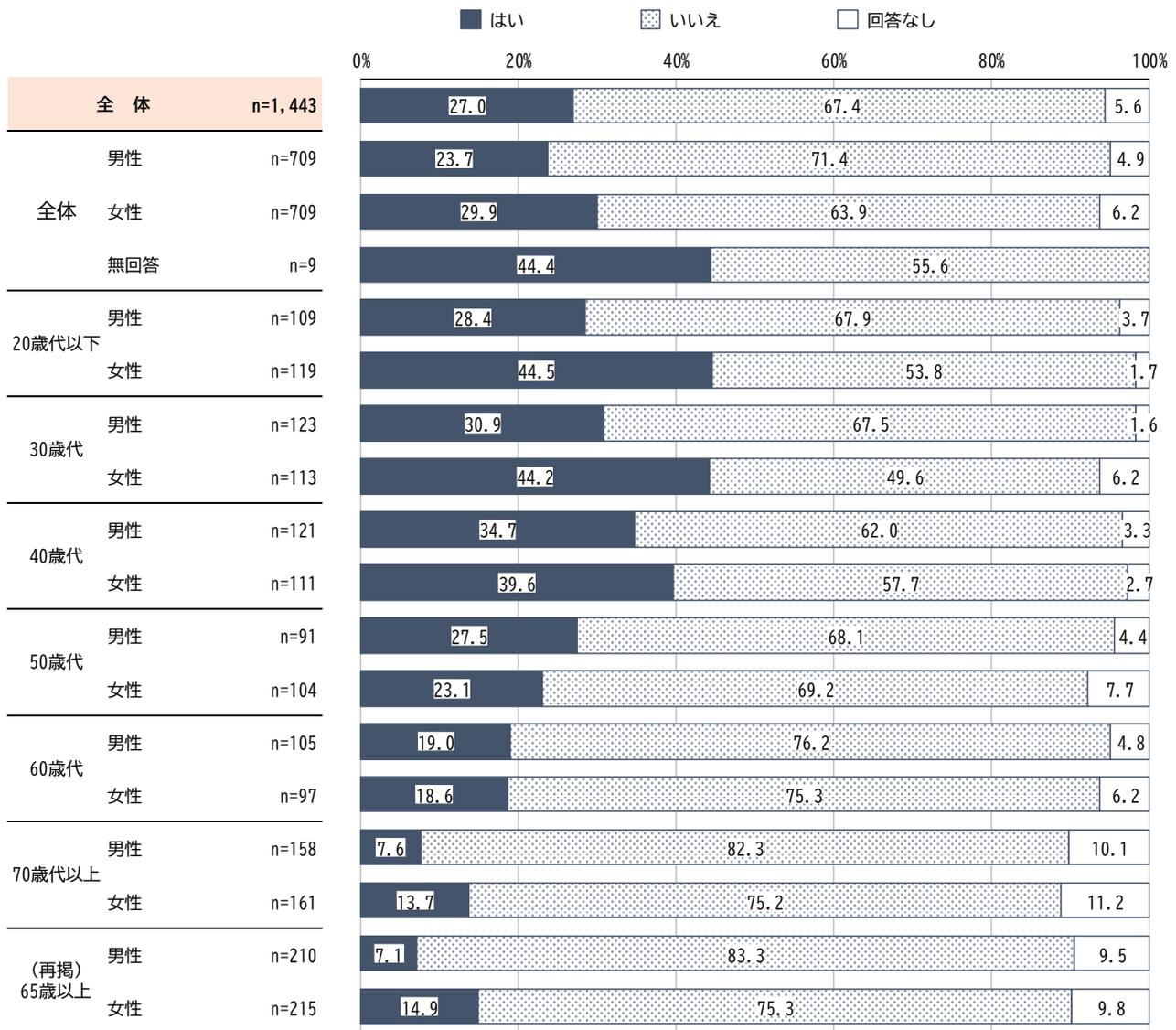
「多少感じる」(51.3%)が最も多く、次いで「あまり感じない」(23.6%)、「おおいに感じる」(22.6%)となっています。



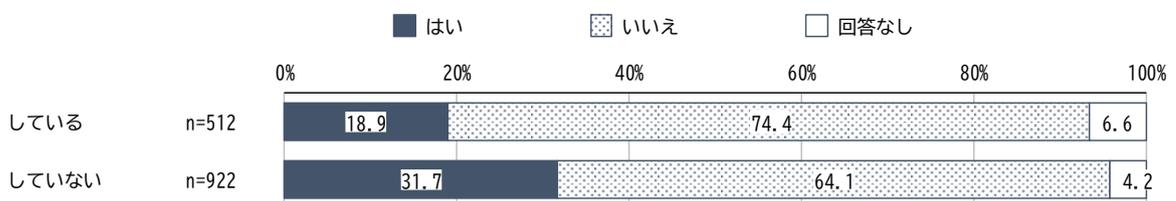
問29 自分なりのストレス解消方法を持っていますか。(どちらかに○)



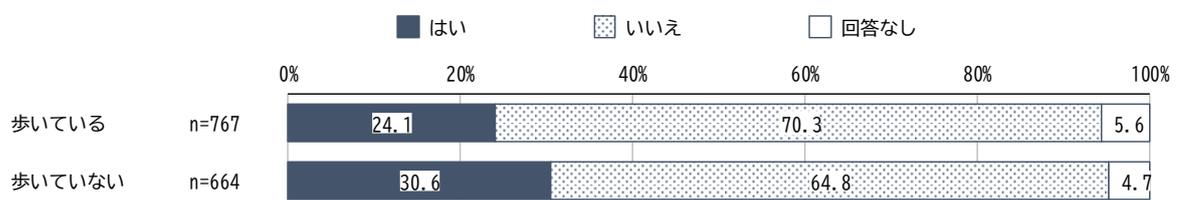
問30 ストレスが大きくて逃げ出したいと思うことがありますか。(どちらかに○)



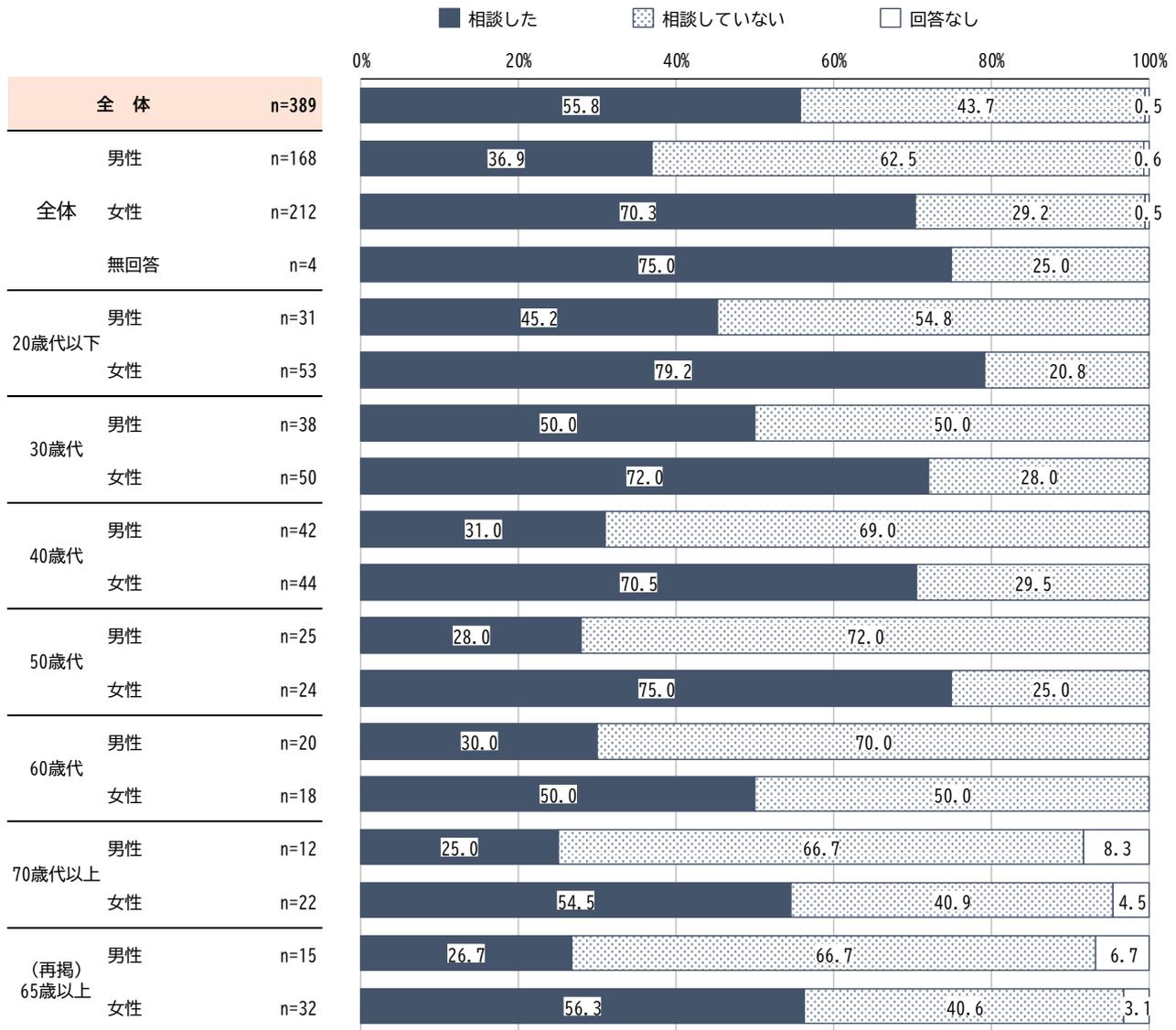
【1回 30 分以上の運動を週2日以上かつ1年以上実施している人×ストレスが大きくて逃げ出したい人】 問22×問30



【外出などにより1日30分以上歩いている人×ストレスが大きくて逃げ出したい人】 問24×問30



問30-1 問30で「1 はい」と答えた方にお伺いします。
そのことをだれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。（どちらかに○）

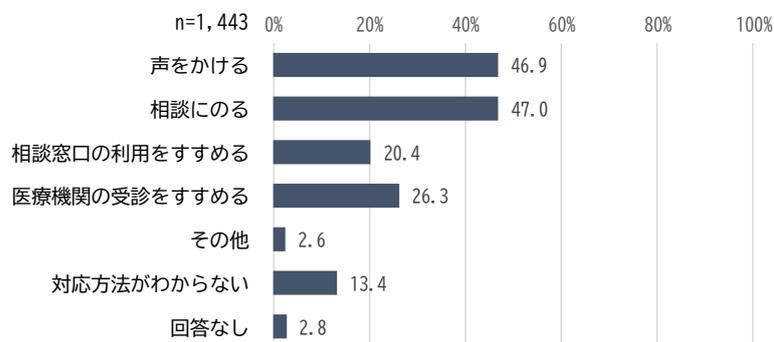


【2017年調査との比較】

項目		2017年	2023年
逃げ出したいストレスがあり誰かに相談している人の割合	全体	58.8%	56.0%
	男性	49.6%	37.1%
	女性	64.8%	70.6%

問31 身近にこころのケアが必要な人がいたら、どう対応しますか。(あてはまるものすべてに○)

「相談にのる」(47.0%)が最も多く、次いで「声をかける」(46.9%)、「医療機関の受診をすすめる」(26.3%)となっています。



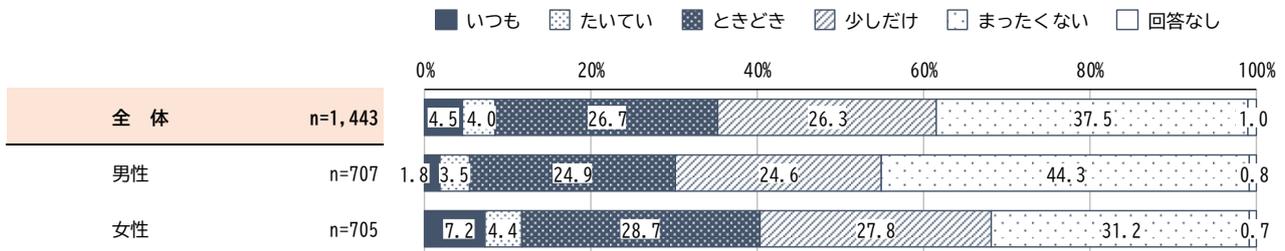
(n=件数、表内：%)

	n	声をかける	相談にのる	相談窓口の利用をすすめる	医療機関の受診をすすめる	その他	対応方法がわからない	回答なし
全体	1443	46.9	47.0	20.4	26.3	2.6	13.4	2.8
男性/全体	707	42.0	46.3	19.9	24.5	2.4	13.9	2.8
/20歳代以下	109	38.5	62.4	16.5	16.5	2.8	11.0	-
/30歳代	123	48.8	56.9	12.2	17.1	2.4	10.6	0.8
/40歳代	121	49.6	54.5	17.4	22.3	4.1	13.2	-
/50歳代	91	39.6	37.4	23.1	30.8	-	20.9	2.2
/60歳代	105	40.0	41.0	23.8	37.1	1.9	17.1	2.9
/70歳代以上	158	36.1	29.1	25.9	25.3	2.5	12.7	8.9
/(再掲)65歳以上	210	36.7	28.6	25.2	26.7	2.4	16.2	7.1
女性/全体	705	52.2	48.1	21.0	28.4	2.8	12.8	2.6
/20歳代以下	119	57.1	71.4	13.4	26.9	0.8	5.0	-
/30歳代	113	61.1	61.1	18.6	31.9	1.8	5.3	0.9
/40歳代	111	57.7	50.5	18.9	30.6	4.5	11.7	0.9
/50歳代	104	53.8	43.3	21.2	22.1	3.8	15.4	1.9
/60歳代	97	47.4	42.3	18.6	29.9	2.1	19.6	3.1
/70歳代以上	161	40.4	26.7	31.1	28.6	3.7	18.6	6.8
/(再掲)65歳以上	215	41.9	28.8	27.9	29.3	3.3	19.1	6.0

問32 過去1か月のこころの健康状態はどのようなであったか、次のアからカのそれぞれの質問について教えてください。

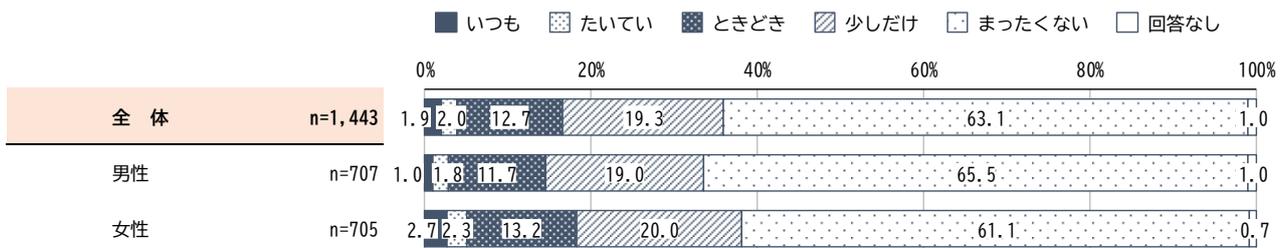
ア 神経過敏に感じましたか。(1つに○)

「まったくない」(37.5%)が最も多く、次いで「ときどき」(26.7%)、「少しだけ」(26.3%)となっています。



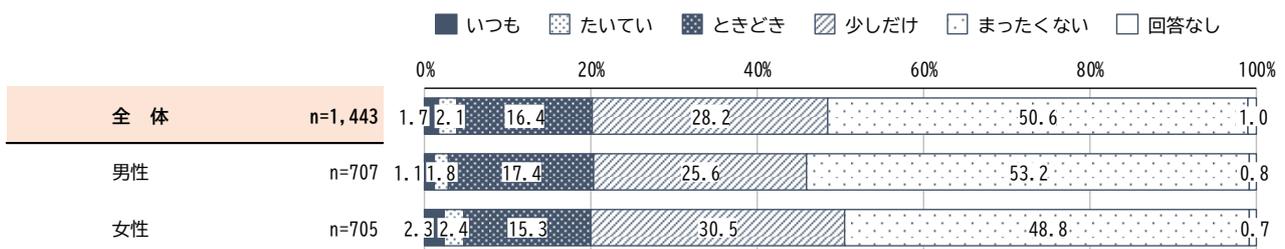
イ 絶望的だと感じましたか。(1つに○)

「まったくない」(63.1%)が最も多く、次いで「少しだけ」(19.3%)、「ときどき」(12.7%)となっています。



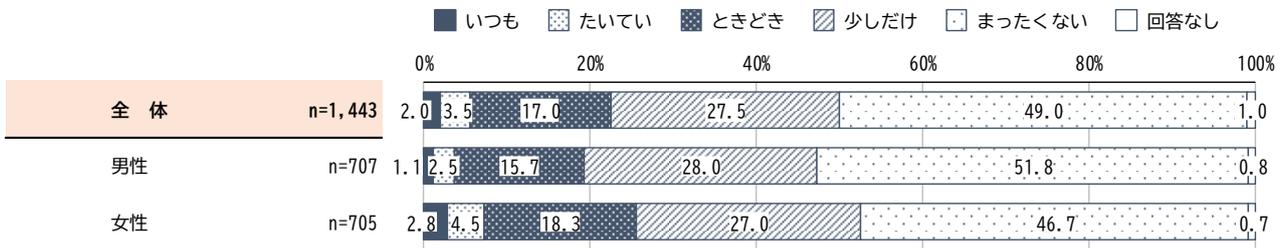
ウ そわそわ、落ち着かなく感じましたか。(1つに○)

「まったくない」(50.6%)が最も多く、次いで「少しだけ」(28.2%)、「ときどき」(16.4%)となっています。



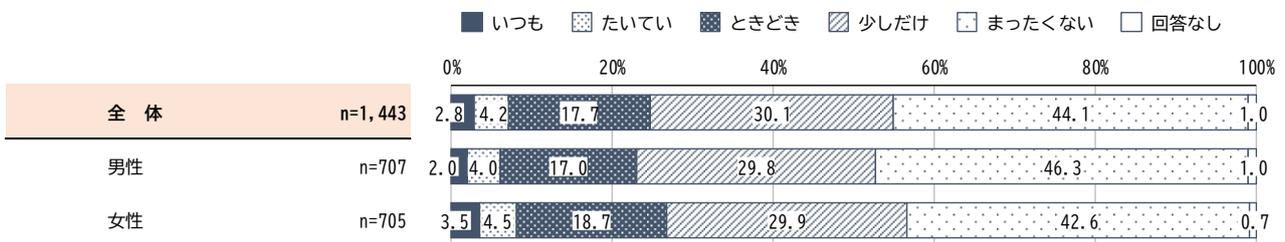
エ 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか。(1つに○)

「まったくない」(49.0%)が最も多く、次いで「少しだけ」(27.5%)、「ときどき」(17.0%)となっています。



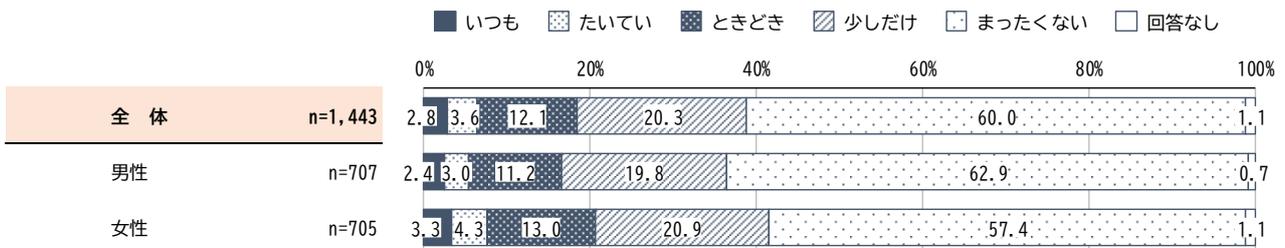
オ 何をするにも骨折りだと感じましたか。(1つに○)

「まったくない」(44.1%)が最も多く、次いで「少しだけ」(30.1%)、「ときどき」(17.7%)となっています。



カ 自分は価値のない人間だと感じましたか。(1つに○)

「まったくない」(60.0%)が最も多く、次いで「少しだけ」(20.3%)、「ときどき」(12.1%)となっています。



<K6※ハイリスク>

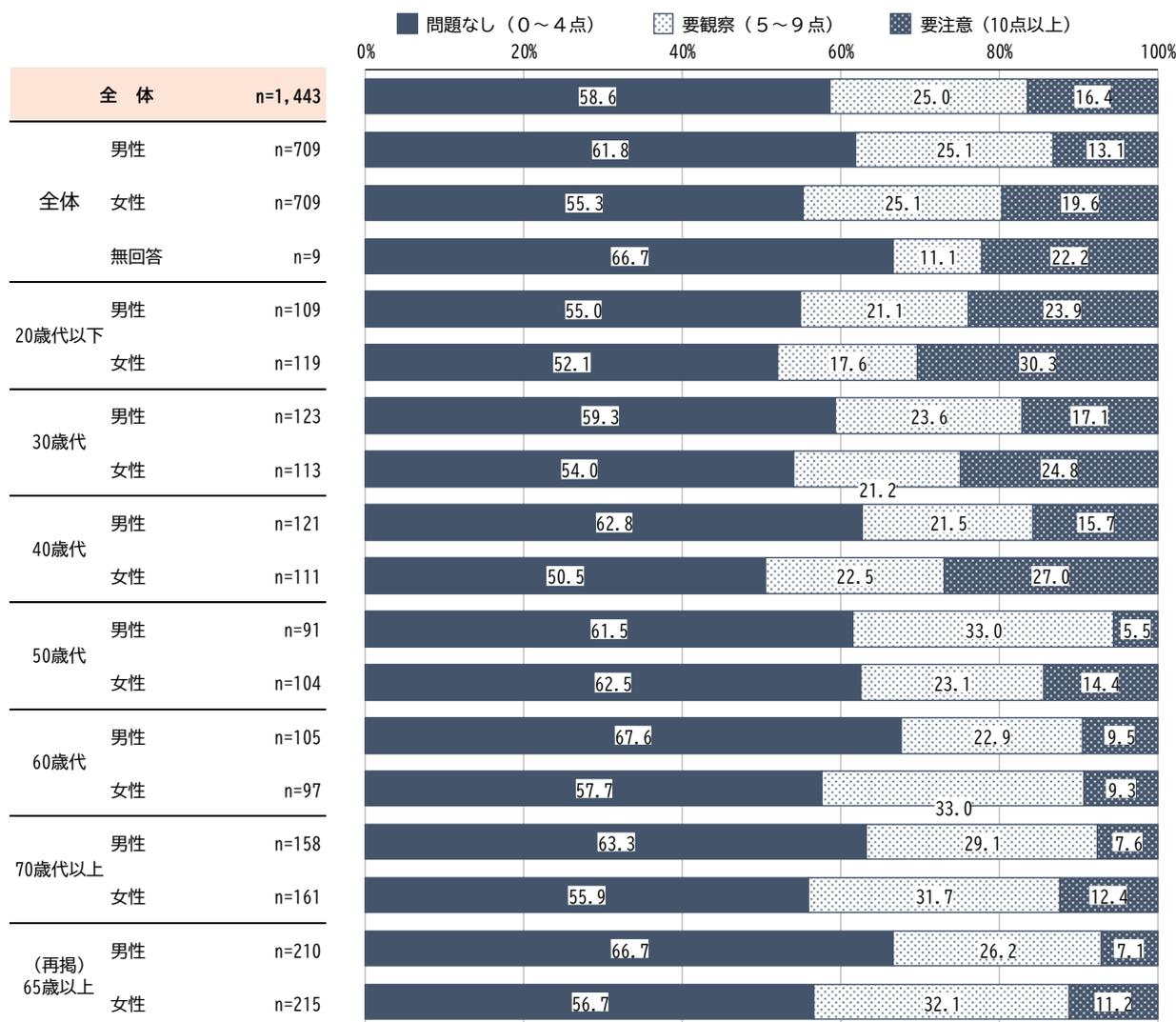
※K6：K6は米国のKesslerらによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を指標として広く利用されている。

下記を基に計算し、合計点数が高いほど、精神的な問題がより思い可能性があると考えられている。

【K6に係る項目と点数】

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
ア 神経過敏に感じましたか	4点	3点	2点	1点	0点
イ 絶望的だと感じましたか	4点	3点	2点	1点	0点
ウ そわそわ、落ち着かなく感じましたか	4点	3点	2点	1点	0点
エ 気分が沈みこんで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	4点	3点	2点	1点	0点
オ 何をやるにも骨折りだと感じましたか	4点	3点	2点	1点	0点
カ 自分は価値のない人間だと感じましたか	4点	3点	2点	1点	0点

「要注意（10点以上）」が16.4%となっています。



【参考：愛知県調査との比較】

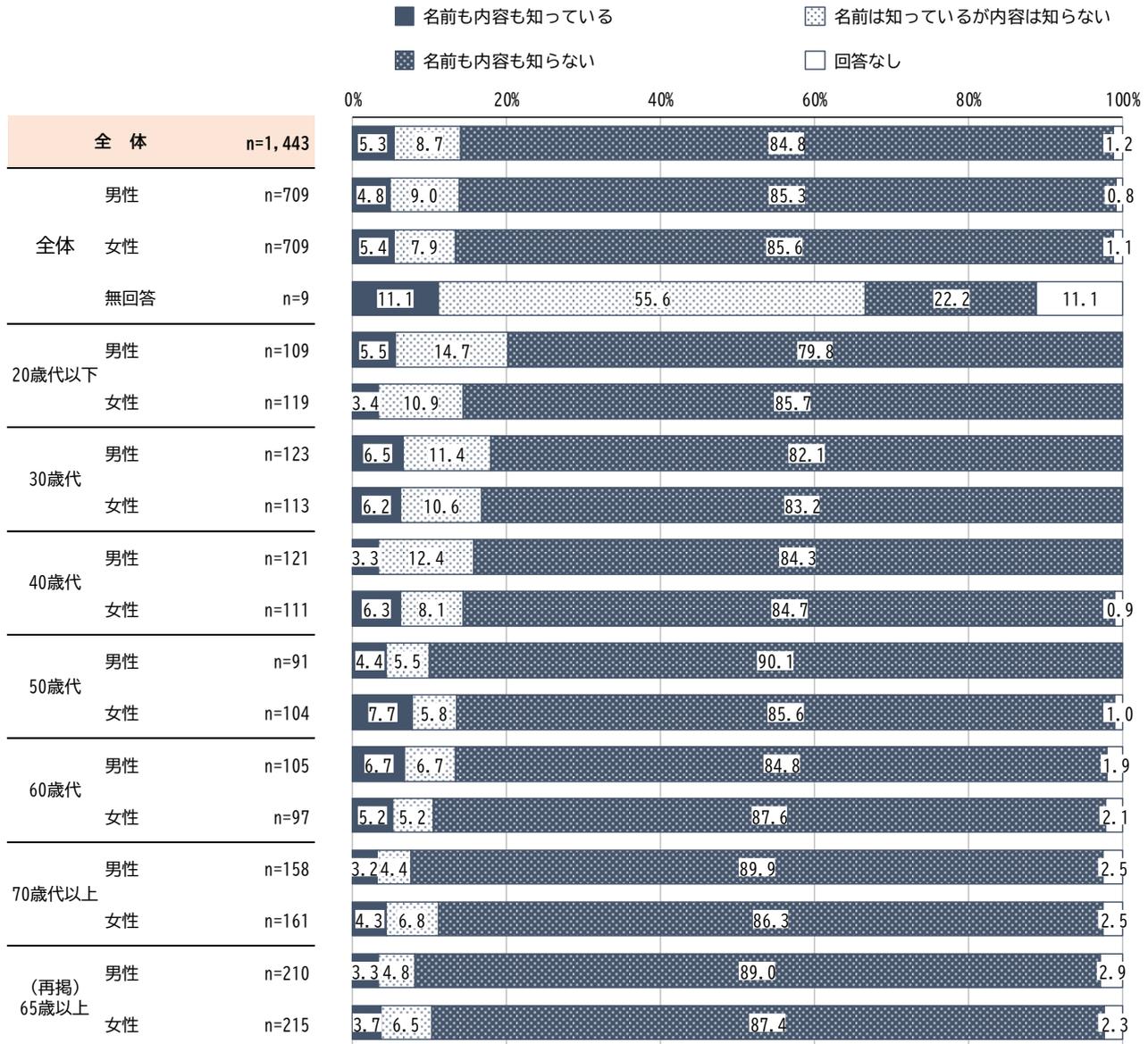
項目	愛知県	安城市
K6ハイリスクに該当（10点以上）する人の割合	13.4%	16.4%

※愛知県：平成28年度愛知県生活習慣関連調査

問33 あなたは、ゲートキーパーを知っていますか（1つに○）

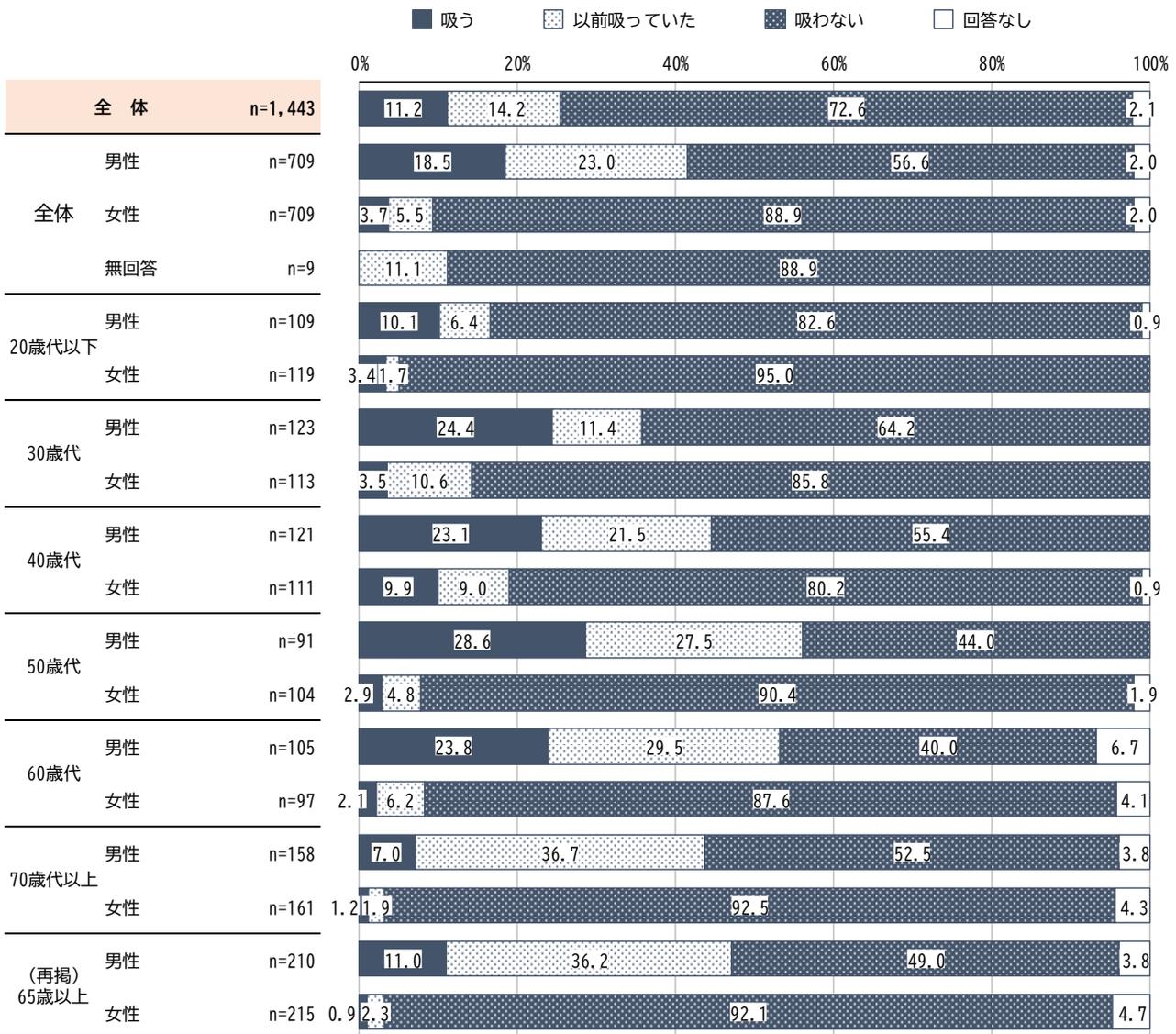
ゲートキーパー：自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を怠ることができる人のことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のことです。

「名前も内容も知らない」（84.8%）が最も多く、次いで「名前は知っているが内容は知らない」（8.7%）、「名前も内容も知っている」（5.3%）となっています。



5 たばこについて

問34 たばこ（加熱式たばこ、電子たばこを含む）を吸いますか。（1つに○）



【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
たばこを吸う人の割合	14.2%	11.2%

【参考：国や愛知県調査との比較】

項目	国	愛知県	安城市	
たばこを吸う人の割合	20歳代男性	25.4%	22.0%	10.2%
	30歳代男性	33.2%	18.9%	24.4%
	20歳代女性	7.6%	1.4%	3.4%
	30歳代女性	7.3%	2.5%	3.5%

※国：令和元年国民健康・栄養調査、「毎日吸っている」「時々吸う日がある」の割合
 愛知県：令和4年度愛知県生活習慣関連調査 安城市：年齢区分は「20歳代以下」

問34-1 問34で「1 吸う」と答えた方にお伺いします。

たばこを吸うときに、どのように他の人に気を遣っていますか。(あてはまるものすべてに○)

※自宅等において、換気扇の下で吸う、空気清浄器のそばで吸う、車では窓を開けて吸うなどでは、受動喫煙の影響を与えます。

「指定されている喫煙場所以外では吸わない」(85.7%)が最も多く、次いで「歩きながら吸わない」(47.8%)、「自宅等において家族吸わない」(45.3%)となっています。

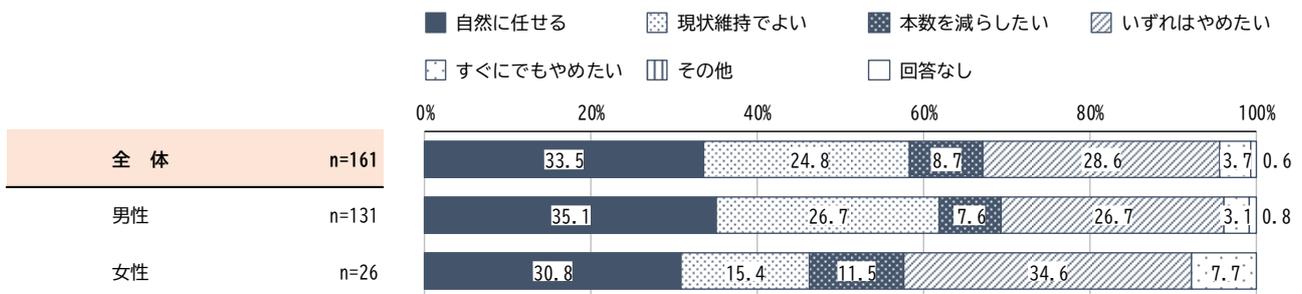
(n=件数、表内：%)

	n	指定されている喫煙場所以外では吸わない	歩きながら吸わない	自宅等において家族吸わない	気を遣わない	その他	回答なし
全体	161	85.7	47.8	45.3	3.7	1.9	1.9
男性	131	85.5	44.3	47.3	3.8	1.5	1.5
女性	26	88.5	61.5	34.6	3.8	3.8	-

問34-2 問34で「1 吸う」と答えた方にお伺いします。

今後の喫煙について教えてください。(1つに○)

「自然に任せる」(33.5%)が最も多く、次いで「いずれはやめたい」(28.6%)、「現状維持でよい」(24.8%)となっています。また、「禁煙したい」人は32.3%となっています。



【2017年調査との比較】

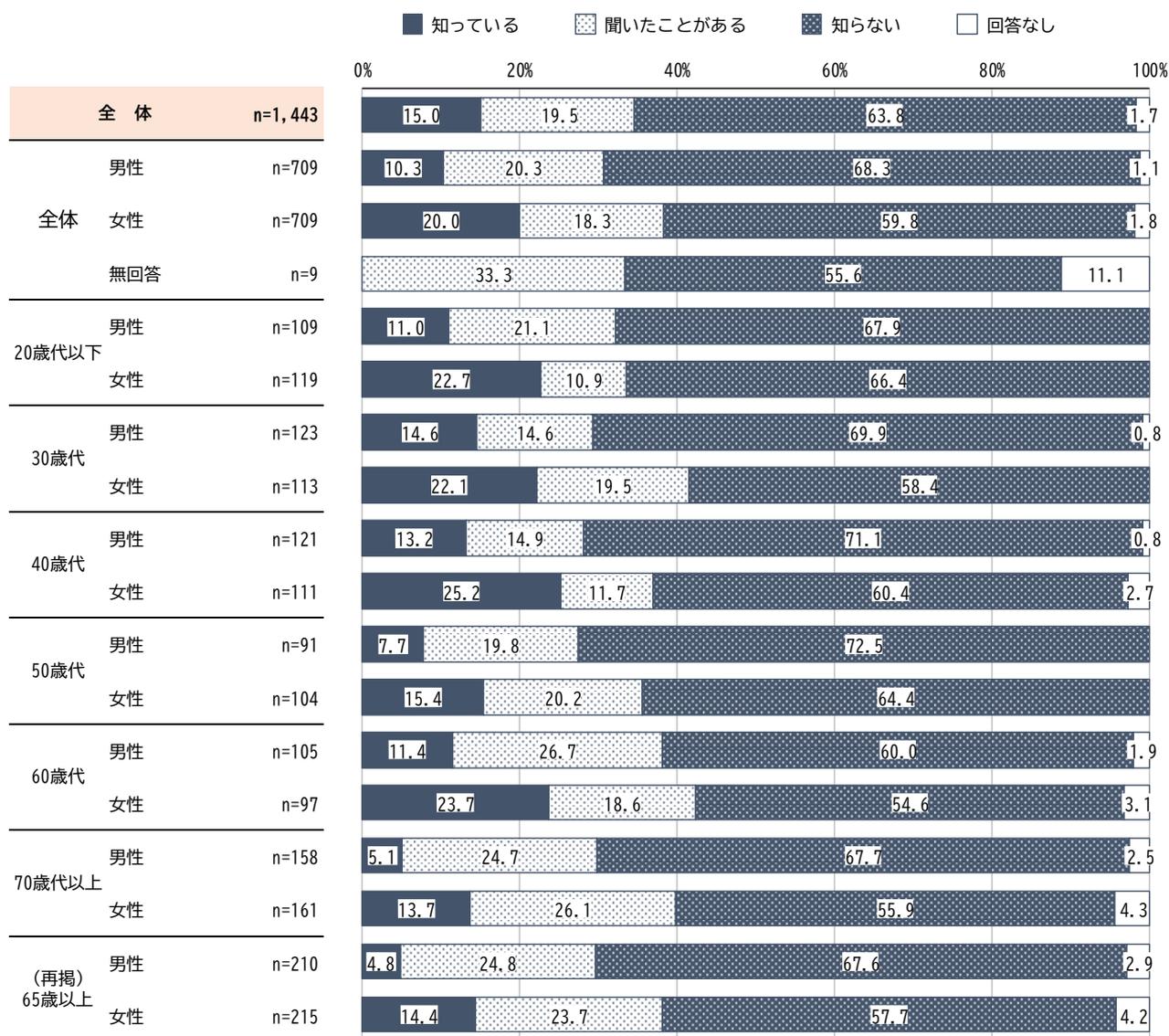
項目	2017年	2023年
禁煙したい人の割合	40.2%	32.0%

※「いずれはやめたい」「すぐにでもやめたい」の割合

問35 「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という言葉を知っていますか。（1つに〇）

※COPD（慢性閉塞性肺疾患）：有毒な粒子やガス（主にたばこの煙）の吸入による進行性の疾患であり、運動時の呼吸困難や慢性的咳・痰などの症状があります。

「知らない」（63.8%）が最も多く、次いで「聞いたことがある」（19.5%）、「知っている」（15.0%）となっています。



【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という言葉を知っている人の割合	35.0%	35.0%

※「知っている」「聞いたことがある」の割合

【参考：愛知県調査との比較】

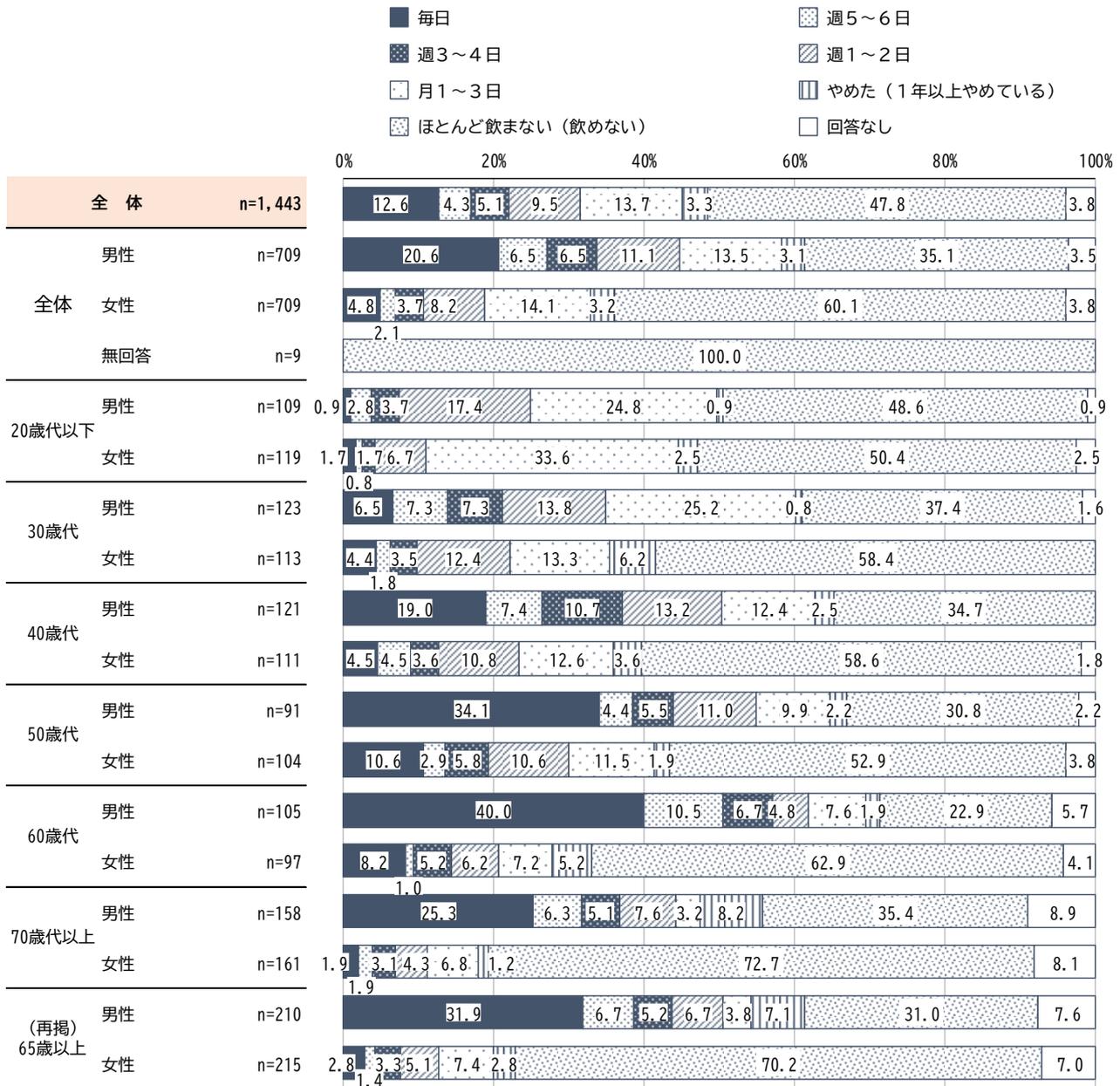
項目	愛知県	安城市
「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」という言葉を知っている人の割合	27.1%	34.5%

※愛知県：令和4年度愛知県生活習慣関連調査「どんな病気かよく知っている」「名前は聞いたことがある」

6 アルコールについて

問36 お酒（清酒・焼酎・ビール・洋酒など）をどのくらいの頻度で飲みますか。（1つに○）

「ほとんど飲まない（飲めない）」（47.8%）が最も多く、次いで「月1～3日」（13.7%）、
「毎日」（12.6%）となっています。

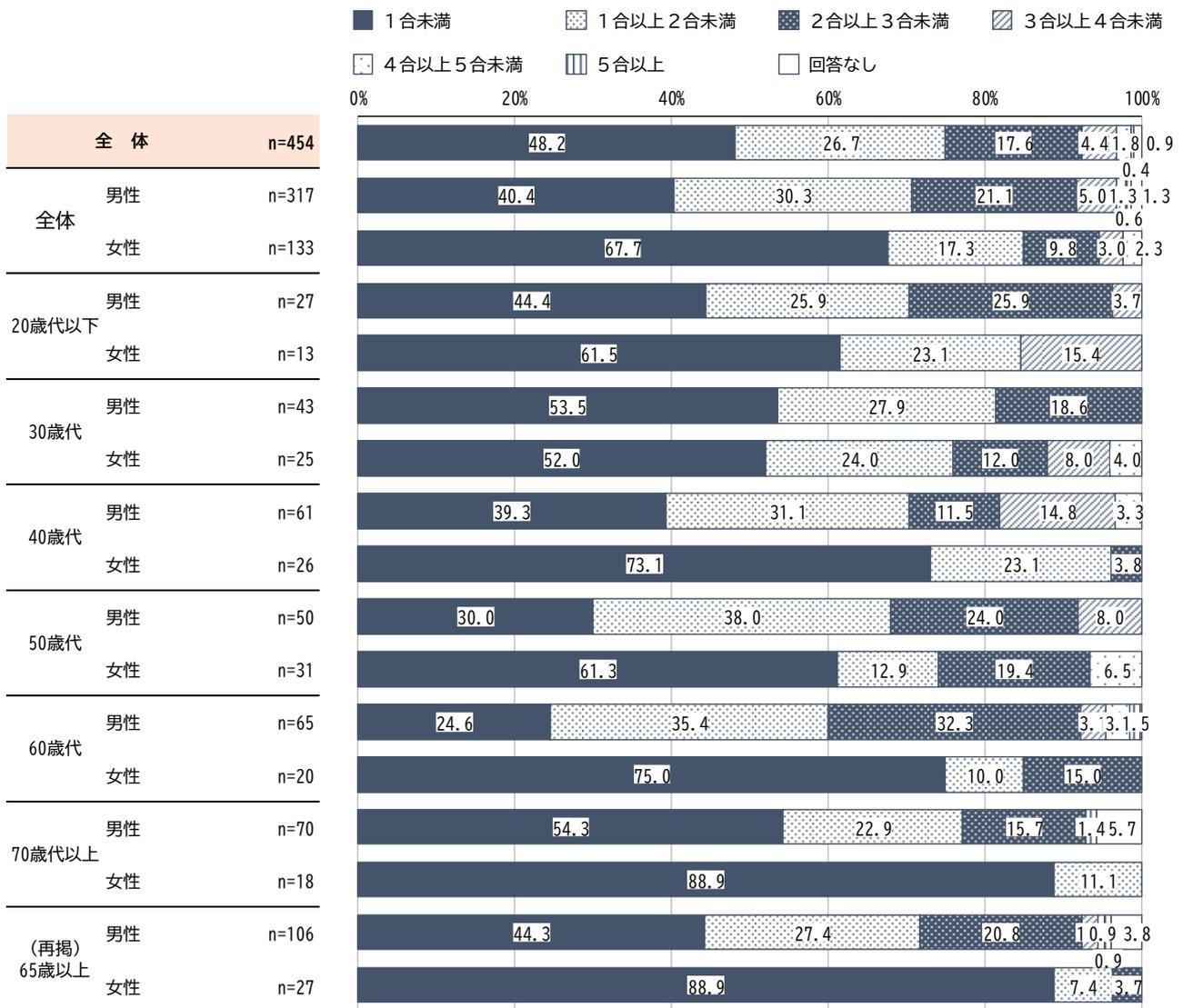


問36-1 問36で「1 毎日」、「2 週5～6日」、「3 週3～4日」、「4 週1～2日」と答えた方にお伺いします。
 お酒を飲む日は、1日あたりどのくらいの量を飲みますか。日本酒に換算してお答えください。
 (1つに○)

【参考：日本酒1合（180ml）に相当する量の目安】

お酒の種類	清酒	焼酎（25度）	ビール	ウイスキー・ブランデー	ワイン
量	1合 180ml	0.5合 90ml	中瓶1本 500ml	ダブル 60ml	2杯 240ml

「1合未満」（48.2%）が最も多く、次いで「1合以上2合未満」（26.7%）、「2合以上3合未満」（17.6%）となっています。



【2017年調査との比較】

項目		2017年	2023年
1日平均3合以上飲む人（多量飲酒）の割合	男性	4.9%	7.0%
	女性	1.6%	5.3%

※「毎日」「週5～6日」「週3～4日」「週1～2日」かつ「3合以上4合未満」「4合以上5合未満」「5合以上」の割合

<生活習慣病のリスクを高める飲酒量※への該当>

※生活習慣病のリスクを高める飲酒量：

男性で1日平均日本酒2合以上、女性で1合以上を飲酒している者をさしています。

【性別】リスクを高める飲酒量

(n=件数、表内：%)

	n	該当	非該当
全 体	1443	9.1	90.9
男性	709	12.6	87.4
女性	709	6.1	93.9

※男性：「毎日×2合以上」「週5～6日×2合以上」「週3～4日×3合以上」「週1～2日×5合以上」「月1～3日×5合以上」の割合

※女性：「毎日×1合以上」「週5～6日×1合以上」「週3～4日×1合以上」「週1～2日×3合以上」「月1～3日×5合以上」の割合

【2017年調査との比較】

項目		2017年	2023年
リスクを高める飲酒をしている人の割合	男性	13.9%	12.6%
	女性	6.0%	6.1%

【参考：国や愛知県調査との比較】

項目		国	愛知県	安城市
リスクを高める飲酒をしている人の割合	男性	14.9%	12.3%	12.6%
	女性	9.1%	8.7%	6.1%

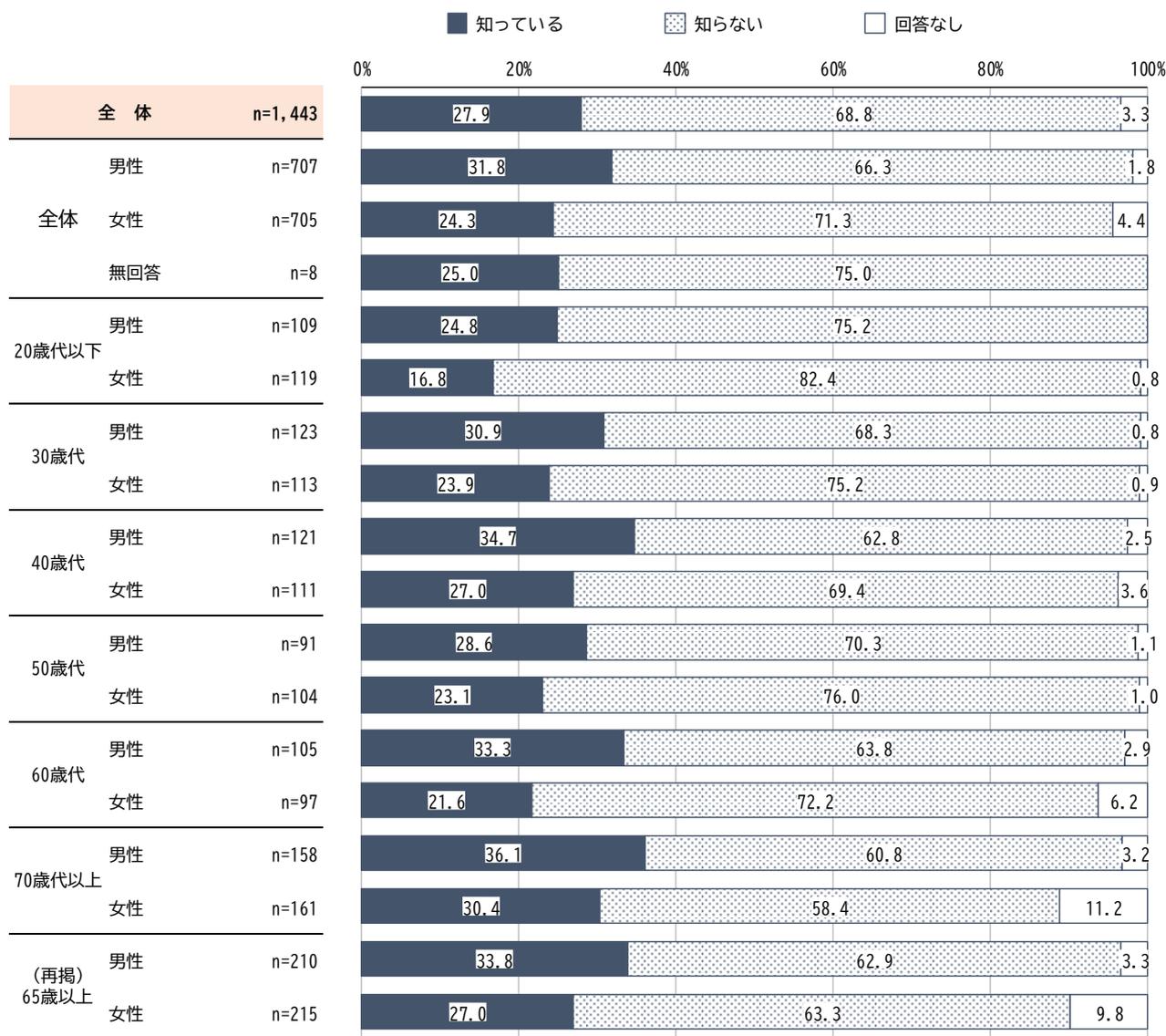
※国：令和元年国民健康・栄養調査

愛知県：令和4年度愛知県生活習慣関連調査

問37 「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」として、男性は1日平均日本酒2合以上、女性は1合以上（換算表参考）とされていますが、あなたはこのことを知っていますか。（どちらかに○）

【参考：日本酒1合（180ml）に相当する量の目安】

お酒の種類	清酒	焼酎（25度）	ビール	ウイスキー・ブランデー	ワイン
量	1合 180ml	0.5合 90ml	中瓶1本 500ml	ダブル 60ml	2杯 240ml



【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」を知っている人の割合	32.4%	28.9%

【参考：愛知県調査との比較】

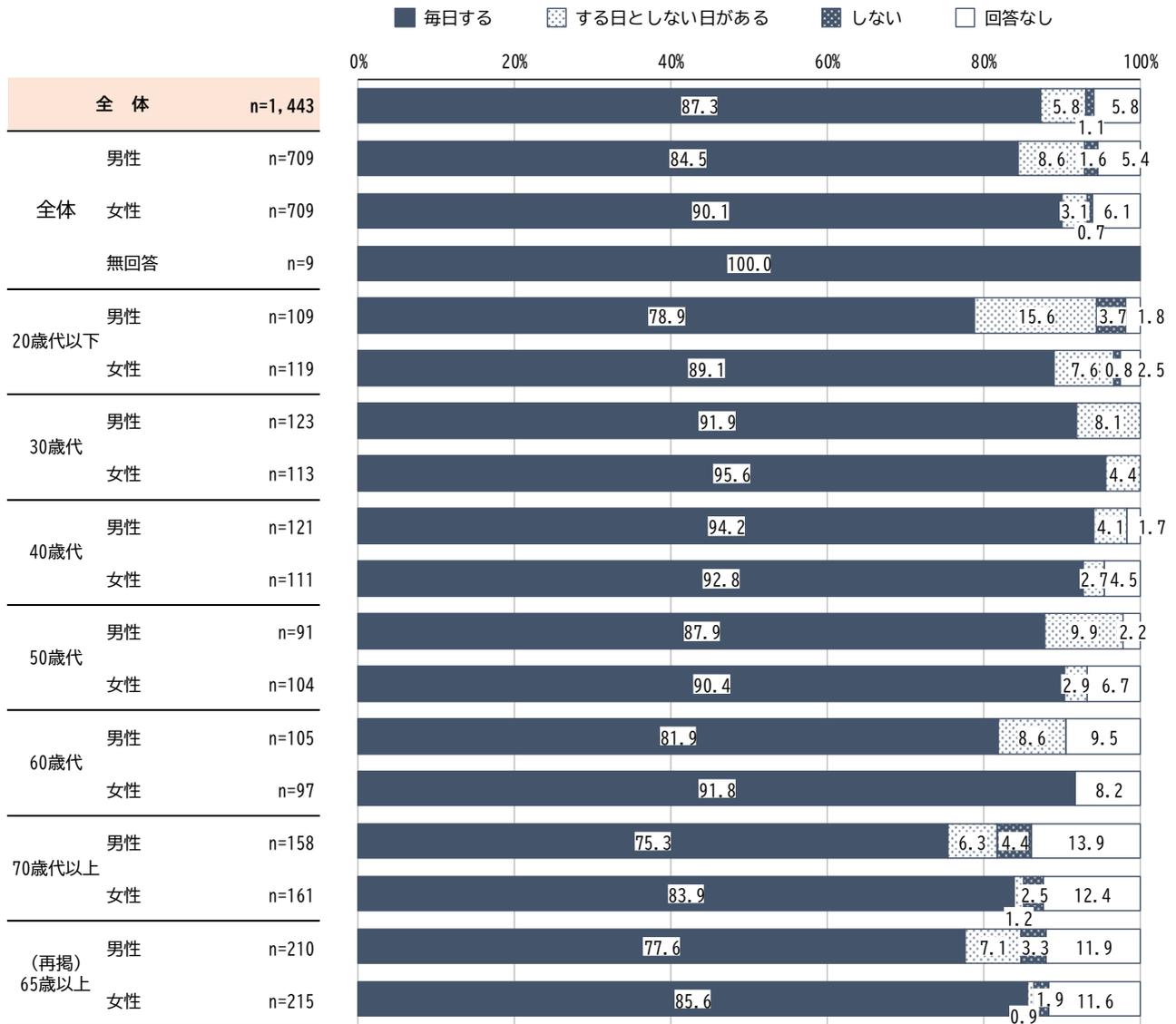
項目	愛知県	安城市
「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」を知っている人の割合	男性	32.3%
	女性	25.4%

※愛知県：令和4年度愛知県生活習慣関連調査

7 歯の健康について

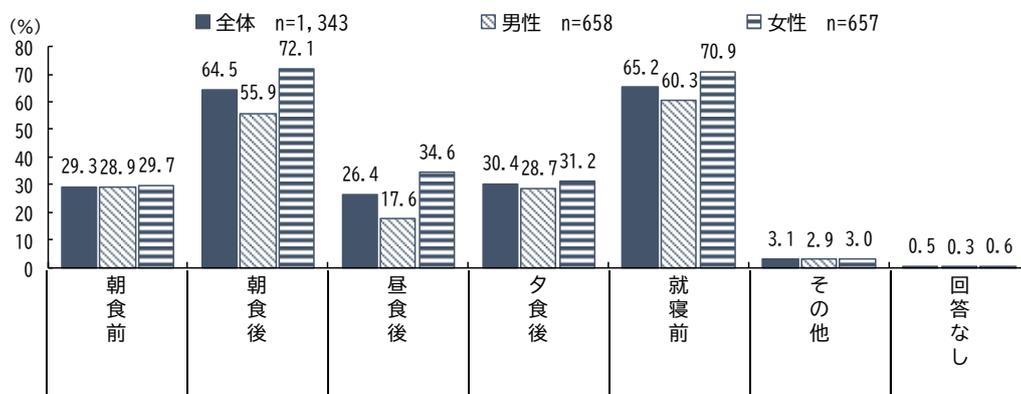
問38 歯磨きをしますか。(1つに○)

「毎日する」(87.3%)が最も多く、次いで「する日としない日がある」(5.8%)、「しない」(1.1%)となっています。

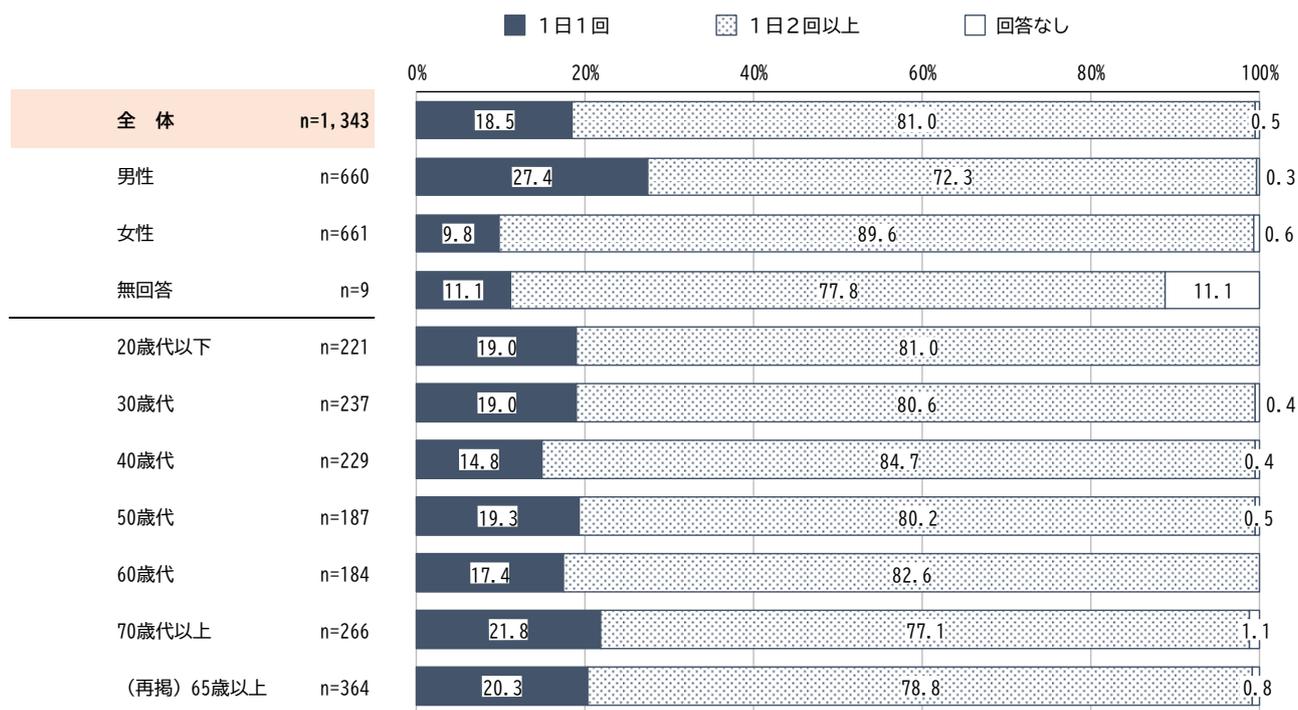


問38-1 問38で「1 毎日する」、「2 する日としない日がある」と答えた方にお伺いします。
 いつ歯磨きをしますか。（あてはまるものすべてに○）

「就寝前」(65.2%)が最も多く、次いで「朝食後」(64.5%)、「夕食後」(30.4%)となっています。



【1日のうち歯みがきをする回数】



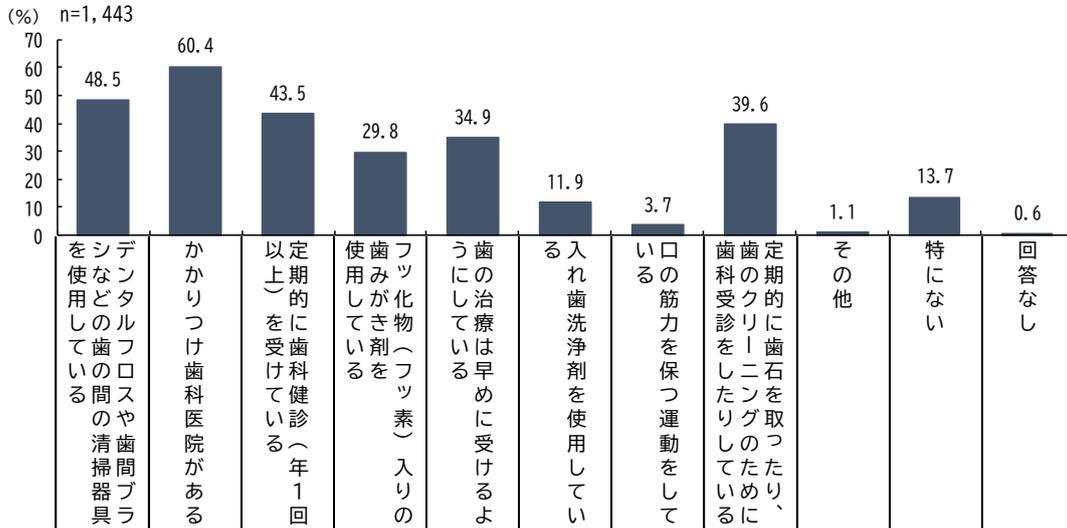
【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
1日2回以上歯をみがく人の割合	75.7%	81.3%

※分母は歯みがきの状況に回答があった全数（「毎日する」「する日としない日がある」「しない」の計）

問39 歯や口の健康管理として行っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「かかりつけ歯科医院がある」(60.4%)が最も多く、次いで「デンタルフロスや歯間ブラシなどの歯の間の清掃器具を使用している」(48.5%)、「定期的に歯科健診(年1回以上)を受けている」(43.5%)となっています。



(n=件数、表内：%)

	n	デンタルフロスや歯間ブラシなどの歯の間の清掃器具を使用している	かかりつけ歯科医院がある	定期的に歯科健診(年1回以上)を受けている	フッ化物(フッ素)入りの歯みがき剤を使用している	歯の治療は早めに受けるようになっている	入れ歯洗浄剤を使用している	口の筋力を保つ運動をしている	定期的に歯石を取ったり、歯科受診をしたりしている	その他	特になし	回答なし
全 体	1443	48.5	60.4	43.5	29.8	34.9	11.9	3.7	39.6	1.1	13.7	0.6
男性/全体	707	35.6	52.1	34.7	24.6	29.1	10.6	2.7	30.8	1.0	18.7	0.7
/20歳代以下	109	24.8	35.8	23.9	26.6	16.5	-	2.8	22.0	1.8	33.0	-
/30歳代	123	39.0	39.0	35.8	26.0	29.3	0.8	4.9	27.6	-	20.3	0.8
/40歳代	121	33.9	48.8	30.6	32.2	22.3	-	0.8	25.6	-	24.0	-
/50歳代	91	45.1	61.5	40.7	28.6	30.8	4.4	-	37.4	-	13.2	-
/60歳代	105	39.0	55.2	35.2	31.4	39.0	17.1	1.9	35.2	1.0	15.2	1.9
/70歳代以上	158	34.2	68.4	40.5	9.5	35.4	32.9	4.4	36.7	2.5	8.9	1.3
/(再掲)65歳以上	210	37.1	65.2	38.6	13.8	37.1	30.0	4.3	37.1	2.4	9.5	1.4
女性/全体	705	61.0	68.8	51.9	35.0	39.9	12.9	4.4	47.9	1.3	8.5	0.4
/20歳代以下	119	45.4	53.8	36.1	31.1	26.9	2.5	3.4	31.1	0.8	20.2	-
/30歳代	113	63.7	66.4	58.4	49.6	45.1	-	6.2	46.0	0.9	6.2	-
/40歳代	111	68.5	64.0	54.1	46.8	37.8	2.7	-	45.9	0.9	5.4	-
/50歳代	104	72.1	70.2	54.8	36.5	36.5	4.8	1.0	58.7	1.0	7.7	-
/60歳代	97	76.3	78.4	58.8	26.8	48.5	15.5	8.2	57.7	1.0	5.2	-
/70歳代以上	161	49.1	78.3	51.6	23.6	44.1	40.4	6.8	50.3	2.5	6.2	1.9
/(再掲)65歳以上	215	55.8	78.1	53.5	23.7	47.0	36.3	6.0	53.0	2.3	5.1	1.4

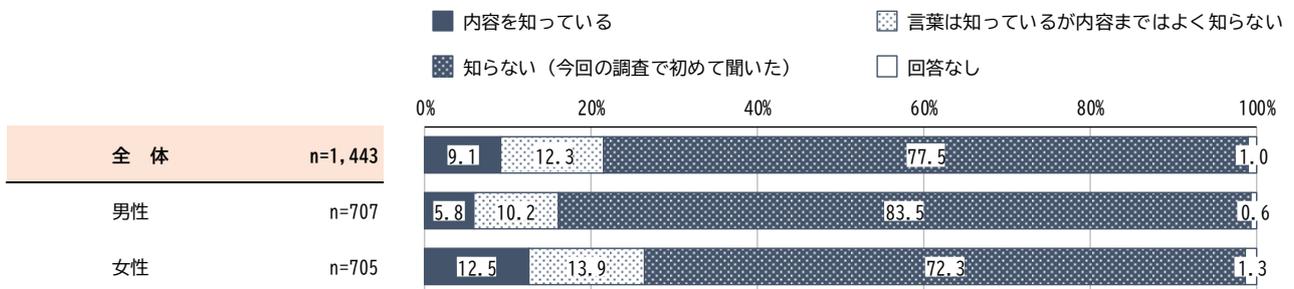
【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
かかりつけ歯科医院のある人の割合	60.5%	60.9%
定期的に歯科健診を受けている人の割合	36.7%	43.5%
補助清掃用具を使用している人の割合	41.9%	48.7%

問40 オーラルフレイルを知っていますか。（1つに○）

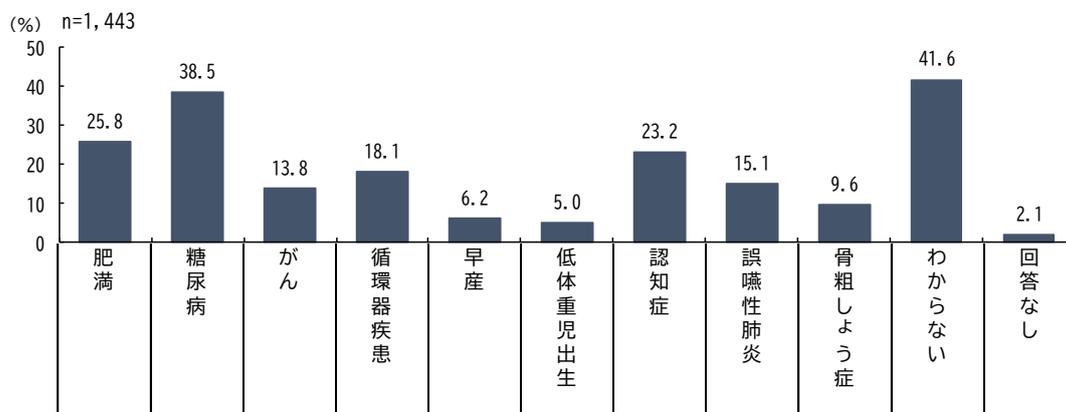
※オーラルフレイルとは、飲み込む、噛むなどの口腔機能の低下のことです。

「知らない（今回の調査で初めて聞いた）」（77.5%）が最も多く、次いで「言葉は知っているが内容まではよく知らない」（12.3%）、「内容を知っている」（9.1%）となっています。



問41 歯周病と関連があるのは何だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「わからない」(41.6%)が最も多く、次いで「糖尿病」(38.5%)、「肥満」(25.8%)となっています。



(n=件数、表内：%)

	n	肥満	糖尿病	がん	循環器疾患	早産	低体重児出生	認知症	誤嚥性肺炎	骨粗しょう症	わからない	回答なし
全 体	1443	25.8	38.5	13.8	18.1	6.2	5.0	23.2	15.1	9.6	41.6	2.1
男性/全体	707	23.5	33.1	11.2	14.3	2.5	2.3	17.0	10.2	8.5	48.7	1.8
/20歳代以下	109	31.2	35.8	11.9	15.6	1.8	2.8	14.7	4.6	9.2	45.9	0.9
/30歳代	123	30.1	40.7	20.3	12.2	5.7	4.9	17.1	15.4	15.4	40.7	0.8
/40歳代	121	21.5	28.9	9.1	13.2	3.3	4.1	14.0	5.0	5.8	56.2	0.8
/50歳代	91	27.5	30.8	11.0	16.5	-	-	19.8	5.5	3.3	49.5	1.1
/60歳代	105	21.9	28.6	11.4	11.4	2.9	1.0	27.6	17.1	8.6	47.6	1.0
/70歳代以上	158	13.3	32.9	5.1	16.5	1.3	0.6	12.0	12.0	7.6	51.3	5.1
/(再掲)65歳以上	210	13.8	31.0	5.2	15.7	1.4	0.5	13.3	11.9	7.1	53.3	3.8
女性/全体	705	27.4	43.3	16.2	21.4	9.8	7.7	28.8	19.6	10.4	35.3	2.3
/20歳代以下	119	28.6	37.0	16.0	14.3	10.9	7.6	19.3	16.8	12.6	47.9	0.8
/30歳代	113	46.0	47.8	20.4	19.5	21.2	15.9	24.8	16.8	10.6	31.0	-
/40歳代	111	23.4	46.8	17.1	24.3	12.6	9.9	27.9	14.4	6.3	36.0	-
/50歳代	104	29.8	48.1	19.2	22.1	9.6	6.7	40.4	20.2	10.6	29.8	1.0
/60歳代	97	20.6	45.4	18.6	26.8	3.1	3.1	41.2	24.7	10.3	25.8	4.1
/70歳代以上	161	18.6	37.9	9.3	22.4	3.1	3.7	24.2	23.6	11.2	37.9	6.2
/(再掲)65歳以上	215	18.6	38.6	11.6	23.3	2.8	3.3	26.0	22.8	10.7	35.3	6.0

問42 自分の歯は何本ありますか。（親しらず、入れ歯、※¹ブリッジ、※²インプラントは含みません。差し歯は含みます。親しらずを除くと全部で28本が正常ですが、数本の増減が見られることもあります。）*算用数字で記入

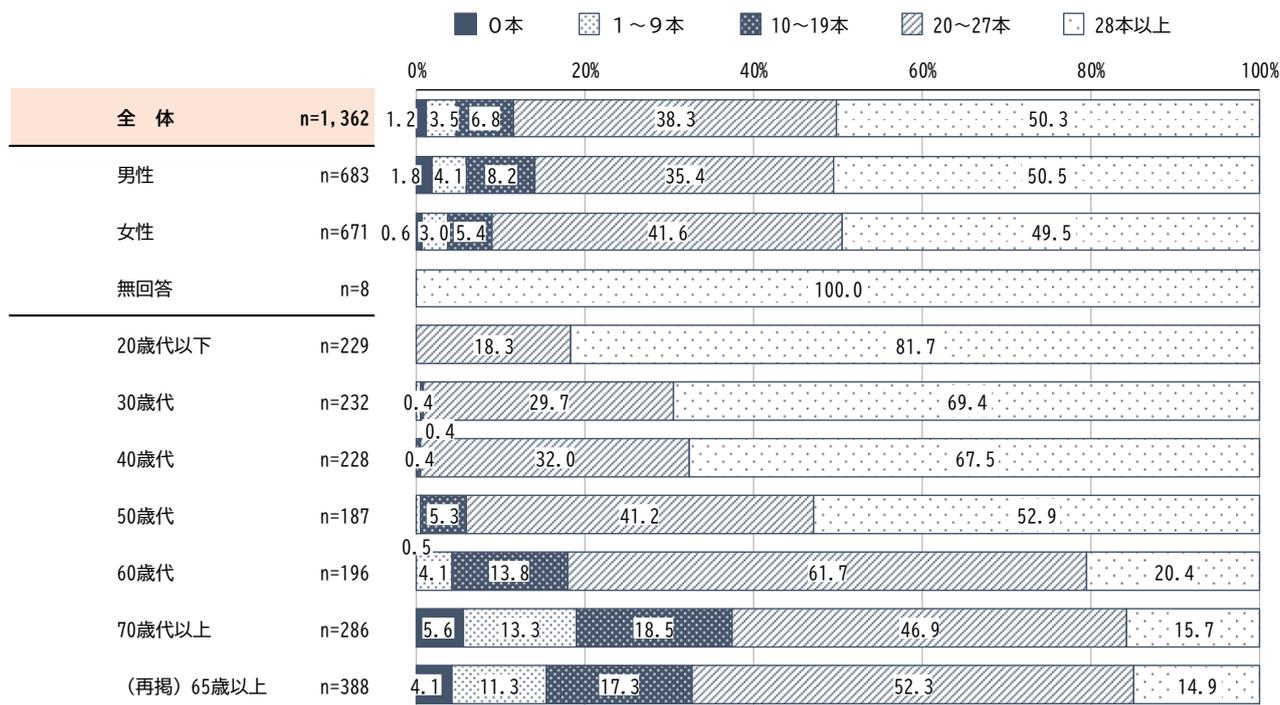
※¹ ブリッジ：抜けた歯の両隣にある自分の歯を支えにして固定した入れ歯



※² インプラント：顎の骨に人工歯・人工歯根を支えにして固定した入れ歯



性別にみると、女性より男性に歯の本数が19本以下の人が多くみられます。
年代別にみると19本以下の人が50歳代から増え始める傾向がみられます。



【2017年調査結果】自分の歯の本数

項目	0本	1~9本	10~19本	20~27本	28本以上
全体	1.4%	4.9%	9.2%	36.7%	47.9%
男性	1.9%	6.7%	10.0%	35.8%	45.6%
女性	0.7%	3.4%	8.1%	37.4%	50.3%

【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
60歳（55~64歳）で24本以上自分の歯がある人の割合	73.1%	78.1%
80歳（75~84歳）で20本以上自分の歯がある人の割合	46.1%	57.0%

【参考：愛知県調査との比較】

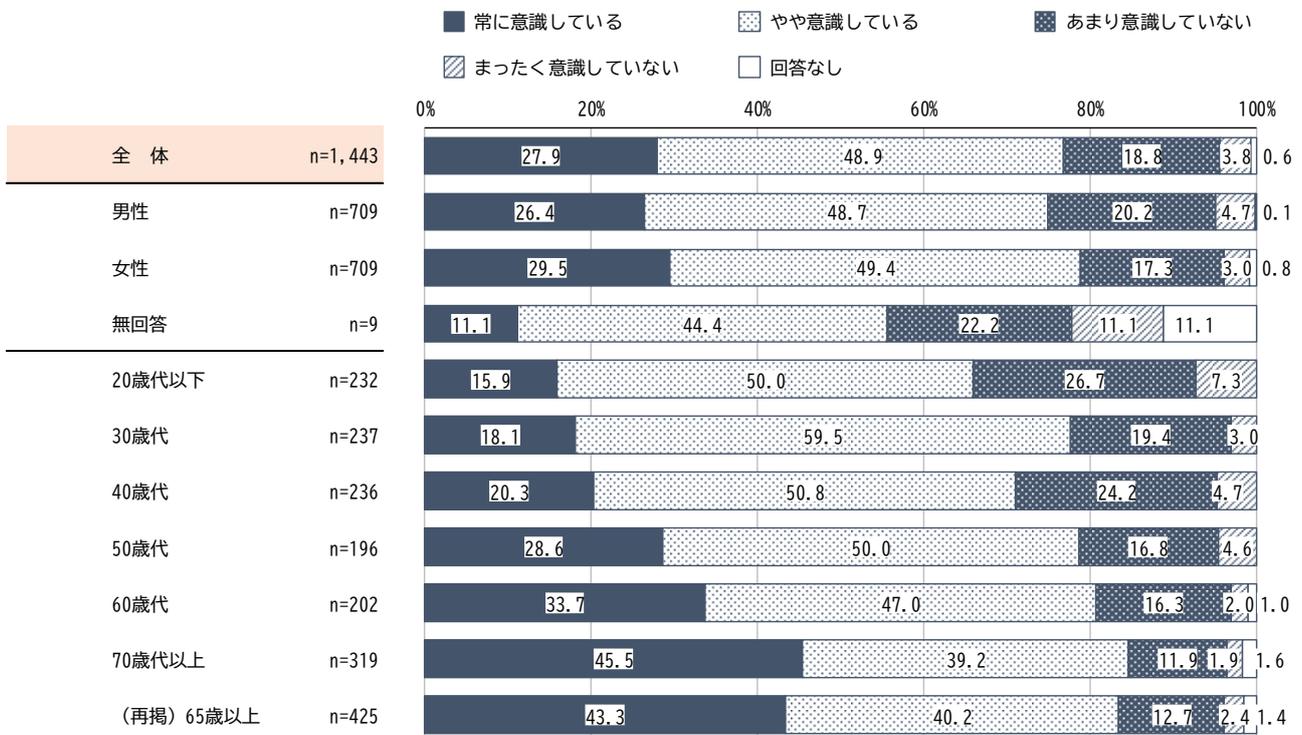
項目	愛知県	安城市
80歳（75~84歳）で20本以上自分の歯がある人の割合	58.7%	57.0%

※愛知県：令和4年度愛知県生活習慣関連調査

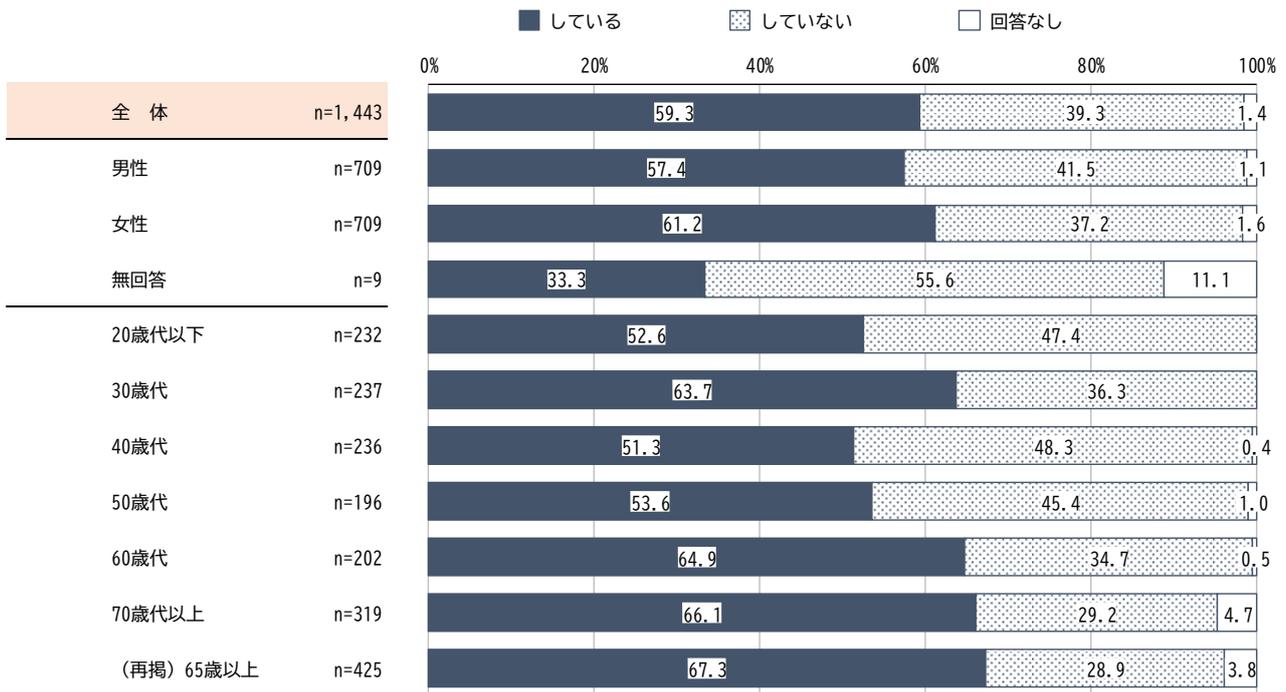
8 健康管理について

問43 あなたは日々の生活で健康を意識していますか。(1つに○)

「やや意識している」(48.9%)が最も多く、次いで「常に意識している」(27.9%)、「あまり意識していない」(18.8%)となっています。

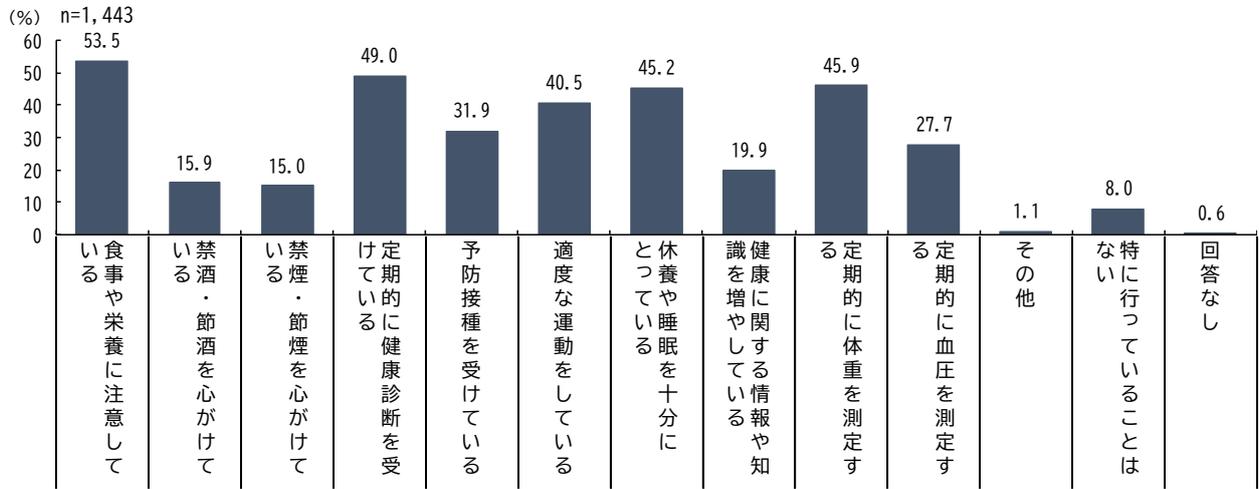


問44 あなたは日々の生活の中で健康のために行動していますか。(どちらかに○)



問45 現在、健康のために行っていることは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

「食事や栄養に注意している」(53.5%)が最も多く、次いで「定期的に健康診断を受けている」(49.0%)、「定期的に体重を測定する」(45.9%)となっています。



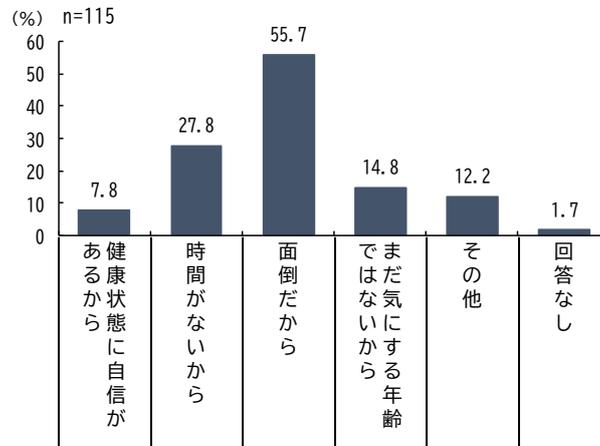
(n=件数、表内：%)

	n	食事や栄養に注意している	禁酒・節酒を心がけている	禁煙・節煙を心がけている	定期的に健康診断を受けている	予防接種を受けている	適度な運動をしている	休養や睡眠を十分にとっている	健康に関する情報や知識を増やしている	定期的に体重を測定する	定期的に血圧を測定する	その他	特に行っていることはない	回答なし
全体	1443	53.5	15.9	15.0	49.0	31.9	40.5	45.2	19.9	45.9	27.7	1.1	8.0	0.6
男性/全体	707	45.7	17.3	17.1	47.4	28.7	43.3	40.7	14.3	41.9	28.6	1.3	9.6	0.4
/20歳代以下	109	45.9	22.0	23.9	12.8	11.9	40.4	39.4	8.3	28.4	2.8	0.9	20.2	-
/30歳代	123	52.8	22.8	13.8	41.5	17.9	39.0	35.8	19.5	32.5	7.3	0.8	10.6	-
/40歳代	121	43.8	11.6	14.0	52.9	18.2	24.8	36.4	15.7	34.7	14.0	0.8	11.6	-
/50歳代	91	37.4	15.4	14.3	56.0	19.8	38.5	31.9	7.7	40.7	26.4	-	7.7	1.1
/60歳代	105	43.8	11.4	14.3	53.3	32.4	53.3	42.9	16.2	53.3	45.7	3.8	7.6	-
/70歳代以上	158	47.5	19.0	20.9	62.7	59.5	58.9	52.5	15.8	57.0	63.9	1.3	2.5	1.3
/(再掲)65歳以上	210	46.7	16.7	19.5	61.9	55.2	55.7	50.5	15.7	56.7	61.4	1.4	4.3	1.0
女性/全体	705	61.6	14.3	12.5	50.6	34.9	37.3	49.9	25.1	49.9	27.0	0.9	6.4	0.6
/20歳代以下	119	46.2	18.5	18.5	25.2	25.2	25.2	51.3	17.6	35.3	1.7	-	16.0	-
/30歳代	113	69.9	15.0	10.6	43.4	24.8	28.3	57.5	27.4	48.7	6.2	0.9	3.5	-
/40歳代	111	60.4	13.5	11.7	54.1	18.0	26.1	41.4	22.5	36.9	8.1	0.9	9.0	-
/50歳代	104	62.5	10.6	8.7	55.8	18.3	33.7	43.3	28.8	47.1	26.9	1.0	4.8	-
/60歳代	97	64.9	12.4	12.4	64.9	49.5	55.7	41.2	25.8	61.9	47.4	-	3.1	-
/70歳代以上	161	65.2	14.9	12.4	60.2	62.7	51.6	59.0	28.0	65.2	60.9	1.9	2.5	2.5
/(再掲)65歳以上	215	66.0	14.4	12.6	60.9	61.9	54.4	53.5	27.9	62.8	59.1	1.4	2.3	1.9

問45-1 問45で「12 特に行っていることはない」と答えた方にお伺いします。

「特に行っていることはない」理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

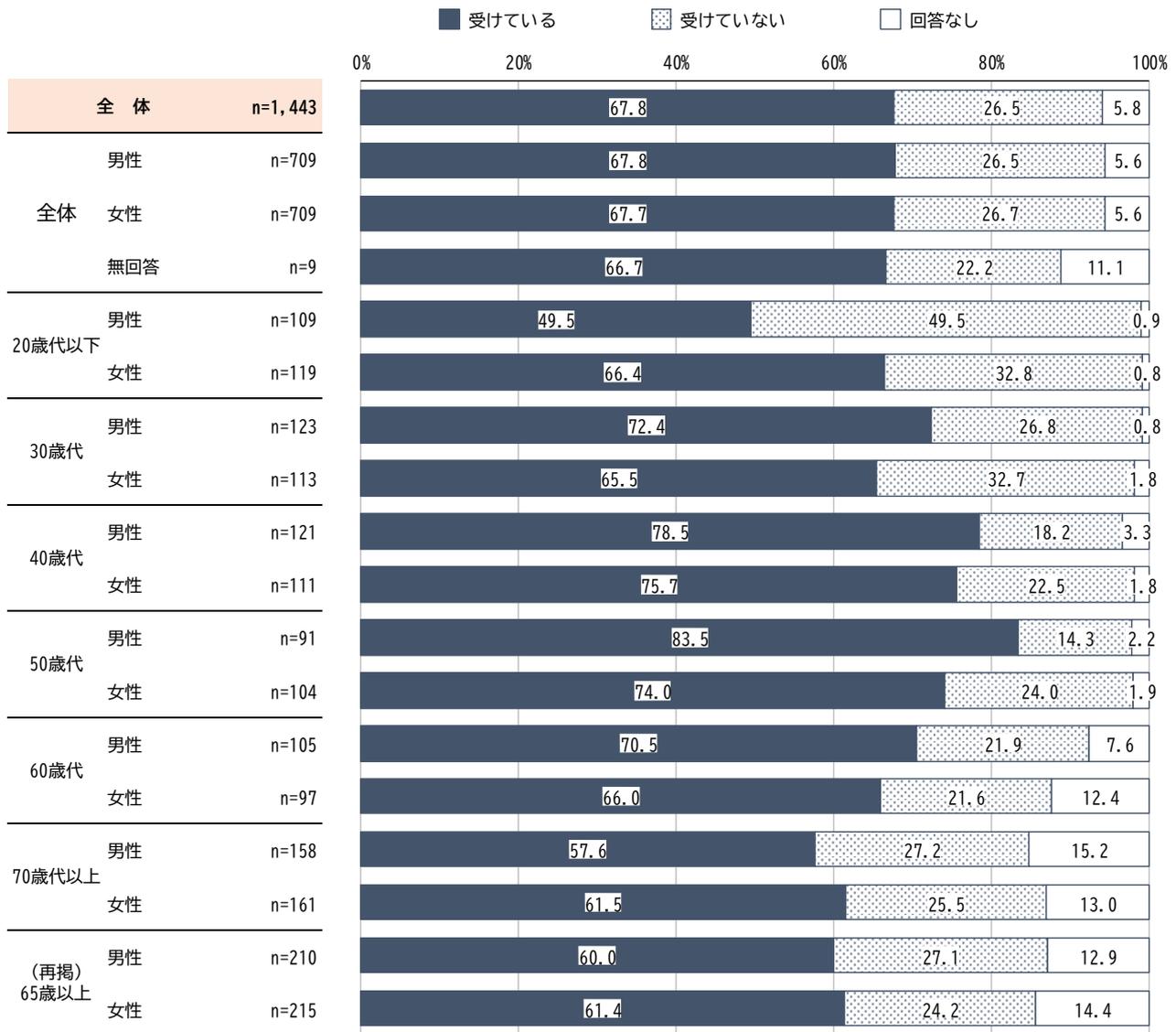
「面倒だから」(55.7%) が最も多く、次いで「時間がないから」(27.8%)、「まだ気にする年齢ではないから」(14.8%) となっています。



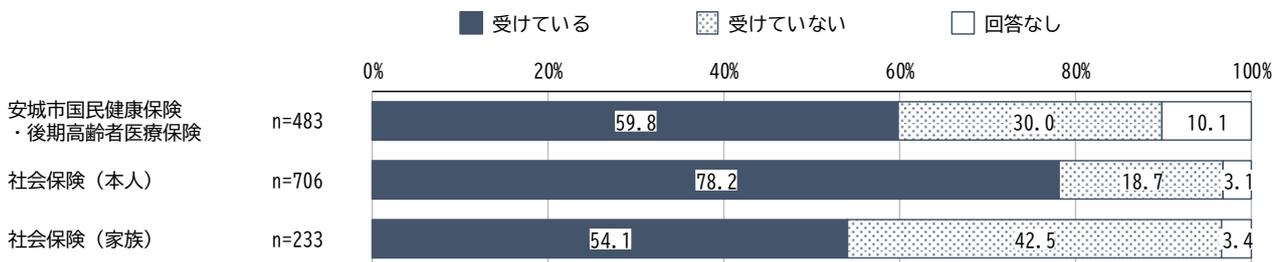
(n=件数、表内：%)

	n	健康状態に自信があるから	時間がないから	面倒だから	まだ気にする年齢ではないから	その他	回答なし
全 体	115	7.8	27.8	55.7	14.8	12.2	1.7
男性／全体	68	7.4	25.0	55.9	16.2	10.3	1.5
／20歳代以下	22	-	22.7	59.1	31.8	9.1	-
／30歳代	13	23.1	38.5	53.8	23.1	-	-
／40歳代	14	-	35.7	50.0	-	21.4	-
／50歳代	7	-	14.3	71.4	-	-	14.3
／60歳代	8	12.5	12.5	50.0	-	25.0	-
／70歳代以上	4	25.0	-	50.0	25.0	-	-
／(再掲) 65歳以上	9	22.2	11.1	44.4	11.1	11.1	-
女性／全体	45	6.7	33.3	55.6	13.3	15.6	2.2
／20歳代以下	19	-	31.6	68.4	26.3	10.5	-
／30歳代	4	25.0	25.0	75.0	-	-	-
／40歳代	10	10.0	50.0	30.0	10.0	10.0	-
／50歳代	5	20.0	20.0	40.0	-	40.0	-
／60歳代	3	-	66.7	100.0	-	-	-
／70歳代以上	4	-	-	25.0	-	50.0	25.0
／(再掲) 65歳以上	5	-	20.0	40.0	-	40.0	20.0

問46 年1回程度の人間ドックや健康診断を受けていますか。(どちらかに○)



【医療保険の種類×健康診断を受けている】問12×問46



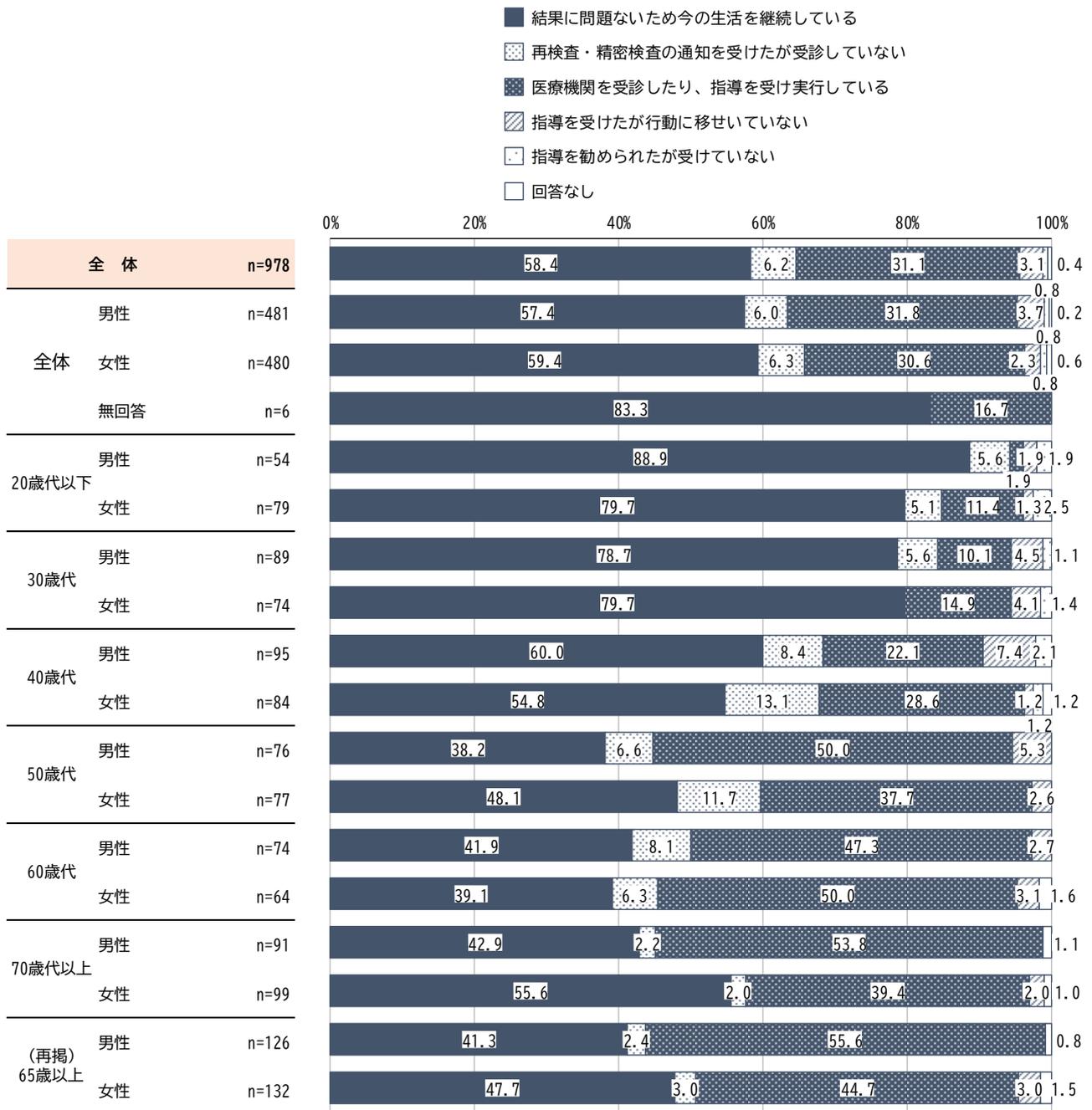
【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
健康診断を受けている人の割合	71.6%	72.0%
安城市国民健康保険・後期高齢者医療保険で健診を受けている人の割合	67.8%	66.6%
社会保険 (本人) で健診を受けている人の割合	82.6%	80.7%
社会保険 (家族) で健診を受けている人の割合	57.3%	56.0%

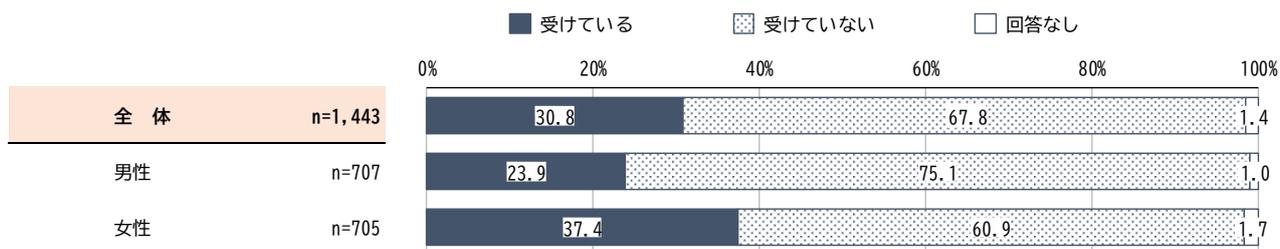
問46-1 問46で「1 受けている」と答えた方にお伺いします。

健診を受けた結果、どのように行動していますか。(1つに○)

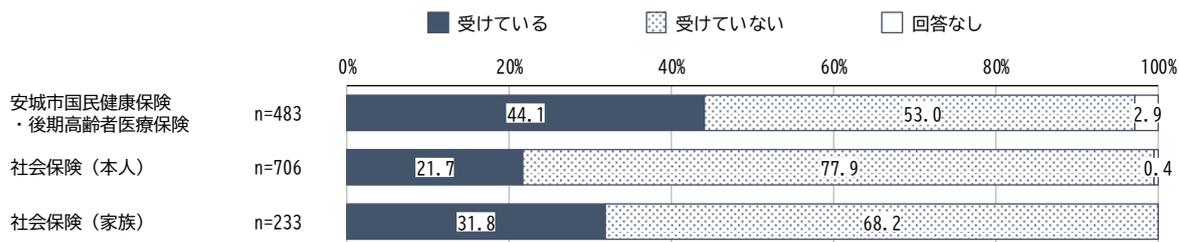
「結果に問題ないため今の生活を継続している」(58.4%)が最も多く、次いで「医療機関を受診したり、指導を受け実行している」(31.1%)、「再検査・精密検査の通知を受けたが受診していない」(6.2%)となっています。



問47 年に1回程度、がん検診を受けていますか。(どちらかに○)



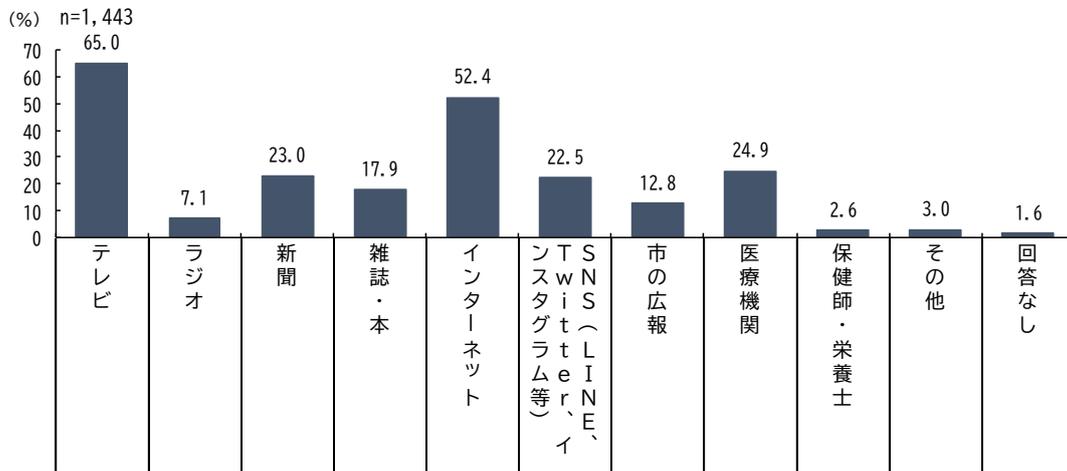
【医療保険の種類別×がん検診を受けている】問12×問47



問48 健康に関する情報を何から得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

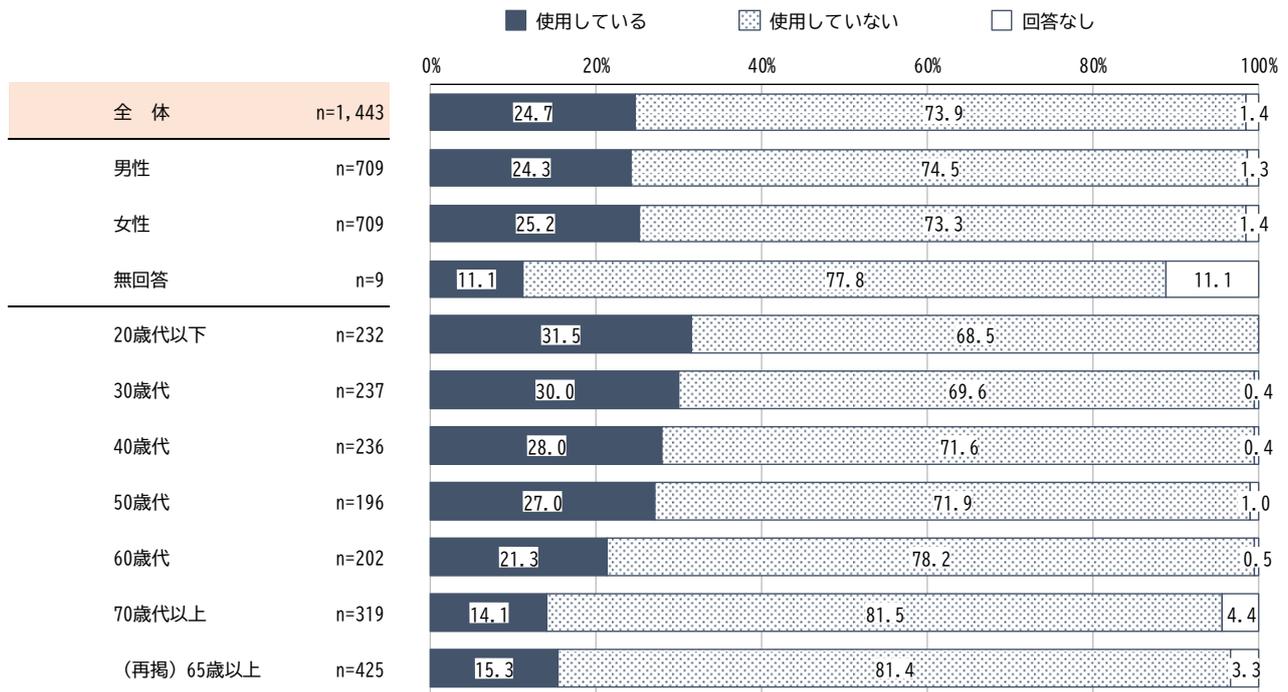
※現在「X」に名称変更されているものは、調査時点では「Twitter」の表記

「テレビ」(65.0%)が最も多く、次いで「インターネット」(52.4%)、「医療機関」(24.9%)となっています。



	n	(n=件数、表内：%)										
		テレビ	ラジオ	新聞	雑誌・本	インターネット	SNS (LINE、Twitter、Instagram等)	市の広報	医療機関	保健師・栄養士	その他	回答なし
全体	1443	65.0	7.1	23.0	17.9	52.4	22.5	12.8	24.9	2.6	3.0	1.6
男性/全体	707	57.3	6.6	16.8	13.7	56.4	16.8	11.3	24.9	2.5	2.8	1.4
/20歳代以下	109	49.5	1.8	0.9	10.1	66.1	45.0	3.7	14.7	1.8	4.6	-
/30歳代	123	42.3	1.6	0.8	13.8	79.7	28.5	5.7	11.4	4.1	3.3	0.8
/40歳代	121	58.7	8.3	12.4	12.4	71.9	12.4	6.6	14.0	4.1	5.0	0.8
/50歳代	91	62.6	7.7	18.7	14.3	56.0	6.6	9.9	24.2	2.2	2.2	2.2
/60歳代	105	61.9	13.3	21.9	21.0	51.4	6.7	14.3	34.3	1.0	1.0	1.9
/70歳代以上	158	67.1	7.6	39.2	12.0	23.4	4.4	23.4	44.9	1.9	1.3	2.5
/(再掲)65歳以上	210	66.7	10.0	36.2	15.2	27.1	4.8	23.3	41.9	1.4	1.4	2.9
女性/全体	705	72.9	7.5	29.1	21.8	48.5	28.4	14.2	24.7	2.6	3.1	1.6
/20歳代以下	119	58.8	2.5	3.4	14.3	56.3	59.7	4.2	15.1	2.5	10.1	-
/30歳代	113	66.4	1.8	4.4	21.2	69.9	61.1	10.6	27.4	1.8	0.9	0.9
/40歳代	111	68.5	2.7	15.3	20.7	69.4	28.8	14.4	25.2	-	5.4	0.9
/50歳代	104	77.9	10.6	30.8	23.1	65.4	16.3	13.5	18.3	1.0	1.0	2.9
/60歳代	97	78.4	7.2	46.4	23.7	42.3	6.2	12.4	24.7	2.1	1.0	1.0
/70歳代以上	161	84.5	16.8	63.4	26.7	6.2	3.1	25.5	33.5	6.2	0.6	3.1
/(再掲)65歳以上	215	81.9	14.0	60.5	25.6	13.5	3.7	22.8	34.0	4.7	0.5	2.3

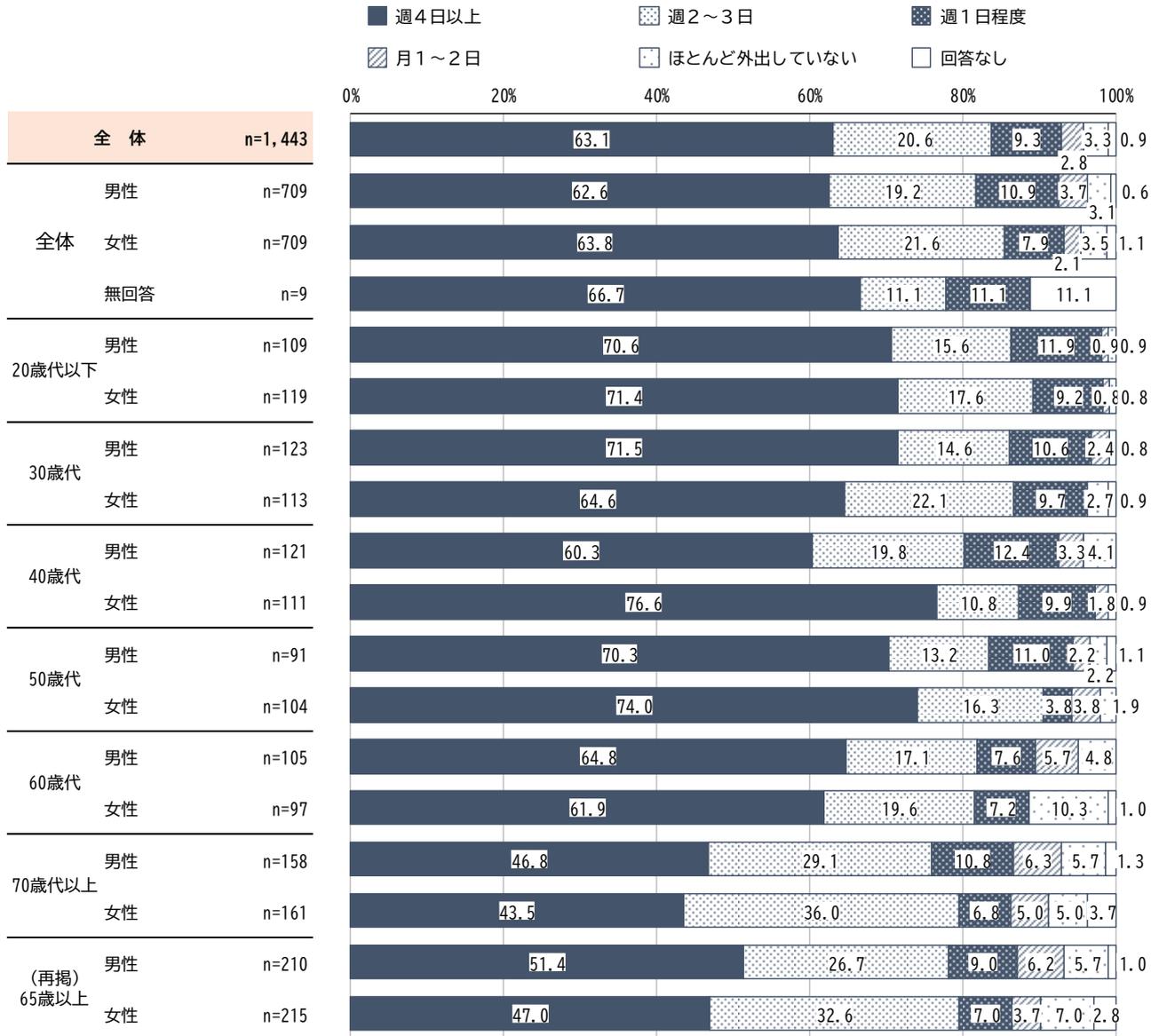
問49 健康管理のためにスマートウォッチやスマホアプリを使用していますか。(どちらかに○)



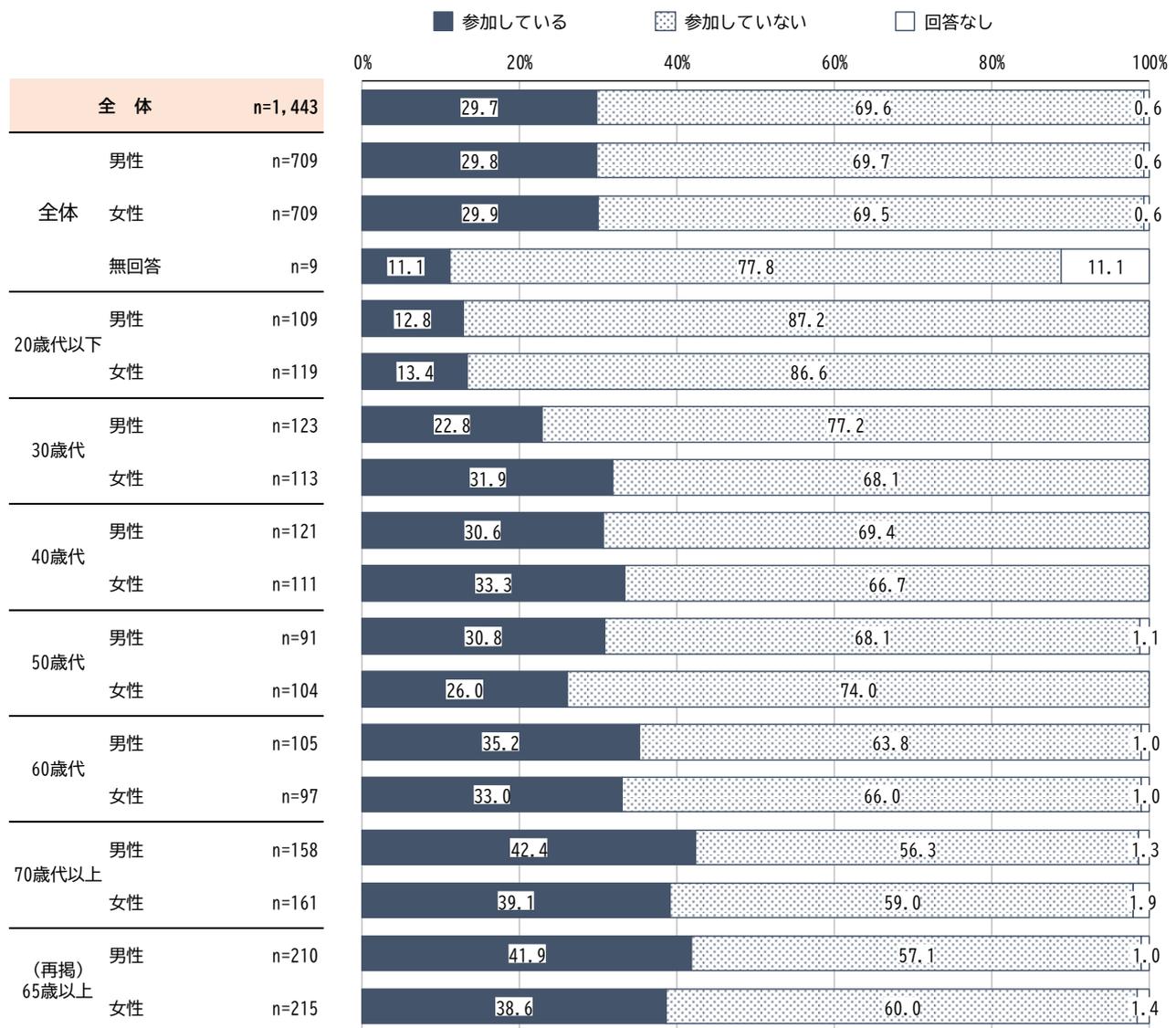
9 社会参加・社会環境について

問50 外出する頻度はどのくらいですか。(1つに○)

「週4日以上」(63.1%)が最も多く、次いで「週2～3日」(20.6%)、「週1日程度」(9.3%)
 となっています。



問51 地域の活動に参加していますか。(どちらかに○)

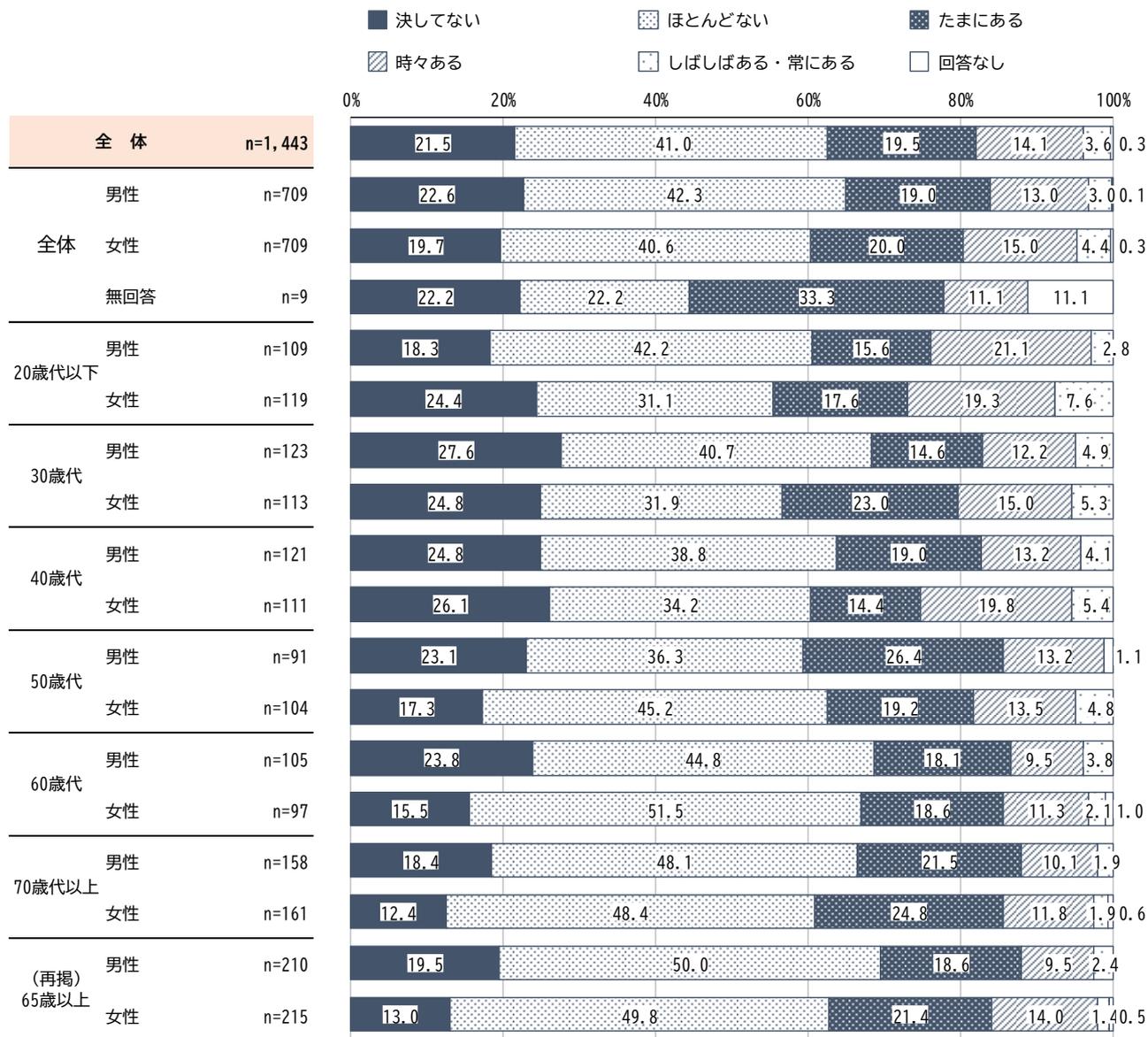


【2017年調査との比較】

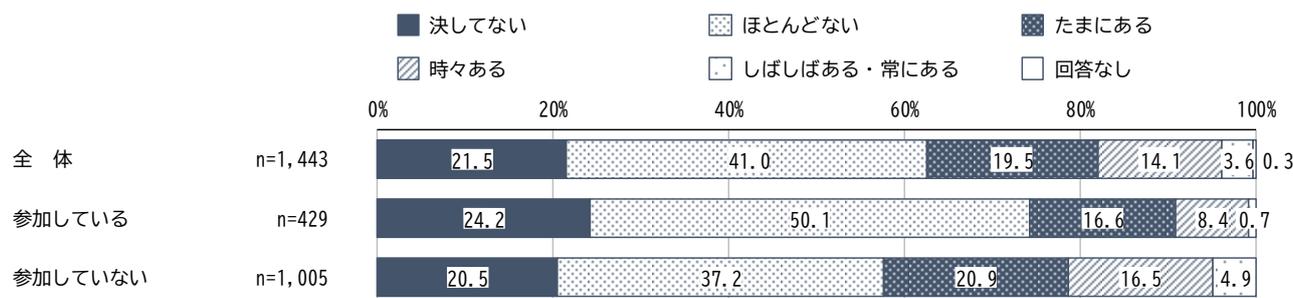
項目	2017年	2023年
地域活動に参加している人の割合	37.3%	29.9%
地域活動に参加していない人の割合	62.7%	70.1%

問52 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。（1つに○）

「ほとんどない」（41.0%）が最も多く、次いで「決してない」（21.5%）、「たまにある」（19.5%）となっています。

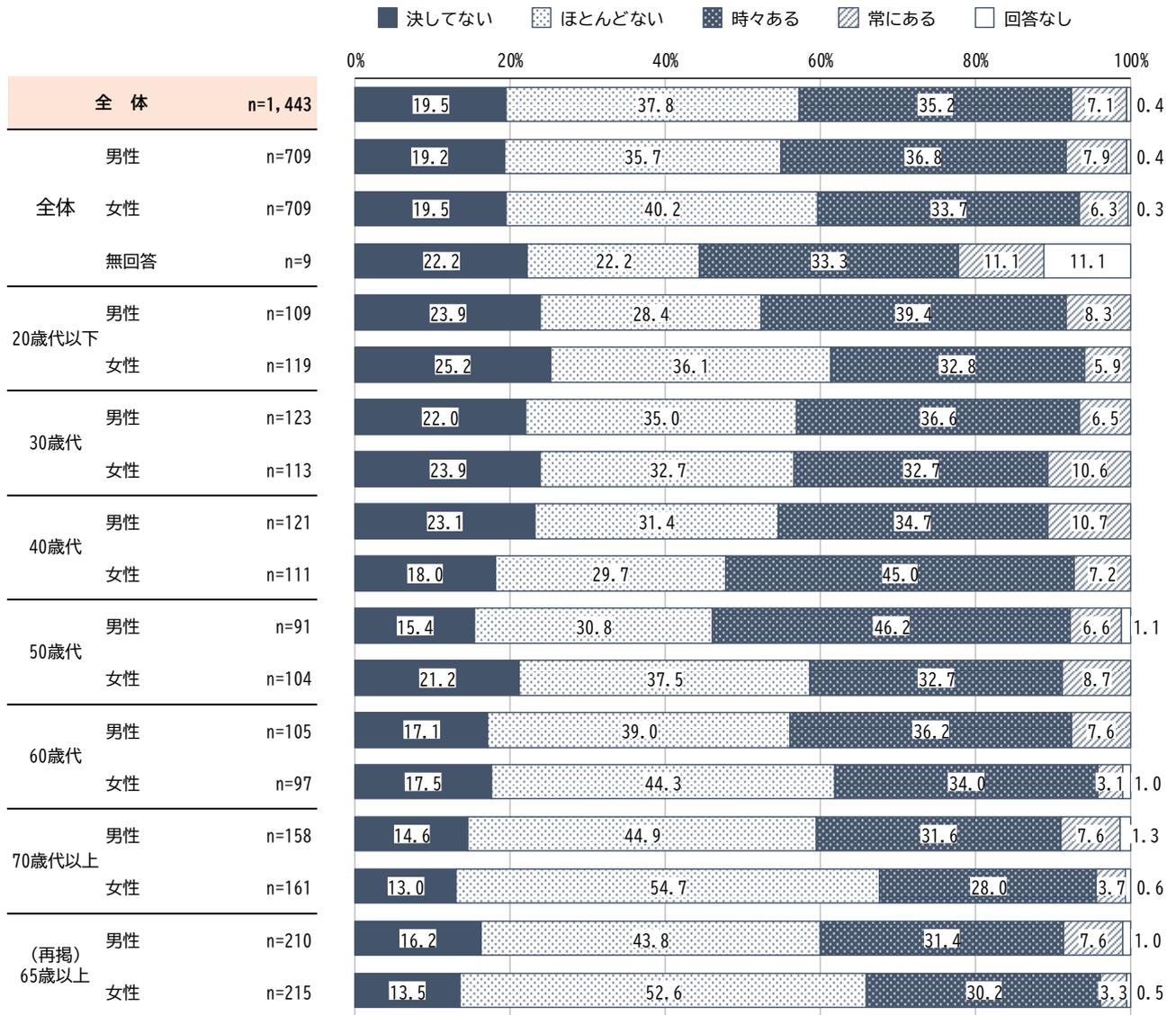


【地域活動に参加している×孤独であると感じる】問51×問52

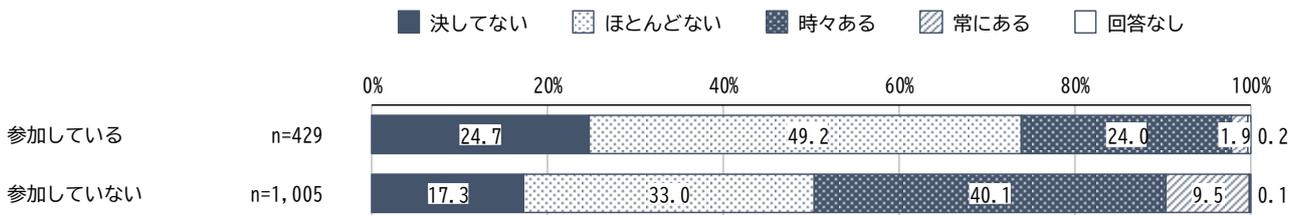


問53 あなたは、自分には人づきあいがないと感じることがありますか。(1つに○)

「ほとんどない」(37.8%)が最も多く、次いで「時々ある」(35.2%)、「決してない」(19.5%)となっています。

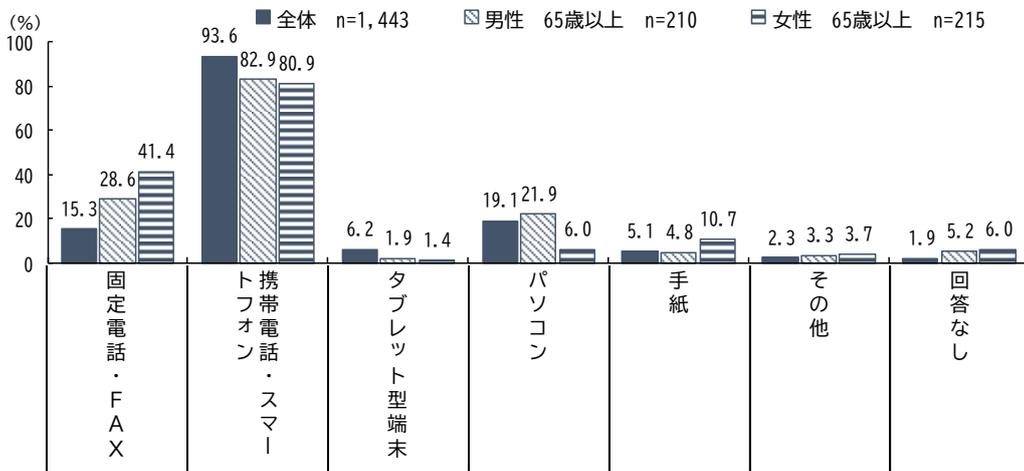


【地域活動に参加している×人づきあいがないと感じる】問51×問53



問54 あなたがコミュニケーションに使うツールはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「携帯電話・スマートフォン」(93.6%)が最も多く、次いで「パソコン」(19.1%)、「固定電話・FAX」(15.3%)となっています。

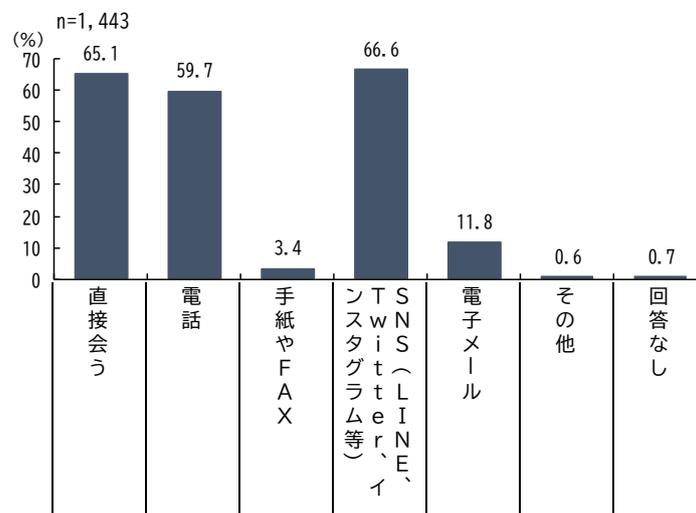


(n=件数、表内：%)

	n	固定電話・FAX	携帯電話・スマートフォン	タブレット型端末	パソコン	手紙	その他	回答なし
全体	1443	15.3	93.6	6.2	19.1	5.1	2.3	1.9
男性/全体	707	11.9	93.4	6.9	26.4	2.1	2.5	1.8
/20歳代以下	109	2.8	98.2	12.8	29.4	-	-	-
/30歳代	123	1.6	99.2	11.4	34.1	1.6	1.6	-
/40歳代	121	1.7	97.5	7.4	26.4	1.7	3.3	0.8
/50歳代	91	12.1	96.7	6.6	19.8	1.1	2.2	-
/60歳代	105	12.4	98.1	2.9	26.7	-	2.9	1.0
/70歳代以上	158	33.5	77.2	1.9	22.2	6.3	4.4	7.0
/(再掲)65歳以上	210	28.6	82.9	1.9	21.9	4.8	3.3	5.2
女性/全体	705	18.3	93.8	5.0	11.6	7.8	2.0	2.0
/20歳代以下	119	3.4	99.2	7.6	14.3	5.0	0.8	-
/30歳代	113	1.8	100.0	8.0	18.6	7.1	-	-
/40歳代	111	7.2	100.0	7.2	9.9	2.7	0.9	-
/50歳代	104	17.3	100.0	3.8	14.4	5.8	-	-
/60歳代	97	19.6	95.9	3.1	11.3	13.4	5.2	2.1
/70歳代以上	161	48.4	75.8	1.2	4.3	11.8	4.3	7.5
/(再掲)65歳以上	215	41.4	80.9	1.4	6.0	10.7	3.7	6.0

問55 あなたは同居していない家族や友人とどんな方法でコミュニケーションをとりますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「SNS (LINE、Twitter、インスタグラム等)」(66.6%) が最も多く、次いで「直接会う」(65.1%)、「電話」(59.7%) となっています。



(n=件数、表内：%)

	n	直接会う	電話	手紙やFAX	SNS (LINE、Twitter、インスタグラム等)	電子メール	その他	回答なし
全体	1443	65.1	59.7	3.4	66.6	11.8	0.6	0.7
男性/全体	707	60.0	56.6	1.7	63.9	12.7	0.7	0.8
/20歳代以下	109	61.5	47.7	0.9	80.7	5.5	1.8	-
/30歳代	123	61.8	55.3	-	83.7	4.1	-	-
/40歳代	121	57.9	47.9	-	77.7	16.5	1.7	-
/50歳代	91	61.5	49.5	1.1	52.7	23.1	-	-
/60歳代	105	56.2	63.8	-	66.7	15.2	-	1.0
/70歳代以上	158	60.8	69.6	6.3	31.0	13.9	0.6	3.2
/(再掲) 65歳以上	210	60.5	66.7	4.8	38.1	14.3	0.5	2.9
女性/全体	705	70.4	63.5	5.1	70.1	10.9	0.6	0.4
/20歳代以下	119	79.8	52.1	3.4	91.6	5.0	-	-
/30歳代	113	71.7	53.1	4.4	86.7	13.3	0.9	-
/40歳代	111	65.8	56.8	3.6	89.2	14.4	-	-
/50歳代	104	75.0	63.5	4.8	76.0	15.4	-	-
/60歳代	97	66.0	64.9	6.2	68.0	13.4	-	1.0
/70歳代以上	161	65.2	83.2	7.5	26.7	6.8	1.9	1.2
/(再掲) 65歳以上	215	64.7	80.0	6.5	35.3	7.9	1.4	0.9



Ⅲ 調査結果

<未成年編>

◆未成年編◆

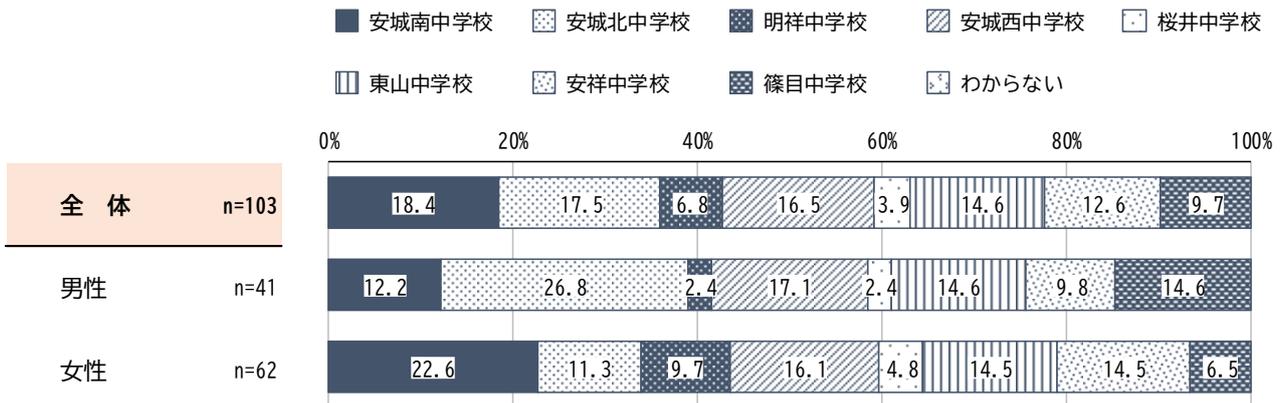
1 あなたご自身について

問1 性別はどちらですか。(1つに○)

n	上段:実数 下段:(%)	
	男性	女性
103	41	62
100.0	39.8	60.2

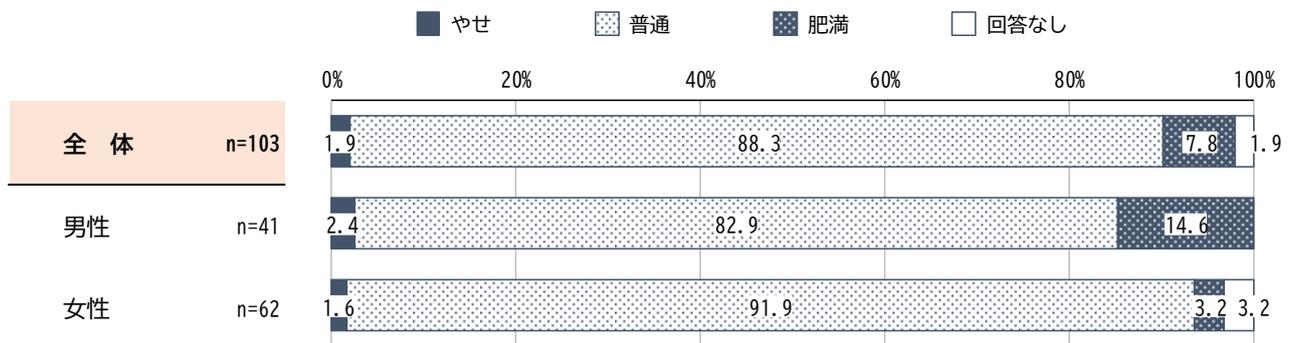
問2 お住まいの地区の中学校区をお答えください。(1つに○)

「安城南中学校」(18.4%)が最も多く、次いで「安城北中学校」(17.5%)、「安城西中学校」(16.5%)となっています。



問3 身長および体重を教えてください。*算用数字で記入 <肥満度：BMI判定>

肥満度では、「普通」(88.3%)が最も多く、次いで「肥満」(7.8%)、「やせ」(1.9%)となっています。

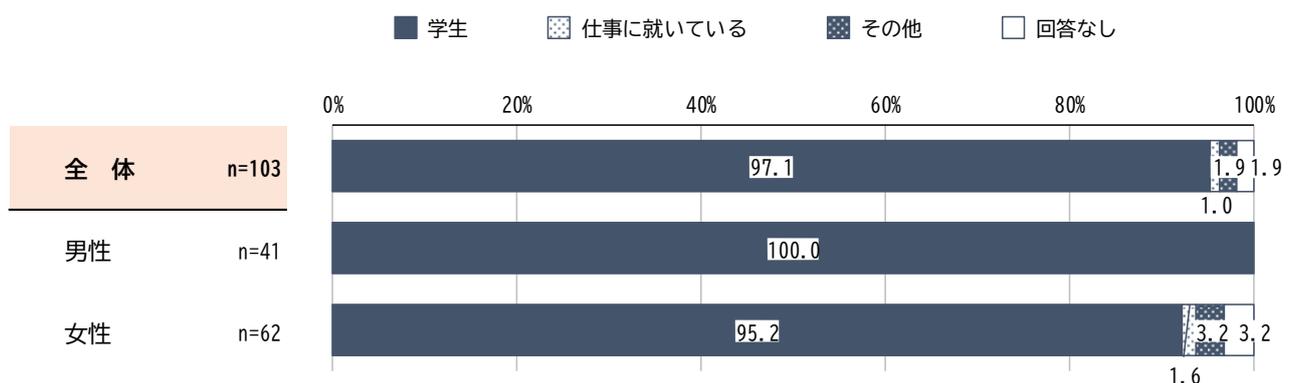


問4 同居している方を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

	n	父 (%)	母 (%)	兄 (%)	姉 (%)	弟 (%)	妹 (%)	祖父 (%)	祖母 (%)	その他の人 (%)	一人暮らし (%)
全体	103	82.5	96.1	25.2	29.1	28.2	24.3	13.6	16.5	2.9	-
男性	41	82.9	97.6	31.7	29.3	26.8	24.4	9.8	14.6	-	-
女性	62	82.3	95.2	21.0	29.0	29.0	24.2	16.1	17.7	4.8	-

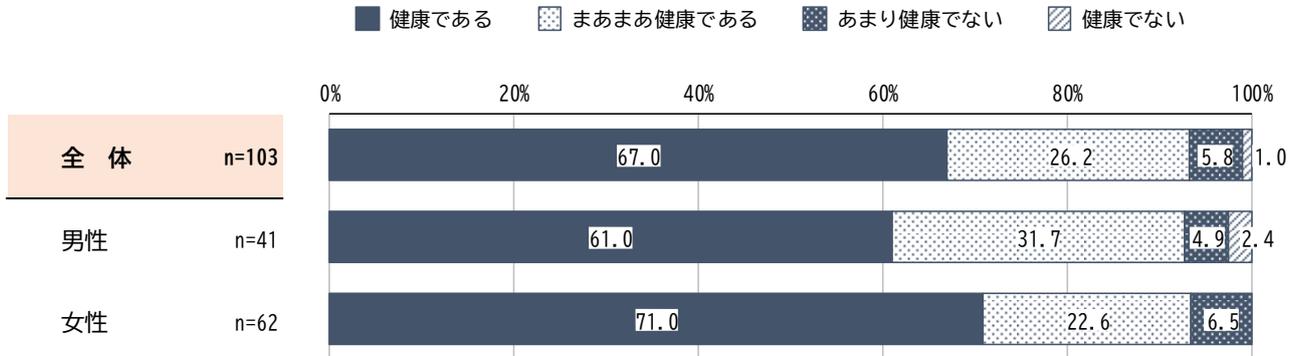
問5 あなたの現在を教えてください。(1つに○)

最も多かったのは「学生」で97.1%でした。



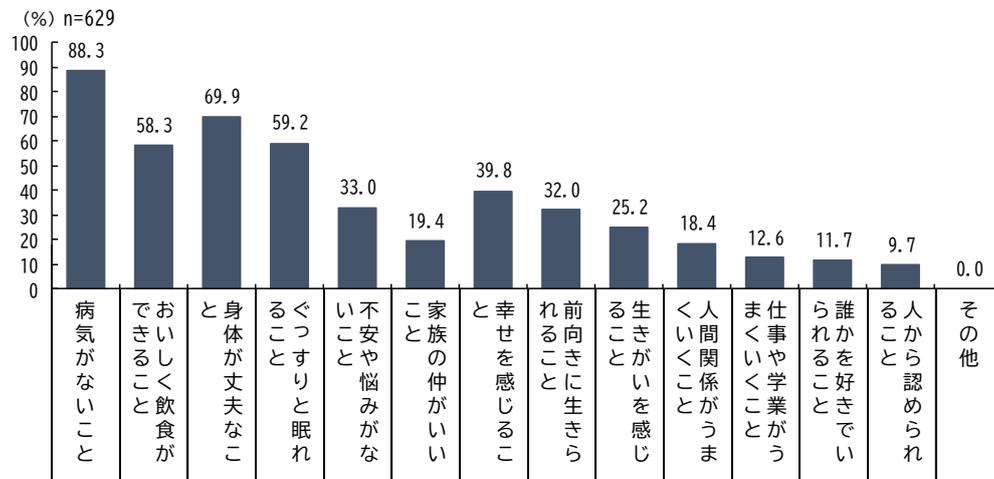
問6 今、あなたは健康だと思いますか（1つに○）

「健康である」（67.0%）が最も多く、次いで「まあまあ健康である」（26.2%）、「あまり健康でない」（5.8%）となっています。また、「健康だと思う」と「まあまあ健康だと思う」をあわせた“健康だと思う”は93.2%となっています。



問7 「健康」を判断する際に重視する項目はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

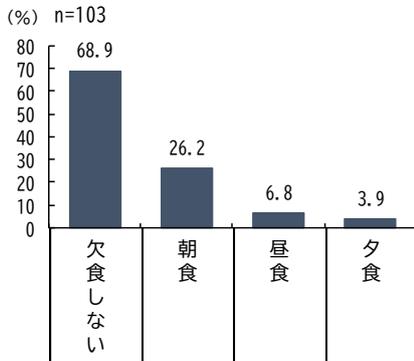
「病気がないこと」（88.3%）が最も多く、次いで「身体が丈夫なこと」（69.9%）、「ぐっすりと眠れること」（59.2%）となっています。



2 栄養・食生活について

問8 ふだん食事を抜くことがありますか。よく欠食する食事をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

「欠食しない」(68.9%)が最も多く、次いで「朝食」(26.2%)、「昼食」(6.8%)となっています。



	n	欠食しない (%)	朝食 (%)	昼食 (%)	夕食 (%)
全体	103	68.9	26.2	6.8	3.9
男性	41	75.6	22.0	7.3	-
女性	62	64.5	29.0	6.5	6.5

【2017年調査との比較】

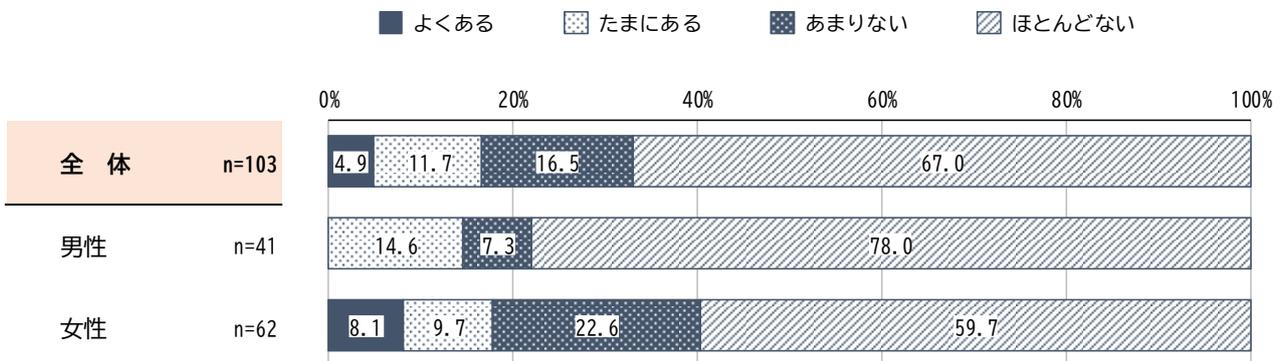
項目		2017年	2023年
朝食を欠食している人の割合	全体	6.0%	26.2%
	男性	6.9%	22.0%
	女性	4.5%	29.0%

※2017調査では「今日、朝食をたべましたか」の設問に「はい」「いいえ」で回答

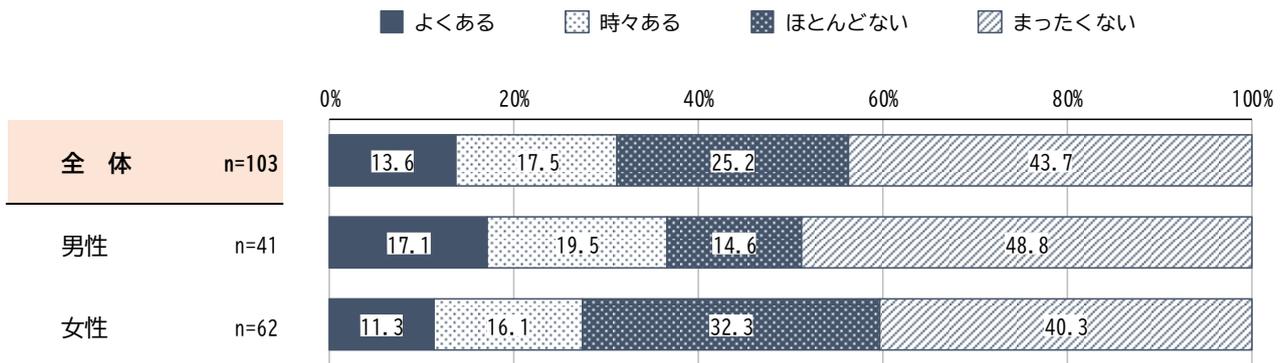
問9 菓子や嗜好飲料、サプリメント、栄養ドリンクのみで食事をすませることがありますか。
(1つに○)

※嗜好飲料：ジュース、アルコール、コーヒー、紅茶

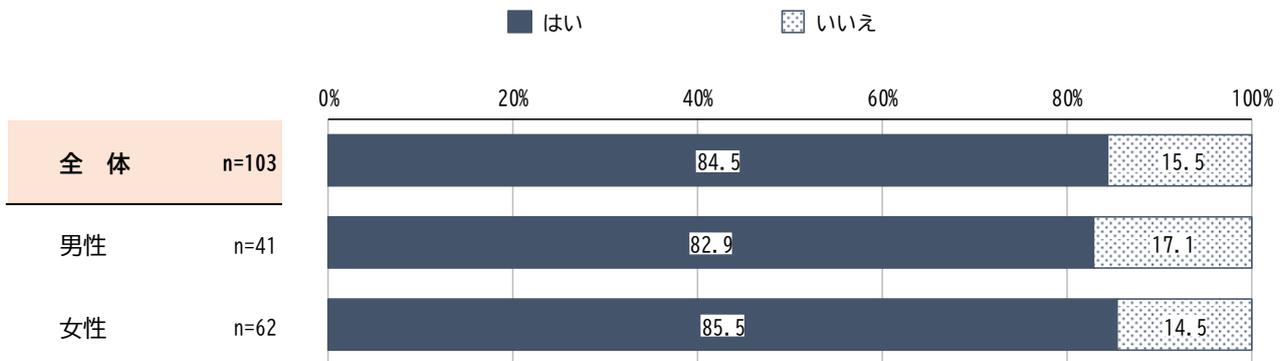
サプリメント：カルシウムなどのミネラルやビタミンを含んだ錠剤やカプセル、顆粒状にしたもの。



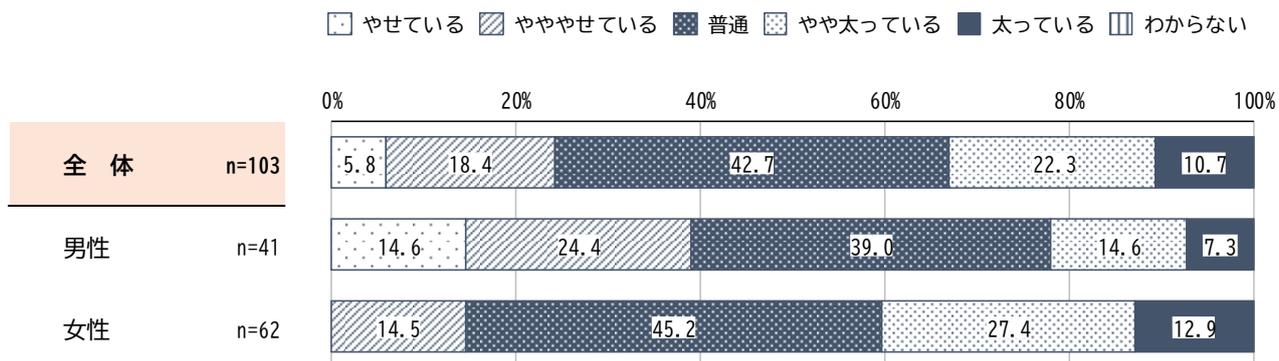
問10 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ありますか。(1つに○)



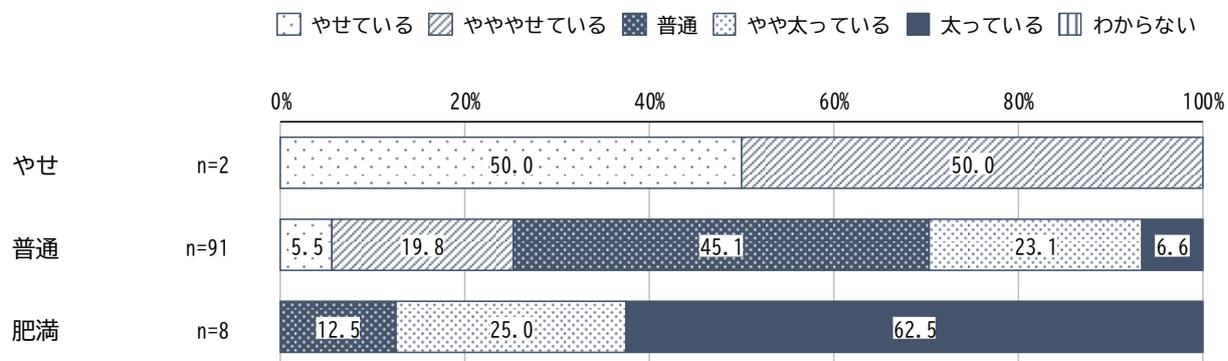
問11 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。(どちらかに○)



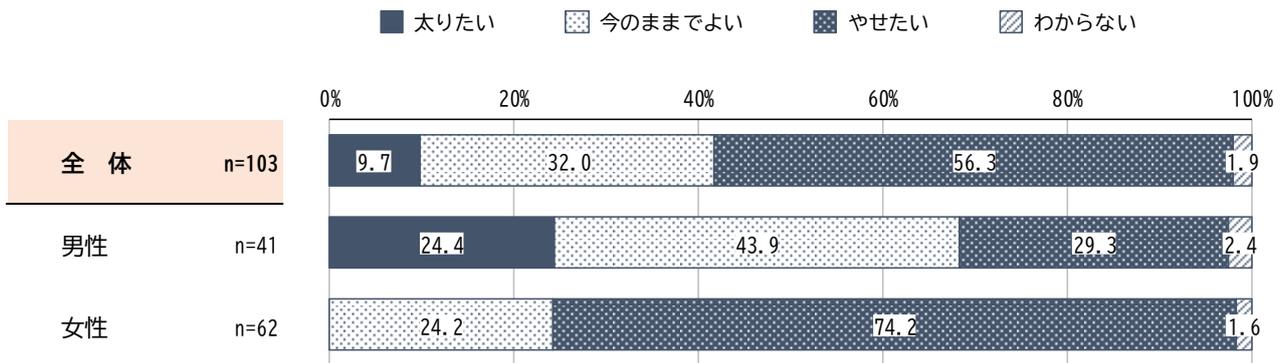
問12 今の自分の体型をどう感じていますか。(1つに○)



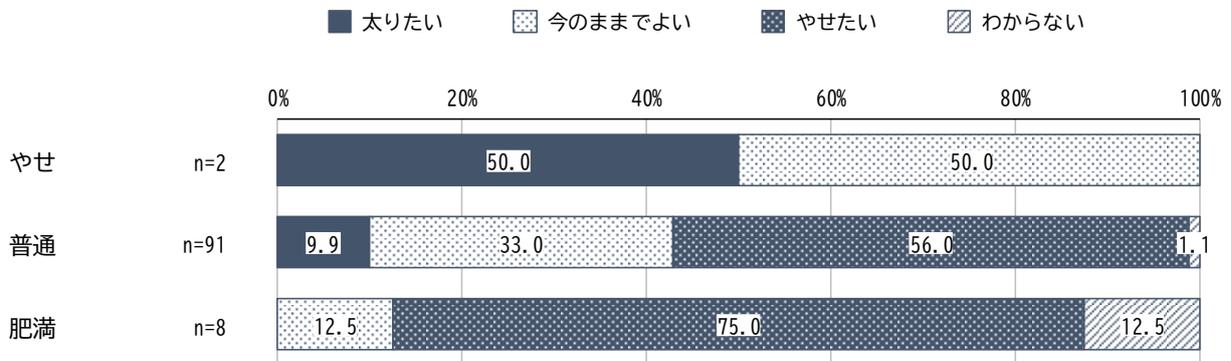
【BMI判定×今の自分の体型】問3×問12



問13 今後、自分の体型をどうしたいですか。(1つに○)



【BMI判定×今後の自分の体型】問3×問13

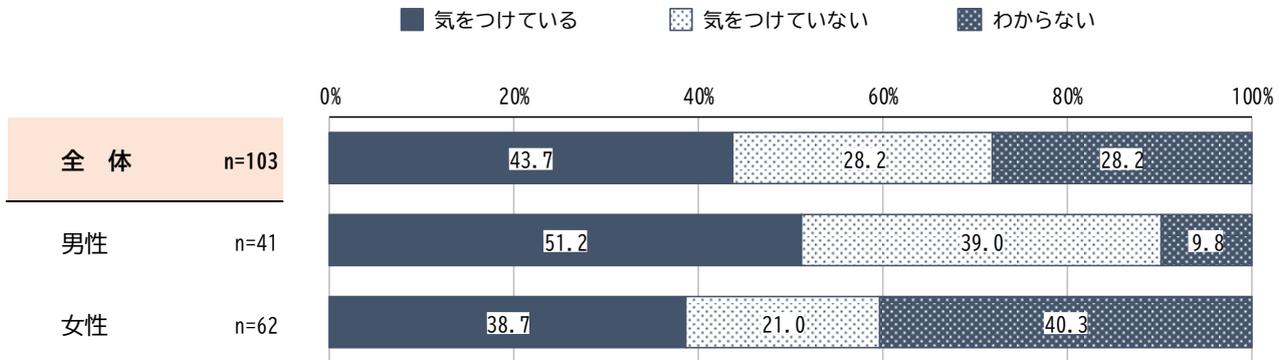


【2017年調査との比較】

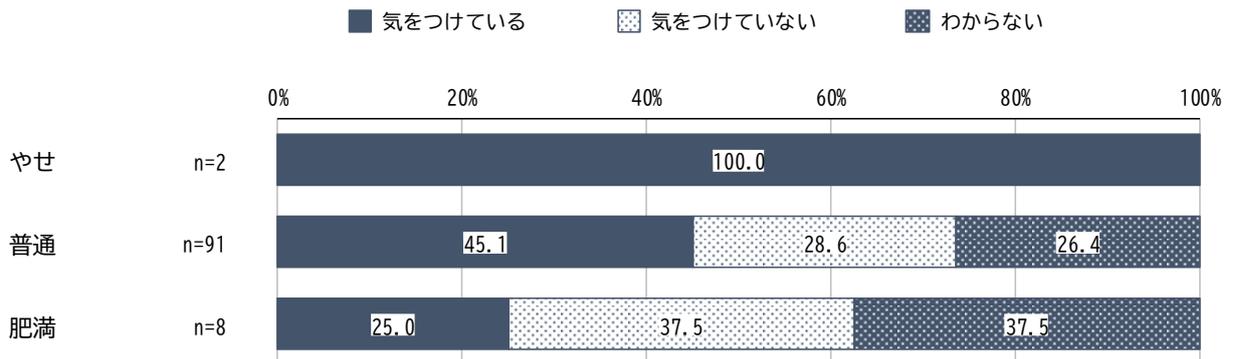
項目		2017年	2023年
やせている人で「やせたい」と思う人の割合	全体	14.7%	0.0%
	男性	0.0%	0.0%
	女性	27.8%	0.0%

問14 食事の時に、栄養のバランス（例：主食・主菜・副菜がそろうように意識している など）について気をつけていますか。（1つに○）

※主食：ごはん、パン、麺類など
 主菜：肉、魚、卵、大豆製品が主なおかず
 副菜：野菜、きのこ、海藻などが主なおかず



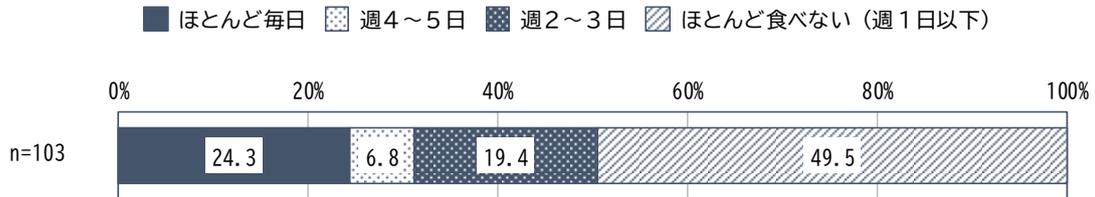
【BMI判定×栄養のバランスに気をつけているか】問3×問14



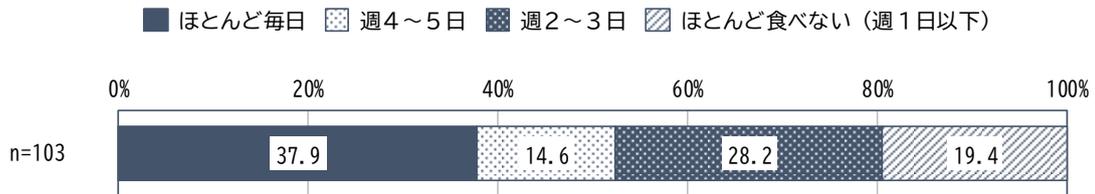
問15 あなたが野菜を主材料とした料理を食べる頻度はどのくらいですか。次の①から③のそれぞれの質問について教えてください。

※ここで言う野菜は、トマト、ほうれん草などの緑黄色野菜や、キャベツ、ナスなどのことです。イチゴ、メロンなどの果実類やじゃがいもなどのイモ類、シイタケなどのキノコ類、わかめなどの海藻類は除きます。

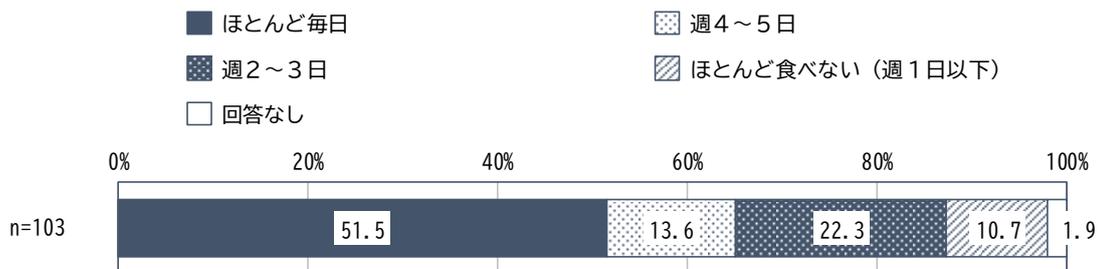
① 朝食（1つに○）



② 昼食（1つに○）

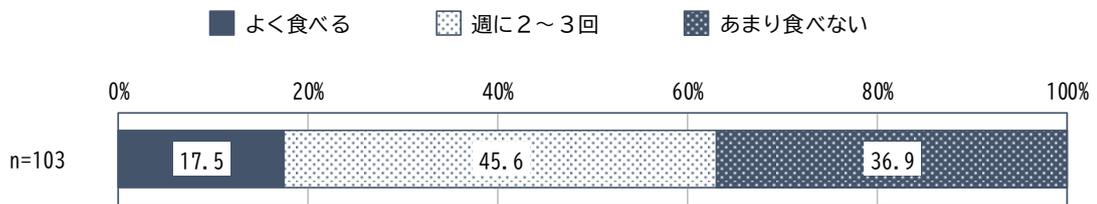


③ 夕食（1つに○）

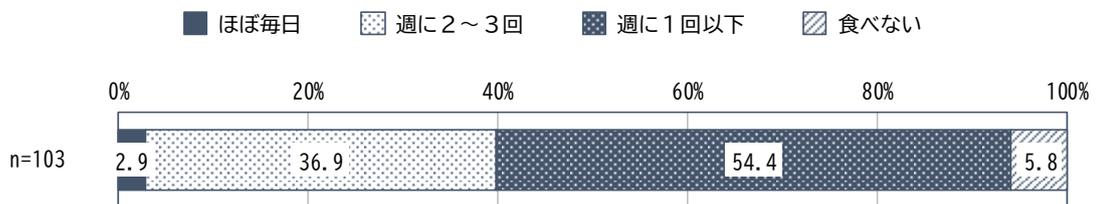


問16 あなたが次の食品を食べる頻度や利用状況等はどれくらいですか。次のアからカのそれぞれの質問について教えてください。

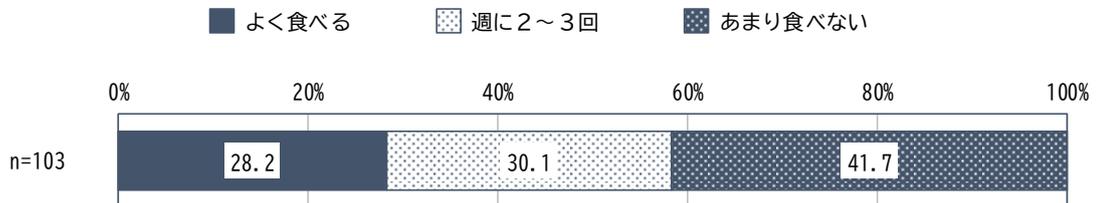
ア ハムやソーセージ（1つに○）



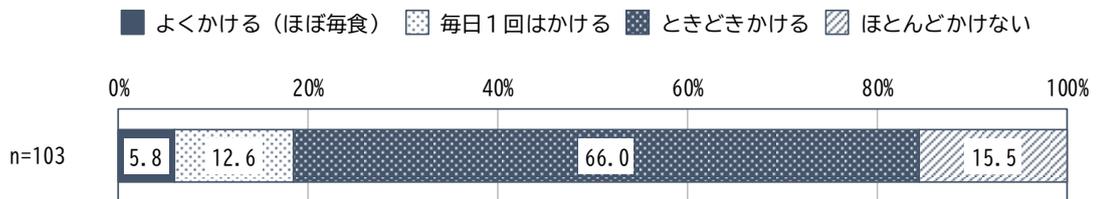
イ うどん、ラーメンなどの麺類（1つに○）



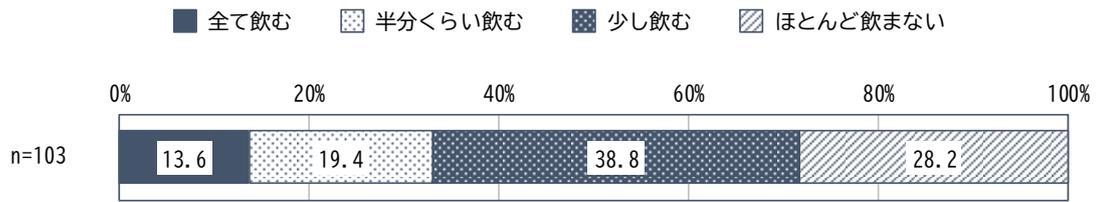
ウ 減塩食品・調味料（1つに○）



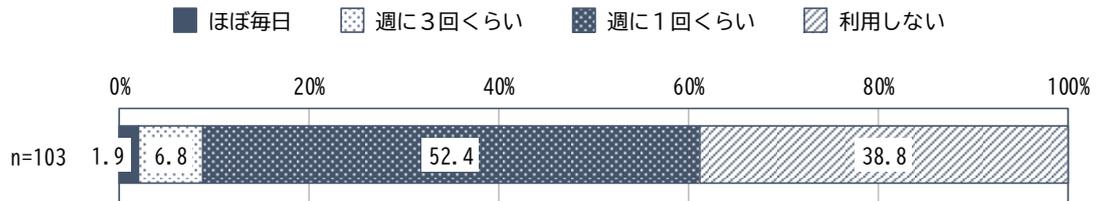
エ しょうゆやソースなどをかける頻度（1つに○）



オ うどん、ラーメンなどの汁（1つに○）



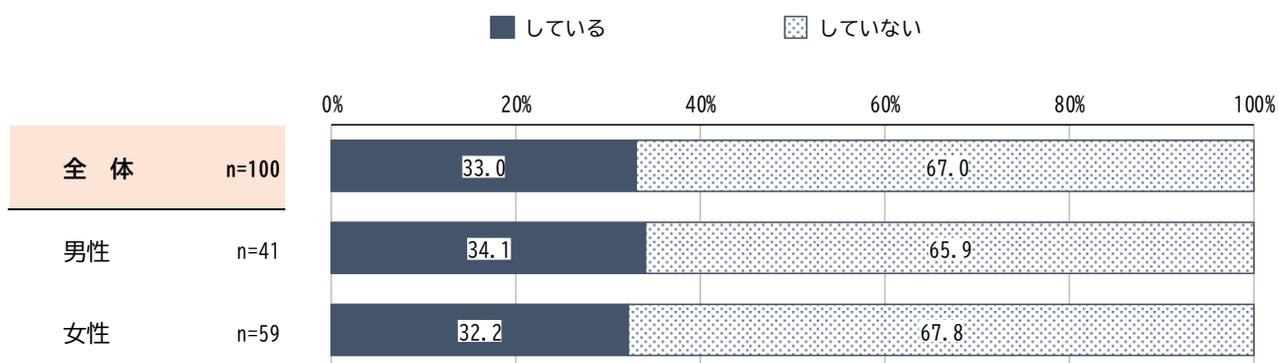
カ 昼食で外食やコンビニ弁当などの利用（1つに○）



3 身体活動・運動について

<学生の方は、この質問にお答えください。>

問17 学校での授業や部活動（または課外活動）のほかに、運動や体を使う遊びやスポーツをしていますか。（どちらかに○、「1 している」の方は日数をご記入ください）

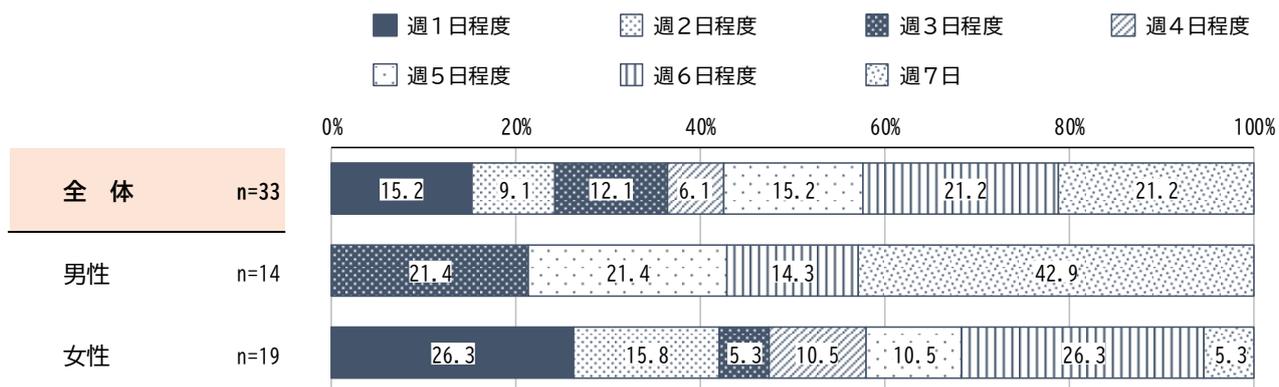


【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
学校での授業や部活動（または課外活動）以外でスポーツをしている人の割合	23.8%	33.0%

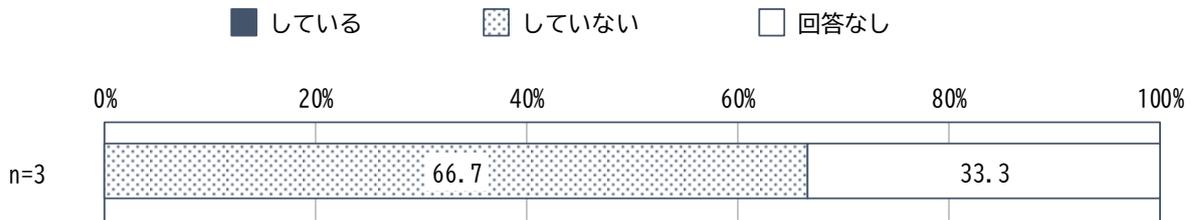
【頻度】

「週6日程度」(21.2%)、「週7日」(21.2%)が最も多く、次いで「週1日程度」(15.2%)、「週5日程度」(15.2%)となっています。



<学生以外の方は、この質問にお答えください。>

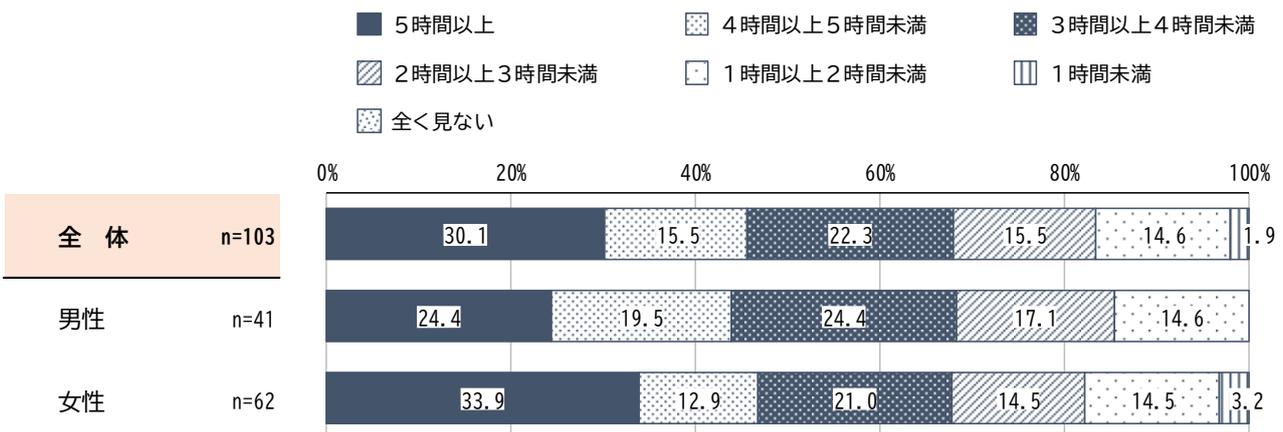
問18 スポーツをしていますか。(どちらかに○、「1 している」の方は日数をご記入ください)



<みなさんが、お答えください。>

問19 平日（月～金曜日）について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやD
VD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。（1つに○）

「5時間以上」（30.1%）が最も多く、次いで「3時間以上4時間未満」（22.3%）、「4時間以上5時間未満」（15.5%）「2時間以上3時間未満」（15.5%）「1時間以上2時間未満」（14.6%）となっています。



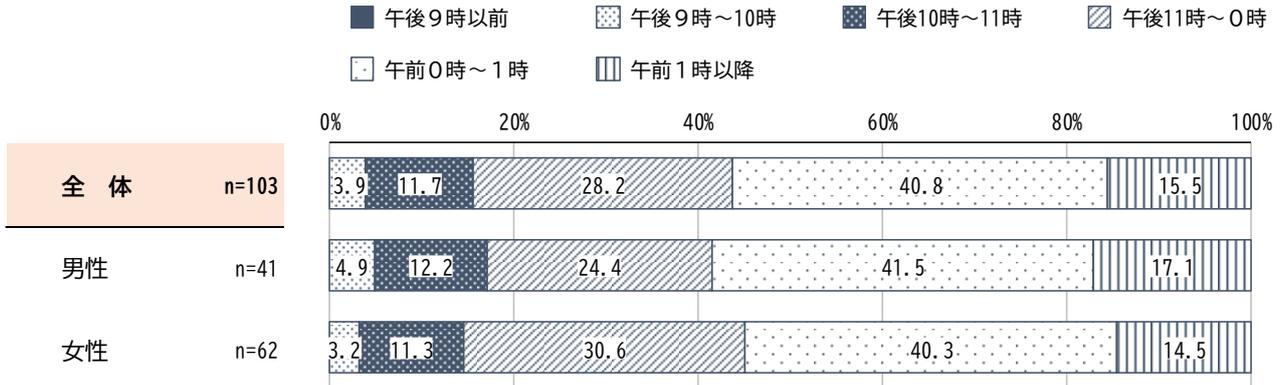
4 休養・こころの健康について

問20 いつも何時ごろに寝ますか。また、何時ごろに起きますか。

(24時間表記でご記入ください。例：午後9時⇒21時)

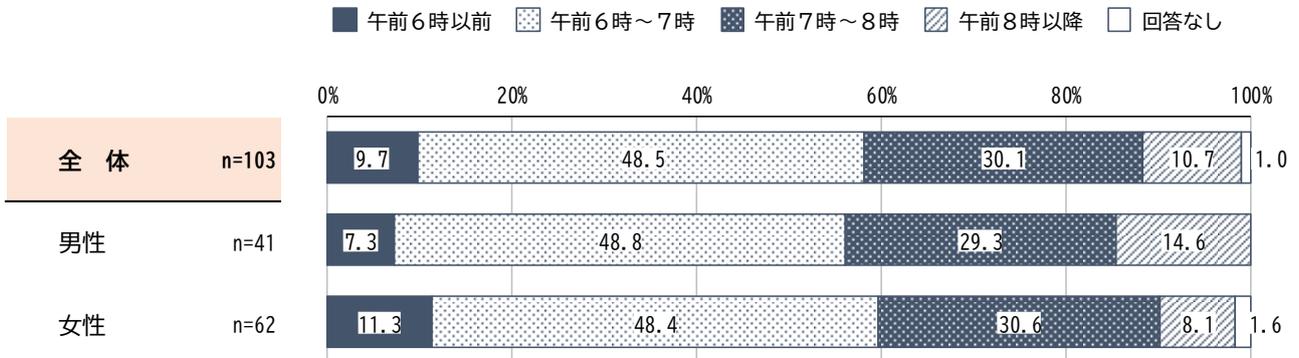
【就寝時間】

「午前0時～1時」(40.8%)が最も多く、次いで「午後11時～0時」(28.2%)、「午前1時以降」(15.5%)となっています。



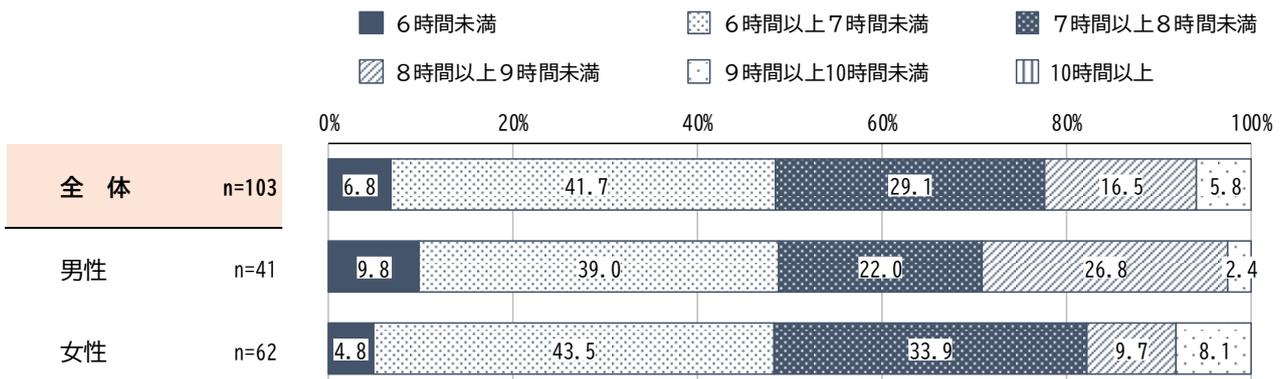
【起床時間】

「午前6時～7時」(48.5%)が最も多く、次いで「午前7時～8時」(30.1%)、「午前8時以降」(10.7%)となっています。



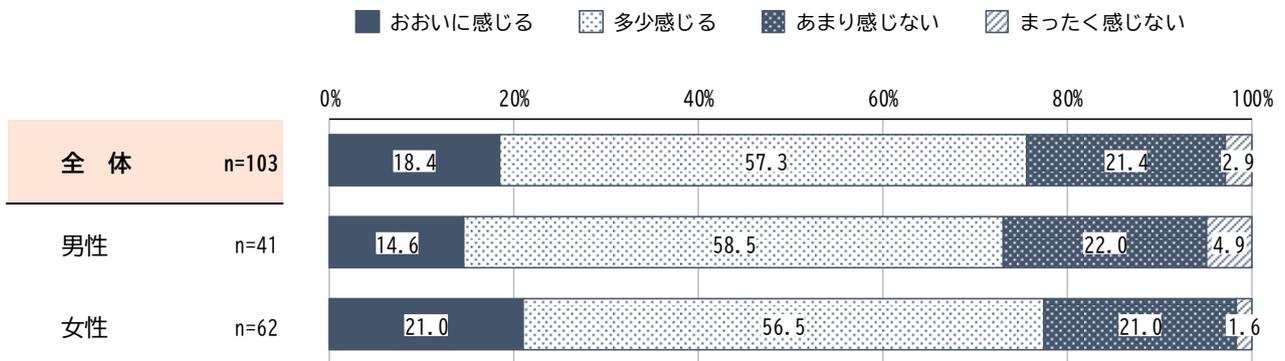
【睡眠時間】

「6時間以上7時間未満」(41.7%)が最も多く、次いで「7時間以上8時間未満」(29.1%)、「8時間以上9時間未満」(16.5%)となっています。

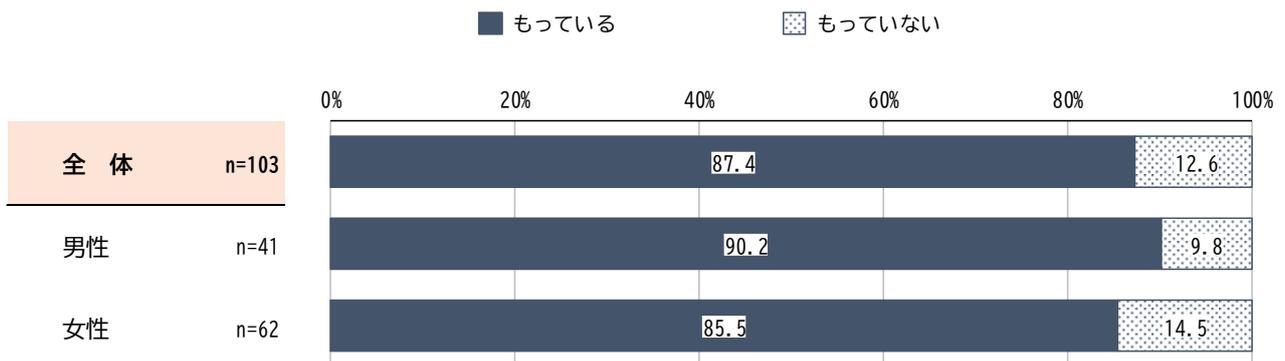


問21 ストレスを感じることがありますか。(1つに○)

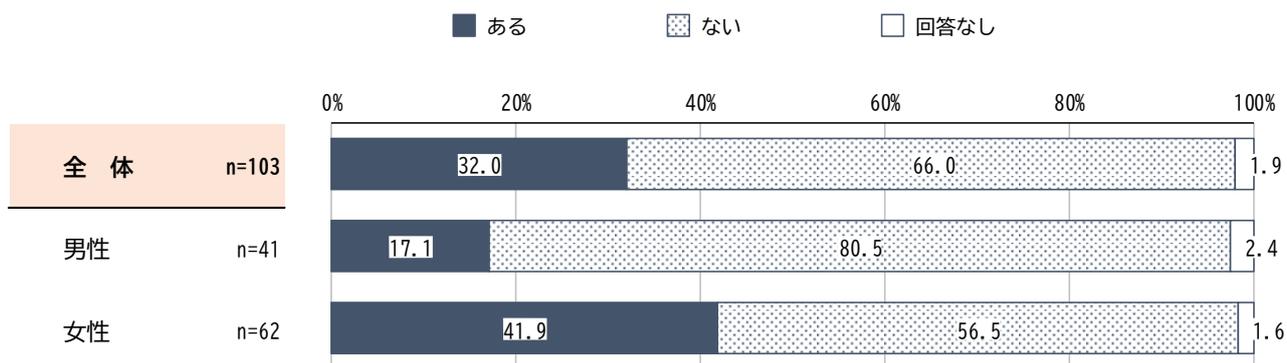
「多少感じる」(57.3%)が最も多く、次いで「あまり感じない」(21.4%)、「おおいに感じる」(18.4%)となっています。



問22 ストレスの発散方法をもっていますか。(どちらかに○)



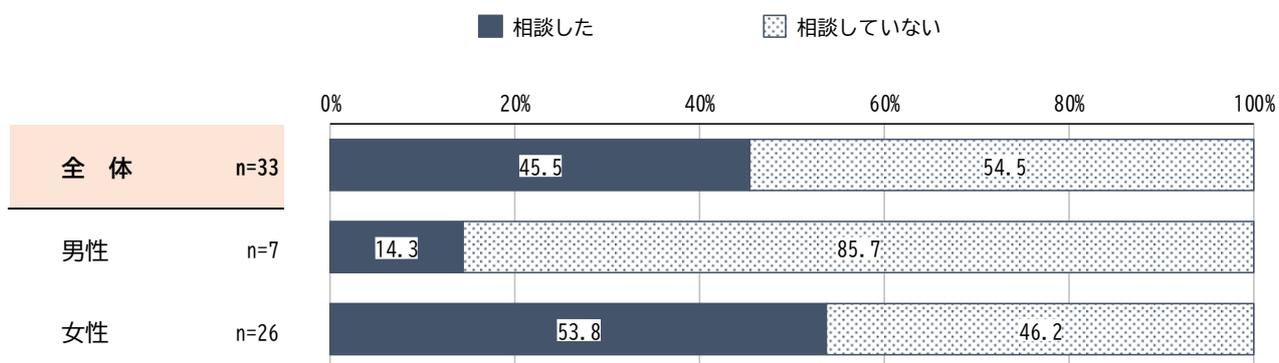
問23 ストレスが大きくて逃げ出したいと思うことがありますか。(どちらかに○)



【2017年調査との比較】

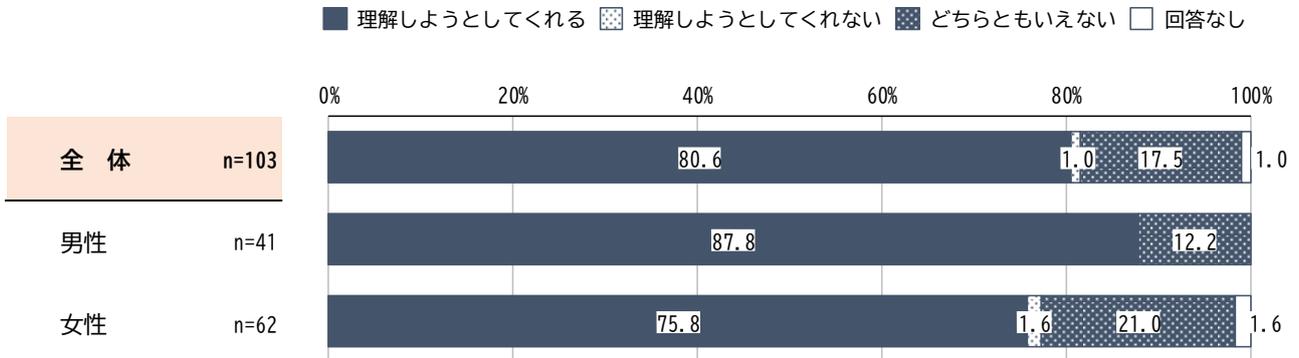
項目	2017年	2023年
逃げ出したい大きなストレスがある人の割合	22.8%	32.7%

問23-1 問23で「1 ある」と答えた方にお伺いします。
そのことをだれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。(どちらかに○)



問24 お父さんまたはお母さんは、あなたのことを理解しようとしてくれますか。(1つに○)

「理解しようとしてくれる」(80.6%)が最も多く、次いで「どちらともいえない」(17.5%)、「理解しようとしてくれない」(1.0%)となっています。

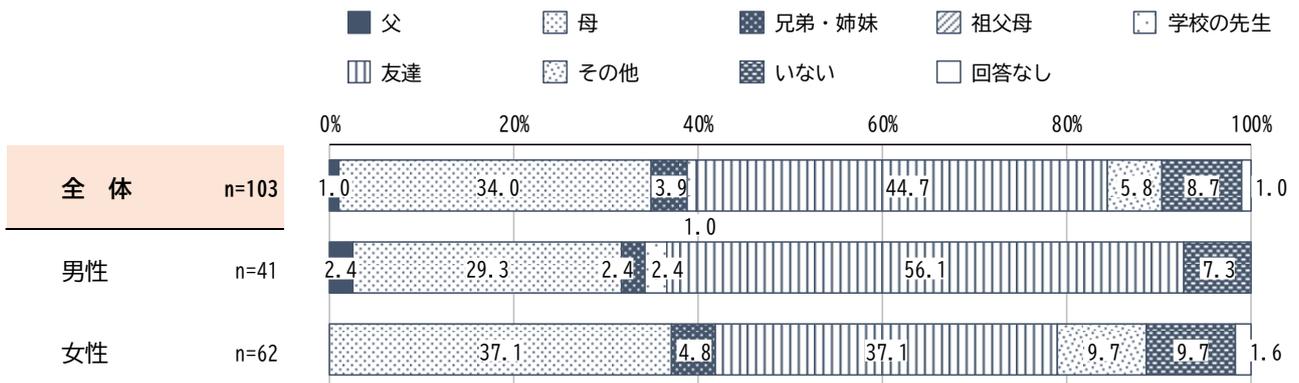


【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
お父さんまたはお母さんが理解しようとしてくれる人の割合	78.9%	81.4%

問25 最初に悩みを相談するのはだれですか。(1つに○)

「友達」(44.7%)が最も多く、次いで「母」(34.0%)、「いない」(8.7%)となっています。

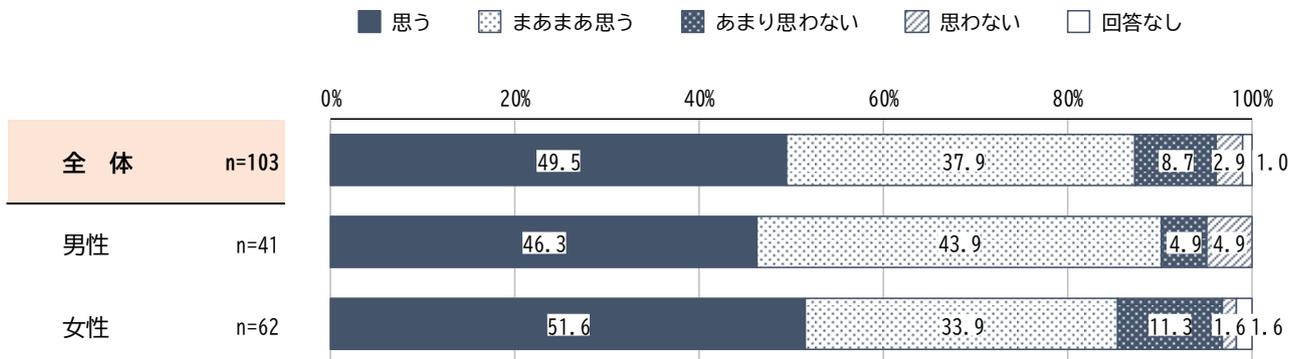


【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
相談できる人がいない人の割合	8.1%	8.8%

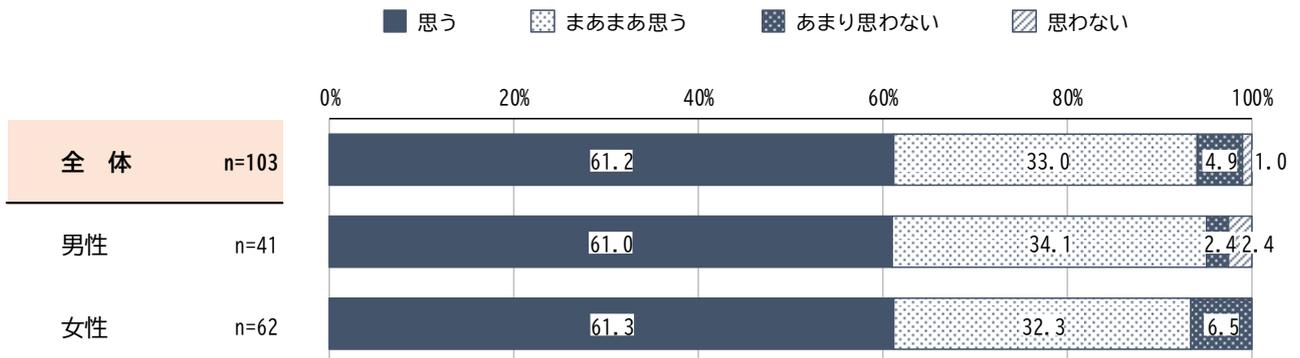
問26 自分のことを大切に思いますか。(1つに○)

「思う」(49.5%)が最も多く、次いで「まあまあ思う」(37.9%)、「あまり思わない」(8.7%)となっています。



問27 自分のことを家族が大切に思っていると思いますか。(1つに○)

「思う」(61.2%)が最も多く、次いで「まあまあ思う」(33.0%)、「あまり思わない」(4.9%)となっています。



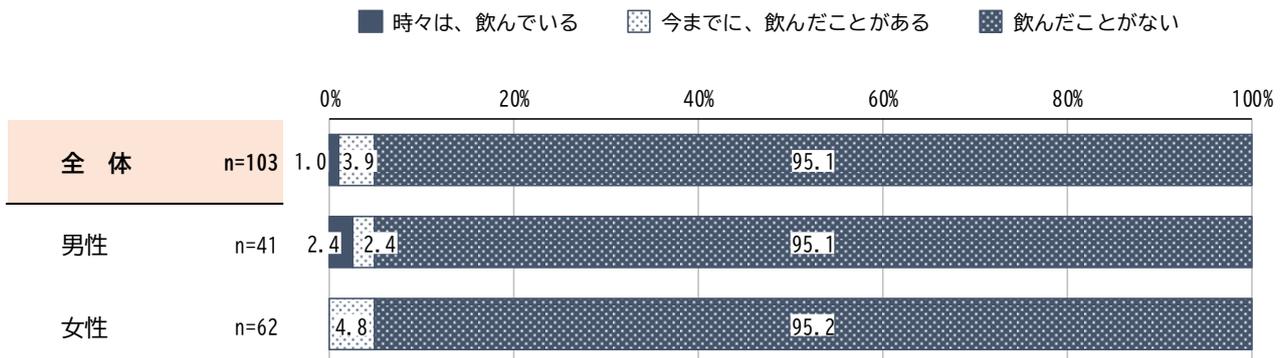
5 たばこ・アルコールについて

問28 たばこを吸ったことがありますか。(1つに○)

「吸ったことがない」が100%となっています。

問29 お酒を飲んだことがありますか。(1つに○)

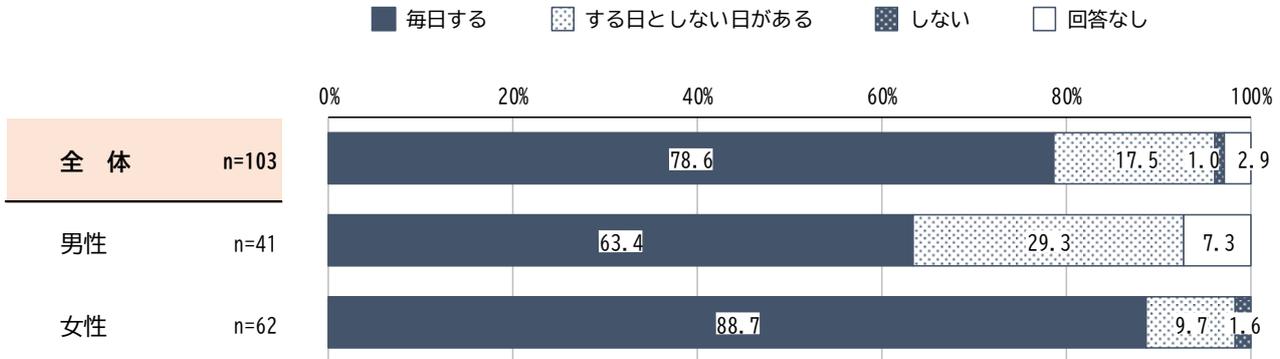
「飲んだことがない」(95.1%)が最も多く、次いで「今までに、飲んだことがある」(3.9%)、「時々、飲んでいる」(1.0%)となっています。



6 歯の健康について

問30 歯みがきをしますか。(1つに○)

「毎日する」(78.6%)が最も多く、次いで「する日としない日がある」(17.5%)、「しない」(1.0%)となっています。



【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
毎日、歯をみがいている人の割合	91.9%	81.0%

問30-1 問30で「1 毎日する」、「2 する日としない日がある」と答えた方にお伺いします。いつ歯みがきをしますか。(あてはまるものすべてに○)

「就寝前」(69.7%)が最も多く、次いで「朝食後」(67.7%)、「夕食後」(27.3%)となっています。

	n	朝食前 (%)	朝食後 (%)	昼食後 (%)	夕食後 (%)	就寝前 (%)	その他 (%)	回答なし (%)
全体	99	16.2	67.7	12.1	27.3	69.7	2.0	1.0
男性	38	18.4	57.9	7.9	28.9	63.2	-	-
女性	61	14.8	73.8	14.8	26.2	73.8	3.3	1.6

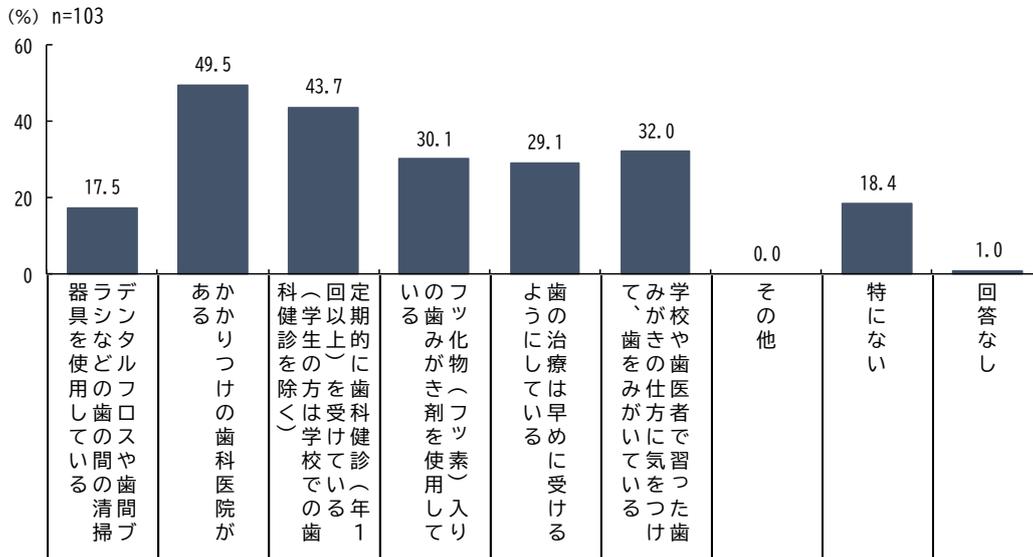
【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
1日2回以上歯をみがく人の割合	80.4%	77.8%

※分母は歯みがきの状況に回答があった全数(「毎日する」「する日としない日がある」「しない」の計)

問31 歯や口の健康管理として行っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「かかりつけの歯科医院がある」(49.5%)が最も多く、次いで「定期的に歯科健診(年1回以上)を受けている(学生の方は学校での歯科健診を除く)」(43.7%)、「学校や歯医者で習った歯みがきの仕方に気をつけて、歯をみがいている」(32.0%)となっています。



【2017年調査との比較】

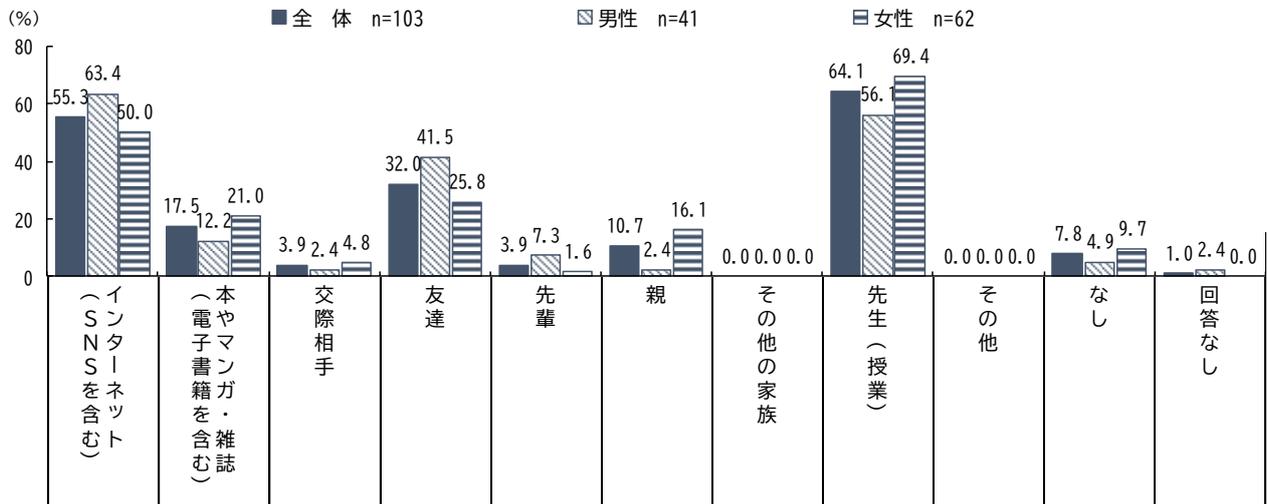
項目	2017年	2023年
デンタルフロスや歯間ブラシなどの歯の間の清掃器具を使用している人の割合	18.2%	17.6%
かかりつけの歯科医院がある人の割合	62.2%	50.0%
定期的に歯科健診(年1回以上)を受けている人の割合(学生の方は学校での歯科健診を除く)	35.8%	44.1%
フッ化物(フッ素)入りの歯みがき剤を使用している人の割合	45.3%	30.4%
歯の治療は早めに行っている人の割合	31.8%	29.4%
歯の管理は特にしていない人の割合	1.4%	18.6%

7 性について

問32 性に関する情報（体に関すること、避妊など）を何から得ていますか。

（あてはまるものすべてに○）

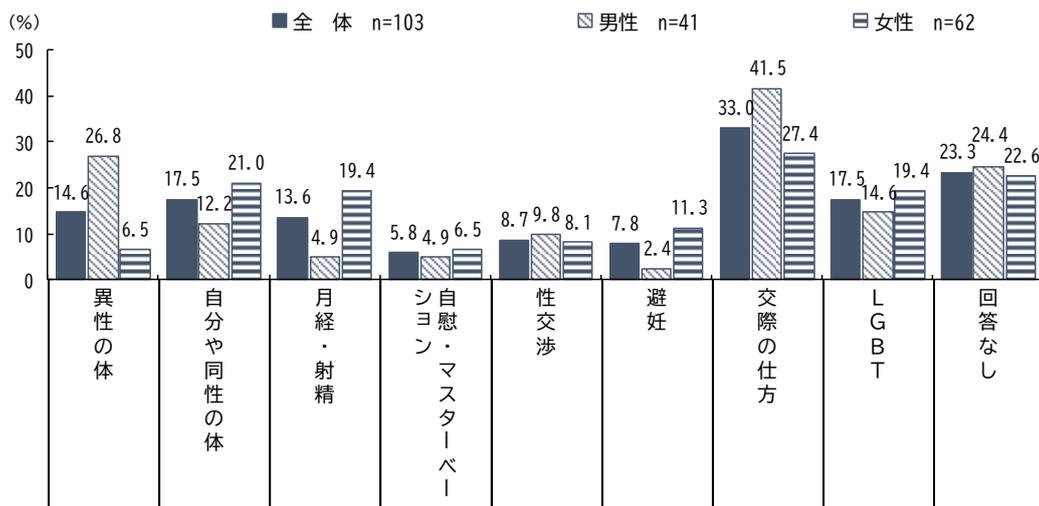
「先生（授業）」（64.1%）が最も多く、次いで「インターネット（SNSを含む）」（55.3%）、
「友達」（32.0%）となっています。



問33 性に関することで気になっていること、悩んでいることはありますか。

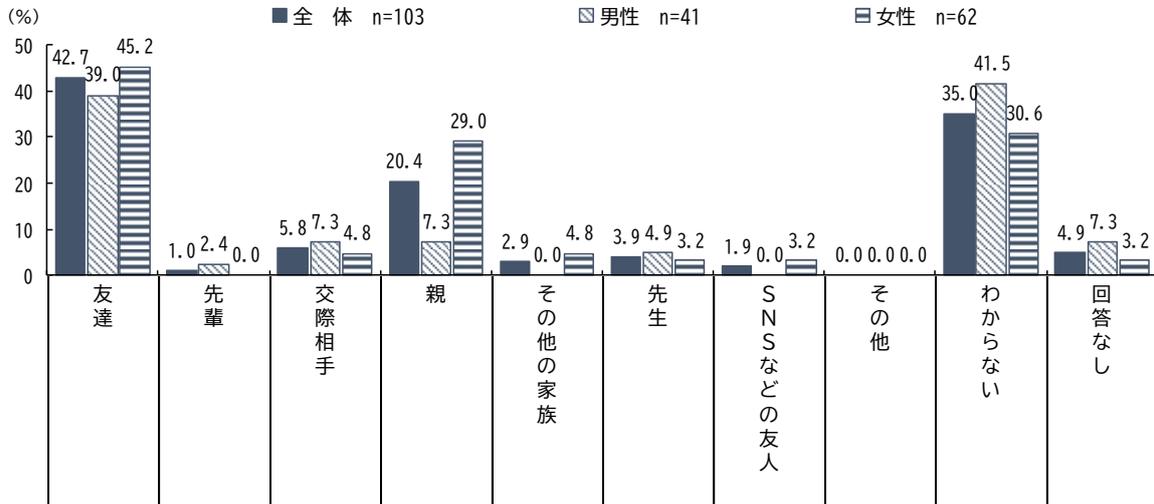
（あてはまるものすべてに○）

「交際の仕方」（33.0%）が最も多く、次いで「自分や同性の体」（17.5%）、
「LGBT」（17.5%）となっています。

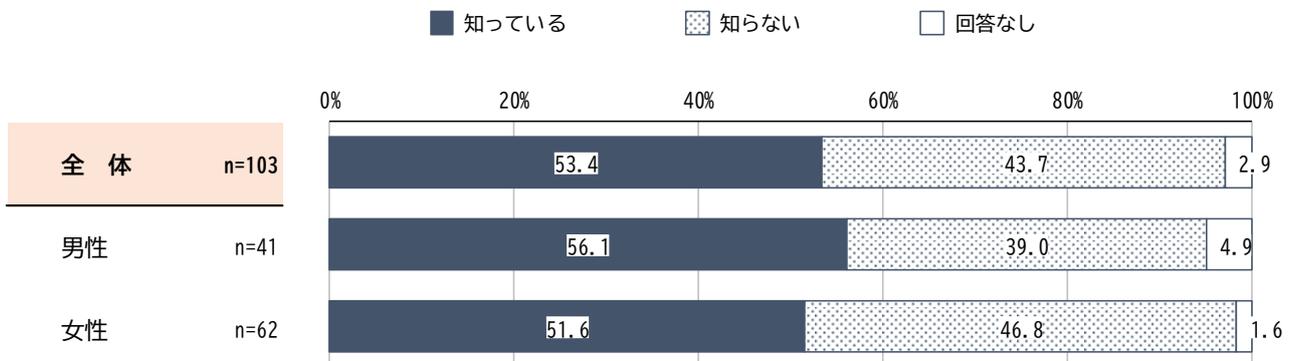


問34 「問33」のような性に関することで困ったとき、だれに相談したいと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「友達」(42.7%)が最も多く、次いで「わからない」(35.0%)、「親」(20.4%)となっています。



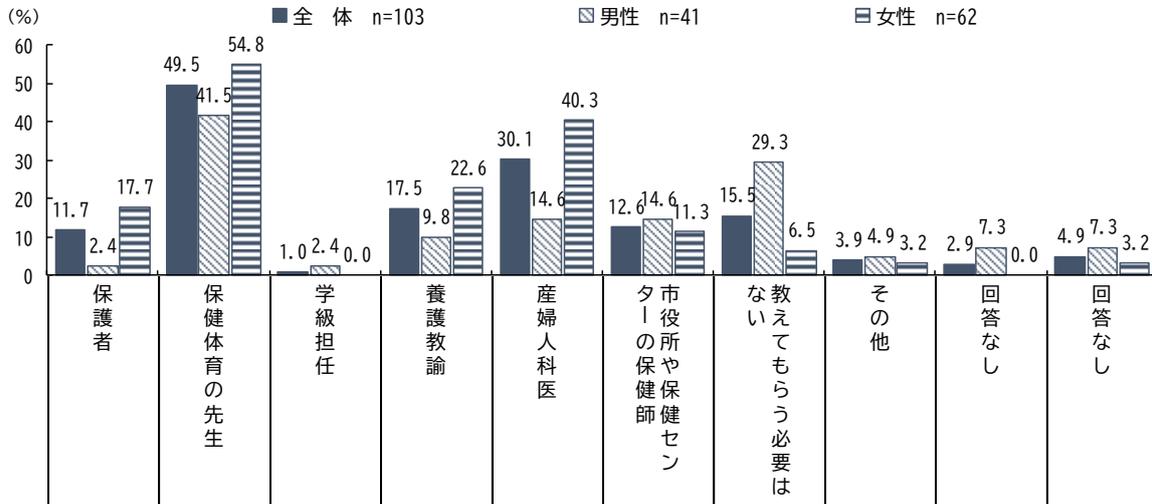
問35 妊娠するのに適した年齢があることを知っていますか。(どちらかに○)



問36 あなたはこのような性に関する情報を誰から教えてもらいたいですか。

(あてはまるものすべてに○)

「保健体育の先生」(49.5%)が最も多く、次いで「産婦人科医」(30.1%)、「養護教諭」(17.5%)となっています。





Ⅲ 調査結果

<児童・生徒編>

◆児童・生徒編◆

1 あなたご自身について

【小3・小6・中3（問1）】性別はどちらですか。（1つに○）

(n: 件数、表内: %)

	n	男子	女子	わからない	回答なし
小学3年生	551	49.7	49.5	0.5	0.2
小学6年生	616	47.7	50.6	-	1.6
中学3年生	241	49.4	49.8	0.8	-

【小3・小6・中3（問2）】お住まいの地区の中学校区をお答えください。
（1つに○）あわせて、お住まいの町名をお答えください。

居住地区は、「安城北中学校」（17.4%）が最も多く、次いで「安城西中学校」（13.6%）、「東山中学校」（13.3%）となっています。

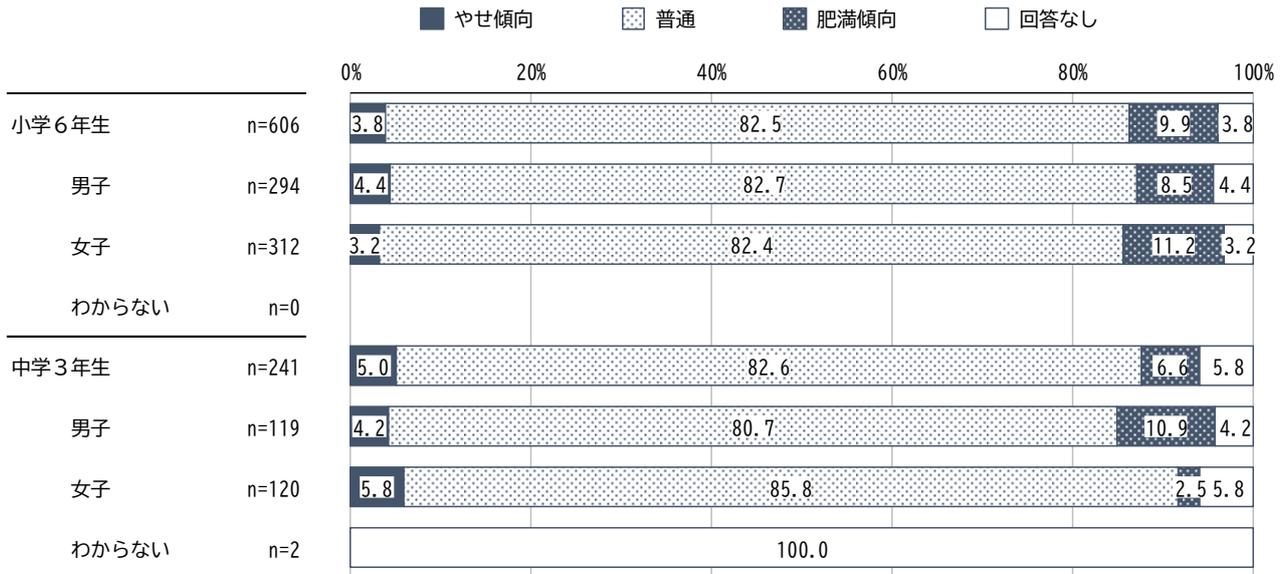
(n: 件数、表内: %)

	n	安城南中学校	安城北中学校	明祥中学校	安城西中学校	桜井中学校	東山中学校	安祥中学校	篠目中学校	わからない	回答なし
全 体	1,408	13.1	17.4	9.0	13.6	10.3	13.3	8.9	11.8	0.9	1.6
小学3年生	551	14.7	17.8	10.0	13.4	10.2	12.5	6.9	11.6	1.8	1.1
小学6年生	616	13.8	18.3	6.5	13.3	8.9	15.1	9.3	11.9	0.3	2.6
中学3年生	241	7.9	14.1	13.3	14.9	14.1	10.4	12.9	12.0	-	0.4

【小6・中3（問3）】身長および体重を教えてください。
 <肥満度判定：学校保健統計調査方式による肥満度>

※学校保健統計調査方式による肥満度=（実測体重-標準体重）÷標準体重×100

肥満度	判定
-20%以下	やせ傾向
-20~20%未満	普通
20%以上	肥満傾向



【小3（問3）、小6・中3（問4）】
同居している人を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

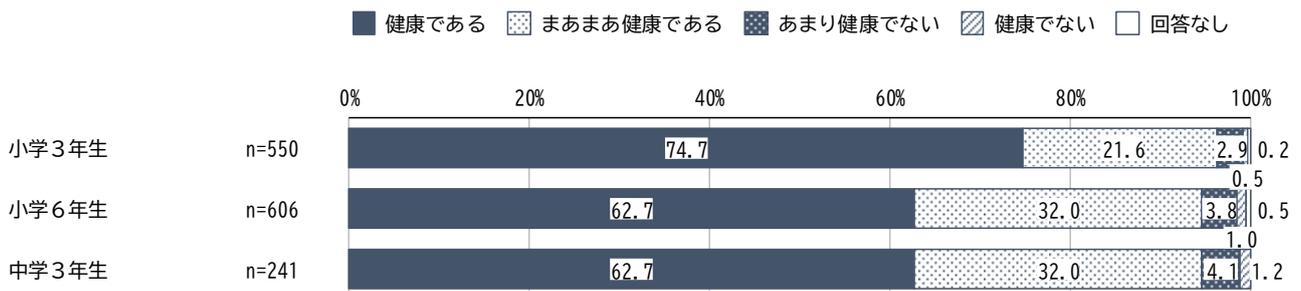
各学年ともに「母」が最も多く、次いで「父」、「兄・姉」となっています。

(n=件数、表内：%)

	n	父	母	祖父	祖母	兄・姉	弟・妹	その他	回答なし
小学3年生	550	91.6	98.5	12.5	16.0	53.1	44.0	2.4	-
小学6年生	606	88.8	97.2	13.4	17.2	51.2	46.7	3.5	0.5
中学3年生	241	90.9	96.7	10.8	14.9	49.4	44.4	5.4	-

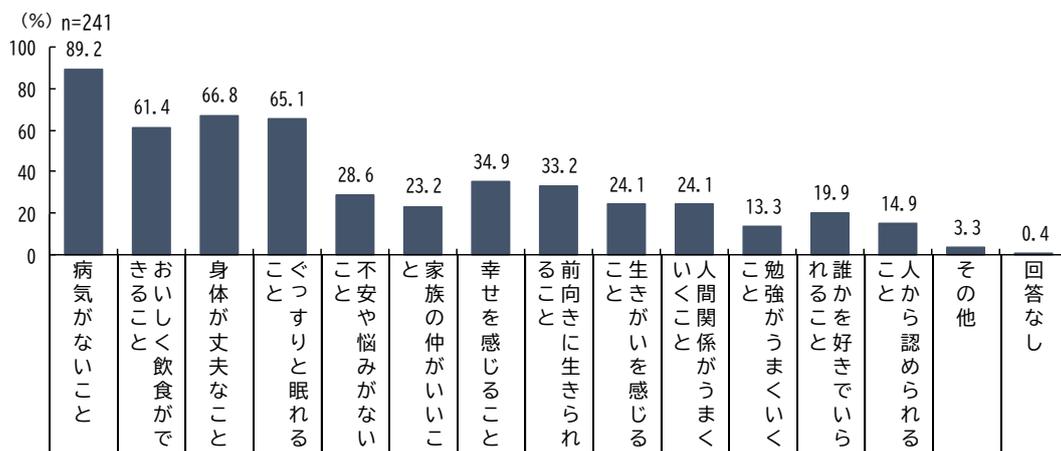
【小3（問4）、小6・中3（問5）】今、あなたは健康（元気）だと思いますか（1つに○）

小学3年生で「健康である」が74.7%となっています。小学6年生、中学3年生ともに「健康である」は62.7%となっています。



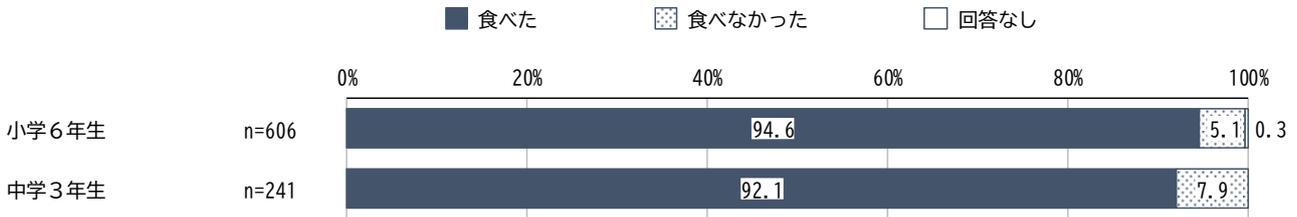
【中3（問6）】
「健康である」と判断する際に重視する項目はどれですか。（あてはまるものすべてに○）

「病気がないこと」(89.2%)が最も多く、次いで「身体が丈夫なこと」(66.8%)、「ぐっすりと眠れること」(65.1%)となっています。



2 栄養・食生活について

【小6（問6）、中3（問7）】今日、朝食を食べましたか。（どちらかに○）

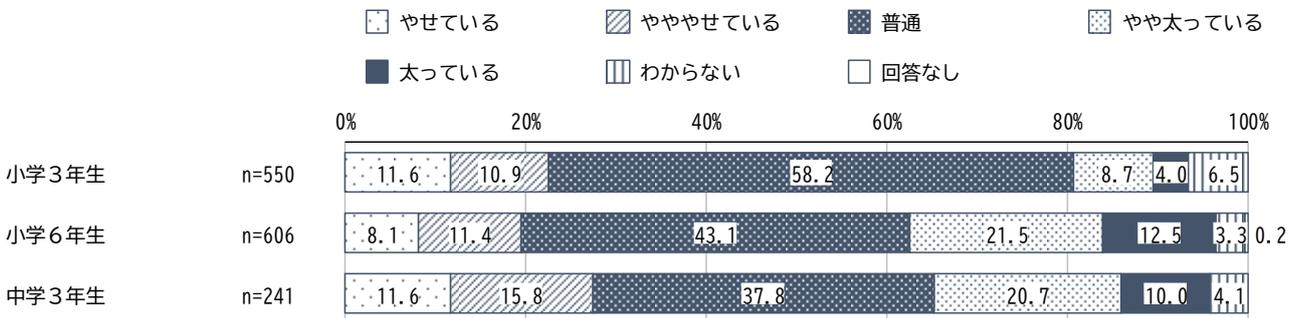


【2017年調査との比較】

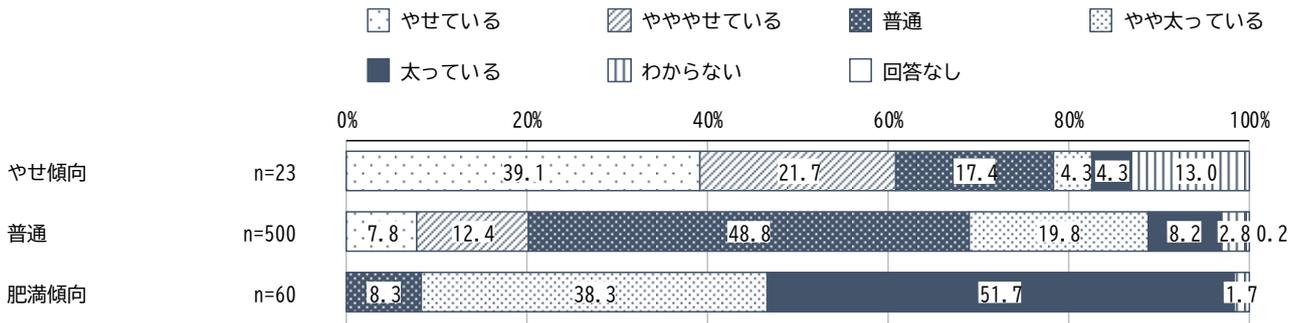
項目		2017年	2023年
朝食をとっていない子の割合	小6	4.5%	5.1%
	中3	8.7%	7.9%

【小3（問5）、小6（問7）、中3（問8）】今の自分の体型をどう感じていますか。（1つに○）

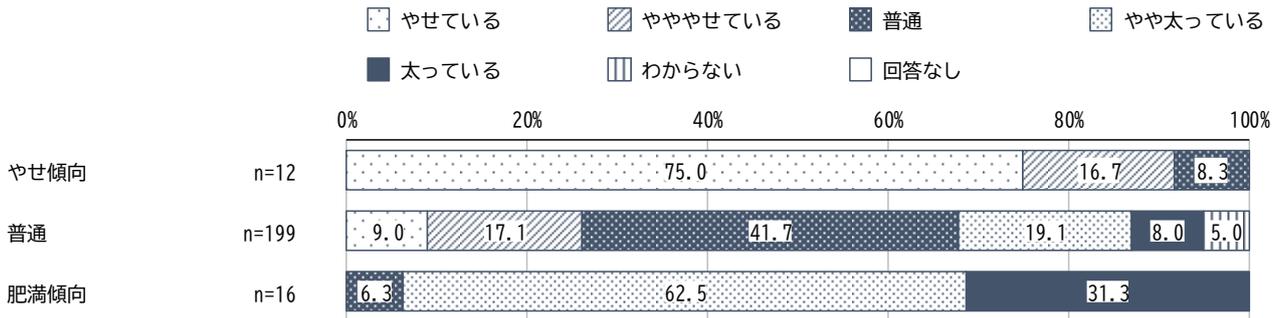
各学年ともに「普通」が最も多くなっています。小学6年生、中学3年生では「太っている」と「やや太っている」をあわせた“太っている”が3割以上と多くなっています。



【学校保健統計調査方式による肥満度×今の自分の体型】問3×(小6)問7

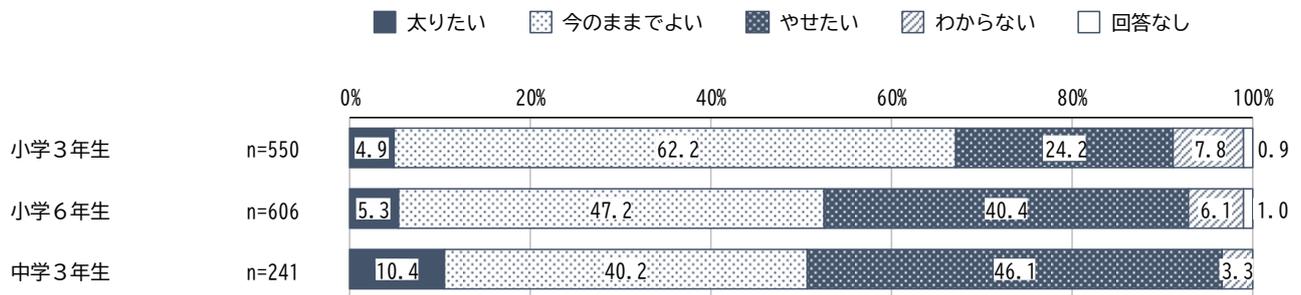


【学校保健統計調査方式による肥満度×今の自分の体型】問3×(中3)問8

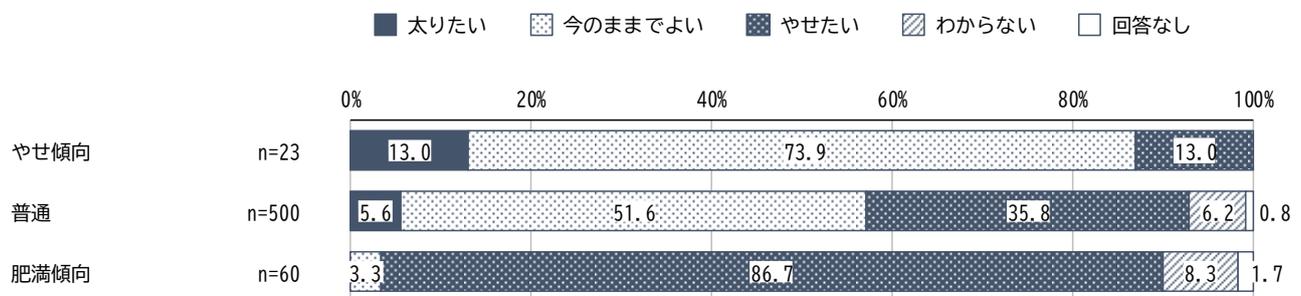


【小3（問6）、小6（問8）、中3（問9）】今後、自分の体型をどうしたいですか。（1つに○）

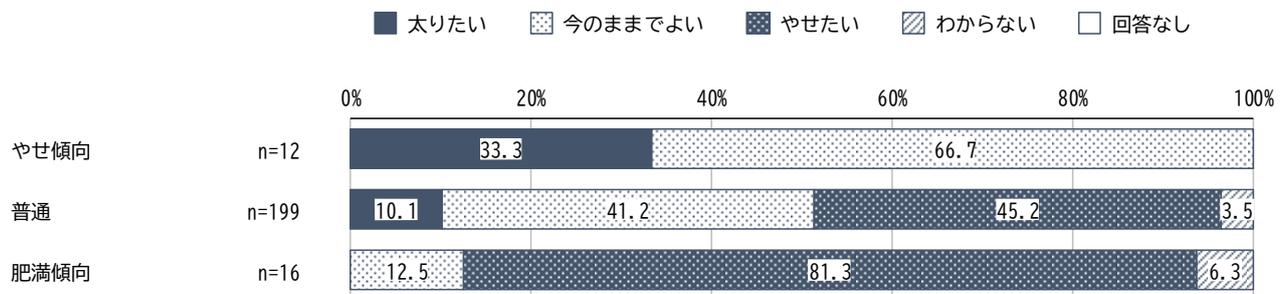
小学3年生、小学6年生では「今のままでよい」が最も多く、中学3年生では「やせたい」が最も多くなっています。



【学校保健統計調査方式による肥満度×今後の自分の体型】問3×（小6）問8



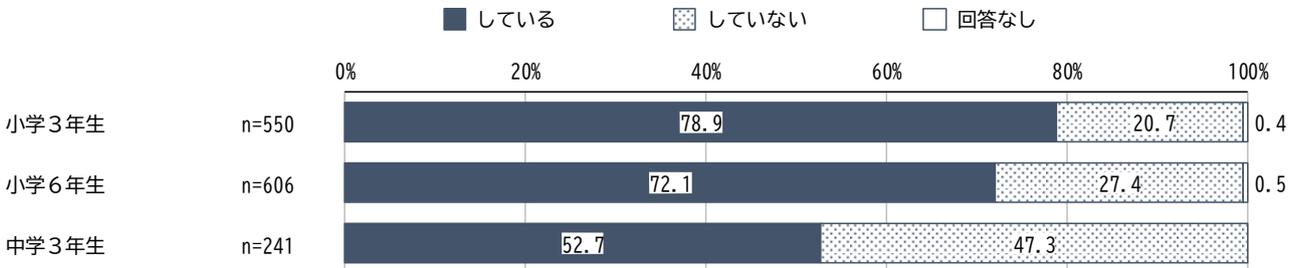
【学校保健統計調査方式による肥満度×今後の自分の体型】問3×（中3）問9



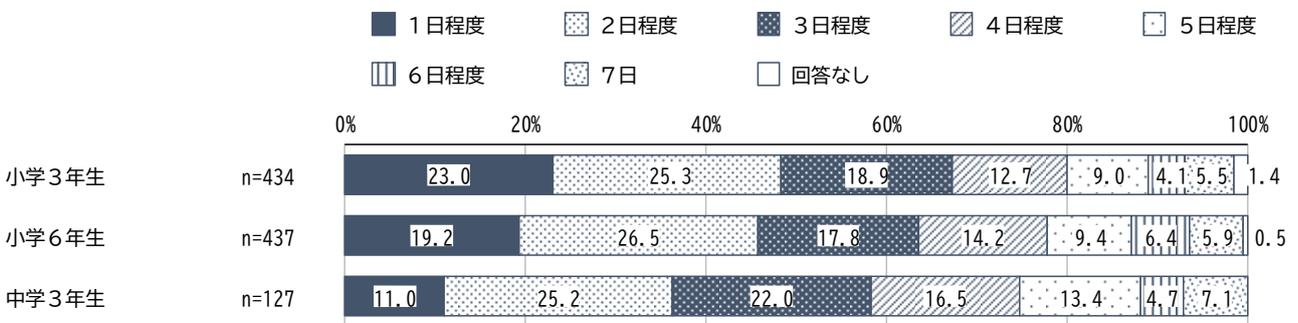
3 身体活動・運動について

【小3（問7）、小6（問9）、中3（問10）】

学校での授業や部活動（または課外活動）のほかに、運動や体を使う遊びやスポーツをしていますか。（どちらかに○、「1 している」の人は日数をご記入ください）



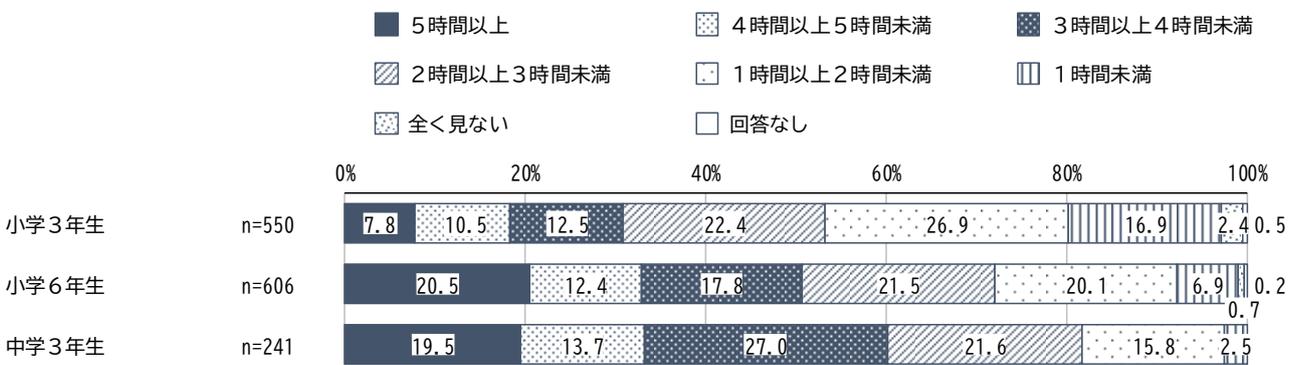
【頻度】



【小3（問8）、小6（問10）、中3（問11）】

平日（月～金曜日）について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。（1つに○）

小学3年生で「1時間以上2時間未満」、小学6年生で「2時間以上3時間未満」、中学3年生で「3時間以上4時間未満」が最も多くなっています。



4 休養・こころの健康について

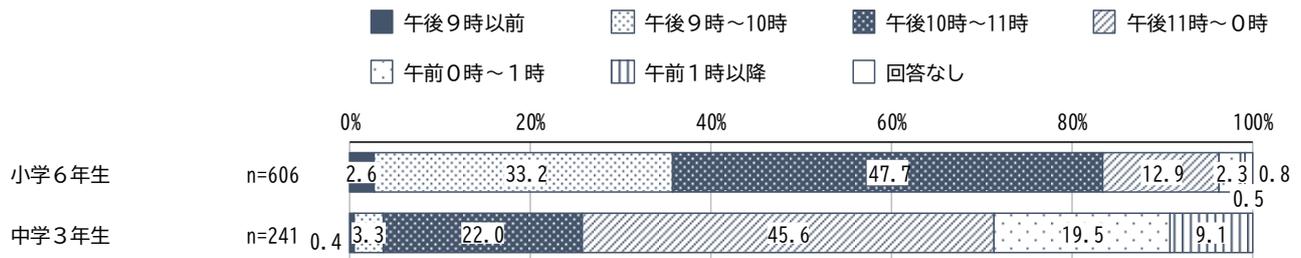
【小6（問11）、中3（問12）】

いつも何時ごろに寝ますか。また、何時ごろに起きますか。

（24時間表記でご記入ください。例：午後9時⇒21時）

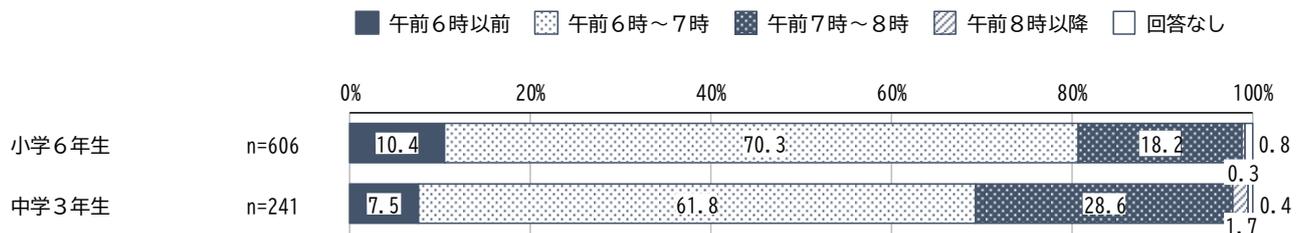
【就寝時間】

小学6年生では「午後10時～11時」（47.7%）、中学3年生では「午後11時～0時」（45.6%）が最も多くなっています。



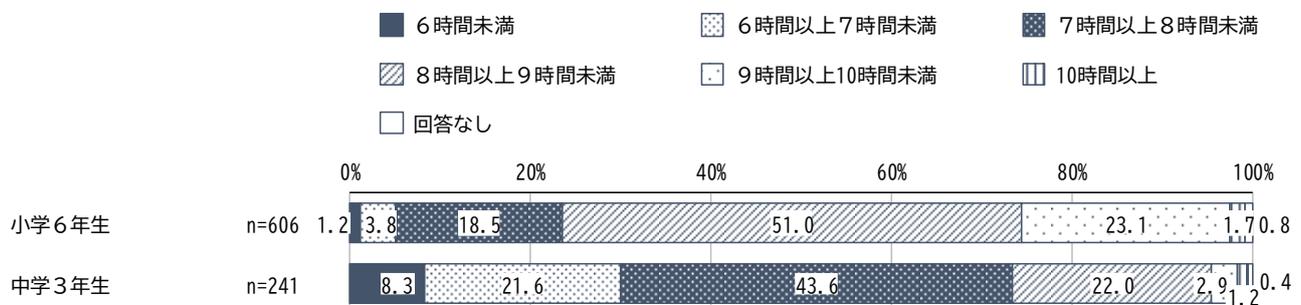
【起床時間】

小学6年生、中学3年生ともに「午前6時～7時」が最も多くなっています。



【睡眠時間】

小学6年生は「8時間以上9時間未満」（51.0%）、中学3年生は「7時間以上8時間未満」（43.6%）が最も多くなっています。

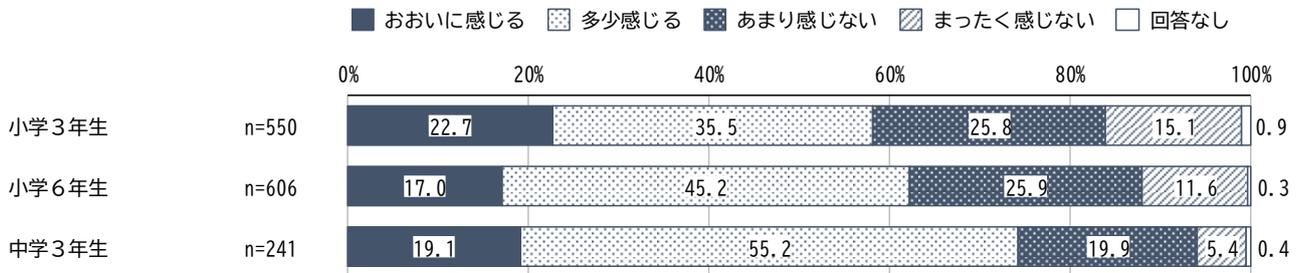


【小6（問12）、中3（問13）】ストレスを感じることがありますか。（1つに○）

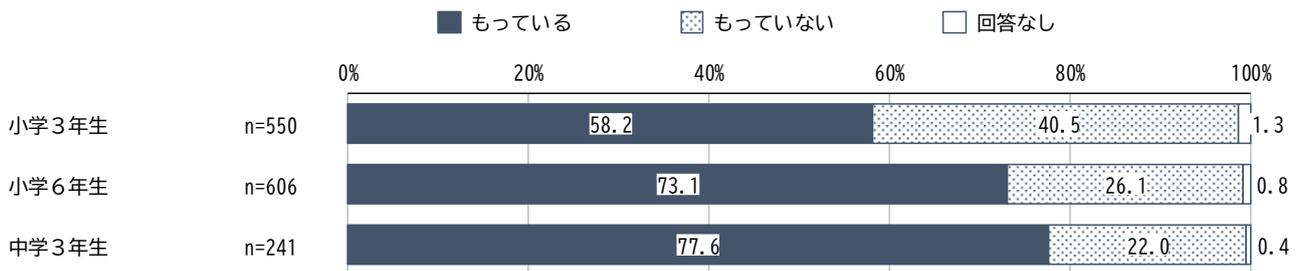
【小3（問9）】イライラしたりモヤモヤしたりすることがありますか。（1つに○）

※小3については、「ある」「まあまあある」「あまりない」「まったくない」の選択肢

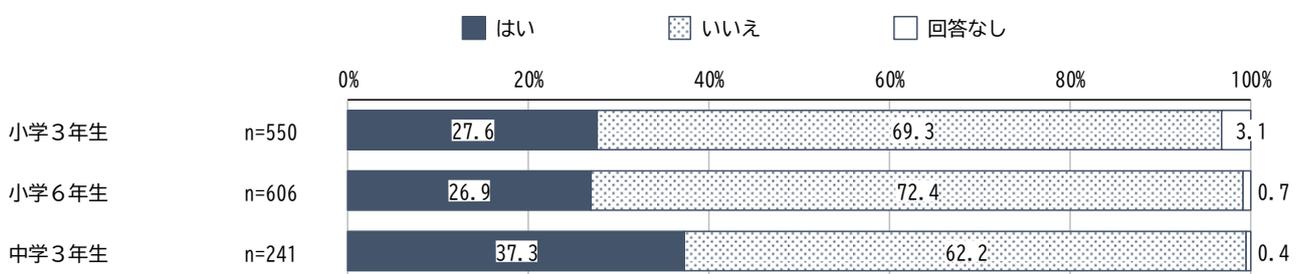
各学年ともに「多少感じる」が最も多くなっており、中学3年生では 55.2% となっています。



【小3（問10）、小6（問13）、中3（問14）】
ストレスの発散方法をもっていますか。（どちらかに○）

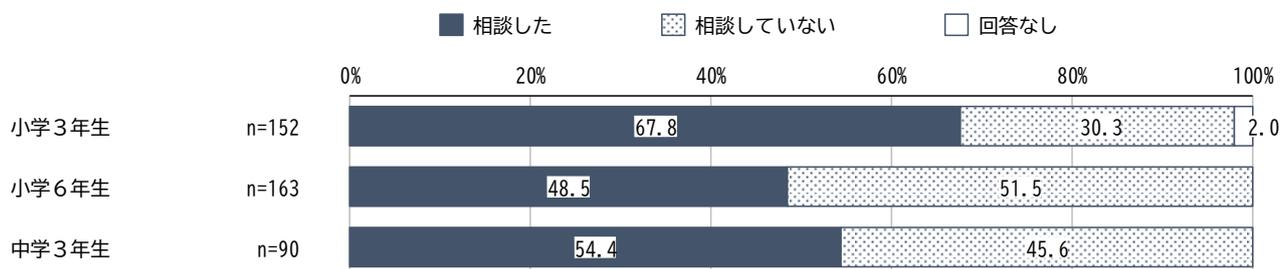


【小3（問11）、小6（問14）、中3（問15）】
ストレスが大きくて逃げ出したいと思うことがありますか。（どちらかに○）



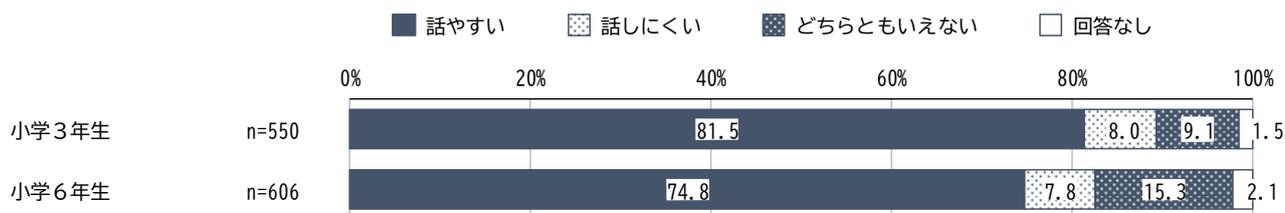
【小3（問11-1）、小6（問14-1）、中3（問15-1）】
 そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。（どちらかに○）

※小3については「話した」「話していない」の選択肢



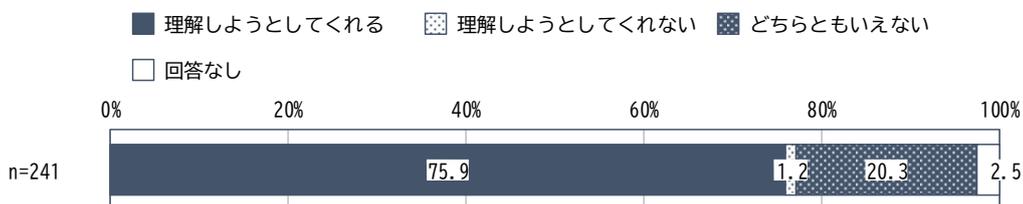
【小3（問12）、小6（問15）】
 お父さんか、お母さんのどちらか一人でも、学校や友達のことを話しやすいですか。（1つに○）

小学3年生、小学6年生ともに「話しやすい」が最も多くなっています。



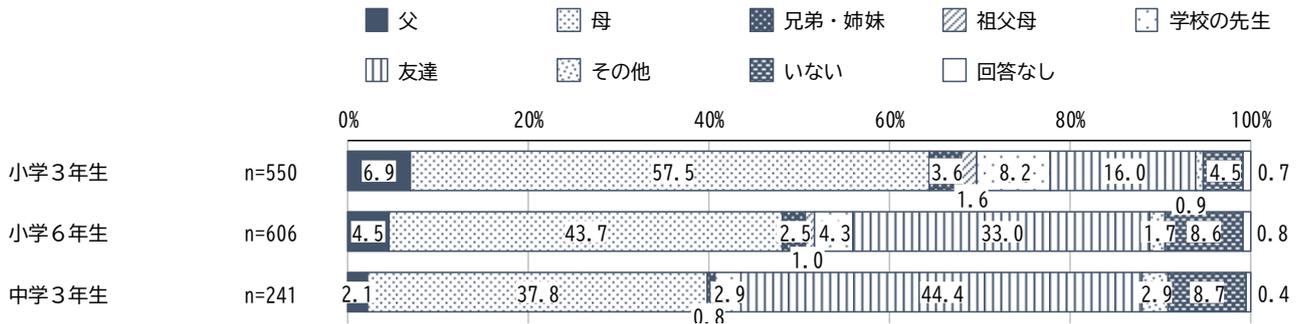
【中3（問16）】
 お父さんまたはお母さんは、あなたのことを理解しようとしてくれますか。（1つに○）

「理解しようとしてくれる」(75.9%)が最も多く、次いで「どちらともいえない」(20.3%)、「理解しようとしてくれない」(1.2%)となっています。



【小3（問13）、小6（問16）、中3（問17）】最初に悩みを相談するのは誰ですか。（1つに○）

小学3年生は「母」（57.5%）、中学3年生は「友達」（44.4%）が最も多くなっています。

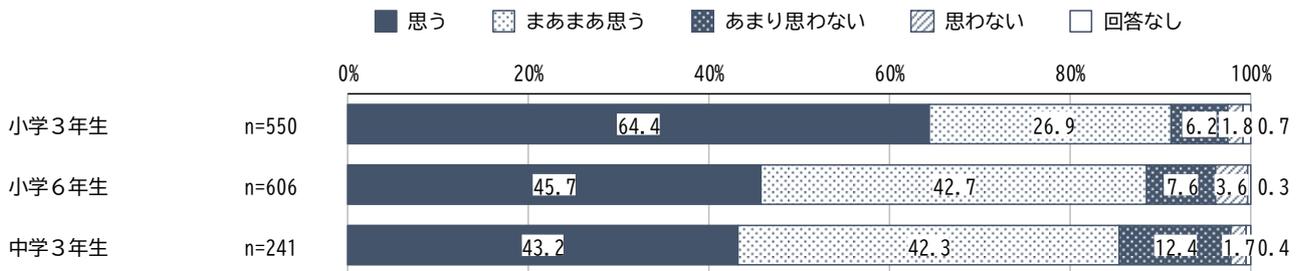


【2017年調査との比較】

項目		2017年	2023年
相談できる人がいない子の割合	小3	3.8%	4.6%
	小6	9.7%	8.8%
	中3	10.5%	8.8%

【小3（問14）、小6（問17）、中3（問18）】自分のことを大切に思いますか。（1つに○）

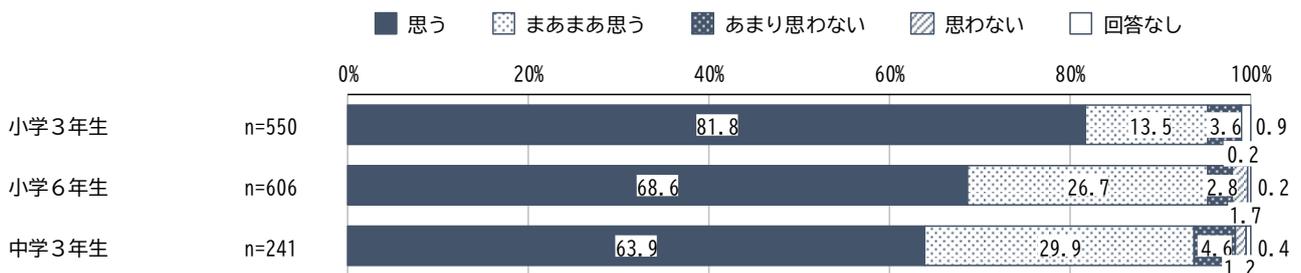
小学6年生と中学3年生で「あまり思わない」と「思わない」をあわせた“思わない”が1割以上となっています。



【小3（問15）、小6（問18）、中3（問19）】

自分のことを家族が大切に思っていると思いますか。（1つに○）

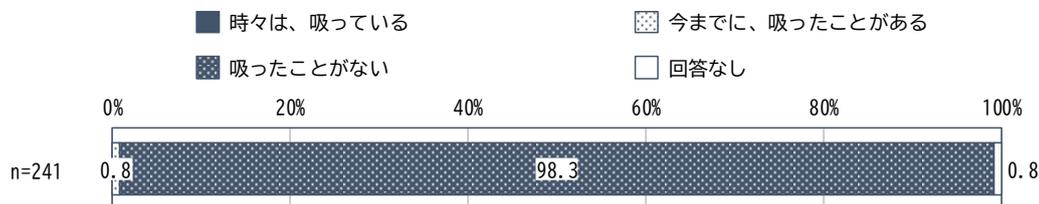
各学年ともに「思う」が最も多く、小学3年生で81.8%となっています。



5 たばこ・アルコールについて

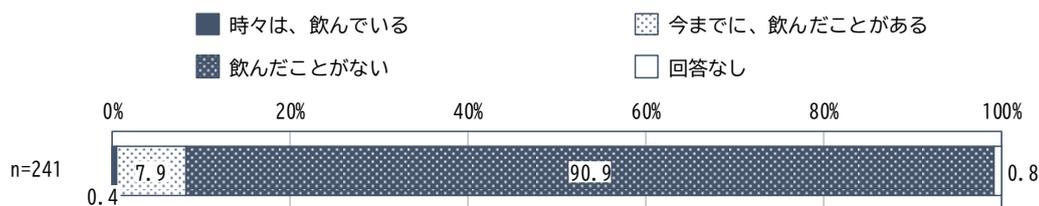
【中3（問20）】たばこを吸ったことがありますか。（1つに○）

「吸ったことがない」(98.3%)が最も多く、次いで「今までに、吸ったことがある」(0.8%)、
となっています。



【中3（問21）】お酒を飲んだことがありますか。（1つに○）

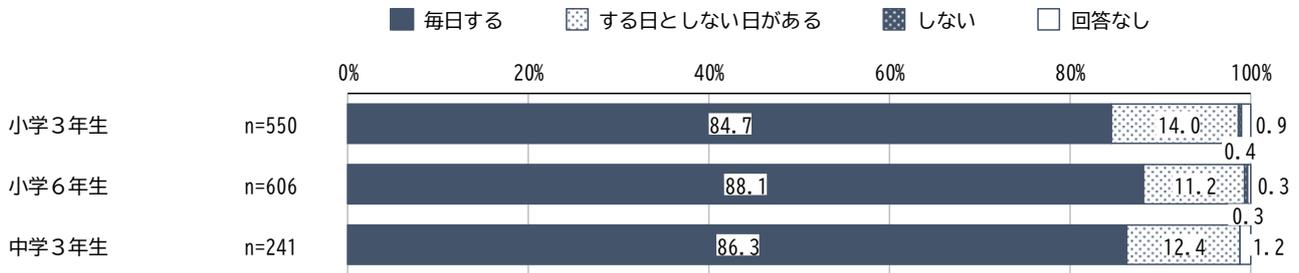
「飲んだことがない」(90.9%)が最も多く、次いで「今までに、飲んだことがある」(7.9%)、
「時々、飲んでいる」(0.4%)となっています。



6 歯の健康について

【小3（問16）、小6（問19）、中3（問22）】歯みがきをしますか。（1つに○）

各学年ともに「毎日する」が8割以上と最も多くなっています。



【2017年調査との比較】

項目		2017年	2023年
毎日、歯をみがく子の割合	小3	80.3%	85.5%
	小6	87.7%	88.6%
	中3	89.1%	87.4%

【小3（問16-1）、小6（問19-1）、中3（問22-1）】

いつ歯みがきをしますか。（あてはまるものすべてに○）

各学年ともに「就寝前」が最も多く、次いで「朝食後」とそれぞれ7割以上となっています。

(n=件数、表内：%)

	n	朝食前	朝食後	昼食後	夕食後	就寝前	その他	回答なし
小学3年生	543	10.5	73.1	17.1	26.2	75.0	3.5	0.6
小学6年生	602	15.6	73.6	18.4	30.9	76.4	4.3	0.5
中学3年生	238	24.4	75.2	8.8	27.3	76.9	1.7	-

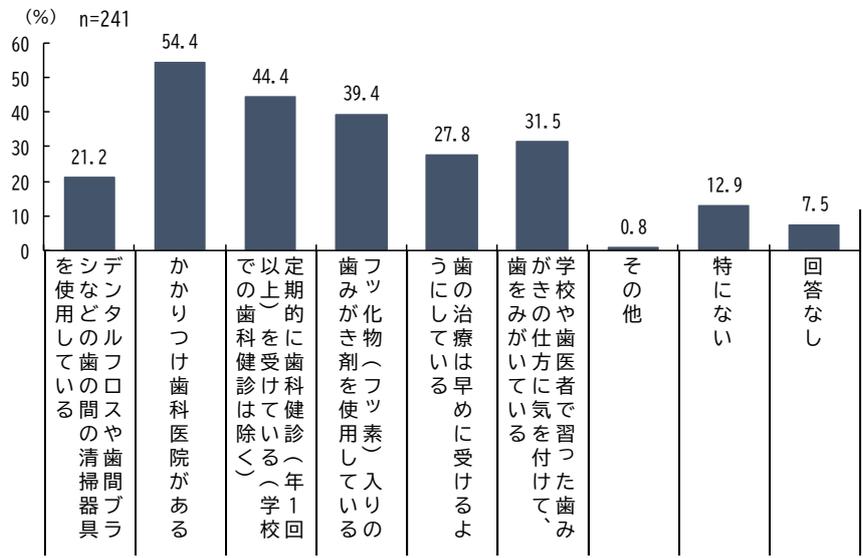
【2017年調査との比較】

項目		2017年	2023年
1日2回以上歯をみがく子の割合	小3	68.7%	80.7%
	男子	62.1%	77.9%
	女子	75.5%	84.0%
	小6	80.4%	86.2%
	男子	76.7%	82.9%
	女子	84.2%	89.4%
	中3	76.3%	87.8%
	男子	71.9%	88.0%
女子	79.9%	87.4%	

※分母は歯みがきの状況に回答があった全数（「毎日する」「する日としない日がある」「しない」の計）

【中3（問23）】歯の健康のために行っていることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

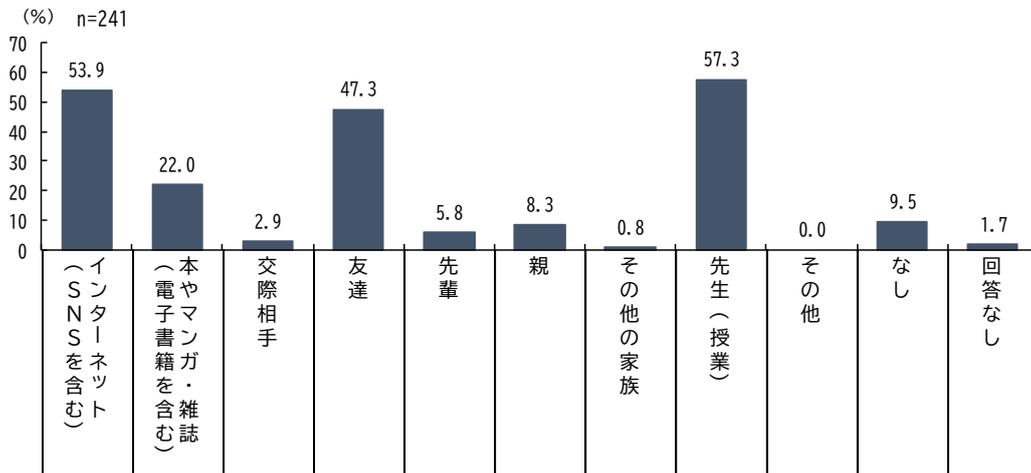
「かかりつけ歯科医院がある」(54.4%) が最も多く、次いで「定期的に歯科健診（年1回以上）を受けている（学校での歯科健診は除く）」(44.4%)、「フッ化物（フッ素）入りの歯みがき剤を使用している」(39.4%) となっています。



7 性について

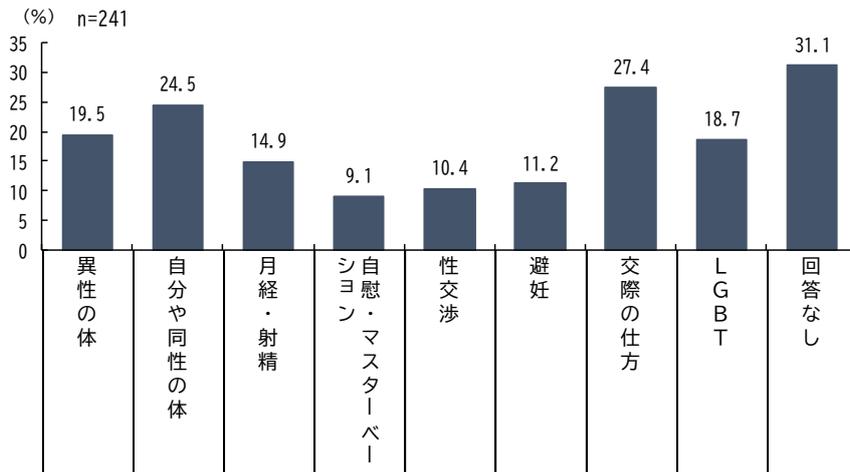
【中3（問24）】性に関する情報（体に関すること、避妊など）を何から得ていますか。
（あてはまるものすべてに○）

「先生（授業）」(57.3%)が最も多く、次いで「インターネット（SNSを含む）」(53.9%)、「友達」(47.3%)となっています。



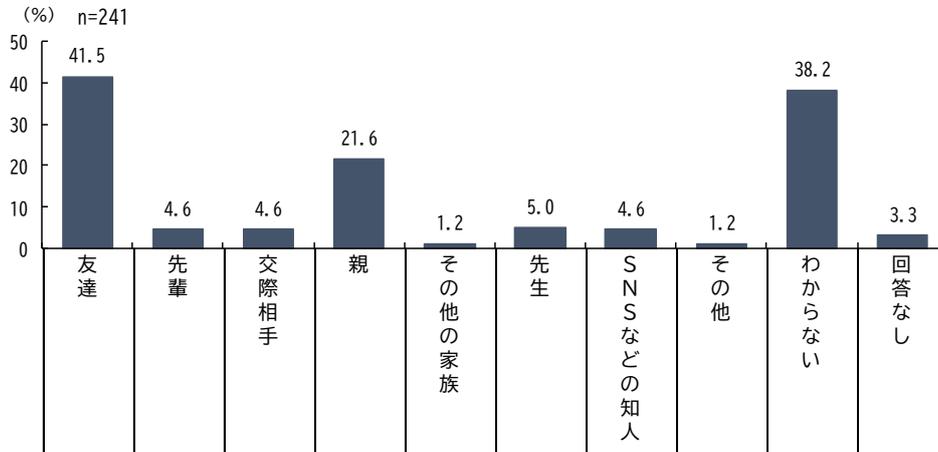
【中3（問25）】性に関することで気になっていること、悩んでいることはありますか。
（あてはまるものすべてに○）

「交際の仕方」(27.4%)が最も多く、次いで「自分や同性の体」(24.5%)、「異性の体」(19.5%)となっています。

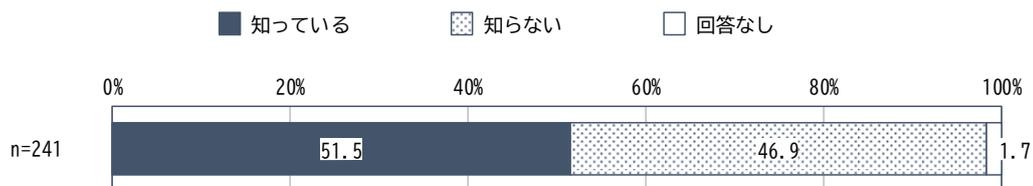


【中3（問26）】「問25」のような性に関することで困ったとき、誰に相談したいと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

「友達」(41.5%)が最も多く、次いで「わからない」(38.2%)、「親」(21.6%)となっています。

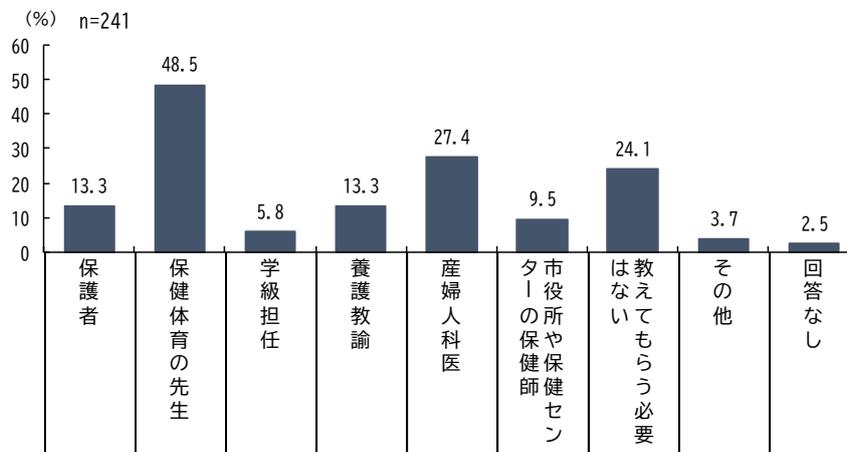


【中3（問27）】妊娠するのに適した年齢があることを知っていますか。（1つに○）



【中3（問28）】あなたはこのような性に関する情報を誰から教えてもらいたいですか。
（あてはまるものすべてに○）

「保健体育の先生」(48.5%)が最も多く、次いで「産婦人科医」(27.4%)、「教えてもらう必要はない」(24.1%)となっています。





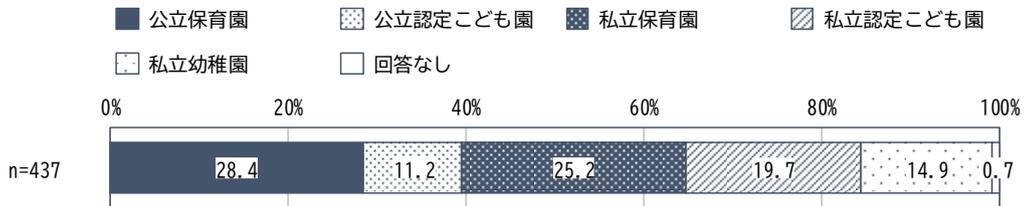
Ⅲ 調査結果

<保護者編>

◆保護者編◆

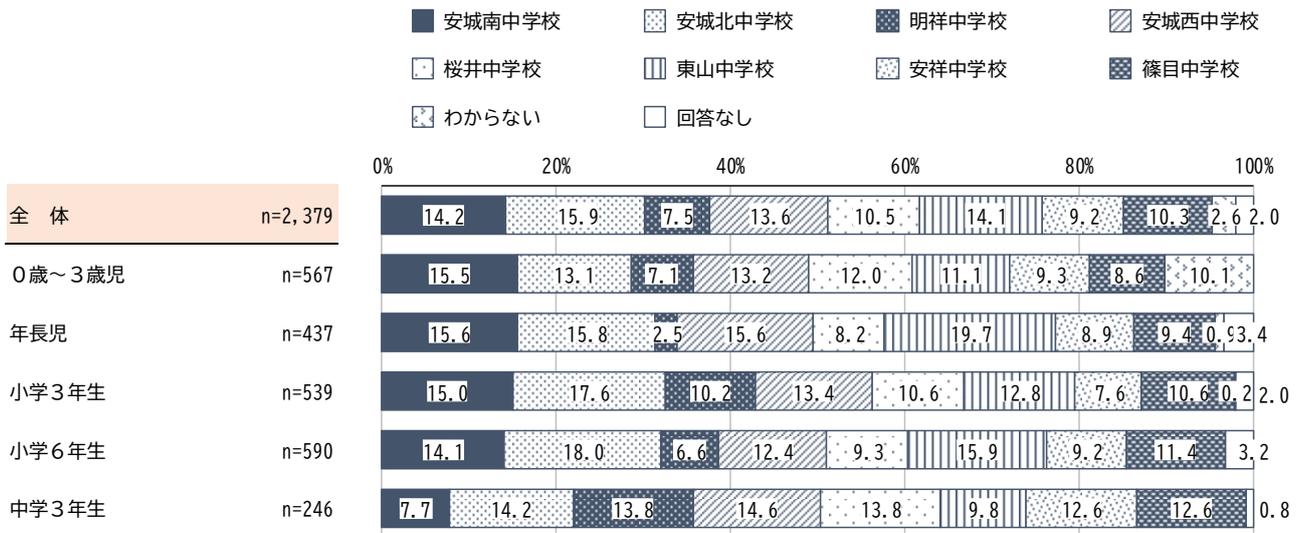
1 あなたのお子さんについて

【年長児（問1）】お子さんの通っている園を以下からお答えください。（あてはまるものに○）

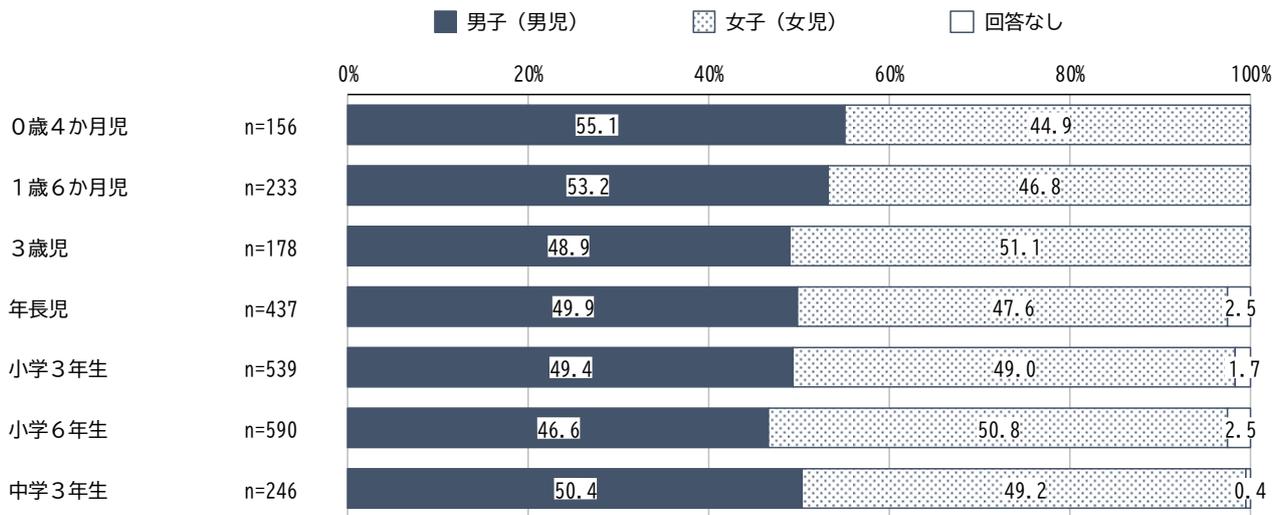


【4か月児・1歳6か月児・3歳児・小3・小6・中3（問1）、年長児（問2）】お住まいの地区の中学校区をお答えください。（1つに○）

「安城北中学校」(15.9%) が最も多く、次いで「安城南中学校」(14.2%)、「東山中学校」(14.1%) となっています。



【4か月児・1歳6か月児・3歳児・年長児（問3）、小3・小6・中3（問2）】
 お子さんの性別はどちらですか。（どちらかに○）

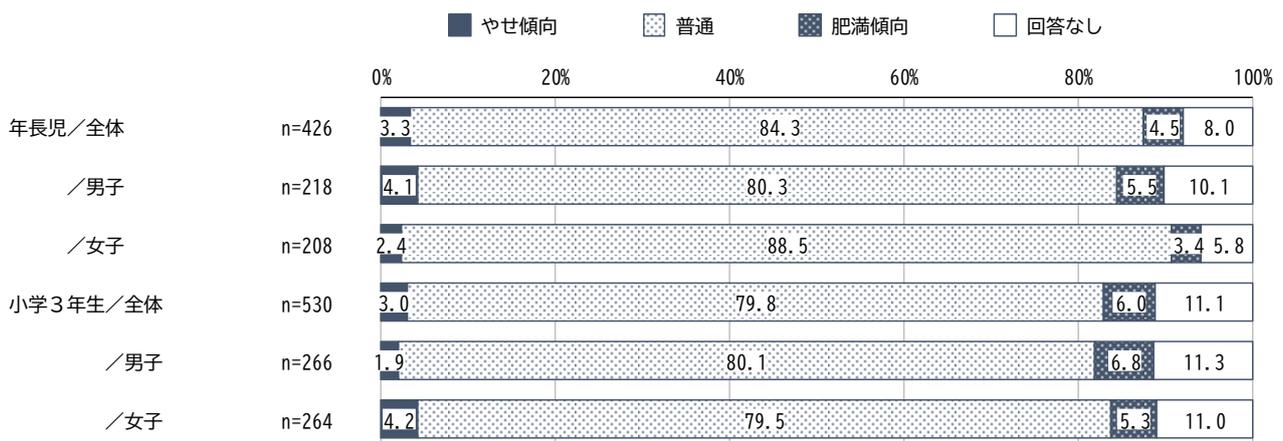


【年長児（問4）、小3（問3）】お子さんの身長および体重をご記入ください。

※学校保健統計調査方式による肥満度=（実測体重-標準体重）÷標準体重×100

肥満度	判定
-20%以下	やせ傾向
-20~20%未満	普通
20%以上	肥満傾向

年長児では「普通」(84.3%)が最も多く、次いで「肥満傾向」(4.5%)、「やせ傾向」(3.3%)、
 小学3年生では「普通」(79.8%)、「肥満傾向」(6.0%)、「やせ傾向」(3.0%)となっています。

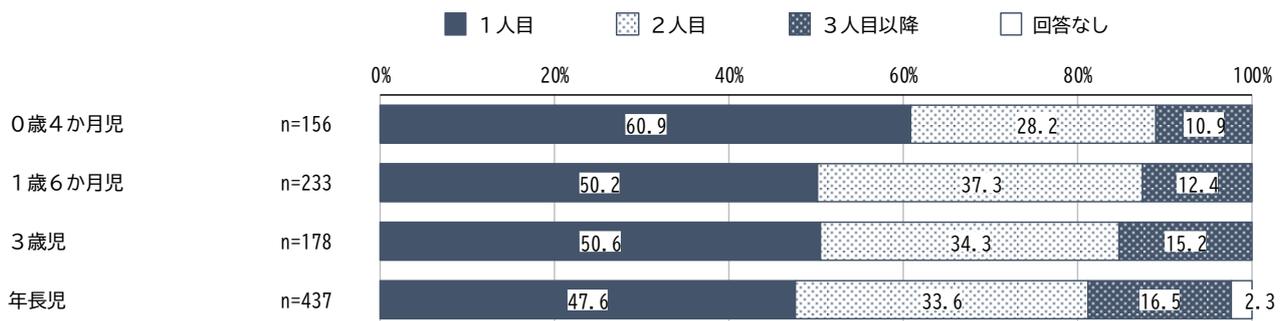


【4か月児・1歳6か月児・3歳児・小6・中3（問3）、年長児（問5）、小3（問4）】
 お子さんからみて、同居している方を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

(n=件数、表内：%)

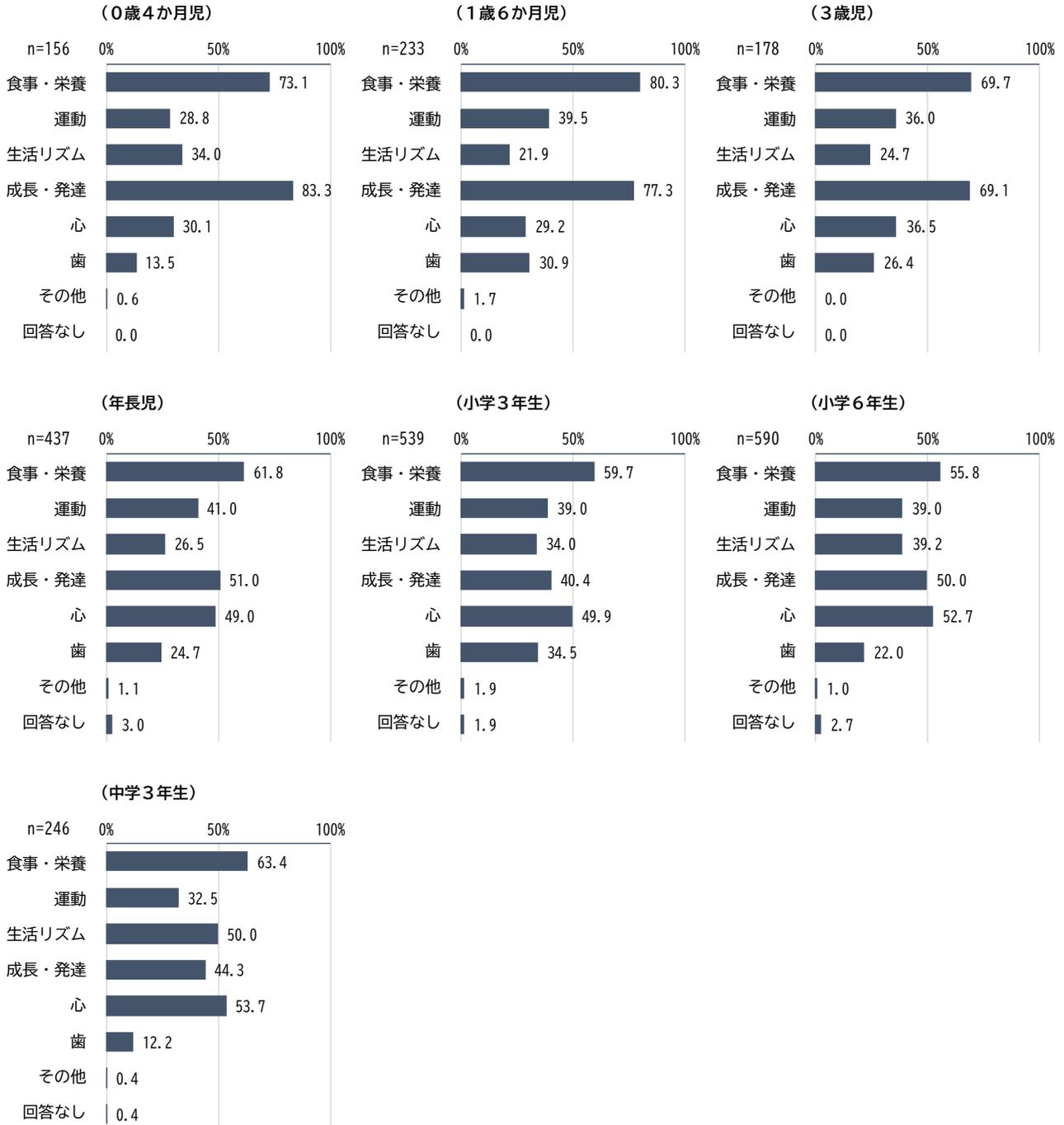
	n	父	母	祖父	祖母	兄・姉	弟・妹	その他	回答なし
0歳4か月児	156	93.6	95.5	9.0	12.2	34.6	3.2	4.5	-
1歳6か月児	233	96.1	99.1	5.6	9.0	45.1	9.4	3.9	-
3歳児	178	97.8	97.2	9.0	12.4	46.1	28.7	2.2	-
年長児	437	91.1	96.1	8.5	10.8	44.6	42.1	3.0	2.5
小学3年生	539	88.9	96.1	10.8	15.0	52.5	42.5	2.4	1.5
小学6年生	590	87.3	94.6	12.9	16.4	50.3	44.4	3.2	2.5
中学3年生	246	89.4	96.3	11.4	16.3	48.4	43.9	3.7	0.4

【4か月児・1歳6か月児・3歳児（問4）、年長児（問6）】
 何人目のお子さんですか。（1つに○）



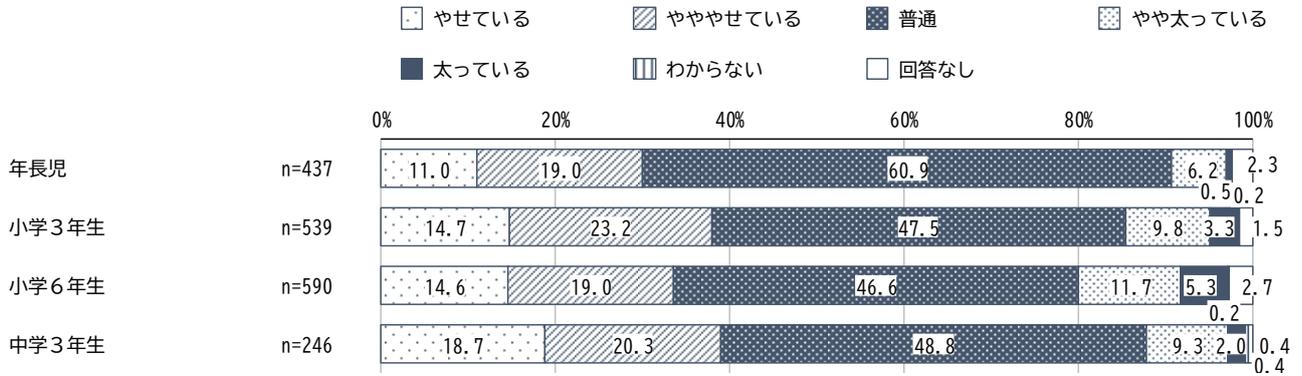
【4か月児・1歳6か月児・3歳児・小3（問5）、年長児（問7）、小6・中3（問4）】
 お子さんの健康について、特に関心のあるものは何ですか。（3つまで○）

4か月児は「成長・発達」が最も多く、次いで「食事・栄養」、1歳6か月児～年長児は「食事・栄養」が最も多く、次いで「成長・発達」、小学3年生以上は「食事・栄養」が最も多く次いで「心」となっています。

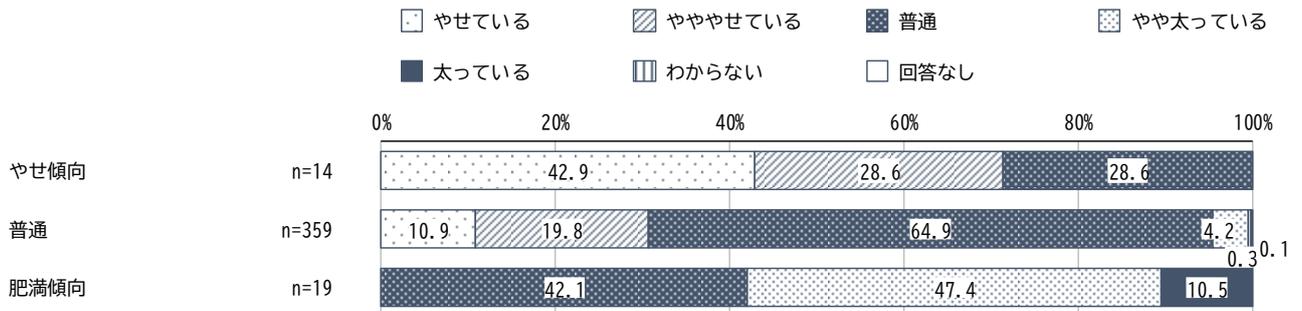


2 栄養・食生活について

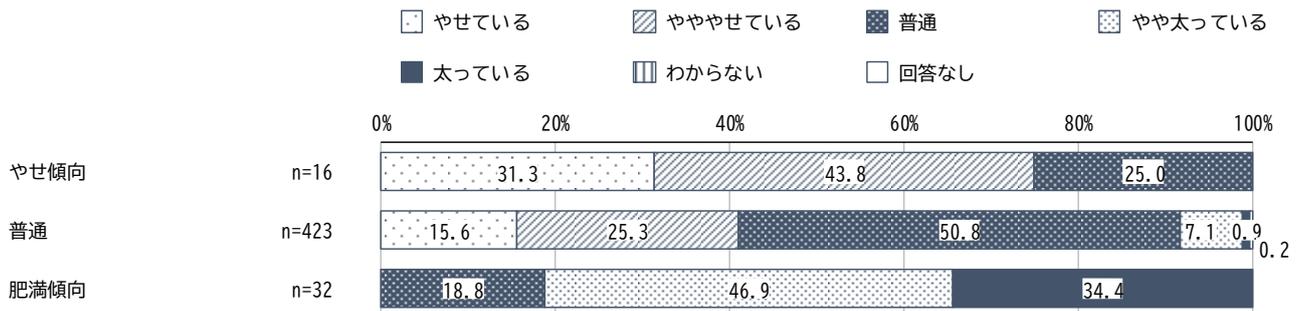
【年長児（問8）、小3（問6）、小6・中3（問5）】
あなたは、お子さんの体型をどう思いますか。（1つに○）



【学校保健統計調査方式による肥満度×お子さんの体型】（年長児）問4×問8

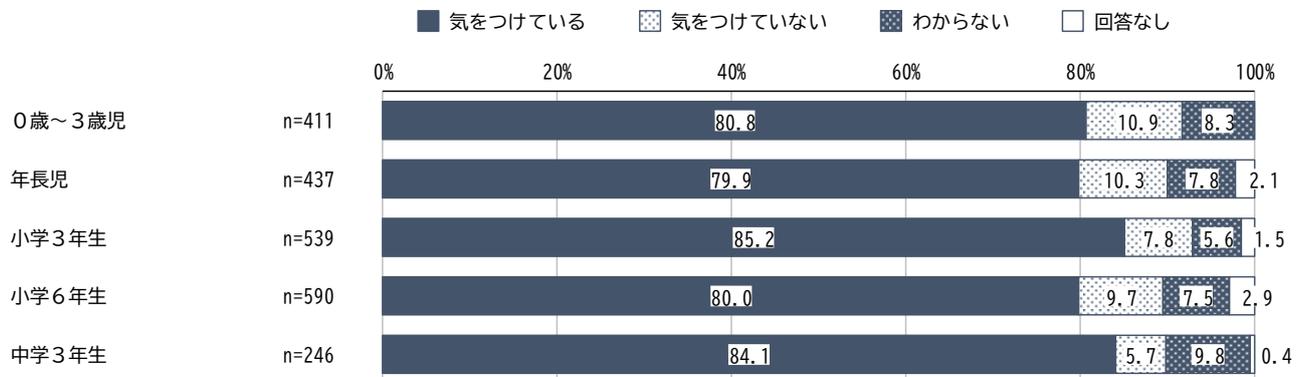


【学校保健統計調査方式による肥満度×お子さんの体型】（小3）問3×問6



【1歳6か月児、3歳児・小6・中3（問6）、年長児（問9）、小3（問7）】
 お子さんの食事をつくる時に、栄養のバランスについて気をつけていますか。
 （例：主食・主菜・副菜がそろうように意識している など）（1つに○）

各年齢とも「気をつけている」が最も多く8割前後となっています。

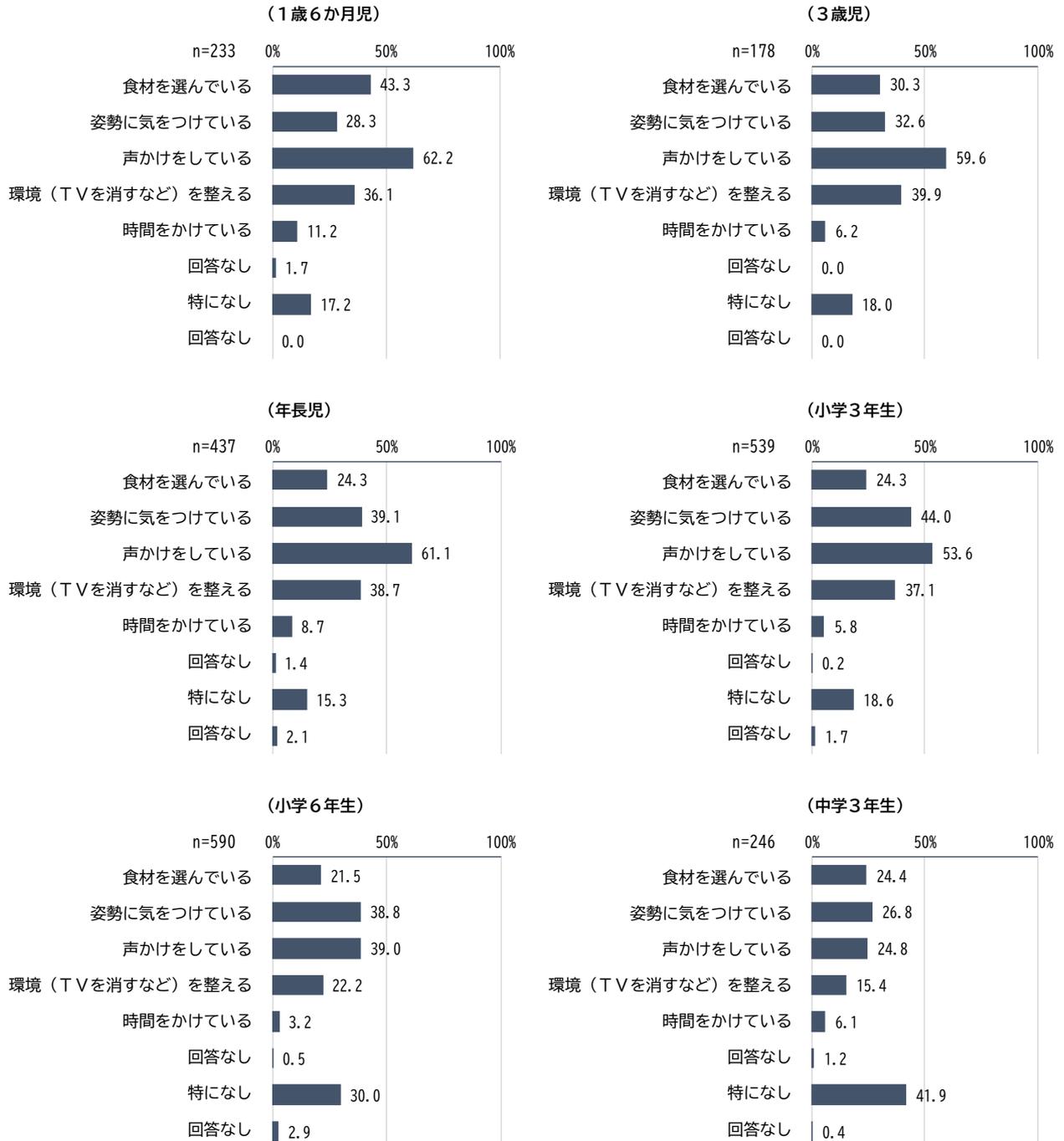


【2017年調査との比較】

項目		2017年	2023年
栄養バランスに気をつけている保護者の割合	0～3歳児	67.3%	80.8%
	5歳児（年長児）	75.6%	81.5%
	小3	77.3%	86.4%
	小6	73.6%	82.4%
	中3	74.9%	84.5%

【1歳6か月児・3歳児・小6・中3（問7）、年長児（問10）、小3（問8）】
 お子さんが、よく噛んで食べるために気を付けていることはありますか。
 （あてはまるものすべてに○）

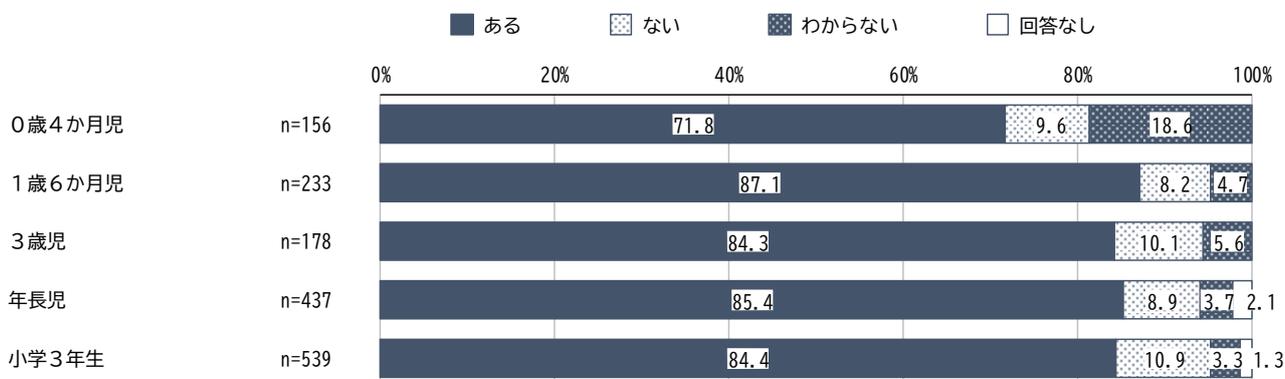
小学6年生以下は「声かけをしている」が最も多く、中学3年生では「特になし」が最も多くなっています。



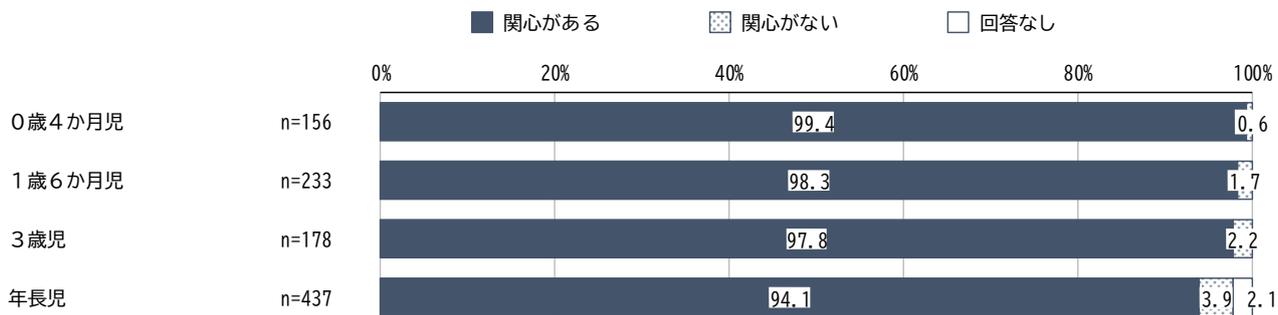
3 身体活動・運動について

【4か月児（問6）、1歳6か月児・3歳児（問8）、年長児（問11）、小3（問9）】
 お子さんがふだん安心して、運動したり遊んだりできる場所が近所にありますか。（1つに○）

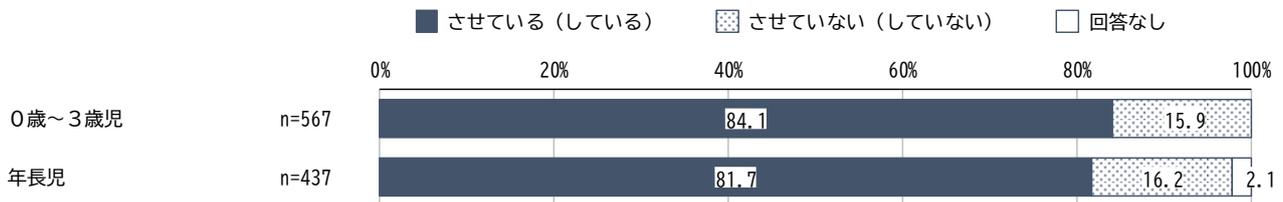
各年齢ともに「ある」が最も多くなっています。



【4か月児（問7）、1歳6か月児・3歳児（問9）、年長児（問12）】
 あなたは、子どもの、体を使った遊びや運動について関心がありますか。（どちらかに○）



【4か月児（問8）、1歳6か月児・3歳児（問10）、年長児（問13）】
 あなたは、お子さんに体を使った遊びや運動をさせていますか。または、一緒にしていますか。
 （どちらかに○）



【体を使った遊びや運動への関心別】

（4か月児）問7×問8、（1歳6か月児・3歳児）問9×問10、（年長児）問12×問13

(n=件数、表内：%)

	関心がある			関心がない		
	n	(させている)	(させていない)	n	(させている)	(させていない)
0歳～3歳児	558	84.8	15.2	9	44.4	55.6
0歳4か月児	155	80.0	20.0	1	100.0	-
1歳6か月児	229	87.3	12.7	4	50.0	50.0
3歳児	174	85.6	14.4	4	25.0	75.0
年長児	411	84.4	15.6	17	58.8	41.2

【2017年調査との比較】

項目		2017年	2023年
運動をさせている保護者の割合	0～3歳児	88.9%	84.1%
	年長児	83.8%	83.4%

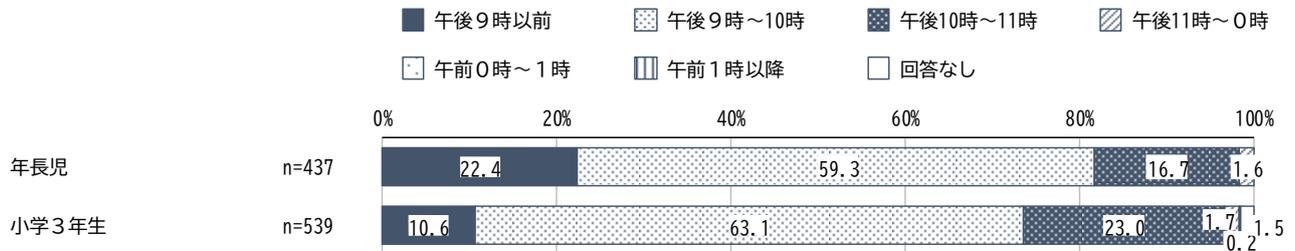
4 休養・こころの健康について

【年長児（問14）、小3（問10）】

お子さんは、大体いつも何時に寝ますか。また、何時に起きますか。（24時間表記）

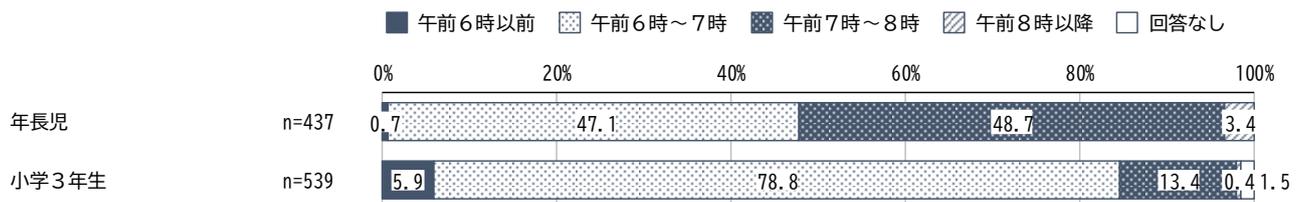
【就寝時間】

「午後9時～10時」が6割前後で最も多くなっています。次いで、年長児では「午後9時以前」（22.4%）、小学3年生では「午後10時～11時」（23.0%）となっています。



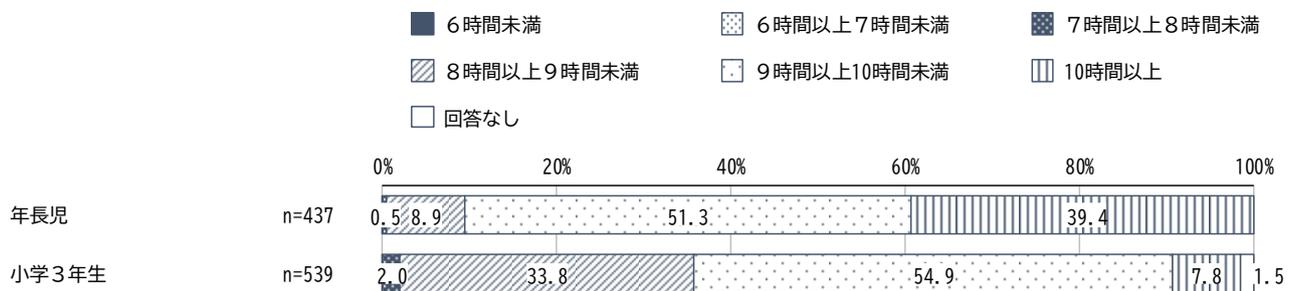
【起床時間】

年長児は「午前7時～8時」（48.7%）、小学3年生では「午前6時～7時」（78.8%）が最も多くなっています。



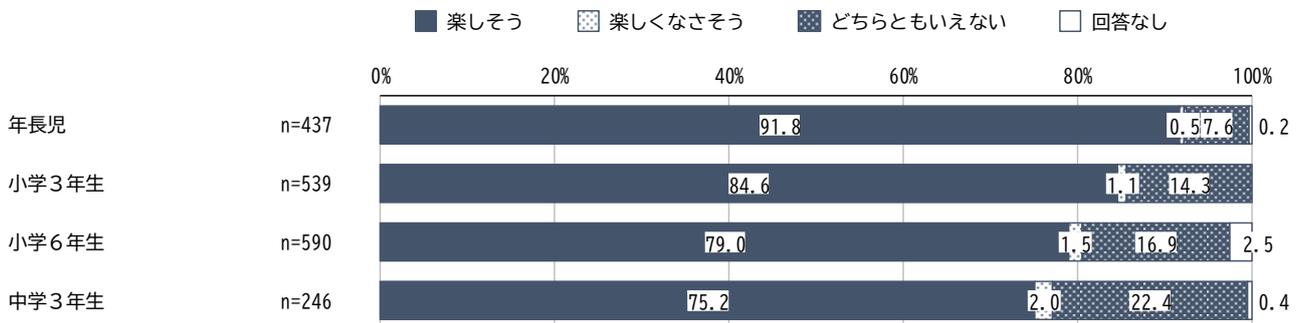
【睡眠時間】

「9時間以上10時間未満」が5割以上で最も多くなっています。次いで、年長児では「10時間以上」（39.4%）、小学3年生では「8時間以上9時間未満」（33.8%）となっています。

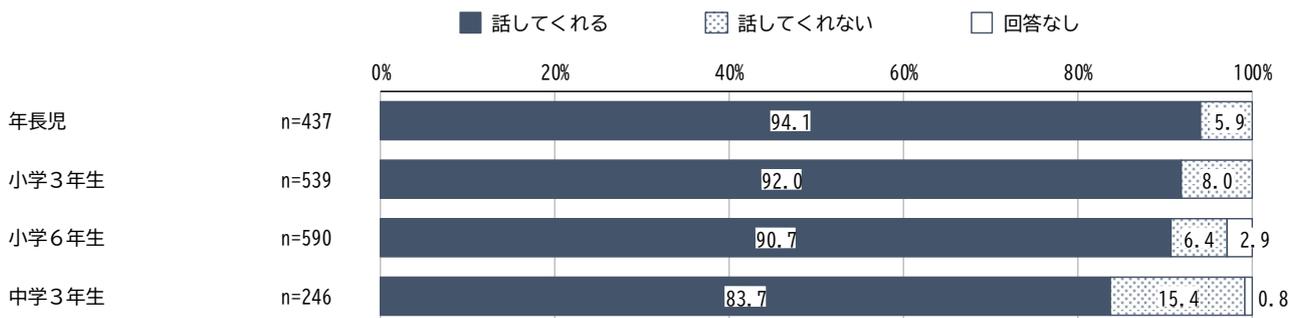


【年長児（問15）、小3（問11）、小6・中3（問8）】
 お子さんの学校（園）生活は楽しそうですか。（1つに○）

各年齢ともに「楽しそう」が最も多く、次いで「どちらともいえない」となっています。



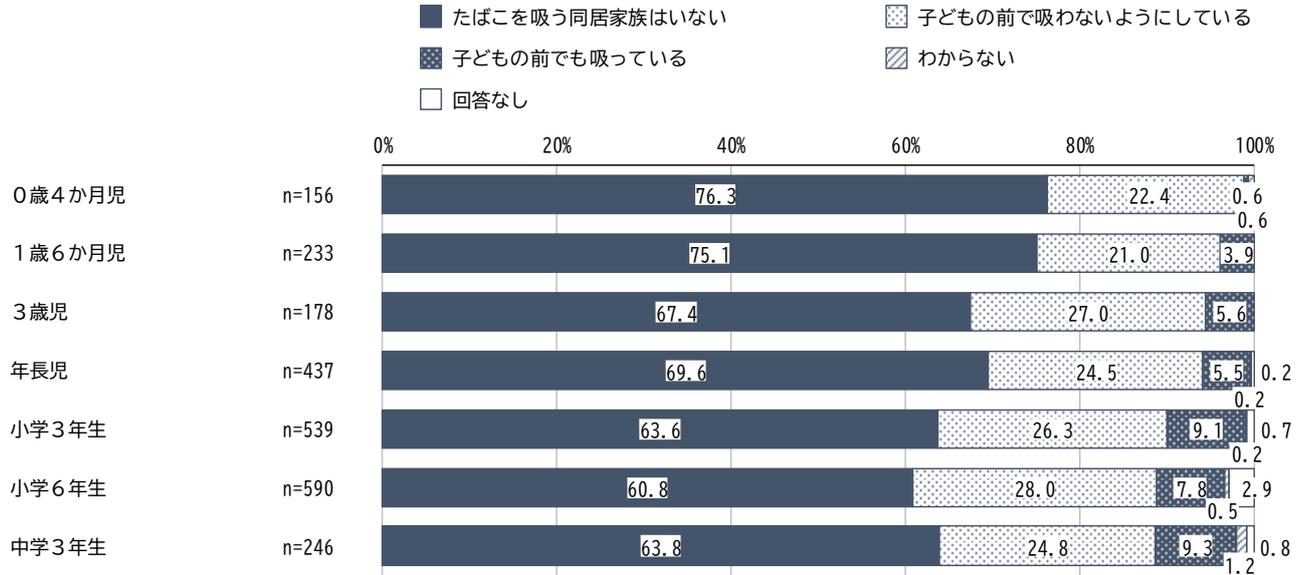
【年長児（問16）、小3（問12）、小6・中3（問9）】
 お子さんは、学校や（園）友達のことを話してくれますか。（どちらかに○）



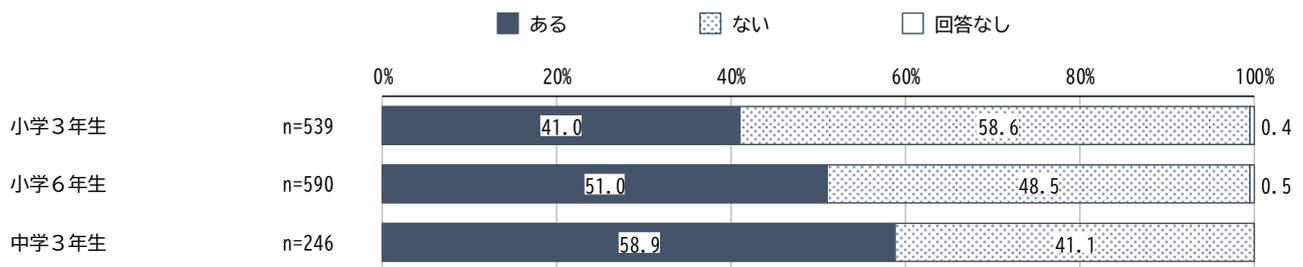
5 たばこ・アルコールについて

【4か月児（問9）、1歳6か月児・3歳児（問11）、年長児（問17）、小3（問13）、小6・中3（問10）】
 同居家族のたばこ（加熱式たばこ、電子たばこを含む）についてお聞きします。
 お子さんのいるところでたばこを吸わないようにしていますか。（1つに○）

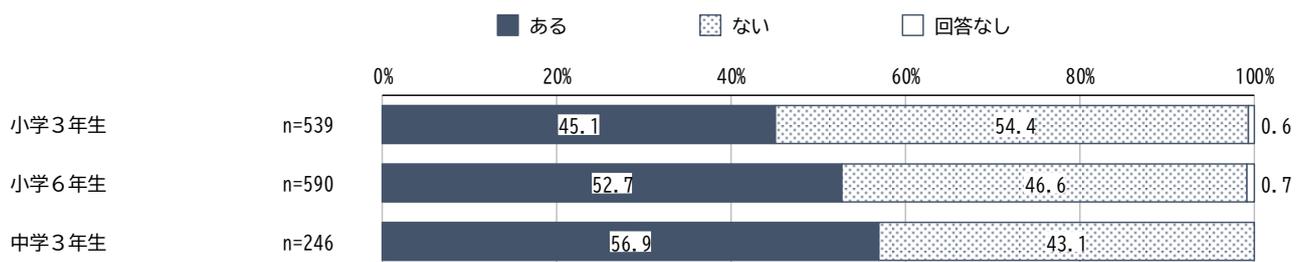
「たばこを吸う同居家族はいない」が最も多く、次いで「子どもの前で吸わないようにしている」、「子どもの前でも吸っている」となっています。



【小3（問14）、小6・中3（問11）】
 あなたは、未成年の喫煙の害について、お子さんと話をしたことがありますか。（どちらかに○）



【小3（問15）、小6・中3（問12）】
 あなたは、未成年の飲酒の害について、お子さんと話をしたことがありますか。（どちらかに○）

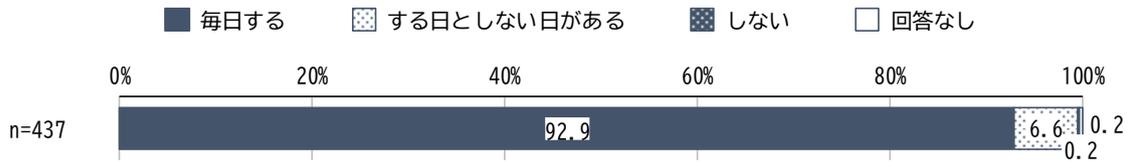


6 歯の健康について

【年長児（問18）】

お子さんは、家で歯みがきをしますか。また、お子さんに歯みがきをさせていますか。（1つに○）

「毎日する」(92.9%)が最も多く、次いで「する日としない日がある」(6.6%)、「しない」(0.2%)となっています。

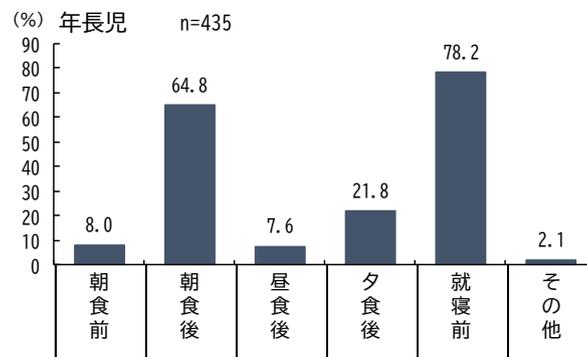


【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
毎日、歯みがきをしている子どもの割合	92.4%	93.1%

【年長児（問18-1）】いつ歯みがきをしますか。（あてはまるものすべてに○）

「就寝前」(78.2%)が最も多く、次いで「朝食後」(64.8%)、「夕食後」(21.8%)となっています。



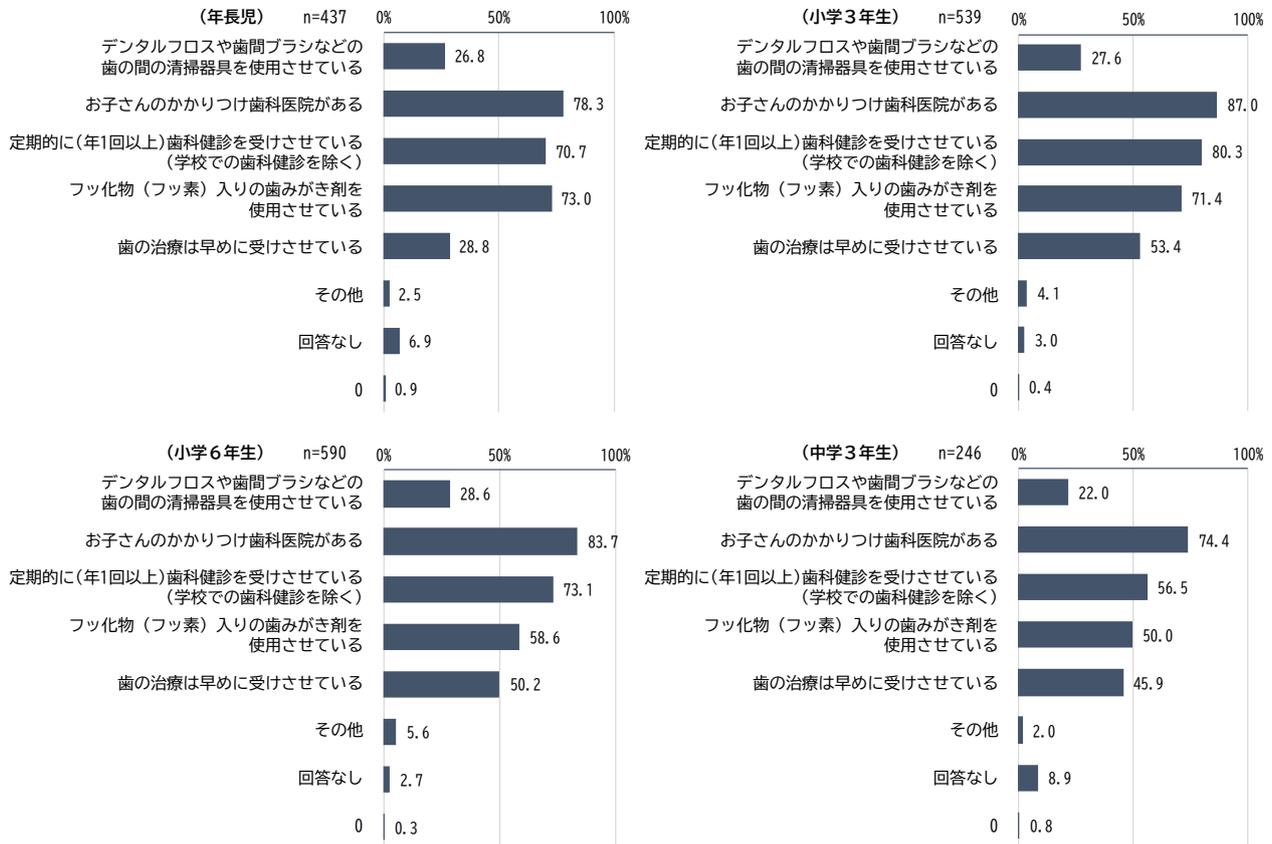
【2017年調査との比較】

項目	2017年	2023年
1日2回以上歯をみがく子どもの割合	73.5%	71.7%

【年長児（問19）、小3（問16）、小6・中3（問13）】

お子さんの歯の健康管理として、次のようなことをしていますか。（あてはまるものすべてに○）

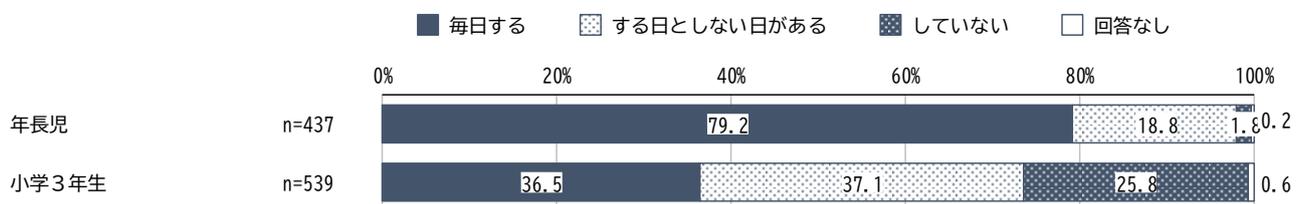
各年齢ともに「お子さんのかかりつけ歯科医院がある」が最も多くなっています。また、小学6年生以下では「定期的に（年1回以上）歯科健診を受けさせている（学校での歯科健診を除く）」、「小学3年生以下では「フッ化物（フッ素）入りの歯みがき剤を使用させている」が7割以上と多くなっています。



【年長児（問20）、小3（問17）】

大人が、お子さんの歯みがき（仕上げ歯みがきを含む）をしていますか。（1つに○）

年長児で「毎日する」（79.2%）、小学3年生で「する日としない日がある」（37.1%）が最も多くなっています。



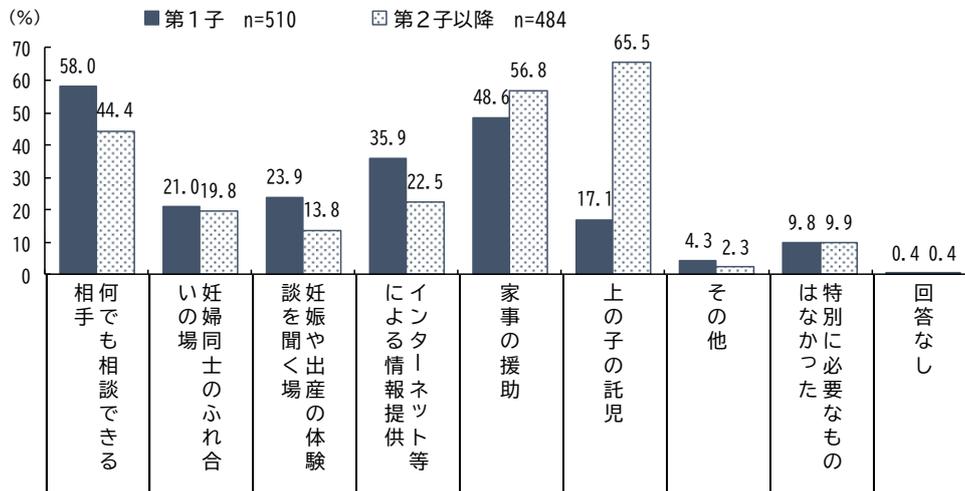
【2017年調査との比較】

項目		2017年	2023年
毎日、子どもの歯をみがく（仕上げ歯みがき）保護者の割合	年長児	68.2%	79.4%
	小3	25.0%	36.8%

7 子育てについて

【4か月児（問10）、1歳6か月児・3歳児（問12）、年長児（問21）】
妊娠中にどんな助けが必要でしたか。（あてはまるものすべてに○）

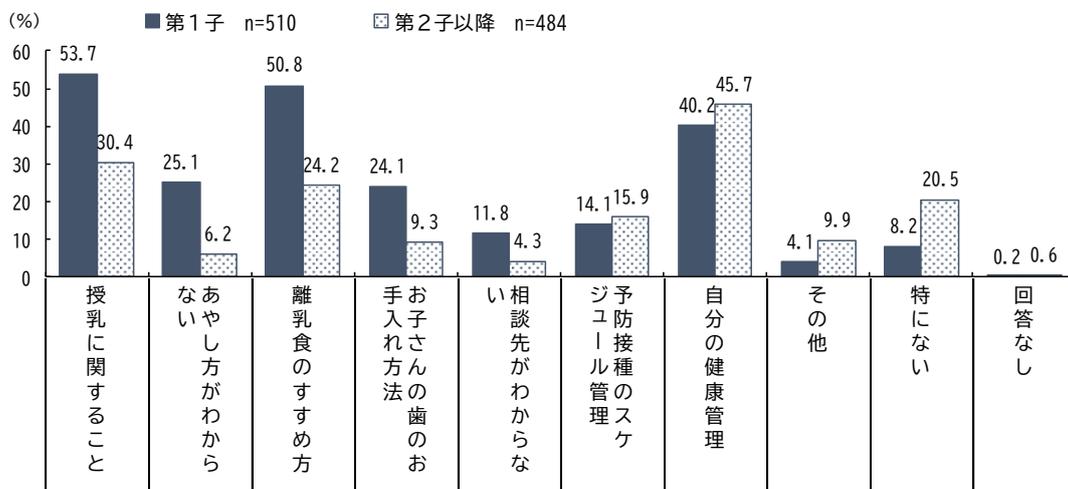
第1子の保護者では「何でも相談できる相手」（58.0%）、第2子以降の保護者では「上の子の託児」（65.5%）が最も多くなっています。



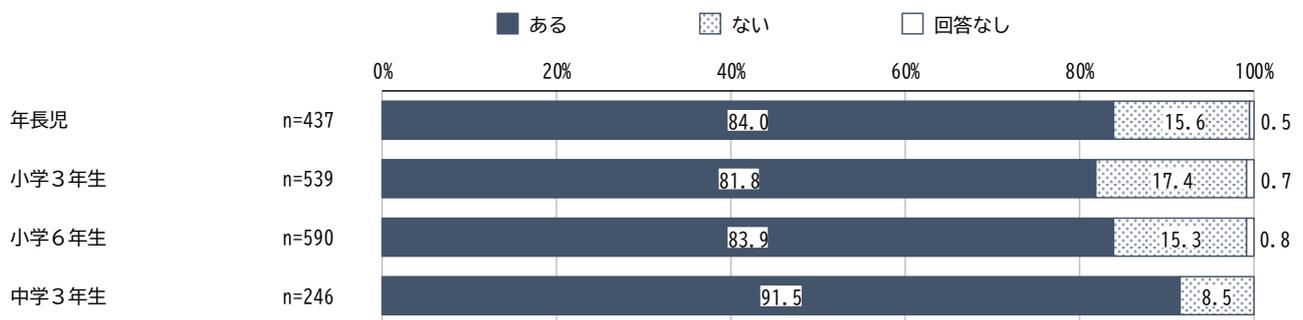
【4か月児（問11）】産後大変だったこと、今後、こまりそうなことは何ですか。
【1歳6か月児・3歳児（問13）】産後（お子さんが1歳になるまでの間）、大変だったことは何ですか。
【年長児（問22）】産後（出産後1年までの間）、大変だったことは何ですか。
（あてはまるものすべてに○）

※年長児については選択肢に「その他」なし

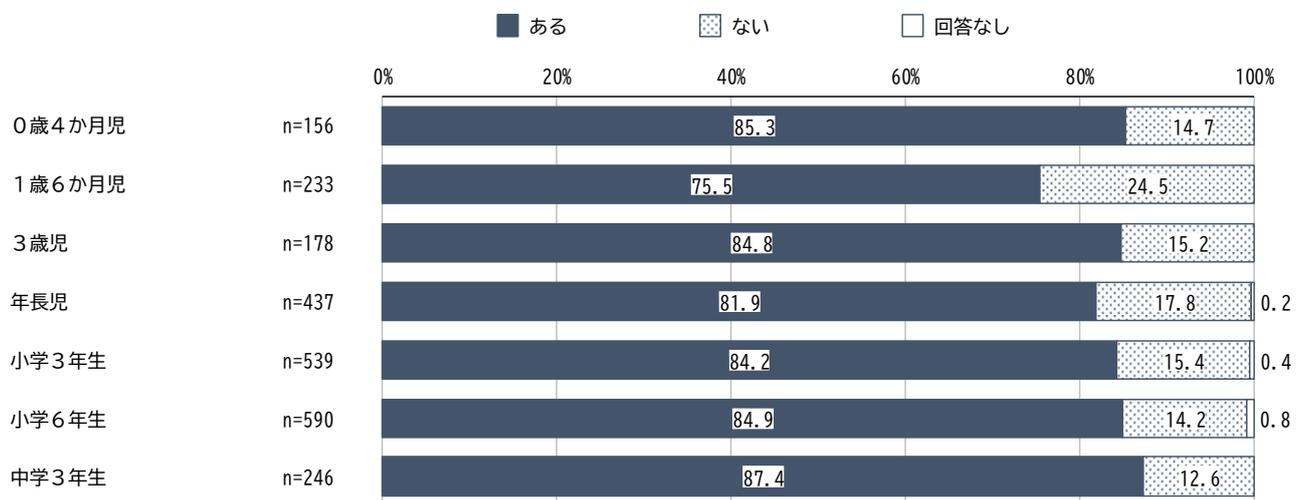
第1子の保護者では「授乳に関すること」（53.7%）、第2子以降の保護者では「自分の健康管理」（45.7%）が最も多くなっています。



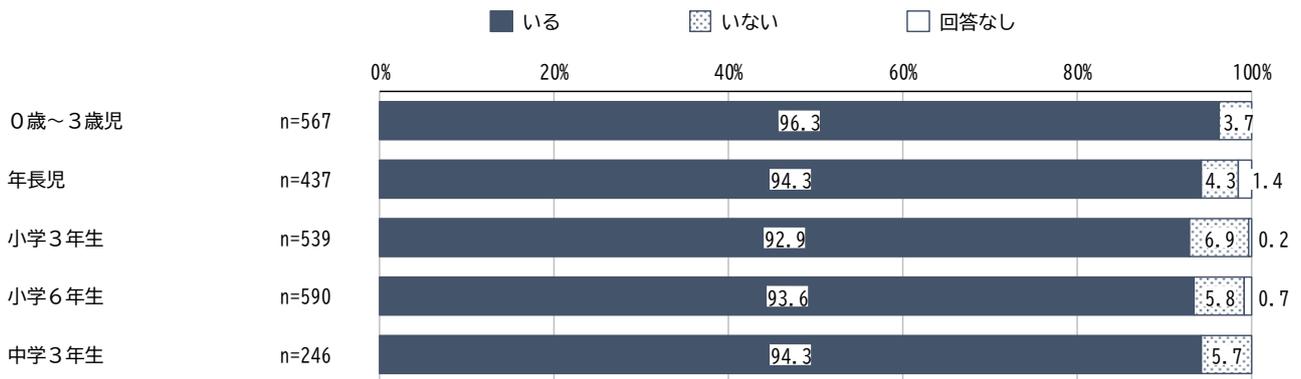
【年長児（問23）、小3（問18）、小6・中3（問14）】
 あなたは、お子さんの話を聞くゆとりがありますか。（どちらかに○）



【4か月児（問12）、1歳6か月児・3歳児（問13）、年長児（問24）、小3（問19）、小6・中3（問15）】
 子育てをする中で、ストレスを解消する方法がありますか。（どちらかに○）



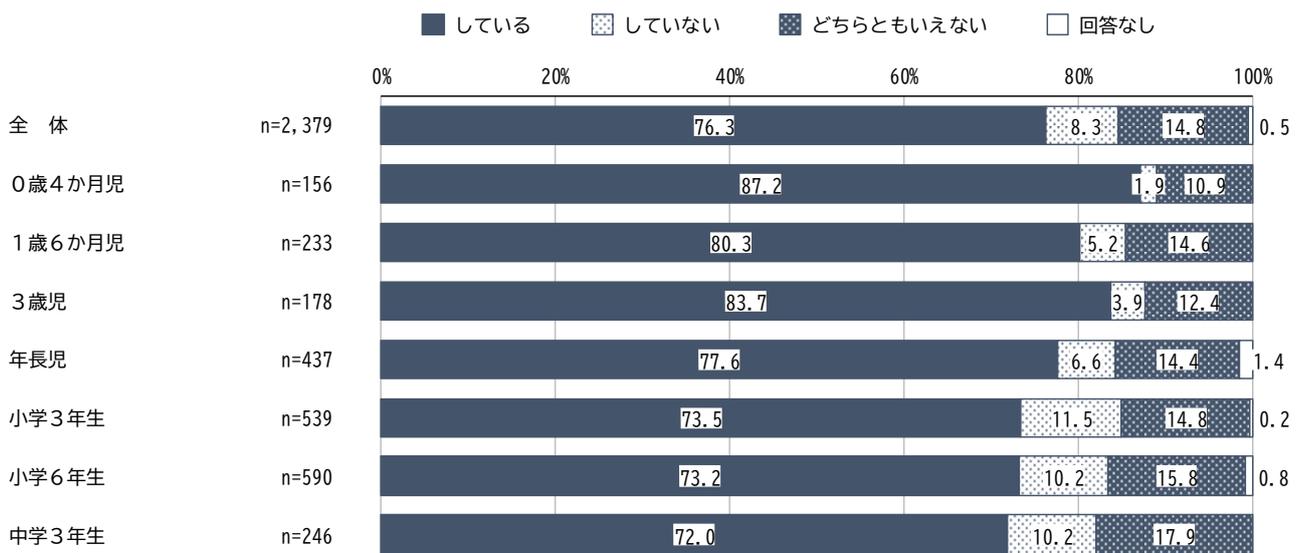
【4か月児（問13）、1歳6か月児・3歳児（問14）、年長児（問25）、小3（問20）、小6・中3（問16）】
あなたは、子育てについて、相談できる人はいますか。（どちらかに○）



【2017年調査との比較】

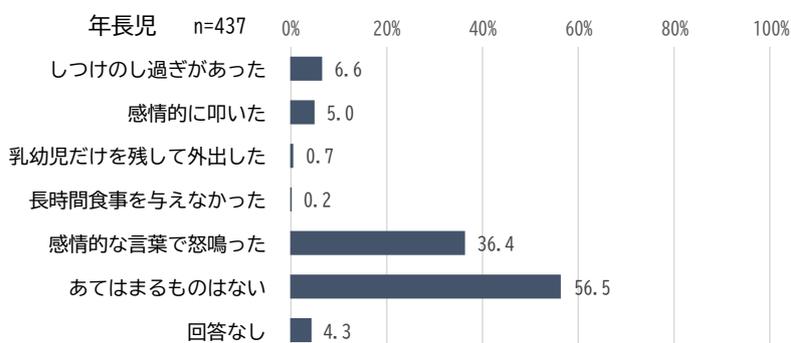
項目		2017年	2023年
子育てに関する相談相手のいない保護者の割合	0～3歳児 5歳児（年長児）	3.0%	4.0%
	小3	6.1%	6.9%
	小6	4.9%	5.8%
	中3	8.5%	5.7%

【4か月児（問14）、1歳6か月児・3歳児（問15）、年長児（問26）、小3（問21）、小6・中3（問17）】
あなたは、子育てを夫婦（家族）でしていると思いますか。（1つに○）



【年長児（問27）】お子さんに対して、この数か月の間に、ご家庭で以下のことがありましたか。
（あてはまるものすべてに○）

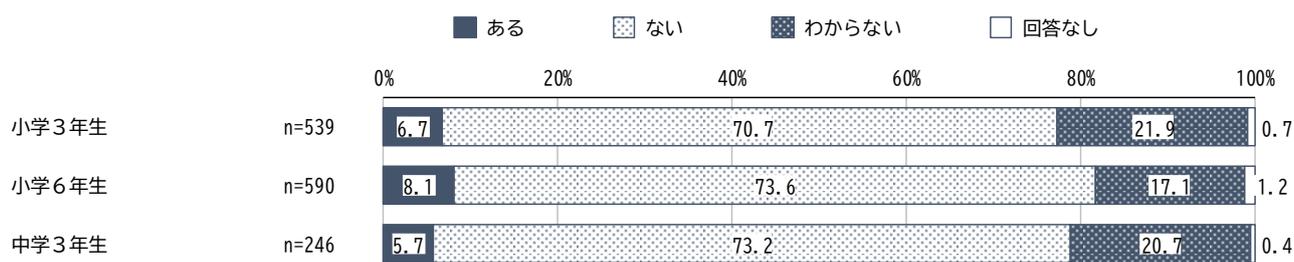
「あてはまるものはない」(56.5%)が最も多く、次いで「感情的な言葉で怒鳴った」(36.4%)、
「しつけのし過ぎがあった」(6.6%)となっています。



【小3（問22）、小6・中3（問18）】

あなたは、今までに虐待をしたと思いがたることがありますか。（1つに○）

各年齢ともに「ない」が7割以上と最も多く、次いで「わからない」となっています。



【小3（問22-1）、小6・中3（問18-1）】それは何が原因でしたか。（ご自由にお書きください）

虐待をしたと思いがたることがある人（小学3年生で34件、小学6年生で47件、中学3年生で13件）へ何が原因かを質問し、その原因について以下のように分類しました。

(件)

虐待をしたと思いがたる原因	小3	小6	中3
・ 感情のコントロールができなかった	17	16	8
・ 注意しても聞かない	12	22	2
・ 子どもの癪癪	3	0	0
・ ワンオペ育児	2	2	0
・ その他	0	7	3
合計	34	47	13

【小3（問23）、小6・中3（問19）】

あなたは、誰がお子さんの性教育をすることが適切だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

各年齢ともに「保護者」が7割以上と最も多くなっています。次いで、小学3年生、小学6年生では「保健師」、中学3年生では「保健体育の先生」となっています。

(n=件数、表内：%)

	n	保護者	保健体育の先生	学級担任	養護教諭	産婦人科医	保健師	その他	回答なし
小学3年生	539	82.0	-	36.5	43.8	39.3	54.7	1.9	1.1
小学6年生	590	75.6	-	29.0	44.6	40.3	54.2	3.1	0.8
中学3年生	246	70.3	54.9	8.5	31.7	43.5	38.6	2.0	0.8

IV 自由意見

IV 自由意見

健康や子育て、保健事業に関することなどについて意見を伺ったところ、合計 1,513 件（成人 48 件、未成年 2 件、児童・生徒 1,012 件、保護者 451 件）の意見が得られました。

各分野別に抜粋した意見は以下のとおりです。

◇成人編

(1) 栄養・食生活について

○生活が苦しいと栄養を考えていても、メインのおかずの食材を買うのがやっとな。副菜を買う余裕はない。それでも少しでも野菜をと、安いものでなんとかしている。人間関係のストレスもあるが、お金に関してのストレスに解決方法はないので辛い。

(2) 身体活動・運動について

- 病気の予防を目的とするのであれば、積極的に 6:30 からラジオ体操の推奨をしていくとよいと思う。太極拳でも良いと思う。65 才以上の方が多くなっている安城市民が、少しでも外に出ることや毎日決まった時間に何かをすとか、喋るとかコミ力をとると良いと思う。お疲れ様です。たくさんの良い情報を取り入れて下さい。資料をまとめるだけでなくすぐ行動に起こしていくのがよいと思う。
- 健康に対する勉強会や運動の開催があったら良いなと思います。
- 育休中で大変なだけで普段はあまり悩んだりしないけど、やはり健康を維持するために運動したいので、子どもを安く預かってくれるジムとかがあるといい。
- 安城市営のスポーツ事業を「市民限定」でもう少し安価に利用できるようにしていただきたい。300 円とか。そうすれば行きやすくなる。プールに 1 回 500 円となると通うのは難しい。

(3) 休養（睡眠含む）・こころの健康について

○人とのコミュニケーションは人それぞれ。孤独である事も必要です。自分の心の中での楽しいなと思う事。無理に人に会う必要ナシかな。

(6) 各種検診・健康診査・予防接種について

- がん検診の案内を市の方から送るようになると嬉しい（わざわざ電話して受診券を取り寄せるのがハードルが高い）。
- 月に 1 回主治医で診察しています。人間ドックで再検査等、主治医の指導の下実施しています。ガン検診（60 才以上）無償化等、現役から外れたシニアに特別に与えるべし。今まで社会を支えてきたシニア人材を大切に頂く安城市になっていただきたい。
- 市が管理しているすべての施設に、体重計（体脂肪が計れるもの）、血圧計、身長計など気楽に量る、測れるように機器を置いてみてはいかがですか。利用者の人は、少しは健康に気をつけるようになるかもしれないですよ。
- 安城市の保健所では、何ができて、何をしているのか。また、土日はやっているのか。

(7) 医療（費）について

- 医療費無料を、高校生までにしてほしい。
- 今まで 1 割だった医療費が 2 割になった事は生活上厳しくなったと思う。
- 物高のこの時世に、医療費の 2 割負担悲鳴。後期高齢者。
- 国民健康保険料について、使用した分支払い等を検討して頂きたい。

(13) 新型コロナウイルス感染症について

○コロナ対応ありがとうございました。平時の啓発活動も大切だと思います。

(16) その他

- 戦後生まれの高齢者が年々増えていく中、保健事業費の増加が考えられます。人生100年と言われる社会、老後の生活費が心配です。そこで提案です。退職後、働ける内に働き、そのお金をポイントとして貯め、動けなくなった時に使える制度を、市、企業、銀行等で展開したらと思います。
- 長生きは友を失う人生だとは理解していますが、昨年は阿吽の仲の友2人が鬼籍と、新たな友を得る難しさを痛感した次第ですが、ここに至って思う事は、話す相手がいればなあと。話し合う場があれば気も晴れるのではと、そんな場が設定してもらえたらと考えますが難しいことですね。
- たくさんの質問があって大変でしたが、とても良い質問だなと思いました。普段意識してない事に気づけた事、分かっていたが目を背けてた事など、色々と勉強になりました。
- 今回のアンケートで、ゲートキーパー、COPD、オーラルフレイルの意味を知ることができて、自分にとってプラスになりました。知ることは、大切なことと思っています。引っ越してきたばかりで、医療機関を探すことを始めようと思います。

◇未成年、児童・生徒、保護者編

(1) 栄養・食生活について

【児童・生徒】

- ごはんをいっぱい食べる。
- 朝ごはん昼ごはん夜ごはんをしっかり食べる。
- 好き嫌いしない。
- 好き嫌いなく、残さず給食を食べる。
- いつもバランスのとれた食事をとること。

【保護者】

- 安心して食べられる国産食材の離乳食が、レトルトではなく給食センターなどで作り宅配されるような取り組みがほしい。
- 野菜あんまり食べない。果物もあんまり食べない。
- 子どもは毎日楽しく学校へ行っています。給食も大好きでいっぱい食べているみたいです。給食に使われている食材が、より安全で安心できる物だと思いました（農薬や遺伝子組み換えや添加物など）。子どもたちのためにこのようなアンケートを取ってくださりありがとうございます。
- 食品に入っている着色料や添加物が気になり、どんどん食べれる物が減ってきている。この先コオロギパウダー入りの給食も出るのかなと気になります。子どもには安全な食べ物を選んで食べれる環境を学校でも作ってほしいと思います。
- 子どもたちの健康を考え、学校給食を無農薬・無添加にして欲しいです。

(2) 身体活動・運動について

【児童・生徒】

- 友達とたくさん遊ぶこと。
- 外でいっぱい遊ぶ。
- 運動をすること。
- 運動不足な気がします。

【保護者】

- 夏は暑くて外で遊ばないし、公民館などの施設も飽きてしまうから、未就学児が室内で運動できるような講座があると嬉しい。
- 学校で暑い日は外で体育をさせないよう、教育委員会とも調整して下さい。誰かが倒れてからでは遅いです。

- 今後、部活動がなくなり、民間クラブ等では親の負担増加になった場合、結局活動する機会が減ってしまうのではないかと危惧している。
- 運動する機会がどんどん失われていて、子どもたちの体力が無くなっているように感じます。暑いからと放課の時間に外に出られないとか、中学になって部活動の時間も少なくなるとか、1日の大半は学校にいるのに身体を動かすことがなくなってしまっは学校外での家庭での負担が増え、格差が広がりスポーツを楽しむ子どもが減ってしまうのではないかと心配しております。
- 部活動が減り、体を動かす機会も減り体力低下が心配。

(3) 休養（睡眠含む）・こころの健康について

【児童・生徒】

- 自分の好きなことをやる。楽しいことをする。
- 早寝早起きや健康な生活を心がける。
- もう少し早く寝る。
- ストレス解消方法がわからない。

【保護者】

- 子どもの健康は食べ物もちろんだが心のバランス（栄養）も大切だと思っており、子どもの小さなサインに気付くのが親の役割じゃないかと思っています。
- 大人が生き生きしていると、子どもも生き生きとすと思います。
- 大きくなるにつれて親に言えないこと、悩み、グチなどが出てくると思う。親身になって話を聞いてくれる先生、子どもの力を伸ばしてくれる先生がたくさんいてほしい。教科書通りにしか教えないのではなく、十人十色の子もたちに合った指導をして下さる先生の教育があっても良いんじゃないかと思う。最近ゆとりがなく精神的に病む方が増えているので。

(4) たばこ・アルコール・薬物について

【保護者】

- ここで意見することではないのかもしれませんが、アンケート内に喫煙の事がありましたので書かせていただきます。東公園バックネット裏や、駐車場入り口付近で喫煙されている人が多く、自宅内にタバコの煙が入ってきて子どもへの影響がとて心配で大変迷惑しております。家族や親族にも誰一人とタバコを吸う者はおりません。タバコのニオイを知らない子どもが、タバコのニオイがして臭いと言うほどです。子どもが集まる公園でもありますし、なんとかしてほしいです。現状調査していただきたいです。よろしく願います。

(5) 歯の健康について

【児童・生徒】

- 歯を健康にいたるため何かを食べたら歯をしっかり磨くようにする。
- 歯磨きをする。
- 歯磨きを毎日しているけど、朝時間がなくて出来ていないから、早く起きて朝も歯磨きを心がけたいです。
- 歯もきれいに磨いて、白い歯を保つといいと思った。

【保護者】

- 使用する歯磨き粉は何がよいかわからないから、検診でサンプルをもらえると嬉しいです。粉タイプ（ブリアン、ピカリス）やジェルタイプ（チェックワン）で迷います。
- 歯磨き時泣いてしまうので、やり方があっているのか分からない。
- 歯並びが悪く、プレ矯正をしています。歯並びでかみ合わせが悪いと健康にも影響が出ます。矯正はとて高いので少しでも補助があると嬉しいです。
- 毎日仕上げ磨きをしていても虫歯ができてしまう。小さい頃からもう少し歯について知識がほしかった。

- 小学校で、専門家の方による歯磨き指導をやっていただけると嬉しいです（家でもできる限りで教えていますが、やはりプロの方から学ぶことで得られる知識があると思いますので）。
- 歯磨きの仕方について高学年になってからも指導してほしいです。
- 歯科にかかる際、特に理由がなくかかっていないが、どういう理由でかかり始めたらよいのか。
- 私は歯科医師です。このコロナもあり、子ども（赤ちゃんからの）口腔の発達、発育がとても悪化しており、ほとんどの子が正しく成長できていないことを実感しています。正しく授乳する、離乳食を正しく食べること、姿勢の確立などが、顔面の成長を促す大切な過程ですが、それができないままマスクをし、口呼吸になり、お口がポカンと開いてしまっています。このような子どもを減らしていけないと、集中力のない子や、いびきをかいて寝る子など、病気を引き起こす子が増えていきます。それに対してもっと介入して行ってほしいです。

(6) 各種検診・健康診査・予防接種について

【児童・生徒】

- 負担があまりかからず健康に暮らせるように、検診や診察は無料などにしてほしい。
- ここで記入する内容ではないと思いますが、3歳児検診で不便だった点を書かせてください。まず、前日からしか時間を予約できないところです。予定の組み立てがなかなかできなかったのも、せめて1週間前には時間の確定がしたかったです。上の子の幼稚園のお迎え時間が検診の終わり時間と被りそうだったので、やむを得ず主人に有給を取ってもらいました。もっと早く予約できたなら、色々考える時間があったのと思います。また、開始が午後というのも子どもがいつもお昼寝している時間だったのでぐずって大変でした。医療関係者との時間の兼ね合いもあると思いますが、まずは子どものことを優先で考えて頂きたいです。待ち時間も長かったので、自由に読める絵本を増やしたり、おもちゃが少しでもあればと思いました。また、動線もわかりづらく、何度か保健師の方にどうすれば良いのか確認しました。
- 先日、3歳児健診に参加しました。2点ほど、感じたことがありましたのでここに記載させていただきます。まず、最初の問診ですが、パーテーションで仕切られた大部屋はたくさんのお子さんが居て当然の如く大変騒がしく、担当の方の声も聞きづらいほどで、子どもも指示が理解しづかったです。子どもに名前を言わせる場面でも、なんとか頑張って言えましたが担当の方には聞こえておらず、この環境で正しい判断が出来るのか疑問でした。仕方のない部分もあるかと思いますが、もう少し子どもが落ち着ける環境で話を聞いてあげてほしかったです。また、1歳半健診の際も同様でしたが、事前アンケートで、「子育てについて何か相談したいことがあるか」にチェックすると健診の最後に対応してもらえるのですが、1~2時間子どもを追いかけて待たせた健診終わりは、とても疲れていて、一刻も早く帰りたく、とても落ち着いて相談ができません。今回も、子どもも帰りたくとぐずっていたので相談はそこそこに済ませて帰宅してしまいました。別日の相談にさせていただいたり、別でお電話をいただくと助かるかなあとと思いました。長々とすみませんでした。ぜひ今後ご検討いただけますよう、お願いいたします。
- 情緒、発達面が気になっていましたが、健診だと言葉重視のようでその他の面のフォローが欲しいと思いました。

【保護者】

- 4ヶ月検診がやや流れ作業で、ゆっくり相談する雰囲気じゃないのが残念だった。
- おたふく風邪の予防接種も無料にして欲しい。
- 検査の時に保健師の対応が人によって違うので対応を統一して欲しい。
- 学校へ行っていない子が、気軽に健康状態を相談できる窓口があればいいと思います。

(7) 医療（費）について

【未成年】

- 高校生になれば環境も大きく変わって体調管理が難しくなるから、病院に行く回数が増えると思うから、できるだけ早く、早急に医療費の無償化を始めてほしい。私は基礎疾患を持っていたためレントゲンを撮る回数がそこそこ多く、費用が高いことをよく分かっている。このような子たちは安城市

にもたくさんいると思っている。だからその子たちに楽させてあげられる（親御さんも）ようにしてください（健康から少しそれています。ごめんなさい）。

- 高校生になってから、病院（眼科）に行ったら、医療費の高さにびっくりしました。母とこの話をしたら早く無償化にしてほしいと思いました。

【児童・生徒】

- ご高齢者の方が多いから、消防車、救急車を増やしてください。病院を増やしてください。

【保護者】

- 妊娠中に産婦人科の情報が欲しかったこと。よそから引っ越してきて、産む場所がどんな病院か知らずに事前予約するので不安しかなかったから、妊娠中に情報が欲しかった。
- お医者さんなど専門の人に気軽に聞けるツールがあるといいなと思う。（すぐ風邪を引くので）
- 共働きのため、子どもが発熱や体調不良で保育園を休む時に、いつも祖父祖母に頼んでいます。市で病児保育があるのは知っていますが、準備が大変そうなのと、有料ということもあって利用していません。もう少し利用しやすくなるといいなあとを思います。
- 小児科が完全予約制に近く閉まる時間も早いので、会社が終わってから保育園に迎えにいった調子が悪いことを伝えられても、小児科が受付していない、閉まっているのでどうにもならないことが何度もある。医療体制も働く人でも行けるような小児科を新たに作って欲しい。
- 子どもを育てる間、0～20才？は医療費が無料となっているが、子育て中は腰痛や肩こり、骨盤の歪み、むくみ等が表れることがある。そこを親への無料化をしてもらいたい。
- 小児科の予約がなかなかとれず困っています。
- 子どもの医療費無償化のおかげで、病院へ行きやすいです。特に歯科健診は定期的に行くことができます。ありがとうございます。
- 安城市は15歳まで医療費が無料なので大変ありがたく、少しでも異変があれば、すぐに医療機関へ行くことができます。物価高が続いているので高校生（18歳）までにしてほしいです。

(8) 病気や体調について

【児童・生徒】

- 手洗いうがいを毎日する。
- 健康になると体が動きやすいし、お腹を壊すことやけがなどがあまり起きないことが分かった。これからは健康を目指してみようと思いました。
- 風邪をひかないように、健康な生活を送りたいです。
- あざがしやすい。
- 何で人間は頭が痛くなるんですか。

【保護者】

- 医師に何を何処まで相談したらいいのか分からなくなります。紙やネット等で目安を見ても、実際に相談するに値するの不安になり、躊躇ってしまいます。
- おそらくタブレット世代だから、健康や目などの影響を知りたい。
- 子どもの病気の市内での発生状況を知りたい（何が流行っているかなど）。
- 色々なウイルスなどの感染が心配ですが、感染しても、しなくても、無事元気に成長できる様願っています。
- 現在、子どもたちのランドセルは大変重くなっており、身体に負担がかかっています。それぞれの家庭の方針を受け入れていただき、タブレットの一律の持ち帰りを廃止して頂ければ幸いです。
- もうすぐ長い夏休みになりますが、「ヘルパンギーナ」や「コロナ」等の病気に気をつけて過ごしたいと思います。
- 小、中、高校生の子どもがいますが、毎日ものすごい重さのランドセルやリュックを背負って学校に通っていて、重い荷物を背負い続ける事で、腰痛や肩こりなど生じているのではと心配です。重いと前傾姿勢になり、歩く時のバランスが悪く、転倒したりしてケガの恐れもあり、心配がつきません。骨や発育にも関係してくるので、タブレットが増えて、教科書も持ち帰る毎日、大人がこれをやっ

たらどう思うのか、このままこの状態を続けるのは、危険だと毎日思っています。何とか改善できないのか、これを当たり前のままでいいのか疑問です。

- 教室にエアコンが付き快適になったとは思いますが、暑いと感じる子もいれば、寒い子もいます。息子はかなり寒いそうで、鼻水が止まりません。カーディガンなどの上着で調節したくても使用は禁止されています。授業中は制服でないと駄目なので、学校指定のジャージを着ることもできません。解決方法は冬用の制服を着るのですが、夏に冬用をずっと着ているのも大変です。

(9) 生活習慣について

【児童・生徒】

- 早寝早起きをして、しっかりごはんを食べる。
- 運動をしたり、ごはんを食べたりすること。
- よく寝て、よく食べて、よく運動する。
- 朝ごはんをしっかり食べて、運動をする。
- 早寝早起きをして、毎日朝ごはんを食べる。
- 健康はとても大切。
- 健康に気をつけてすごしたいです。
- 自分は健康だと思う。

【保護者】

- 目の健康について、1日の中で時間を決めてクラスのみみんなで遠くを見るなど、何か運動して欲しい。
- 体を作る基本の食べ物に気をつけている。自律神経等を整えるために、睡眠時間を確保する。病気等にならない強い体を作るために運動をなるべくさせている。健全な心を持つために、家族での会話をなるべくするようにしている。

(10) 子育てについて

【保護者】

- 産後2ヶ月で上の子が退園になりました。2人育児で下の子を相手出来る時間が減り自分の時間も減りました。正直このまま保育園に通わせなかったです。
- 保健師への相談が月に2回なので、希望の日にできないから増やして欲しい。
- 長男が体調を崩しても薬を飲ませる方法がなく、次男に伝染する事に申し訳ない気持ちが毎日お世話しながら思ってしまい、長男が近寄る事がイヤになります。長男の体調管理が次男を見てると怠った母親だと思い、気持ちの浮き沈みが常にある。仕方がないと思うまでに時間がかかる。
- 兄弟が多いと一人ひとりに向き合う時間が必要です。一時保育無料、家事の援助などがあると大変助かります。特につわりがかなりひどく期間も長かったので、一人で上の子を見ながら食事を作るなどがとても辛かったです。
- 現在、保育園に通っているが、早朝・延長保育を利用しているため、自分の子どもの保育園での様子が排便と睡眠時間しか分からないのが寂しい。小学生の授業で幼少期のふり返りをした時その2点しか分からないのは誰の為なのだろうか？本当は2人目、3人目と子どもが欲しいのだが、安城市は3歳未満の子どもがいる場合は保育園に預ける事が出来ない為次の子どもを産めるか悩んでいる。
- 育休中だと上の子が預けられず0歳と2歳の2人とも自宅保育になるのがとても負担で辛いです。育休中でも保育園を利用できる環境づくりを進めて実現してください。3人目を産もうという気持ちがあるのに環境的にかなり厳しいです。
- 言葉の発達が遅れ気味だと思っていますが、市でサポートするサービスがあり相談できるのが助かります。
- 子育てに関する相談を健診などでしても具体的な改善案が得られない。どこに相談したら改善案などを提案してもらえるか分からない。また、小学校に上がると発達や問題行動を相談できる場所があるのか分からないので不安。
- 公園や外でももう少し遊ばせたいと思うのですが、平日フルタイムで働いているとなかなかそういった時間がとれず難しいです。土・日曜の休日に習い事の合間などでそういった時間をとれるよう予定を

調整してありますが、頑張りすぎると自分が疲れてしまい、何とか余裕をもちつつ過ごしたいなと試行錯誤の日々です。バランスが難しいです。

- 共働きだと、子どもの習い事の時間がなかなかとれないのが悩みです。複数子どもがいる時、育休中でも保育園（未就園児も）に入れてほしい。
- 学校に関しての疑問や質問が自由に（気軽に）聞ける、コミュニティがあるとよいと感じる。又、高学年につれて、子どもの自立心が芽生えるため、トラブル（子ども同士）に巻き込まれないか心配。担任以外で子どもの様子のこの話が聞けるコミュニティがあるとよい。
- 娘のことをたくさん聞いてくれてありがとうございます。娘は、とても元気いっぱいです。なのでなんの心配もありません。
- 学校に毎日楽しく行ってくれることが希望です。
- なかなか本人の本音に気づいてあげられず、もどかしさを感じる。男の子はこんなものかな。
- 子育て仲間がいることが、助けになります。

(11) デジタルメディアについて

【児童・生徒】

- なるべくゲームを見続けないようにする。
- ゲームやパットやテレビの時間を、2時間以下にタイマーを設定して時間を決める。
- ゲームやテレビを見る時は時間を決める。
- ゲームの時間を減らす。

【保護者】

- 子育てをする中で、小中学校は地域に住んでいるというだけで集まってる学校なので色々な子ども、保護者がいると思います。自分とは違う環境、考え方、生活スタイル（収入）、言葉遣い、親も子ども誰でもうまくいくとは限りません。そして、教育も違います。私は、最近のメディア、スマホ、マンガ、動画などでなにが悪いことでなにが面白いことか分別できない子どもたちが心配です。倫理的なことをわかりやすく、自分に関係していることとしてとらえて教育してほしいです。
- タブレットを使用した授業が始まり、タブレットを見る時間がとても増え、視力への心配をしています。学校から貸し出されているタブレットの利用可能時間を早くして欲しいです。低学年にもインターネットの危険性を伝えて欲しいです。
- 電子メディアの普及により、子どもの姿勢がとても悪いことが気になる、同様に視力の低下も、どう対応していいのかわかっている。
- コロナ禍により見切り発車された2CT教育が子どもたちにどのような影響を及ぼし、よりよくするための検証を行ってほしいです。デジタルネイティブの子たちには、i-Podの導入は小学校5年生からで十分です。
- 今、子どもたちは昔よりも色々な情報を手にします。ですがそれは、正しい情報ばかりではなく、どんな情報を手にしたのかを親が把握できません。うちは、しっかりと子どもと話すようにしていますが、それでも不安です。日本ももっと早くから、もう少し深い話（性教育、薬物の危険、スマホの具体的な危険など）について、学校でも、家でも教えてあげられるのが当たり前になるべきだと思います。誰かに任せるのではなく、どの場所でも当たり前で教えてもらえて、危険を知れる環境になりますように。

(12) 施設の設置や整備について

【児童・生徒】

- 運動する場所があるといいと思う。
- 遊べるところが少ないから、もっと公園がほしい（サッカーができる）。
- 僕が住んでいる和泉町には自由に使えるグラウンドが無いので、子どもの外遊び離れもありますし、許可なく使えるグラウンドがあったらいいなと思いますので、よろしくお願いします。

【保護者】

- 妊婦の時や赤ちゃんが産まれてから思いやり駐車場が少なくて出かけにくいから、増やして欲しい。近くにバス停がないので、公共交通機関を使用しての移動が難しいため、バス停を北山崎周辺に増やして欲しい。
- 桜町に大規模マンションができ、子どもの人数が急激に増えているため、周辺に公園や保育園がもっとたくさんできるとありがたいと思う。
- 自宅近くに秋葉公園があるものの、木が多すぎて昼間なのに暗く子どもを遊ばせる場所まで向かうのが怖い。自然が豊か過ぎて虫が大量発生しているため虫除けを持たないと遊べない。池の近くには簡易的な柵しかない為、小さい子が柵をくぐって落ちてしまいそうで怖い。
- 横山町に住んでいるのですが、近くに支援センターや児童センターがないのが残念です。車を所有していないので、どこの施設に行くにも歩くには距離があります。保健センターやコミュニティセンターあたりに子どものための施設を作ってもらいたいです。
- 近所に公園がたくさんあるので子育てやママ友作りに役立っているが、草がボーボーなのでもう少し定期的に管理して欲しい。
- 土地柄なので仕方ないと思うものの、車がないと行けない施設などがあり子どもの遊び場や相談などをしづらいつける事がある。車を持たない親も少なからずいると思うので、もう少し便利な場所に施設を作るなどしてもらえると、幼少期の子育てが心強くなると思います。
- 屋内で子どもを遊ばせられる施設があれば、親も少しは楽に遊ばせられると思います。
- 子を室内で遊ばせる時は、デンパークのあそぼ～ネを利用することが多いです。できれば三河安城町付近に、年中・年長の子が遊べる児童館のような無料の遊び場が増えると良いなと思います（児童センターや公民館はやや低年齢寄りのところが多いと感じます）。
- 安心・安全に遊べる公園に近所の公園になってほしいです（養下公園）。残念ながら、遊ぶ子どもたちがとても少ない、寂しい公園になっているように感じます。広いのにもったいないなあと感じています。子どもたちは、となり町（さきめ公園、美園公園、神倉山公園 etc.）に遊びに行っている子が多いようです。遠いのでおのずと外遊びの回数が減ります。元気でいきいき過ごせる町に個人と行政が協力してよい方向になりますように。
- 安城市には、図書館がひとつ（アンフォーレ）しかないので、混雑している、駐車場が少ない（不便等）という理由でなかなか本と関わる機会が減った様に思います。寝る前の読み聞かせや、自主勉強ができる空間は、もっと必要なんじゃないかと思っています。
- 子どもたちが、自由に水遊びできる場所が各地域に欲しい（町内の公園での遊び方の自由さを可能にしてほしい）。鉄棒・うんていが公園が多い。本当に子どもたちの発達に必要な遊具が少ないのが残念。今後の運動能力低下が心配（安全な環境ばかりだし、中学の部活がなくなるので。今後は、お金があり、送迎ができる家庭しかできない）。

(13) 新型コロナウイルス感染症について

【保護者】

- 近くの公民館やあんぱーくの講座にたくさん参加したいのですが、やっぱりまだコロナなどの感染症が不安で、マスクをされてない方が増えてきているので参加しにくくなってしまいました。一度利用したときに、母子共に風邪をもらってしまったので、より慎重になってしまっています。それぞれ考え方はあるとは思いますが、まだマスク着用を徹底していただくと安心です。

(14) 楽しく過ごすこと

【児童・生徒】

- 楽しいことをする。
- 笑顔でいること。
- 楽しくすごす。いつも大きい声。ケンカしない。いつも笑顔。みんなを笑顔にする。みんなを元気にする。
- 家族が大切です。

(15) 性教育について**【児童・生徒】**

○性に関する正しい知識を学ぶ機会を作ってほしいです。

【保護者】

○性教育についてどのように話をしているかわかりません。

○他の地域で性教育を産婦人科の先生を呼んで講習をするとニュースで見ただけがありました。親や学校の先生の説明だと恥ずかしさもありまじめに聞こうと思わないと思うし、専門の方に話されると真剣に聞けるし、疑問も解消できると思いました。安城市でもお願いしたいです。

○子どもが成長するにつれて感じるであろう不安や、気になること（性の話題も含めて）を何でも気軽に話し合えるような雰囲気づくりを心がけています。特に性教育に関しては、昔と違って、ネットの発達により誤った情報や知識を得てしまう機会もあると思うので、注意するようにと伝えたいですし、学校などでも正しく学ぶ機会があれば親としてもとても安心できると思っています。

○性教育については、産婦人科医の先生から子どもたちへ伝えてもらったほうが、心に響くと思います。

(16) その他**【保護者】**

○外国人の方々に日本の子育ての仕方を少しでも理解していただければ幸いです。初めて子育てをする家族にとっては大きな助けとなるでしょう。

○自治会の仕事やPTAの仕事は、働きながら子育てをする人には、負担が多すぎる。

○家族以外に相談(市など)をしたい時にまずどこに連絡すればいいかわからなかったことが大変だった。

○父です。職場に同じ境遇の人がおらず、悩みを相談できる相手がいませんでした。上司に相談しても「自分が若い時は～」と言い返され、育児に対する理解がないと感じる事が多々ありました。

○今までの日本の教育方法は正しいと思わず、時代にあったやり方を考え続けたいと思います。その中でも、変えるべきものと変えるべきではないものを常に考えながら、教育を学校と保護者でやっていきたいと思います。特に両親共働き、核家族の時代。もっと社会がみんな子どもを大切にする文化を考えていきたい。

○教員の働き方改革をするためにも、教員の人件費予算をもっと多くとる。

○森林環境贈与税はアンフォーレのイベントなんかに使わず、全小中学校へ有識者を招き、次世代育成のために使い、林業や環境保全について学ぶ機会を与えてほしいです。